



TESLA

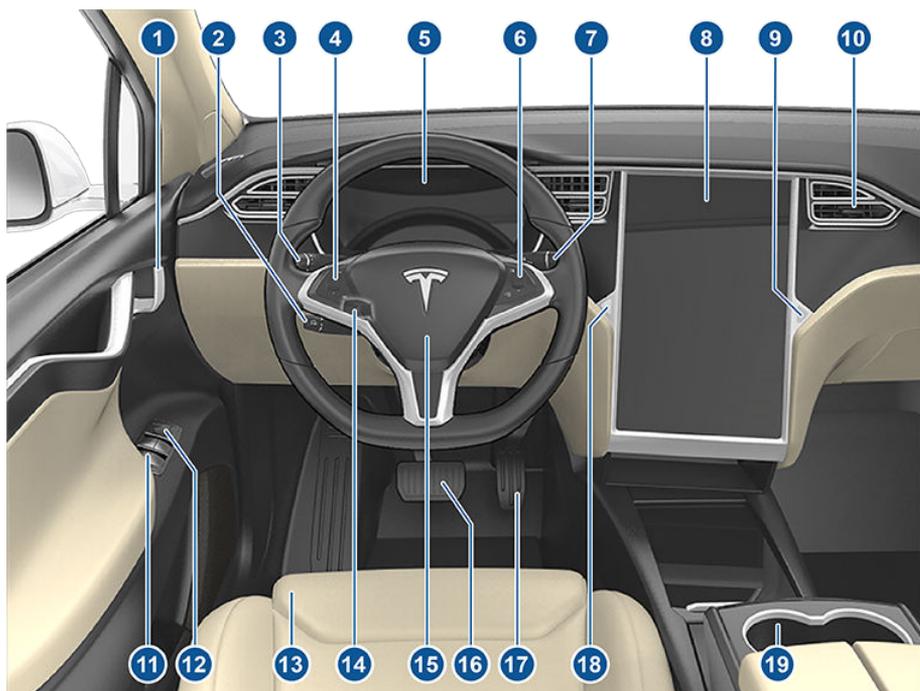
MODEL X オーナーズ マニュアル



2019.16.1.1
May 16, 2019

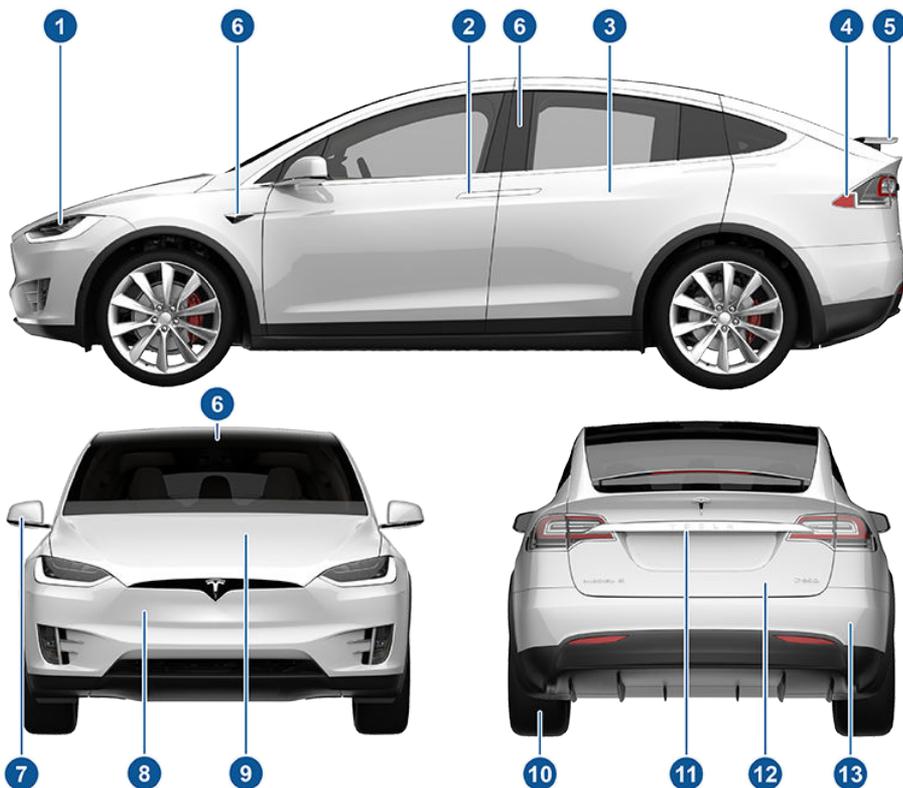


概要.....	2	充電中.....	148
インテリアの概要.....	2	電気車両コンポーネント.....	148
エクステリアの概要.....	3	バッテリーに関する情報.....	150
タッチスクリーンの概要.....	4	充電方法.....	152
開閉.....	9	メンテナンス.....	158
ドア.....	9	メンテナンス スケジュール.....	158
ウィンドウ.....	17	タイヤの手入れと保守.....	160
リアトランク.....	18	クリーニング.....	166
フロントトランク.....	20	ワイパー ブレードとウォッシュャー液ノズル.....	169
荷室容量と電気系統.....	22	フルードリザーブ.....	170
サンバイザー.....	25	ジャッキアップと引き上げ.....	172
座席と安全拘束具.....	26	部品とアクセサリ.....	173
フロントおよびリアシート.....	26	仕様.....	174
シートベルト.....	32	識別ラベル.....	174
チャイルドシート.....	35	車両総重量.....	175
エアバッグ.....	45	寸法および重量.....	177
運転モード.....	49	サブシステム.....	179
ドライバースタイル.....	49	ホイールとタイヤ.....	182
ハンドル.....	52	ロードサイドアシスタンス.....	186
ミラー.....	55	Tesla ロードサイドアシスタンスに接続する.....	186
始動と電源オフ.....	56	車両輸送者向け注意事項.....	187
ギア.....	58	消費者情報.....	190
ライト.....	59	イースターエッグ.....	190
インストルメントパネル.....	62	このオーナー情報について.....	192
ワイパーとウォッシュャー.....	68	免責事項.....	193
ブレーキ.....	69	安全上の不具合を報告する.....	197
トラクション コントロール.....	72	適合宣言.....	198
パーキングアシスト.....	73		
オートブレーキホールド.....	75		
加速モード.....	76		
走行情報.....	78		
航続距離を最大限に伸ばす.....	79		
リア ビュー カメラ.....	80		
車載カメラ.....	81		
アクティブ スポイラー.....	82		
牽引とアクセサリ.....	83		
オートパイロット.....	92		
オートパイロットについて.....	92		
トラフィックアウェア クルーズコントロール.....	95		
オートステアリング.....	100		
オートパーキング.....	104		
サモン.....	106		
レーンアシスト.....	108		
衝突回避アシスト.....	110		
スピードアシスト機能.....	113		
タッチスクリーンの使用.....	115		
コントロール.....	115		
温度調整.....	125		
地図とナビゲーション.....	131		
メディアとオーディオ.....	135		
電話.....	138		
エア サスペンション.....	140		
カレンダー.....	142		
セキュリティ設定.....	143		
Wi-Fi への接続.....	145		
ソフトウェア アップデート.....	146		
モバイル アプリ.....	147		



注：右ハンドル (RHD) 車では、上に図示されたコントロール類が車両右側に左右反転した形で配置されています。

1. インテリアドアハンドル (車内からドアを開ける - 12 ページ)
2. トラフィックアウェアクルーズコントロール (トラフィックアウェアクルーズコントロール - 95 ページ) およびオートステアリング (オートステアリング - 100 ページ)
3. ハイビーム (ハイビームヘッドライト - 60 ページ)、方向指示器 (ウィンカー - 60 ページ)、ワイパーおよびウォッシャー (ワイパーとウォッシャー - 68 ページ)
4. ステアリングホイールボタン - 左 (ハンドルの左ボタンを使用する - 52 ページ)
5. インストゥルメントパネル (インストゥルメントパネル - 62 ページ)
6. ステアリングホイールボタン - 右 (ハンドルの右ボタンを使用する - 53 ページ)
7. ギアセレクター (ギアシフト - 58 ページ)
8. タッチスクリーン (タッチスクリーンの概要 - 4 ページ)
9. グローブボックスボタン (グローブボックス - 22 ページ)
10. 車内エアコン (温度調整 - 125 ページ)
11. パワーウィンドウスイッチ (ウィンドウを開ける、閉じる - 17 ページ)
12. エクステリアミラー調節スイッチ (ミラー - 55 ページ)
13. シート (フロントおよびリアシート - 26 ページ)
14. ステアリングコラムアジャスター (ハンドル - 52 ページ)
15. ホーン (ホーン - 54 ページ)
16. ブレーキ (ブレーキ - 69 ページ)
17. アクセルペダル (加速モード - 76 ページ)
18. ハザード警告灯 (ハザードランプの点滅 - 61 ページ)
19. カップホルダー (カップホルダー - 24 ページ)



1. エクステリアライト (ライト - 59 ページ)
2. フロントドア (Model X のドアを車外から開閉する - 12 ページ)
3. ファルコン ウィングドア (ドア - 9 ページ)
4. 充電ポート (充電方法 - 152 ページ)
5. アクティブ スポイラー (オプション) (アクティブ スポイラー - 82 ページ)
6. オートパイロットカメラ (オートパイロットについて - 92 ページ)。
7. 外部ミラー (ミラー - 55 ページ)
8. レーダー センサー (上の画像では非表示) (オートパイロットについて - 92 ページ)
9. フード / フロントトランク (フロントトランク - 20 ページ)
10. ホイールおよびタイヤ (ホイールとタイヤ - 182 ページ)
11. リアビュー カメラ (リア ビュー カメラ - 80 ページ および オートパイロットについて - 92 ページ)
12. リア トランク / リフトゲート (リアトランク - 18 ページ)
13. 超音波センサー (パーキングアシスト - 73 ページ および オートパイロットについて - 92 ページ)

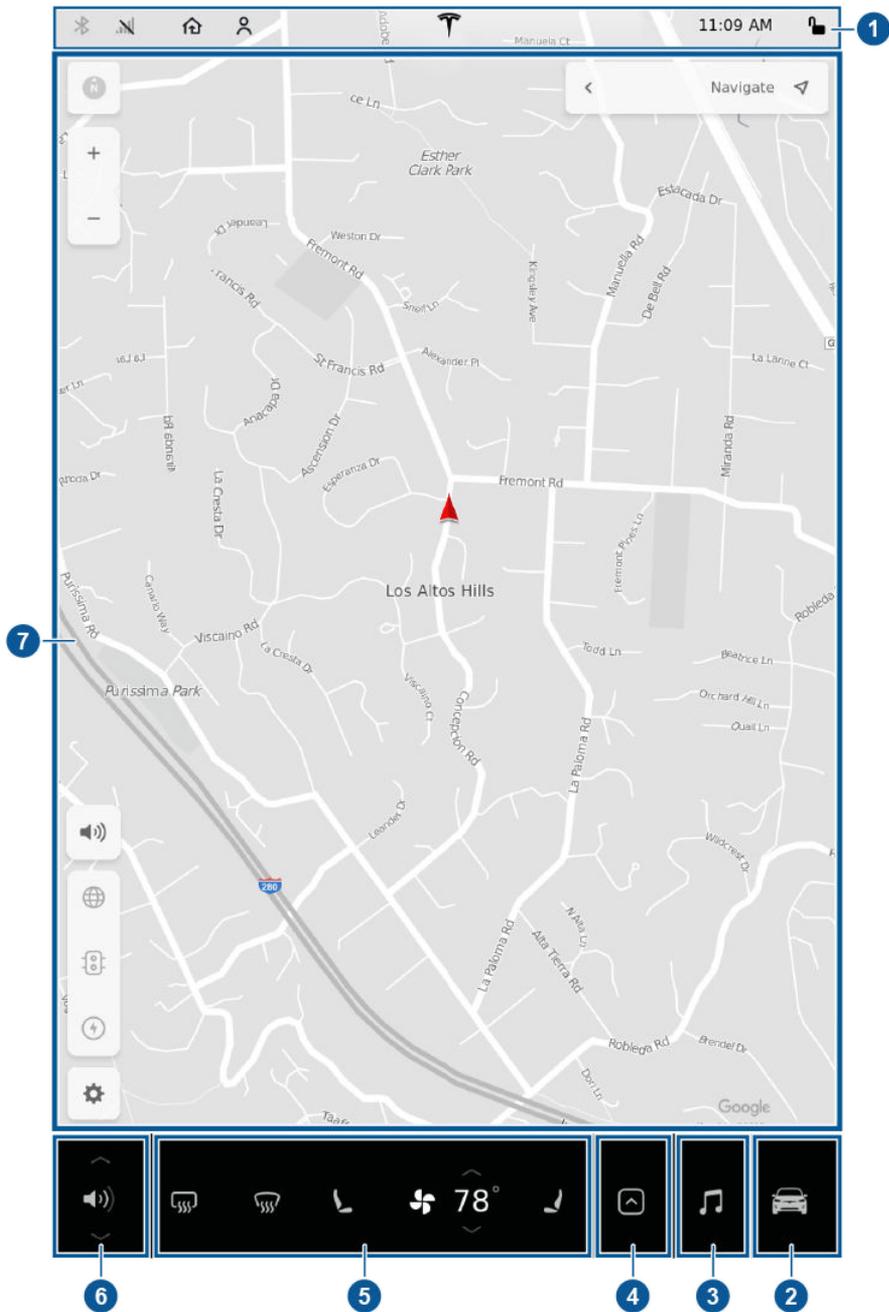


タッチスクリーンの概要

ここでは、タッチスクリーンの各部について説明します。従来車ではたとえば、ヒーターや空調やヘッドライトなどの調節を多くの物理的ボタンを使って行っていましたが、タッチスクリーンはこれひとつで多くの機能を制御できます。タッチスクリーンを使用してお好みに合わせて Model X をカスタマイズすることができます。

警告： 運転する時は、常に道路と周囲の交通環境に注意を払ってください。ドライバーが注意散漫となることを最小限に抑え、同乗者や他の道路利用者の安全を確保するために、走行中はタッチスクリーンを使用して設定を調整しないでください。

注： 以下のイメージ画像は説明のみを目的としています。タッチスクリーンは、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。





1. タッチスクリーン上部のこのエリアに時間、車両のロック/ロック解除へのショートカット、車両情報へのアクセス (Tesla の「T」)、ドライバーのプロフィール設定選択 ([ドライバープロフィール](#) - 49 ページを参照)、ネットワーク強度表示、Wi-Fi 接続 ([Wi-Fi への接続](#) - 145 ページを参照)、および Bluetooth デバイス ([Bluetooth 対応の携帯電話の接続](#) - 138 ページを参照) が表示されます。感嘆符「!」マークが表示された場合、それにタッチして現在有効な警告メッセージを確認してください。黄色の時計のアイコンがある場合、ソフトウェアにアップデートがあります ([ソフトウェア アップデート](#) - 146 ページ参照)。

注: Model X の電源が入り運転ができる準備が整っていて、かつエアバックがオフになっている際に限り、エアバックのステータスマークがタッチスクリーン上部の角に表示されます ([エアバッグ](#) - 45 ページを参照)。

2. コントロール。タッチして機能をコントロールし、好みに合わせて Model X をカスタマイズします ([コントロール](#) - 115 ページ参照)。
3. メディア プレイヤー。([メディアとオーディオ](#) - 135 ページを参照)。

4. アプリランチャーをタッチして以下のアプリから選択します。



カレンダー。 [カレンダー](#) - 142 ページを参照してください。



エネルギー。 [航続距離を最大限に伸ばす](#) - 79 ページを参照してください。



ウェブ。 ウェブブラウザを利用してインターネットに接続します ()。



カメラ。 Model X 車両後部を表示します。リバースにシフトしたときは必ずこのエリアが自動的に映し出されます。 [リアビューカメラ](#) - 80 ページを参照してください。



通話。 [電話](#) - 138 ページを参照してください。



充電。 [充電方法](#) - 152 ページを参照してください。

注： アプリランチャーをスワイプすると、最近使用したアプリが表示されます (現在表示されているアプリを除く)。

注： 地域や車両オプションにより、車両に装備されていない機能がある場合があります。

5. エアコン ([温度調整](#) - 125 ページ参照)。
6. ボリュームコントロール ([音量調節](#) - 135 ページ参照)。
7. タッチスクリーンには常に地図が表示されます ([地図とナビゲーション](#) - 131 ページ参照)。

注： [コントロール](#) をタッチしたり、アプリを選択したり、メディアプレイヤーを開くなどすると、ウィンドウがマップの上に表示されます。コントロールウィンドウを閉じるには、[コントロール](#) をもう一度タッチするか、ウィンドウの上隅にある「X」をタッチします。アプリを閉じるには、ウィンドウの上隅にある「X」をタッチします。メディアプレイヤーを閉じるには、タッチスクリーンの最下部までドラッグするか、アイコンをもう一度タッチします。



Tesla の「T」

タッチスクリーンの最上部中央にある Tesla の「T」にタッチして以下を表示します。

- 車両名 ([車両に名前を付ける](#) - 123 ページ参照)。
- バッテリーのサイズ。
- オドメーター。
- 車両識別番号 (VIN)。
- Model X に現在インストール済みのソフトウェアバージョン。
- 現在インストールされているソフトウェアバージョンに関するリリースノート。
- オーナーズマニュアル。
- Tesla お客様サポートおよびロードサイドアシスタンスへのワンタッチアクセス。
- 発見されたイースターエッグへのワンタッチアクセス ([イースターエッグ](#) - 190 ページ参照)。

キーレスロックとロック解除

Model X はロックやロック解除を簡単に行うことができます。有効なキーを携帯している必要がありますが、必ずしも使用する必要はありません。Model X 約 1 メートルの範囲内にキーが存在することを認識できるセンサーが運転席のドア周辺に装備されています。キーをポケットやバッグに入れておけば、Model X に近づくと検出されます。

パッシブエントリー（「コントロール」 > 「安全とセキュリティ」 > 「パッシブエントリー」）をオンにしている場合、キーを携帯して Model X に近づくと、ドアが自動でロック解除されます。リアトランクを開けるには、トランク外側のハンドル奥にあるスイッチを押します。

注： Model X ドアやリア トランクがロック解除する前に、運転席ドア付近でキーが検出されなければなりません。

注： パッシブエントリーがオフになっている場合は、キーを使用して Model X のロックを解除する必要があります。キーを使用する - 9 ページを参照してください。

プレミアムパッケージが装備され、自動ドア設定がオンとなっている場合は、鍵を持って Model X に近づくとドアが自動でアンロックされ、ドライバー側のドアが少し開きます。装備されていない場合、または設定がオフになっている場合、ドアは自動でロック解除され、ハンドルを押すとドアが開きます。

注： キーを携帯して Model X に近づいた際に、全てのドアのロックを解除するか、もしくは運転席のドアのみを解除するかを選択できます（**ドア アンロックモード** - 15 ページを参照）。

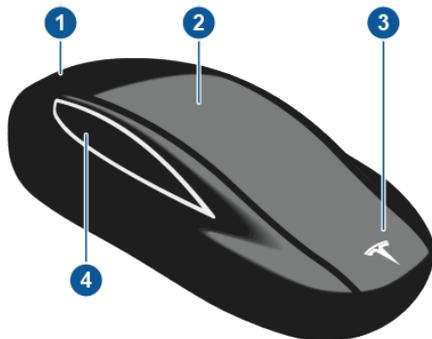
キーを携帯しているときは、リア トランクもキーを使わずに開くことができます。トランクのエクステリア ハンドルの下のスイッチを押すだけです。運転席のドアロック解除モード（**ドア アンロックモード** - 15 ページを参照）をオフに設定し、車両のドア付近でキーを検出してからでないとリアトランクは開きません。

Model X ロックも自動的に行われます。「**降車後オートロック**」を有効に設定している場合、Model X はキーを携帯して遠ざかるとロックされます（**降車後オートロック** - 15 ページを参照）。

Model X の車内にいる間に、タッチスクリーンのステータスバーにあるアイコンをタッチする、または「コントロール」 > 「クイックコントロール」をタッチして、車両をロックまたはアンロックすることもできます。

キーを使用する

キーの使用に慣れるには、キーを Model X のミニチュア版と考えてください（Tesla のエンブレムのある側が前方です）。キーの上面はフロント、リア、その中間で 3 つのボタンに分かれており、両サイドにはファルコン ウィングドアに対応する金属ボタンがあります。



1. トランク

- ダブルクリックしてリアトランクを開けます。
- パワー リフトゲートが搭載されている場合、ダブルクリックしてリアトランクを開めます。シングルクリックすると、動いているリフトゲートを止めることができます。
- 充電ポート ドアを開くには、ボタンを 1 ~ 2 秒間押し続けます。

2. すべてロック/ロック解除

- シングルクリックすることで、すべてのドアとリアトランクがロックされます。ハザードライトが 1 回点滅します。

注： ドアまたはリア トランクが開いている場合は、ハザードランプが 3 回点滅してドアはロックされません。ただし、「**キー オフで全て閉じる**」設定をオンにする（「コントロール」 > 「車両」 > 「キー オフで全て閉じる」の順にタッチします）、すべてのドア（およびリアトランク）を閉じることとロックすることをシングルクリックで行えるようになります。デフォルトでは、この設定はオフとなり、すべてのドアを閉じてロックするにはトリプルクリックする必要があります。



- ダブルクリックしてアンロックします。ハザードライトが 2 回点滅します。

注: プレミアム アップグレード パッケージが装備されている Model X で自動ドアが有効になっている場合 (「コントロール」 > 「車両」 > 「自動ドア」の順にタッチします)、Model X に近づくだけでドアがアンロックされ運転席のドアが開きます。次にダブルクリックすると、助手席側のフロントドアが開きます。

3. フロントトランク

- ダブルクリックしてフロントトランクを開けます。

4. ファルコン ウィングドア

- ダブルクリックすると、対応するファルコン ウィングドアが開閉されます。
- シングルクリックすると、対応するファルコン ウィングドアの動きが止まります。続いてダブルクリックすると、ファルコン ウィングドアの動きが逆になります。たとえば、ドアを開いていたときは閉じ、閉じていたときは開きます。

注: ファルコン ウィングドアは、事前に障害物を検出し、障害物が検出されたときはドアが動かないように設計されています。

警告: Model X ファルコン ウィングドアには、ドアの動線にある物体の存在を検出するセンサーが複数取り付けられています。大半の場合、物体が検出されるとドアの動きは止まります。ただし、センサーはどんな場合でも、特にドアが閉まりかけている場合に、あらゆるエリアで何でも検出できるわけではありません。そのため、ドライバーは常に、ドアの動線に障害物がいないようファルコン ウィングドアを見守り、いかなるときもドアが何か (人を含む) に接触することを事前に防止できるようそばにいてください。確認を怠ると、重大な損傷や負傷事故につながる可能性があります。

この場合、キーを Model X に向ける必要はありませんが、キーの作動範囲内にいる必要があります (作動範囲はキーのバッテリーの強さによって異なります)。

Model X がキーを検出できない場合は、キーが車内がないことを示すメッセージがタッチスクリーンに表示されます。キーを、Model X が最も検出しやすい位置である 12 V 電源ソケットの下に置きます (キーは車内にありません - 56 ページを参照)。

周波数の近い無線機器がキーに影響を与える場合があります。その場合は、キーを他の電子機器 (携帯電話、ノートパソコンなど) から 30 cm 以上離してください。キーが動作しない場合は、バッテリーの交換が必要となる場合があります。キーのバッテリーが切れている場合は、以下のアンロック手順に従って Model X のドアを開けることができます。 (キーが動作しないときのアンロック - 15 ページを参照)。

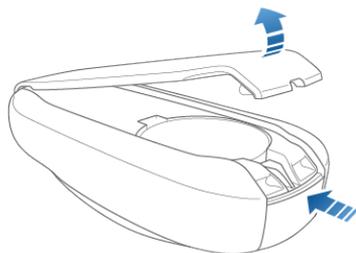
注意: 運転する際は、必ずキーを携帯してください。キーから遠ざかっても Model X を運転することはできませんが、その場合は電源を一度切ると、再度オンにできません。

注意: キーを衝撃、高温、液体による損傷から保護してください。キーが溶剤、ワックス、研磨洗浄剤に触れないようにしてください。

キーのバッテリー交換

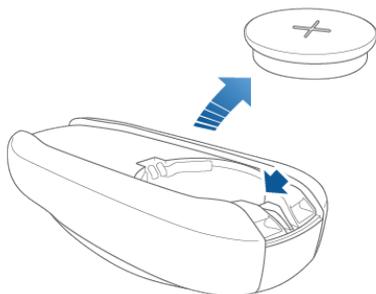
キーのバッテリーの寿命は約 1 年です。バッテリー残量が低下すると、インストゥルメントパネルにメッセージが表示されます。以下の手順に従ってバッテリーを交換します。

- キーのあるボタン面を下にして柔らかい面に置き、マイナス ドライバー状のものか爪を使い底面のカバーを開きます。



注: キーにストラップが付いているときは (ストラップを取り付ける - 11 ページを参照)、底面のカバーの「X」の文字のところを指で押してストラップを引くと (カバーを押して外すような感じで)、カバーを外すことができます。また、キーとカバーの間に小さなマイナス ドライバー状のもの、爪または Tesla 提供のツールを差し込んでもカバーをこじ開けることができます。

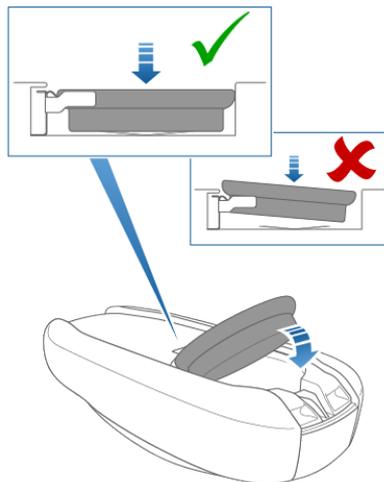
2. バッテリーを斜めにスライドさせて取り外します。



3. プラス (+) 面を上にして新しいバッテリー (CR2354) を挿入します。バッテリーが所定の位置にびったりとはまるようある程度角度を付けて+面 (接触面はキーのほぼ中央にあります) に向けてスライドさせ、その後反対側にしっかりと押し込んで所定の位置にしっかりとまっていることを確認してください。

注: CR2032 電池は、オンライン販売店、地域のスーパーマーケット、ドラッグストアで購入することができます。

! **注意:** バッテリーは+の接触面に対してスプリングで押さえられていなければなりません。バッテリーを接触面の上に置いて無理に押さえつけることはしないでください。接触面を損傷する恐れがあります。

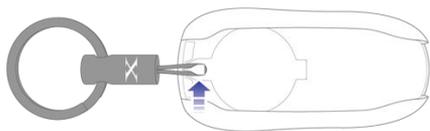


注: バッテリーはきれいに拭いて、平らな面に指を触れないようにして挿入します。バッテリーの平らな面に指紋が付いていると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。

4. カバーは、フロント側をキー本体に付け、横に付いているタブとキー本体側のスロットの位置を合わせて、パチンという音がするまで押し込んで固定します。

ストラップを取り付ける

Model X のキーは小さなストラップを付けられるようになっています。ストラップを付けるときは、上記の要領で底面のカバーを外します。キーの裏側のピンにストラップをかけます。カバーを合わせて、パチンと押し込みます。



追加のキーを入手する

キーを紛失した場合または追加のキーが必要な場合は、Teslaにご連絡ください。Model X 最大 8 個のキーを認識することができます。

Model X の新しいキーを注文したときは、お手持ちのキーすべてをプログラミングし直してください。

車内からドアを開ける

フロント ドアを開くためには、インテリア ドアハンドルを内側に向かって引っ張ってください。



Model X の車内からタッチスクリーンを利用してドアの開閉を行うこともできます。「コントロール」>「クイック コントロール」をタッチし、開閉したいドアを選びます。さらに、プレミアム アップグレードパッケージを装備した Model X の場合、ブレーキペダルを押すと、運転席側のドアが自動的に閉まります。

注: お子さまが内部ドアハンドルを使用してファルコン ウィングドアを開けないようにするには、タッチスクリーンで「コントロール」>「車両」>「チャイルドロック」の順にタッチしてチャイルドロックを有効にします（チャイルドロック - 15 ページを参照）。

Model X のドアを車外から開閉する

Model X のドアは電動です。「コントロール」>「車両」>「運転席のドアロック解除モード」の順にタッチして、キーを携帯して Model X に近づくと、運転席側のドアのみをロック解除するよう指定することができます。

装備されている場合、運転席のドアは近づくと自動的に開くように設定することもできます。ドアは途中で開きません（センサーが検出する障害物によって 20 度から 45 度の角度で開きます）。「コントロール」>「車両」>「自動ドア」の順にタッチします。この設定がオンの場合、キーのロック/ロック解除ボタンをダブルクリックして運転席側のドアを開くこともできます。その後ダブルクリックすることによってフロントの助手席ドアが開きます。

⚠ 注意: 急な坂道に駐車している場合は、フロント ドアが自動で完全に開かない、または閉じない場合があります。急な坂道に駐車している場合は、ドアの開閉を Model X に完全に頼らないでください。

注: 製造日と、購入時に選択したオプションによっては、Model X に自動ドアが搭載されていない場合があります。



ドアが開いていると、インストゥルメントパネルに「ドアが開いています」インジケータが表示されます。また、タッチスクリーンの「コントロール」>「クイックコントロール」ウィンドウの Model X 画像も、開いているドアやトランクを視覚的に表現します。

ドアは次のようにして閉めることができます。

- 手動でドアを押して閉めます。
- タッチスクリーン（「コントロール」>「クイックコントロール」の順にタッチ）を使用して、ドア（またはトランク）を個別に閉めます。
- キーのロック/ロック解除ボタンをシングルクリックまたはトリプルクリックします（「キーオフで全て閉じる」設定がオンの場合は、シングルクリックのみですべてのドアとトランクを閉じることができます。トリプルクリックする必要があるのは、この設定がオフの場合です）。

注: 電動式のドアは、障害物が検出されると動作を停止します。

⚠ 警告: フロント ドアを自動で開閉する（手動で開閉する代わりに）ときは、まずドアの周囲に障害物（人や物など）がないか確認してください。人や物と接触しないようにドアの動きを常に監視してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

ファルコン ウィングドアの開閉

Model Xは電動ファルコン ウィングドアを装備しており、ボタンひとつで、あるいはキーもしくはタッチスクリーン上の関連するアイコン（「コントロール」>「クイックコントロール」）をタッチすることで簡単に開閉できます。ファルコン ウィングドアには、人や物を検知するセンサーが複数装備されており、何かを検知した場合はドアの動きが止まります。検知した物体に応じて、ドアはそれに接触しないように外側および上方向の動きを調整します。たとえば、物体が Model X の上方に検知された場合、ドアはさらに外側には動くものの低めになり、一方、物体がドアのそばに検知された場合には、ドアが外に出る動きはずっと少なくなります。

警告：いかなる時でも、ファルコン ウィングドア フレームには手を置かないでください。ドアを閉じる前はドアフレーム周辺を確認し、閉じ始めたらドアの動きを注視し人や物が挟まらないことを確認してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

警告：ファルコン ウィングドアの開け閉めをする前に、ドア周囲に障害物（人や物）がないことを確認してください。ドアには多くのセンサーががついていますが、いつでもすべての物体を検知できるとは限らず、特にドアが動いているときにはその傾向が高まります。ある時点において、ドア近くに検出できないゾーンが生じる場合があります。そのため、ファルコン ウィングドアを開閉する場合、ドライバーおよびその他のパッセンジャーは、ドアの動きを意識し、いつでも対応できるようにしながら、動いているドアから離れてください。ドアを動かさないようにするには、キーにあるファルコン ウィングドア ボタンをシングルクリック、ドアまたはドアピラーにあるスイッチを押す、タッチスクリーンにあるボタンをタッチ、これらのいずれかを行ってください。

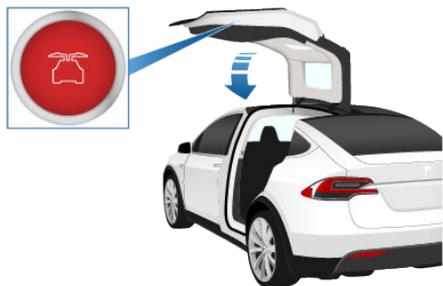
ファルコン ウィングドアを Model X の外から開けるには、ドアハンドルを押すかまたはキーのファルコン ドア ボタンを押します（[キーを使用する](#) - 9 ページを参照）。

Model X の車内からファルコン ウィング ドアを開くには、ドアピラーにあるスイッチを押すか、タッチスクリーン上の関連するドアアイコンをタッチします（「コントロール」>「クイックコントロール」）。



注：Model X がロックされている場合は、一度スイッチ（上図参照）を使用して対応するドアのロックを解除します。もう一度引っ張るとドアが開きます。

ドアを閉じるには、ドアの内側にあるボタンを押してください。キーを利用することもできますが（[キーを使用する](#) - 9 ページを参照）、ドアピラーにあるスイッチ（上図参照）を使用するか、タッチスクリーン上の関連するドアアイコンをタッチすることもできます（「コントロール」>「クイックコントロール」）。



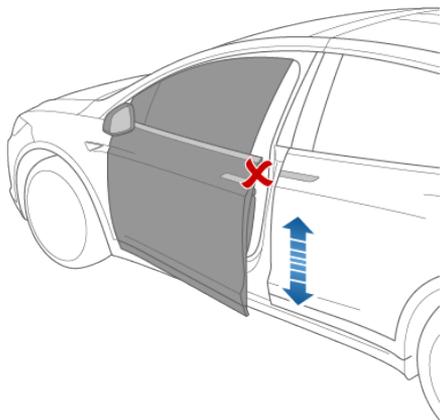
注：お子様が誤って内側のスイッチを押してドアを開けることを防ぐには、タッチスクリーンで「コントロール」>「車両」>「チャイルドロック」の順にタッチしてチャイルドロックを有効にします。[チャイルドロック](#) - 15 ページを参照してください。

注：タッチスクリーンを使用して、Model X のファルコン ウィング ドアを低い高さ設定で開くように設定することができます（「コントロール」>「車両」>「ファルコンドアの高さ」）。

注：ファルコンウィングドアが閉じる時に障害物を検出すると、数センチ戻って動きを止めます。



- 警告**：対応するファルコン ウィングドアを開閉しようとしているときにフロント ドアが開いている場合は常に、フロント ドアの開口部から手（あるいは物）を離してください。ファルコン ウィングドアを開きかけているフロント ドアを通過する際、両ドアの間隔は非常に狭くなります。その部分に置いた手や指などはセンサーに検出されず、ドアとドアの間に挟まれることがあります。ファルコン ウィングドアの開閉時には、負傷事故の発生を防止するために、手はフロント ドアから常に離しておく習慣をつけてください。



- 警告**：ファルコン ウィングドアの開閉時には、ドアが人や物に触れることがないようにドアの動きを意識することが重要です。確認を怠ると、重大な損傷や負傷事故につながる可能性があります。

- 注意**：ドアに積雪や氷がある場合は、ドアを開ける前に取り払ってください。雪が Model X 内部に入り、ドアが開かなくなる恐れがあります。

- 注意**：雨天時には、リフトゲートを開く際にファルコン ウィングドアを開けたままにしていると、雨水がリフトゲートからリアシート部に侵入します。

注：ファルコン ウィングドアは、Model X が停止しているときにしか開きません。

障害物検出

ファルコン ウィングドアは、それがもつ多くのセンサーが物体を検知したとき、あるいはドアが何かに接触したことにより抵抗を感じたときに動きを止めます。タッチスクリーンに警告が表示されます。このような場合は、ファルコンウィングドアの開閉を続行することが適切であれば、ドア ビラーにあるスイッチを押したままにしたり、タッチパネル上のドアアイコンをタッチしたままにして、障害検出を無効にすることができます。

Model X が天井の低さを検知すると（例：ガレージ内）、他に障害物が無くてもファルコン ウィングドア（およびトランク）を低めの高さで開きます。タッチスクリーンで対応するドアアイコンにタッチすれば、この高さを見越してドアが開く高さを上げることができます（「コントロール」>「クイックコントロール」）。タッチスクリーンが、開けるドアの高さをこの位置で特定したいかどうか尋ねるメッセージを表示し、その設定を保存します。次回この位置でファルコンウィングドアを開くと、Model X は保存した高さでドアを開きます。

- 警告**：デフォルト設定されているファルコン ウィング ドアの開く高さを変更する前に、ドアの開閉範囲でドアと障害物との間に十分なクリアランスがあることを目視で確認してください。

- 警告**：ファルコン ウィング ドアの外側にラップやステッカー、ラバー コーティングなどの粘着性物質を付けると、センサーが物体を認識する性能に悪影響を与えることがあります。

キャリブレーション

ファルコン ウィング ドアが正しくキャリブレーションされていない場合、タッチスクリーン上に警告が表示されます。ドアのキャリブレーションを行うには、まず両方のドアの周囲に十分な空間があり乗員や物がないことを確認してから、**Calibrate** ボタンをキャリブレーションが終了してから 5 秒間押し続けてください。キャリブレーション中、下のドアが完全に開き（Model X の側面に十分な空間が必要です）、上のドアが完全に下がり、下のドアが閉まります。

内部からのロックとアンロック

Model X の車内に有効なキーがある場合、タッチスクリーンで車内からドアとトランクをロック/アンロックすることができます。タッチスクリーンのステータスバーのロックアイコンにタッチします。

停車して Model X パーキングにシフトした時に、ドアをアンロックするか、ロックしたままにするかを選択できます。これを行うには、「コントロール」>「車両」>「パーキング時のロック解除」の順にタッチします。有効になっていると、パーキングギアに入れた時にドアが自動的にアンロックされます。

また、ギアセレクターの端にあるパーキングボタンをもう一度（パーキングにシフトした時に一度目を押した後などに）押して、ドアをアンロックして。

注：Model X をロックする際にドアまたはトランクがまだ開いている場合は、それを閉じたときにロックがかかります。

ドア アンロックモード

キーを携帯して車両に近づくと、またはパーキングにシフトするときのみに、運転席側のドアをロック解除するように選択することができます。これを行うには、「コントロール」>「車両」>「運転席のドアロック解除モード」の順にタッチします。

チャイルドロック

Model X お子様が入部ハンドルを使用してファルコンウィング ドアやリフトゲートを開けるのを防ぐために、リア ドアとリフトゲートにチャイルドロックを備えています。タッチスクリーンを使用してチャイルドロックをオンまたはオフにします。「コントロール」>「車両」>「チャイルドロック」の順にタッチします。

注：後部座席にお子さまを乗せている場合は、チャイルドロックを ON にすることをお勧めします。

走行後オートロック

Model X 走行速度が時速 8 km を超える場合は、必ずすべてのドア（トランクを含む）を自動的にロックします。

降車後オートロック

ドアやトランクは降車後キーを持って車から離れるかまたは車がキーを検出なくなると（キーのバッテリー切れなど）、自動的にロックされます。

この機能をオンオフにするには、「コントロール」>「車両」>「降車後オートロック」の順にタッチします。

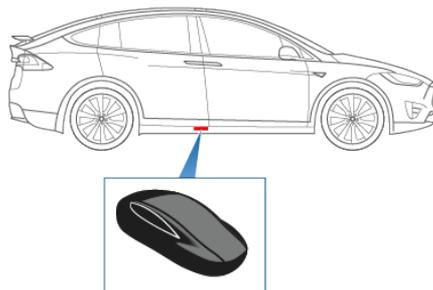
注：すべてのドアが閉まっているときにキーを使用して Model X のロックを解除すると、降車後オートロック機能は 1 分間無効になります。この 1 分以内にドアを開けた場合は、その後すべてのドアが閉まってからキーを持って車から離れるまで、ドアは再びロックされません。

注：モバイルアプリを使用して車両をアンロックすると、すべてのドアを閉じた後にしばらくすると自動的にロックします。屋内駐車場などセルラーサービス圏外にある場所に駐車するときは、機能するキーがお手元にあることを確認してください。

キーが動作しないときのアンロック

Model X に近づいたり、キーのアンロックボタンを押したりしてもロックが解除されない場合は、キーのバッテリーが切れている可能性があります。その場合でも、Model X をアンロックして運転することができます。

Model X をアンロック（さらにセキュリティアラームを無効に）するには、図のように、まずキーを車両のドライバー側でフロントドアとファルコンドアの間のドアピラー下に置きます。次に運転席側のドアハンドルを押します。Model X がアンロックされない場合は、キーの位置を調整してください。キーは必ず正しい位置にする必要があります。まだ Model X をアンロックできない場合は、キーのバッテリーを一度取り外して、もう一度試してください。[キーのバッテリー交換](#) - 10 ページを参照してください。



Model X を運転するには、12 V 電源ソケットの真下にあるセンターコンソールにキーを置き、ブレーキペダルを踏んだまま Model X の電源をオンにします。

注：この方法で Model X をアンロックすると降車後オートロックが無効になります。この場合、キーのバッテリーを交換した後、降車後オートロック機能を手動で再び有効にする必要があります。

キーのバッテリーを交換する方法については、[キーのバッテリー交換](#) - 10 ページを参照してください。



電源が切れた状態で内部からドアを開く

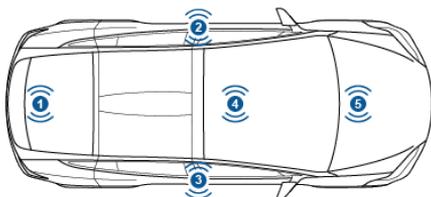
Model X の電源が切れている場合、フロント ドアは通常どおり内部ドアハンドルで開きます。リア ドアを開けるには、スピーカーグリルをドアから慎重に外し、機械式解除ケーブルを下に引き、車両の前に向けて引いてください。ラッチが解除されたら、ドアを手動で持ち上げてください。



使用前に医療用電気機器の製造元にお問い合わせ下さい。

電波干渉

心臓ペースメーカーを使用している方は、キーレスシステムのキー アンテナからの電波によるペースメーカーへのいかなる影響も避けるため、Model X に取り付けられた任意のキー アンテナから少なくとも 22 cm (9 in) 離れるようにしてください。アンテナは以下の場所に設置されています。



1. リアバンパーの中央。
2. 左側の 1 列目と 2 列目の座席位置の間のドアピラー。
3. 右側の 1 列目と 2 列目の座席位置の間のドアピラー。
4. センターコンソール。
5. フロントトランクの中央。

⚠ 警告：電波は医療用電気機器に悪影響を及ぼすことがあります。植込み型ペースメーカーを使用している方は、想定される影響について使



ウィンドウを開ける、閉じる

スイッチを押して、対応するウィンドウを下げます。スイッチの操作には 2 段階あります。

- ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押してすぐに放します。
- ウィンドウを途中まで下げるには、スイッチを軽く押して希望の位置まで下がったらスイッチを離します。



同様に、スイッチを引いてウィンドウを一番上まで上げます。

- ウィンドウを完全に下げるには、スイッチを下まで完全に押してすぐに離します。
- ウィンドウを途中まで上げるには、スイッチを軽く引いて希望の位置まで下がったらスイッチを離します。

⚠ 警告：ウィンドウを閉める前に、すべての乗員、特にお子さまの身体の一部がウィンドウの外に出ていないことを確認してください。確認を怠ると、大けがにつながる可能性があります。

リアウィンドウをロックする

乗員がリアウィンドウのスイッチを使用するのを制限するには、リアウィンドウロック スイッチを押します。スイッチのランプが点灯します。リアウィンドウのロックを解除するには、もう一度スイッチを押します。



⚠ 警告：安全確保のため、後部座席にお子さまが乗っている場合は、リアウィンドウスイッチをロックすることをお勧めします。

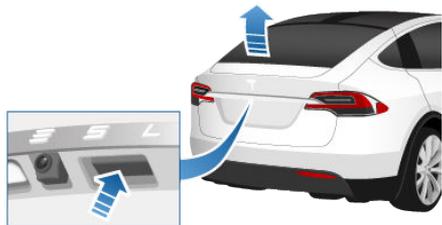
⚠ 警告：お子さまを付き添いなしで Model X 内に放置しないでください。

開ける

リアトランクを開くには、次のいずれかの操作を行います。

- タッチスクリーンで「コントロール」>「クイックコントロール」>「トランク」の順にタッチします。
- キーのリアトランクボタンをダブルクリックします。
- モバイルアプリにあるトランクボタンをタッチします。
- Model X をアンロックし、リアトランクの外部ハンドルの下側にあるスイッチを押します。

注：パッシブエントリーがオフの場合、スイッチを使用してリアトランクを手動で開けるには、キーで Model X のロックを解除する必要があります。**キーを使用する** - 9 ページを参照してください。



ドア、またはトランク/リフトゲートが開いているとき、計器パネルの「ドアが開いています」のインジケーターが表示されます。タッチスクリーンに表示される Model X の画像でトランクが開いた状態を示します。

動作中のリフトゲートを停止するには、キーのリアトランクボタンをシングルクリックします。さらに、リアトランクボタンをダブルクリックすると、動作が逆方向に再開されます（停止時にほぼ全開の状態または閉じた状態を除く）。例えば、リフトゲートを開けている途中でシングルクリックで動作を停止すると、次にダブルクリックした時点でリフトゲートが閉じます。

Model X の電源が全くない状態で Model X の内側からトランクを開ける方法については、**トランク内にある緊急トランクリリース** - 19 ページを参照してください。

Model X が天井が低いことを検知した場合（例：ガレージ内）、他に障害物が無くてもリアトランク（およびファルコンウィングドア）は低めに開きます。この高さは、手動でリアトランクのドアを上げることで変更できます。Model X は、タッチスクリーンで開けるドアの高さをこの位置で特定したいかどうか尋ね、その設定を保存します。次回この場所でファルコンウィングドアを開くと、Model X は保存した高さでドアを開きます。

警告：リアリフトゲートの開け閉めをする前に、リフトゲート周囲に障害物（人や物）がないことを確認してください。電動リフトゲートは障害物を検知することができますが、すべてを検出することはできません。リフトゲートを開閉するとき、障害物の確認するためにセンサーだけに頼らないでください。人や物と接触しないようリフトゲートの動きを常に監視してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

積載制限

Model X を移動させる前に積荷をすべて固定し、重い積荷はトランク部の下の方に置くようにしてください。

注意：損傷を防ぐために、リアカーゴエリア（下側トランクコンパートメントの上半分）に 80 kg (175 lbs) 以上の貨物、または下側トランクコンパートメントに 130 kg (285 lbs) 以上の貨物を積載しないでください。これを行うと、車に損傷を与える恐れがあります。

閉める

電動リフトゲートを閉めるには、次のいずれかを行います。

- キーのトランクボタンをダブルクリックする。
- タッチスクリーンで「コントロール」>「クイックコントロール」>「トランク」の順にタッチします。
- リフトゲートの下にあるスイッチを押します（**開いたときの高さを調整する** - 19 ページを参照）。

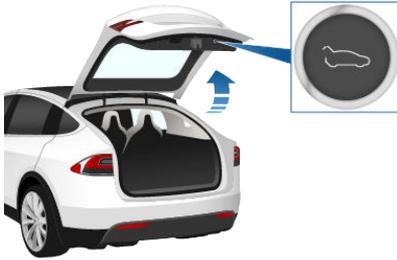
閉じるときに電動リフトゲートが障害物を感知した場合は、自動的に開きチャイム音が 5 回鳴ります。障害物を取り除き、もう一度閉じる操作を行ってください。それでも閉じない場合は、一時的に電動動作を無効にします。手動で閉めることにより、再び電動機能が動くようにします。

注：電動リフトゲートを 1 時間以上開けたままの状態にした場合にも、パークロース機能は一時的に無効になります。

開いたときの高さを調整する

リフトゲートを開いたときの高さを、お好みの高さ
に調整することができます。

1. リフトゲートを開いてから、手動で任意の高さに下げる、または上げてください。
2. リフトゲート下方のボタンを確認のチャイム音が聞こえるまで2秒間押し続けます。



3. リフトゲートを閉めてもう一度開き、開いたときの高さがお好みの高さであることを確認します。

貨物エリアへのアクセス

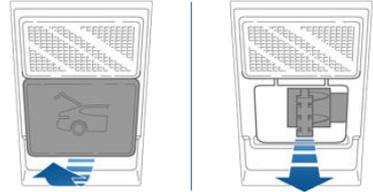
Model X リア トランクの貨物エリアにアクセスするには、カーゴカバー ハンドルの膨んだ部分を押して下げてから引き上げてください。カーゴカバーの位置を調整するかカーゴカバーを完全に取り外すことが可能になります。



- ⚠ 注意:** リア カーゴエリア (下側トランク コンパートメントの上部) に 80 kg (175 lbs) 以上の貨物、または下側トランク コンパートメントに 130 kg (285 lbs) 以上の貨物を積載しないでください。これを行うと、車に損傷を与える恐れがあります。

トランク内にある緊急トランク リリース

また、Model X の電力が失われた場合、リア トランク内側にある照明付き機械式リリースを使えば、閉じ込められても内側から開けることができます。中に人が閉じ込められた場合は機械式リリースで脱出することができます。



1. カバーの下側を手前に強く引き、カバーを外します。
2. ケーブルを引っ張り、ラッチを外します。
3. リア トランクを押して開きます。

注: このボタンは外光に短時間当たった後、数時間光ります。

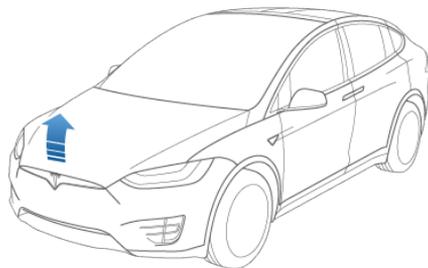
⚠ 警告: お子様をトランクの中で遊ばせたりしないでください。閉じ込められる恐れがあります。お子様にシートベルトを着用させないと、事故にあった際重度の怪我または死亡事故につながるおそれがあります。特に空調機能が作動していない場合、お子様が車両に閉じ込められると熱中症にかかるおそれがあります。



ドアを開く

フロントトランクを開ける方法:

1. フード周辺に障害物がないことを確認してください。
2. タッチスクリーンで「コントロール」>「クイックコントロール」>「フロントトランク」の順にタッチする、またはモバイルアプリのフロントトランク ボタンをタッチする、またはキーにあるフロントトランク ボタンをダブルクリックします。
3. ボンネットを引き上げます。



ドア、またはトランク/リフトゲートが開いているとき、計器パネルの「ドアが開いています」のインジケーターが表示されます。タッチスクリーンに表示される Model X の画像でフロントトランクが開いた状態を示します。

警告: ボンネットの開け閉めをする前に、ボンネット周辺に障害物 (人や物) がないことを確認してください。これを怠ると重大な怪我や事故につながる恐れがあります。

注: タッチスクリーンを使用したり、車外からキーあるいはモバイルアプリ/モバイルアプリを使って Model X をロックした場合、Model X からキーを持って離れる (降車後オートロック - 15 ページが有効となっていること)、またはバレーモードが有効になっているとき (バレーモード - 50 ページを参照) は、フロントトランクが閉じている間、常にロックされます。

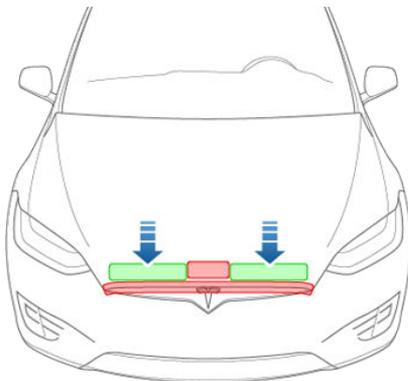
閉める

Model X ボンネットは自重でラッチがかかるほどの重量はありません。ボンネット フロント端部または中央を無理に押すと損傷することがあります。

ボンネットの正しい閉め方:

1. フードがラッチに触れるまでボンネットを下げます。

2. ここで示すように (緑色の箇所)、両手をフードのフロント部分に置き、しっかりと押し下げてラッチにはめ込みます。
3. 慎重にフードのフロント端部を持ち上げてしっかりと閉まっていることを確認します。



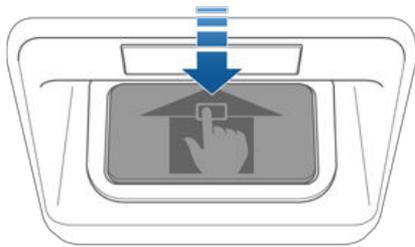
注意: 損傷を避けるために:

- ここで示す緑色の部分以外には力を加えないでください。赤色の領域に無理な力を加えると、損傷することがあります。
- ボンネットは片手で閉めないでください。片手で閉めると力が一個所に集中し、凹みや波打ちの原因となります。
- ボンネット前端には圧力をかけないでください。圧力をかけると、前端が曲がる恐れがあります。
- ボンネットを強く閉めたり、落としたりしないでください。

警告: 運転する前に、ボンネット前端をゆっくりと持ち上げてみて、フードが完全に閉じられた位置でラッチがかかり、動かないことを確認してください。

内部緊急解除

人がフロントトランクに閉じ込められても、トランク内でリリース ボタンのイルミネーションが点灯するため脱出することができます。





内部解除ボタンを押して、フロントトランクを開けて、ボンネットを押し上げます。

注: 周囲の光に少しでもあたると、インテリアリリースボタンが点灯します。

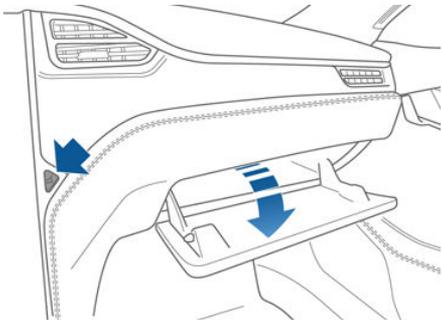
⚠ 警告: フロントトランクには入らないでください。フロントトランクに人を入れて閉めないでください。

⚠ 警告: フロントトランクに荷物を入れるときは、荷物がリリースボタンを押してトランクが開いてしまうことのないよう注意してください。



グローブボックス

グローブボックスを開けるには、タッチスクリーンの横にあるスイッチを押します。グローブボックスを5分間以上開けたままにしておくと、グローブボックスのライトが自動的に消灯します。

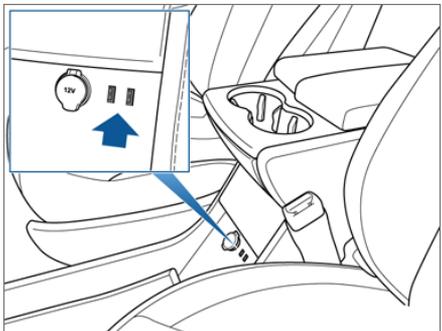


注: キーまたは降車後オートロック機能で Model X を外部からロックすると、グローブボックスもロックされます。Model X がパレーモードにある時もロックされます (パレーモード - 50 ページを参照)。Model X をタッチスクリーンでロックしたときは、グローブボックスはロックされません。

▲ 警告: 走行時はグローブボックスを閉じ、衝突発生時や急停車時に乗員が負傷しないようにしてください。

USB ポート

Model X にはセンター コンソールの前面に2つの USB ポートがあります。これらのポートに接続された USB ドライブに保存されているオーディオファイルを再生する方法については、[デバイスからメディアを再生](#) - 136 ページを参照してください。これらのポートを使用して USB 機器を充電することもできます。



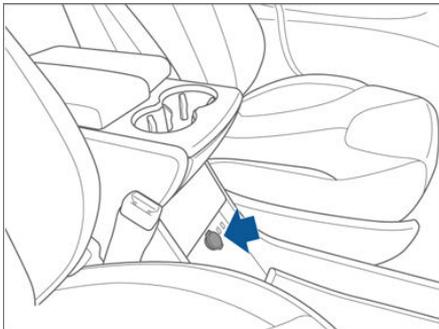
さらに、Model X にはセンターコンソールのリア側に充電専用の USB ポートが2つあり、さらにもう一つの充電専用接続が3列目シートの間にあります。

注: センターコンソール前方の2ポートとコンソールリア側の2箇所を同時に使って4台の機器を充電できます。

注: 電源は車両が起動状態だと認識されている時に利用できますが、車両は様々な理由により起動状態になります。例として、サモンなどの機能の使用時、またはスマートプレコンディショニング、車内の過熱保護、エアコン、ドックモード、などの機能がオンになっている時があります。12ボルトのバッテリーが充電されているか使用中の時、HV充電中、車両がモバイルアプリと通信中の時にも、車両が起動状になります。アクセサリプラグを差し込んだままにしても12ボルトバッテリーは放電しません。

12V 電源ソケット

Model X のセンター コンソールの前面に電源ソケットがあります。追加の12V電源ソケットはリアトランク内にあります。インストールメントパネルとタッチスクリーンがオンになっていれば、電源を利用できます。



12V 電源ソケットは、11A までの連続通電 (最大 15A) または最大 150 持続 W (最大 180 W) までのアクセサリが適合します。

注: 電源は車両が起動状態だと認識されている時に利用できますが、車両は様々な理由により起動状態になります。例として、サモンなどの機能の使用時、またはスマートプレコンディショニング、車内の過熱保護、エアコン、ドックモード、などの機能がオンになっている時があります。12ボルトのバッテリーが充電されているか使用中の時、HV充電中、車両がモバイルアプリと通信中の時にも、車両が起動状になります。アクセサリプラグを差し込んだままにしても12ボルトバッテリーは放電しません。



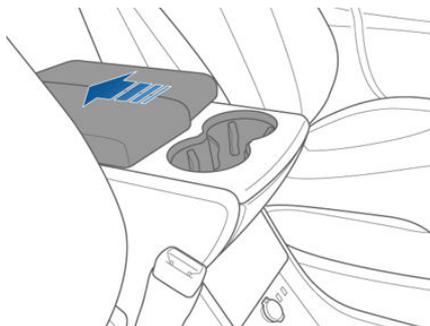
注: Model X が (バッテリー電圧低下、電波干渉などのために) キーを認識できない場合は、が最もキーを検出しやすいセンターコンソール内 Model X の 12 V 電源ソケットの真下にキーを置いてください。

⚠ 警告: 電源ソケットやアクセサリ端子は熱くなることがあります。

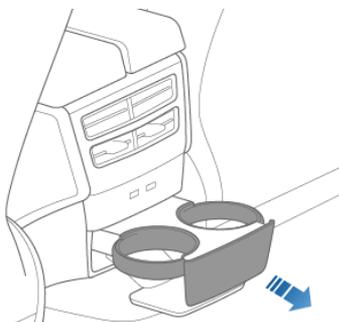


カップホルダー

フロントカップホルダーを出すにはアームレストを後ろにスライドします。

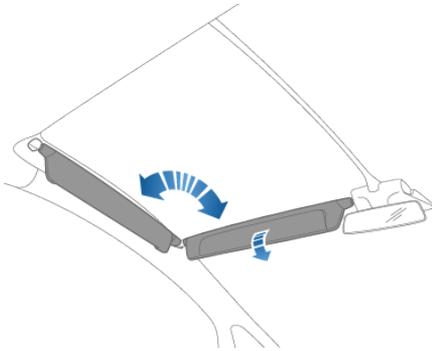


リアカップホルダーを出すには(車両に装備されている場合)、センターコンソール後部にあるカップホルダーのフェースプレートを押し離します。

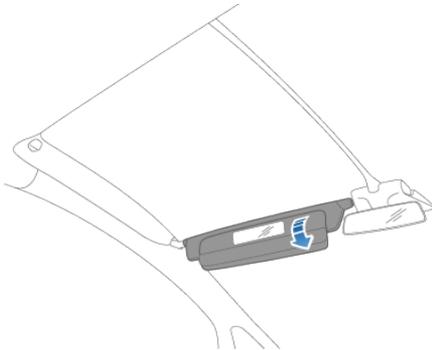




Model X のサンバイザーはマグネットで固定されています。フロントガラスから入り込む日差しを遮るには、ビラーからサンバイザーを外しマグネットで固定される位置までバックミラーに向けて回転させます。マグネットで所定の位置に固定されたら、サンバイザー下側のエクステンダーを張り出し日よけを最大にします。



パニティミラーを使用するには、バイザーエクステンダーを下げてミラーカバーを下げます。カバーを下げると、ミラーが現れライトが点灯します。



前席にいる人が横の窓から入り込む日差しを遮りたい場合は、ビラーからサンバイザーを下げてバイザーエクステンダーを下げます。



正しい運転位置

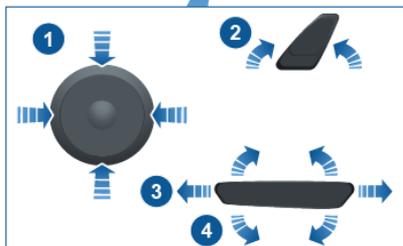
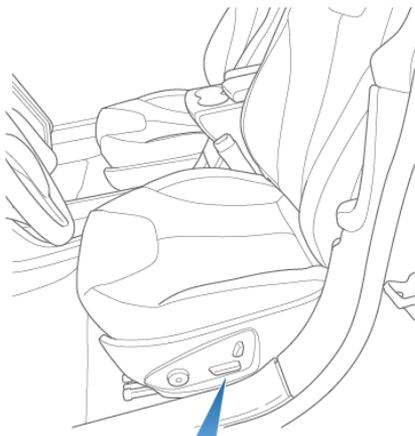
シート、ヘッド拘束装置、シートベルト、およびエアバッグは連動し、乗員の安全性を最大限確保するようになっています。これらの機能を正しく使用することで、保護性能を向上させることができます。



シート位置を正しく設定すると、フロントエアバッグからできるだけ離れた位置でシートベルトを正しく装着することができます。

1. 上体を起こし両足をフロアに着けた状態で着座し、シートのリクライニングが 30° を超えないようにします。
2. ペダルに足が十分に届き、ハンドルを握ったとき腕が少し曲がることを確認します。胸がエアバッグカバーの中央から 25 cm 以上離れるようにしてください。
3. シートベルトの肩ベルトが乗員の首と肩の間を通るようにします。シートベルトの腰ベルトが腹回りに通らず腰回りに密着するように装着します。

運転席シートの調整



1. ランバー サポートを調整します。

注: このボタンを使用してヘッドサポートを上下に動かすこともできます（ヘッドサポート/拘束装置 - 30 ページ参照）。このボタンをタッチすると、タッチスクリーンにシートのイメージ画像のあるポップアップが表示されます。画像のランバー部分が青色にハイライト表示されていない場合、画像のランバー部分をタッチしてランバー サポートを調整するよう指定します。選択した調整は再度調整するまでそのまま保持されます。

2. バックレストを調整する。
3. シートを前後に移動させる。
4. シートの高さとしきを調整する。

⚠ 警告: フロントシートを調整する前に、シートの周りに何も無いことを確認してください（人や荷物など）。

⚠ 警告: 運転中にシートの調整をしないでください。事故につながる恐れがあります。

⚠ 警告: 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は

必ず、シートのリクライニングを 30° 未満にしてください。

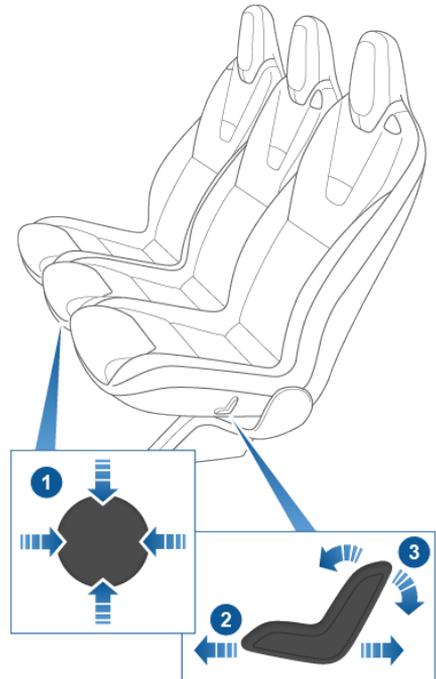
2 列目シートのモノポスト調整

購入時に選択されたオプションにより、モノポストシートが装備された Model X なら 2 列目に 2 人または 3 人の人が座ることができます。これらのシートの位置の調整には 2 つの方法があります。

- タッチスクリーンで、「コントロール」>「シート」の順にタッチします。調整したいシートに対応するアイコンを長押しします。白いアイコンはシートを動かせる方向を示し、グレーのアイコンはその方向にはそれ以上シートを動かさないことを示します。

注：リアシートを前方に動かせるように、フロントシートを少し前に移動することができます。

- 以下のイラストにあるように手動調整を使用します。シートを前後に移動させるだけでなく、手動のシート位置調整では背もたれの調整も可能です。外側シートのコントロールボタンは L 字型をしており、中央のシートのコントロールボタンは円形ですが、両方とも同じ機能を提供します。



1. シートを前後に動かし（コントロールを上下に操作）、背もたれの位置を調整（コントロールを左右に操作）します。
2. シートを前後に移動させる。



3. バックレストを調整する。

注:バックレストは、レバーを離したときの位置にロックされます。走行用ギアにシフトしたときにバックレストがロックされていないと、インストールメントパネルが警報を表示します。バックレストを調整し直して、ロックされていることを確認します。

警告: 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は必ず、人が座っているシートのリクライニングを 30° 未満にしてください。

2 列目シートバックの調整 (ベンチシート)

Model X が 2 列の座席仕様の場合、2 列目のベンチシートは最大 3 名を乗せることができます。各シート外側にある機械式調整レバーを使用して、シートバックを調整します。ベンチシートは 6 対 4 に分かれています。左側にある調整レバーは左側と中央のシートのシートバックを動かします。右側のレバーは右側のシートバックのみを動かします。レバーを引き上げている間に背もたれを任意の位置に動かしたらレバーを離します。シートを直立の状態に戻した時は、シートを前方または後方に動かしてラッチがかかっていることを確認します。



警告: 走行中にリクライニングしたシートに座っていると、衝突時に乗員が腰ベルトの下に潜り込んだりシートベルトに巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。車両走行時は必ず、人が座っているシートのリクライニングを 30° 未満にしてください。



2列目シートバックを折りたたむ（ベンチシート）

2列目シートのベンチシートのシートバックを前方に完全に折りたたんでフラットにすれば積載スペースを最大にすることができます。各シート外側にある機械式調整レバー（シートをリクライニングする時と同じ上記のレバー）を引き上げ、シートを前方に引き出します。ベンチシートは6対4に分かれています。左側にある調整レバーは左側と中央のシートバックをたたみます。右側のレバーは右側のシートバックのみをたたみます。

注：シートを完全に折りたたむ前に、シートやリアシートの足元スペースから物を取り除いてください。シートバックを前に折りたたんでフラットにするには、フロントシートの方前への移動が必要になる場合があります。

2列目ベンチシートを動かす

注：7シーター仕様車に使用されるベンチシートのみ前後に動かすことができます。5シーター仕様車のベンチシートは動かすことはできません。

各シート外側にある機械式調整レバーを使用して2列目シートを前後に動かします。ベンチシートは6対4に分かれています。左側にある調整レバーは左側と中央のシートのシートバックを動かします。右側のレバーは右側のシートバックのみを動かします。レバーを引き上げたまま、シートを前後させます。シートが任意の位置に来たらレバーを離します。



注：ベンチシートの位置は機械式レバーのみで調整することができます。タッチスクリーンでベンチシートを調整することはできません。

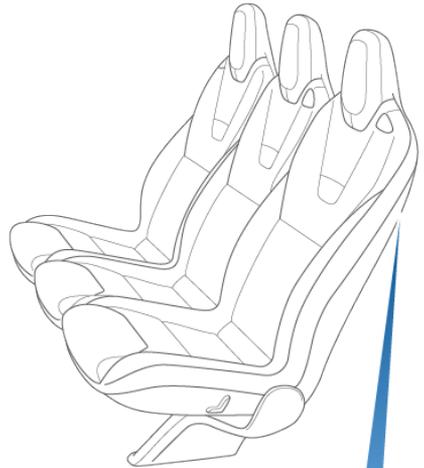
3列目シートへのアクセス（装備されている場合）

2列目シートにモノポストシートが装備されている場合の3列目シートへのアクセス：

イージーエントリー ボタンは、2列目外側モノポストシートのシートバックに取り付けられています。このボタンで、3列目シートの乗り降りがしやすくなっています。「コントロール」>「シート」>「イージーエントリー」をタッチして、このボタンの機能を選択することができます。

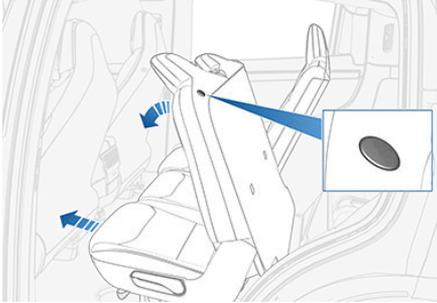
- **ON** - イージーエントリー ボタンを一回押し、外側シートを完全に前傾、中央シートは部分的に前傾させます。
- **OFF** - オフになっていると（チャイルドシートを2列目に取り付けている場合は無効にしておくことが推奨されます）、シートを動かすときにイージーエントリー ボタンを押し続ける必要があります。

3列目シートに乗り降りするためにイージーアクセスを使用した後は、イージーエントリー ボタンをもう一度押して通常位置に戻します。



2列目シートにベンチシートが装備されている場合の3列目シートへのアクセス：

イーゼントリー ボタンは、2 列目外側ベンチシートのシートバックに取り付けられています。このボタンで、3 列目シートの乗り降りがしやすくなっています。左外側シートのイーゼントリーボタンを押して離すと、左側シートと中央のシートが前方に傾き移動します。右外側シートのイーゼントリーボタンを押して離すと、右側シートが前方に傾き移動します。イーゼントリーを使用して3 列目シートにアクセスした後、ベンチシートを元の位置に戻したら、シートを前後にゆすってラッチがしっかりかかっていることを確認します。



傾斜地に駐車したときや、シートトリムがベンチシートの動きに影響を与えるときなど、イーゼントリーボタンを押してもベンチシートが完全に前に動かないことがあります。その場合は、トラックの端に達するまでゆっくりとシートを押してください。

イーゼントリーの使用に関するガイドライン

- イーゼントリーが作動すると、2 列目シートがぶつかる位置にフロントシートがある場合、2 列目シートを前方に移動させるのに十分なだけフロントシートが自動的に移動します。
- 2 列目シートが前方へ移動中に調整しようとするとその動きが止まります。
- 外側シートがイーゼントリーのために傾けられたとき、そのバックレストは中立位置にリセットされますので、再調整が必要になります。

⚠ 警告：イーゼントリーは、2 列目シートが空席でない場合には使用しないでください。イーゼントリーを使用する際は、空席の確認を Model X だけに頼らないようにください。

3 列目シートのシートバックを折りたたむ (装備されている場合)

3 列目シートを折りたたむには、シートの外側上部のかごにあるボタンを押します。ボタンには 2 つの戻り止めがついています。



1. ヘッド拘束装置を前にたたみます。
2. シートバックを前方にたたみます。

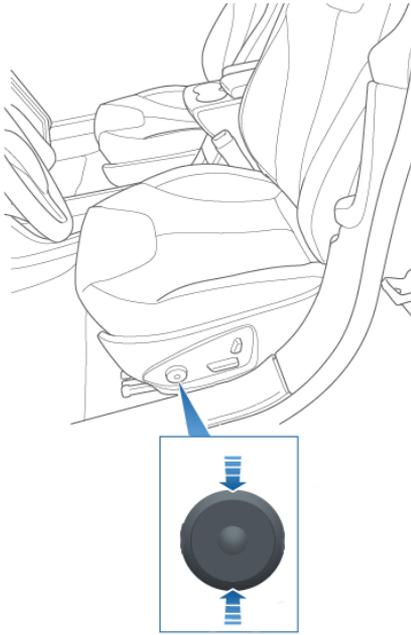
注：3 列目シートを折りたたむ前に、シートや足元スペースから物を取り除いてください。シートバックをフラットにするには、2 列目シートを前方へ移動させる必要がある場合があります。

注：シートの位置を高くするには、シートの外側上部にあるボタンを押したまま、シートが固定される位置までシートを後ろ上方へ引きます。シートバックを前側に引っ張り、直立位置でロックされていることを確認します。

⚠ 警告：シートバックが必ず、直立位置でロックされているようにしてください。これを怠ると事故の危険が増します。

ヘッドサポート/拘束装置

シートにある丸ボタンを押すとヘッドサポートを上下に動かすことができます。シートのランバーサポートの調節にも同じボタンが使用されています (運転席シートの調整 - 26 ページ参照)。このため、このボタンをタッチすると、タッチスクリーンにシートの画像がポップアップで表示されます。画像に示されるヘッドサポートが青色にハイライト表示されていない場合、画像のこの部分をタッチしてこのヘッドサポートの調整を指定します。行った選択は、次回調整するまで保持されます。ヘッドサポート設定をドライバーのプロフィールに保存することができます (ドライバープロフィール - 49 ページ参照)。



2 列目シートおよび 3 列目シートには調節機能のないヘッドサポートが装備されており、これは取り外しできません。しかし、3 列目シートのヘッドサポートは折り畳むことができます（3 列目シートのシートバックを折りたたむ（装備されている場合）- 30 ページ参照）。

シートヒーター

フロントシートは、3（強）から 1（弱）の 3 つのレベルで動作するヒーターパッドを備えています。シートヒーターの操作方法については、[温度調整 - 125 ページ](#)を参照してください。

Model X にオプションで寒冷地パッケージが装備されている場合、後部座席すべてでタッチスクリーンの空調をタッチして、シートヒーター、加熱式ワイパーおよびウォッシャーノズルを操作することができます（[温度調整 - 125 ページ](#)参照）。

⚠ 警告：長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。

シートカバー

⚠ 警告：Model X にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。



シートベルトの着用

シートベルトとチャイルドシートは、衝突の発生時に乗員を保護する最も効果的な手段です。したがって、シートベルトの着用はほとんどの地域で義務づけられています。

運転席と助手席の両方に、3点慣性リールシートベルトが装備されています。慣性リールベルトは、通常の運転状況で乗員が快適に移動できるよう自動的に張力がかかるようになっています。チャイルドシートを安全に固定するために、一般的な成人の乗員に必要な長さを超えてシートベルトを引っ張るとアンバックルされるまでベルトを所定の位置に固定する自動ロック式リトラクター（ALR）がすべてのシートに装備されています。

シートベルトリールは、Model X が急加速、ブレーキング、コーナリング、または衝突の衝撃に伴う力を受けると、乗員の身体移動を防止するために自動的にロックされます。

シートベルトリマインダー



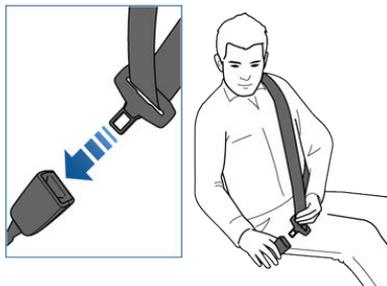
インストゥルメントパネル上のシートベルトリマインダーは、運転席または助手席に座る人のシートベルトが外された場合に警告を出します。シートベルトが外されたままの状態であると、リマインダーが点滅し断続的なチャイム音を鳴らします。すべての乗員がシートベルトを外したにもかかわらずリマインダーがオンのままの場合は、シートベルトが正しく着用されていることを確認するために再度着用し直します。また乗員がいない座席から重い物（書類かばんなど）を移動してください。リマインダーランプが引き続き点灯している場合は、Tesla にご連絡ください。

警告：シートベルトはすべてのシート位置の乗客が着用する必要があります。

シートベルトを着用するには

1. 座席の正しい位置を確認します（正しい運転位置 - 26 ページを参照）。
2. ベルトをスムーズに引き出して、ベルトが骨盤、胸、鎖骨の中間点の上、首と肩の間に平らに位置するようにします。

3. ラッチプレートをバックルの中にカチッという音がするまで差込みます。

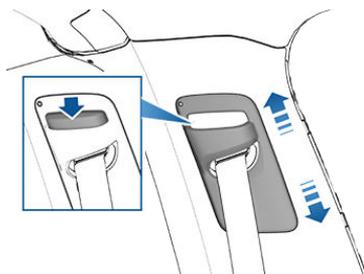


4. 安全に固定されたことを確認するため、ベルトを引きます。
5. ベルトの対角線部分をリールに向かって引き、余分な緩みを取り除きます。

ショルダーアンカーの高さを調整するには

Model X には各フロントシートに調節可能ショルダーアンカーが装備されており、シートベルトを正しい位置で装着できます。シートベルトは、運転時の正しい位置（正しい運転位置 - 26 ページ参照）にあるとき、鎖骨の中間点を横切って平らになるはずですが、シートベルトが正しい位置になっていない場合は、ショルダーアンカーの高さを調整します。

1. ショルダーアンカーのボタンを押さえたままロック機構を解除します。
2. ボタンを押さえたまま、必要に応じてショルダーアンカーを上下に動かして、シートベルトが正しい位置に調整します。



3. ショルダーアンカーのボタンを離して所定位置にロックします。
4. ボタンを押さずに、シートベルトウェビングを引っ張り、ショルダーアンカーを下に動かして、所定位置にロックされていることを確認します。

- ⚠ 警告：**運転前にシートベルトが正しい位置にあり、ショルダー アンカーが所定位置にロックされていることを確認します。シートベルトが正しい位置にないか、ショルダー アンカーが所定位置にロックされていない状態で動いている車両に乗っていると、衝突時のシートベルトの効果が低くなる可能性があります。

シートベルトを着用するには

シートベルトが速く巻き込まれすぎないようにするために、バックル近くのベルトを持ち、バックルのボタンを押します。そうすることで、ベルトが自動的に巻き込まれます。ベルトが完全に巻き込む際に邪魔になるような障害物がないことを確認し、ベルトが完全に巻き込まれるようにします。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、Teslaにご連絡ください。

妊娠中の女性がシートベルトを着用するとき

腰ベルトは、腹部のふくらみを避け腰骨のもっとも低い位置になるように調整します。肩ベルトは胸の中央を通るようにします。詳しくは医師の指示に従ってください。

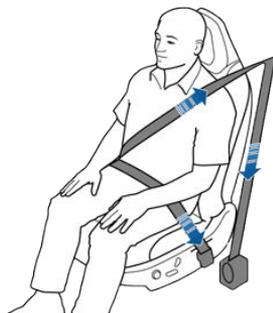


- ⚠ 警告：**衝突事故が発生した場合の衝撃を和らげようとして、人とシートベルトの間に絶対に物を入れないでください。

シートベルトプリテンショナー

前席シートベルトには、前方向からの激しい衝突の際にエアバッグと連動して作動するプリテンショナーが装備されています。プリテンショナーはシートベルトアンカーとシートベルトウェビングを巻き込み、腰ベルトと肩ベルトの緩みを減らし、乗員の前方への移動を減少させます。

リア外側シートには人が前に飛び出すことを抑えるため、シートベルト ウェビングを巻き取るためのショルダー プリテンショナーが装備されています。



プリテンショナーとエアバッグが衝突時に作動しなかった場合、故障ではなくこれらの作動条件を満たすほどの強い衝撃が存在しなかったこと意味します。

- ⚠ 警告：**シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。一度作動したら、交換する必要があります。衝突事故の後、エアバッグ、シートベルトプリテンショナー、すべての関連コンポーネントなど異常がないか確認し、必要に応じて交換してください。

シートベルトのテスト

シートベルトが正しく作動することを確認するため、各シートベルトで3つの簡単な点検を行ってください。

1. シートベルトを着用している状態で、バックルに最も近いウェビングを素早く引きます。バックルはしっかりとロックされたままでなければなりません。
2. ベルトを外した状態で、ウェビングを限界まで引き出します。引き出し操作がスムーズに行えることを確認し、ウェビングに摩擦がないか確認します。ウェビングを引き込ませて、引き込みがスムーズで完全であることを確認します。
3. ウェビングを半分引き出した状態で、タンブプレートを持ち、前方に素早く引きます。シートベルトが自動的にロックし、それ以上引き出せなくなったことを確認します。

シートベルトがこれらのテストのいずれかに合格しない場合、Tesla にただちにご連絡ください。

シートベルトのクリーニングについての詳細は、[シートベルト - 167 ページ](#)を参照してください。

シートベルトに関する警告

- ⚠ 警告：**シートベルトは、短距離の運転であっても、すべての乗員が必ず着用しなければなりません。



シートベルト

せん。誤って取り付けられている場合、衝突事故が発生した場合にけがや死亡事故につながる恐れがあります。

- ⚠ 警告：**小さなお子様は適切なチャイルドシートに安全に座らせてください（[チャイルドシート](#) - 35 ページを参照）。取り付ける際は、必ずチャイルドシート製造元の取扱説明書の指示に従ってください。
- ⚠ 警告：**すべてのシートベルトが正しく着用されていることを確認してください。シートベルトを正しく着用しないと、衝突事故が発生した場合に負傷や死亡事故につながる危険性が増大します。
- ⚠ 警告：**ペン、鍵、眼鏡など硬くて先端が尖った物、壊れやすい物を入れた衣服の上からシートベルトを着用しないでください。
- ⚠ 警告：**ストラップがねじれた状態でシートベルトを着用するのは避けてください。
- ⚠ 警告：**シートベルトは乗員 1 人につき 1 本使用します。お子さまを膝の上に乘せたまま、シートベルトを着用するのは危険です。
- ⚠ 警告：**衝突事故で着用されたシートベルトは、目視で損傷が確認できない場合でも、必ず Tesla が点検または交換をしなければなりません。
- ⚠ 警告：**シートベルトに摩耗の兆候（擦り切れなど）がある、もしくは何らかの切り込みまたは損傷がある場合は、必ず Tesla に交換を依頼してください。
- ⚠ 警告：**シートベルトを化学物質、液体、埃、ゴミ、または洗浄液等で汚さないようにしてください。シートベルトが巻き込まない、またはバックルで固定できない場合は、ただちに交換する必要があります。Tesla にご連絡ください。
- ⚠ 警告：**シートベルトの緩みを除去することを妨げる、またはシートベルトが緩みを調整することを妨げるような部品の追加や改造はしないでください。ベルトが緩むと、乗員保護の効果が大幅に減少します。
- ⚠ 警告：**シートベルトの操作を妨げる、または操作に影響を与えるような改造はしないでください。
- ⚠ 警告：**シートベルトは、未使用時に完全に巻き込まれ、緩みのない状態である必要があります。シートベルトが完全に巻き込まれない場合は、Tesla にご連絡ください。

お子さまを乗せるときのガイドライン

乳幼児等の子供は年令、体重、身長に合ったチャイルドシートで身体を固定する必要があります。助手席ヘッドエアバッグが ON になっているときは、お子さまを乳幼児用または小児用チャイルドシートで助手席に乗車させないでください。助手席フロントエアバッグが作動しないようにする方法については、「[エアバッグ - 45 ページ](#)」を参照。

▲ 警告：「作動可能状態のエアバッグ」が前にあるシートでチャイルドシートを使用するのは絶対に避けてください。お子さまが重傷を負ったり死亡事故につながる危険性があります。

注：2 列目モノポストシートが装備されている Model X で 2 列目シートにチャイルドシートを取り付けている場合は、常に**イージーエントリー**を無効にすることが推奨されます ([3 列目シートへのアクセス \(装備されている場合\)](#) - 29 ページを参照)。

サンバイザーに貼付されているラベルを参照してください。

注：以下に示す画像は見本であり、実際の車両のラベルとは異なる場合があります。





チャイルドシートを選ぶ

シートベルト保持式のチャイルドシートおよび ISOFIX チャイルドシートの種類はお子さまの体重に合わせて選ぶ必要があります。以下の表をガイドラインとして参照してください。

シートベルト保持式チャイルドシート

モノポストシート:

質量グループ		助手席*	2 列目	3 列目
グループ 0	10 kg 以下	X	U	U
グループ 0 +	13 kg 以下	L**	U	U
グループ I	9~18 kg	UF**	U、UF	U、UF
グループ II	15~25 kg	UF**	U、UF	U、UF
グループ III	22~36 kg	UF**	U、UF	U、UF

U: この質量グループで使用が承認されている汎用チャイルドシートに推奨されます。
 UF: この質量グループで使用が承認されている汎用前向きチャイルドシートに推奨されます。
 L: 推奨するチャイルドシート - Maxi-Cosi Cabrio/Cabriofix E4 04443517 または Takata Mini E4 04443717
 X: シート位置がこの質量グループのお子さまには不適切です。
 * Model X を運転する地域における現行の規則に従うことは運転者の責任です。地域によっては乳児や子供を助手席に乗せてることを禁止しています。
 ** シートは最後部かつ最も高い位置に配置しなければなりません。

ベンチシート:

質量グループ		助手席*	2 列目外側 (60%)	2 列目中央	2 列目外側 (40%)	3 列目
グループ 0	10 kg 以下	X	U	U	U	U
グループ 0 +	13 kg 以下	L**	U	U	U	U
グループ I	9~18 kg	UF**	U、UF	U、UF	U、UF	U、UF
グループ II	15~25 kg	UF**	U、UF	U、UF	U、UF	U、UF
グループ III	22~36 kg	UF**	U、UF	U、UF	U、UF	U、UF

U: この質量グループで使用が承認されている汎用チャイルドシートに推奨されます。
 UF: この質量グループで使用が承認されている汎用前向きチャイルドシートに推奨されます。
 L: 推奨するチャイルドシート - Maxi-Cosi Cabrio/Cabriofix E4 04443517 または Takata Mini E4 04443717
 X: シート位置がこの質量グループのお子さまには不適切です。
 * Model X を運転する地域における現行の規則に従うことは運転者の責任です。地域によっては乳児や子供を助手席に乗せてることを禁止しています。
 ** シートは最も後ろに引いて、背もたれを直立位置にする必要があります (最後部位置と直立位置のみ)。



ISOFIX® チャイルドシート

モノポストシート:

質量グループ		サイズ等級	固定具	助手席*	2列目外側シート	2列目中央シート	3列目
グループ0	10 kg 以下	E	R1	X	IL	X	IL**
グループ0 +	13 kg 以下	E	R1	X	IL	X	IL**
		D	R2	X	IL	X	IL**
		C	R3	X	X	X	IL**
グループ1	9~18 kg	D	R2	X	IL	X	IL**
		C	R3	X	X	X	IL**
		B	F2	X	IUF	X	IUF
		B1	F2X	X	IUF	X	IUF
		A	F3	X	IUF	X	IUF

IUF: この質量グループで使用が認可されている汎用 ISOFIX 前向きチャイルドシートに適しています。

IL: 特定の汎用 ISOFIX チャイルドシートに適しています（〔特定車両〕、「制限」、または「準汎用」カテゴリーのチャイルドシートシステム）。

X: シート位置は、この質量グループ/サイズクラスにある ISOFIX チャイルドシートシステムに対応していません。

* Model X を運転する地域における現行の規則に従うことは運転者の責任です。地域によっては乳児や子供を助手席に乗せてることを禁止しています。

** 汎用チャイルドシートが後列（右または左側）に取り付けられている場合、2列目中央とチャイルドシートシステムの前方にある外側シートを使用することはできません。これは、汎用チャイルドシートシステムに対応するためにシートを完全に前方に動かす必要があるためです。

ベンチシート:

質量グループ		サイズ等級	固定具	助手席*	2列目外側シート	2列目中央シート	3列目
グループ0	10 kg 以下	E	R1	X	IL	X	IL**
グループ0 +	13 kg 以下	E	R1	X	IL	X	IL**
		D	R2	X	IL	X	IL**
		C	R3	X	IL	X	IL**
グループ1	9~18 kg	D	R2	X	IL	X	IL**
		C	R3	X	IL	X	IL**
		B	F2	X	IUF	X	IUF
		B1	F2X	X	IUF	X	IUF
		A	F3	X	IUF	X	IUF

IUF: この質量グループで使用が認可されている汎用 ISOFIX 前向きチャイルドシートに適しています。

IL: 特定の汎用 ISOFIX チャイルドシートに適しています（〔特定車両〕、「制限」、または「準汎用」カテゴリのチャイルドシートシステム）。

X: シート位置は、この質量グループ/サイズクラスにある ISOFIX チャイルドシートシステムに対応していません。

* Model X を運転する地域における現行の規則に従うことは運転者の責任です。地域によっては乳児や子供を助手席に乗せてることを禁止しています。

** 汎用チャイルドシートが後列（右または左側）に取り付けられている場合、2列目中央とチャイルドシートシステムの前方にある外側シートを使用することはできません。これは、汎用チャイルドシートシステムに対応するためにシートを完全に前方に動かす必要があるためです。

注: ISOFIX は、乗用車内にチャイルドシートを取り付ける方法の国際標準規格です。

▲ 警告: お子さまの体重とチャイルドシートの重量を合わせて 33 kg を超えるような状況で、ISOFIX/i-Size のアンカーをチャイルドシートやシートベルト内蔵の補助椅子に使用しないでください。

より大きなお子さまを乗せるとき

お子さまの体格が大きくてチャイルドシート内に収まらない、しかし標準的なシートベルトで固定するには小さすぎるという場合は、年齢・体格に合った補助シートを使用してください。ブースターシートを固定する際は必ず、メーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

チャイルドシートを取り付ける

チャイルドシートを取り付ける一般的な方法は次の2通りがあります。

- シートベルトで取り付ける - 車両に備え付けのシートベルトでチャイルドシートを固定します(シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける - 39 ページを参照)。
- ISOFIX で取り付ける - 後部座席に組み込まれたアンカーバーにチャイルドシートを取り付けることができます (ISOFIX 対応チャイルドシートを取り付ける - 39 ページを参照)。

チャイルドシートメーカーの取扱説明書およびチャイルドシート - 35 ページの表を参照して、取り付け方法を確認してください。チャイルドシートによってはどちらの方法でも取り付けられます。取り付けに際しては必ずチャイルドシートメーカーの取扱説明書の指示に従ってください。

シートベルト保持式チャイルドシートを取り付ける

まず、チャイルドシートがお子さまの体重、身長、年齢に適していることを確認します。

お子さまに厚い生地の服を着せるのは避けて、お子さまとチャイルドシートの間には何も置かないでください。

お子さまに合わせて毎回ハーネスを調整します。

チャイルドシートを固定するために、すべての座席の着座位置に ALR (自動ロック式巻き取り装置) が取り付けられています。シートベルトを必要以上の長さに引っ張ると、ALR が作動してベルトがロックされます。バックルが外されウェビングが巻き込まれないかぎりベルトはロックされたままです。ALR 機構はラチェットの働きをします。シートベルトの緩みを取り、ベルトが完全に巻き戻されるまでベルトがそれ以上延びるのを防ぎます。チャイルドシートを取り付ける際は、ウェビングが完全に伸びきるまでシートベルトを引っ張って ALR を作動させてください。ALR システムは、シートベルトが伸びきった状態の際に作動します。

注: シートベルトのバックルが外されベルトが完全に巻き込まれると、ALR のエンゲージが外れます。これでベルトは通常のシートベルトとして使えるようになり、内外に自由にスライドして緊急時のみロックします。チャイルドシートを取り付ける際は、

ALR のエンゲージが外れた状態でシートベルトを限界まで伸ばして ALR をエンゲージします。

チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの指示に従ってください。以下に一般的なガイドラインを示します。

1. チャイルドシートを Model X の中に置き、シートベルトを限界まで伸ばします。チャイルドシートの製造元の指示に従ってシートベルトを通し、バックルで固定します。



2. シートベルトを巻き込み、チャイルドシートを Model X の座席にしっかりと押し込みながらシートベルトの緩みを完全に取り除きます。
3. シートベルト保持式のチャイルドシートにトップテザーが付いている場合は、トップテザーをチャイルドシートの背部に取り付けます (テザーストラップ上部を取り付ける - 42 ページを参照)。

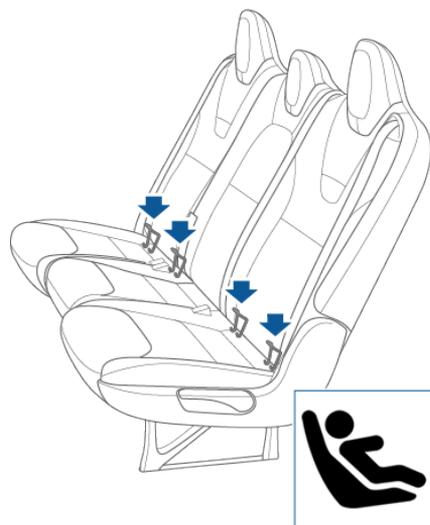
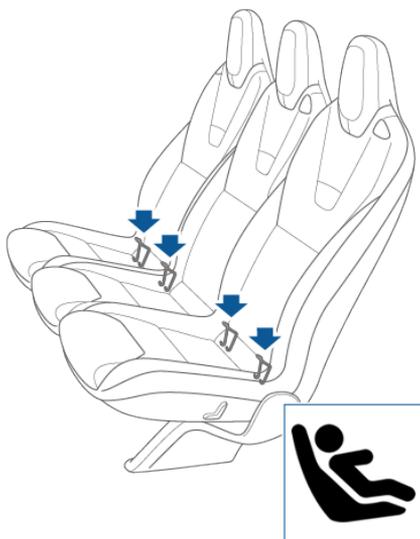
ISOFIX 対応チャイルドシートを取り付ける

ISOFIX 対応チャイルドシートを取り付けるためのロアアンカーには用意されており、座席の背もたれとクッションの間にあります。各アンカーの正確な位置は、下図に示すようにチャイルドシート識別ボタンによって識別されます。このボタンは座席の背面にあり、対応アンカーの真上に位置しています。

モノポストシート:



ベンチシート:



2列目の外側の位置にのみ ISOFIX チャイルドシートを設置します。シート中央にはシートベルト保持式のシートだけを使用します。

注: Model X の 2 列目が 2 座の場合、いずれのシートも ISOFIX チャイルドシートに対応しています。

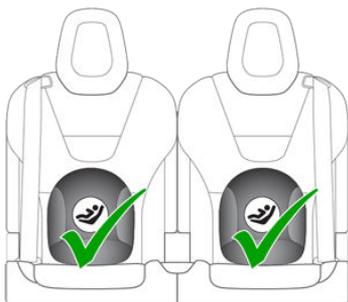
モノポストシート:



ベンチシート:

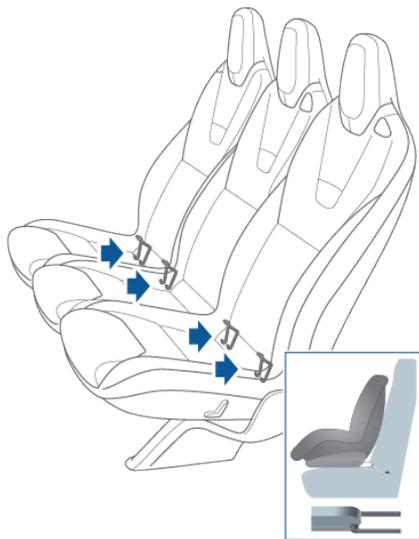


3列目が装備されている場合、3列目には ISOFIX チャイルドシートをどちらのシート位置にも取り付けることができます。

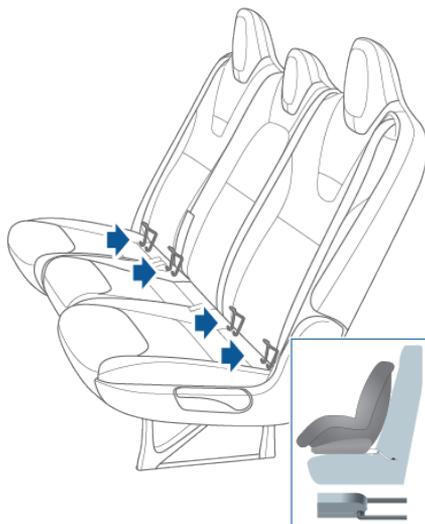


ISOFIX チャイルドシートを取り付けるには、チャイルドシートラッチをカチッと音がするまでアンカーバー上へスライドさせます。チャイルドシートを取り付ける際は、必ずチャイルドシートメーカーの指示に従ってください。

モノポストシート:



ベンチシート:



お子さまを座らせる前に、チャイルドシートが確実に取り付けられていることを確認します。チャイルドシートを左右にねじったり、座席から引き離そうと力を加えてもアンカーが動かないことを確認してください。



注：お子さまの体重とチャイルドシートの重量を合わせて 33 kg 以上となるチャイルドシートやシートベルト一体型の補助椅子には、下部の ISOFIX アンカーは使用しないでください。この場合は代わりに安全ベルトを使用してください。

テザーストラップ上部を取り付ける

トップテザーストラップがある場合、そのフックを 2 列目および 3 列目のシートの後ろにあるアンカーの位置に取り付けてください。

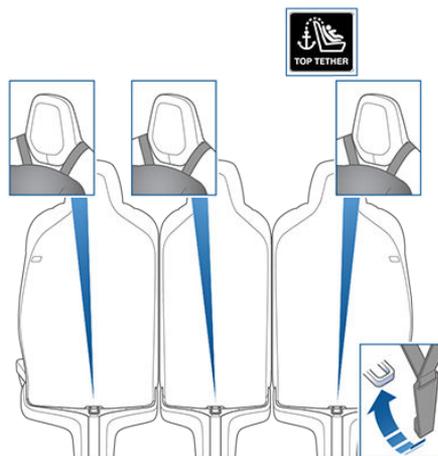
注：アンカーの位置はすぐに目の付くところにありませんので、シート布地の切れ目を探してください。

警告：チャイルドシートの製造元の説明書に従い、テザーストラップ上部を締め付けてください。

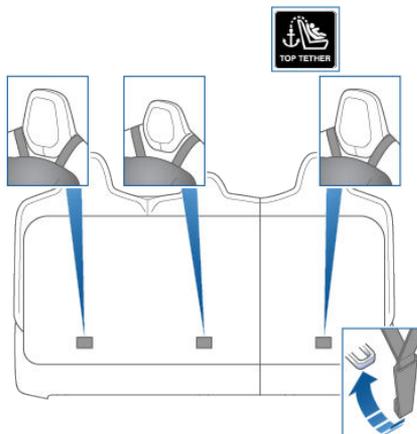
警告：シートベルト保持式シートは必ず中央席に取り付けてください。

デュアルストラップテザーでは、ヘッド拘束装置の両脇にストラップを通します。

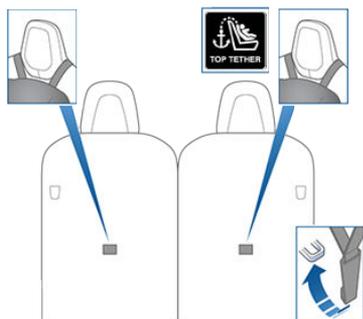
デュアルトラップ・2 列目モノポストシート：



デュアルトラップ・2 列目ベンチシート：

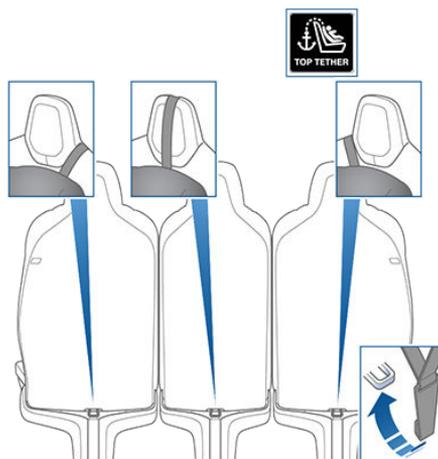


デュアルストラップ・3 列目シート

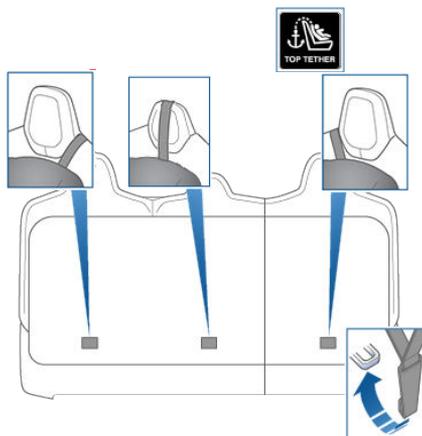


シングルストラップテザーの場合、ストラップをヘッドレストの外側に面する側（シートベルト引込機構と同じヘッドレストの側面）から着座位置の外側に配置します。中央の着座位置で（装着されている場合）、ストラップはヘッドレスト上部の上から中央に置きます。

シングルストラップ - 2列目モノポストシート:

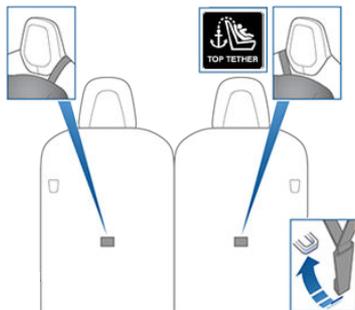


シングルストラップ - 2列目ベンチシート:





シングルストラップ・3列目シート



注：Model X に 6 シート インテリアがオプションで搭載されている場合、2 列目の中央シート位置は利用できません。

チャイルドシートをテストする

チャイルドシートにお子さまを座らせる前に、チャイルドシートの取り付けに緩みがないことを必ず確認してください。

1. ベルトごとチャイルドシートをつかみ、前後左右にスライドさせてください。
2. シートが 2.5 cm 以上動く場合は、取り付けが不十分です。ベルトの長さを調節するか、あるいは ISOFIX チャイルドシートの場合は取り付けをやり直します。
3. 緩みが残る場合は、取り付け位置を変えるか、または別のチャイルドシートに替えてください。

チャイルドシート警告

- 警告**：助手席ヘッドエアバッグが ON になっているときは、お子さまを乳幼児用または小児用チャイルドシートで助手席に乗車させないでください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。
- 警告**：作動可能状態のエアバッグで保護されている座席上で後ろ向きチャイルドシートを使用するのは絶対に避けてください。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。サンバイザーにある警告ラベルをお読みください。
- 警告**：チャイルドシートシステムは、膝ベルト、あるいは 3 点式シートベルトの腰部分で車両のシートに固定するように作られています。チャイルドシートが適切に車両に固定されていないと、衝突時にお子さまが危険になります。

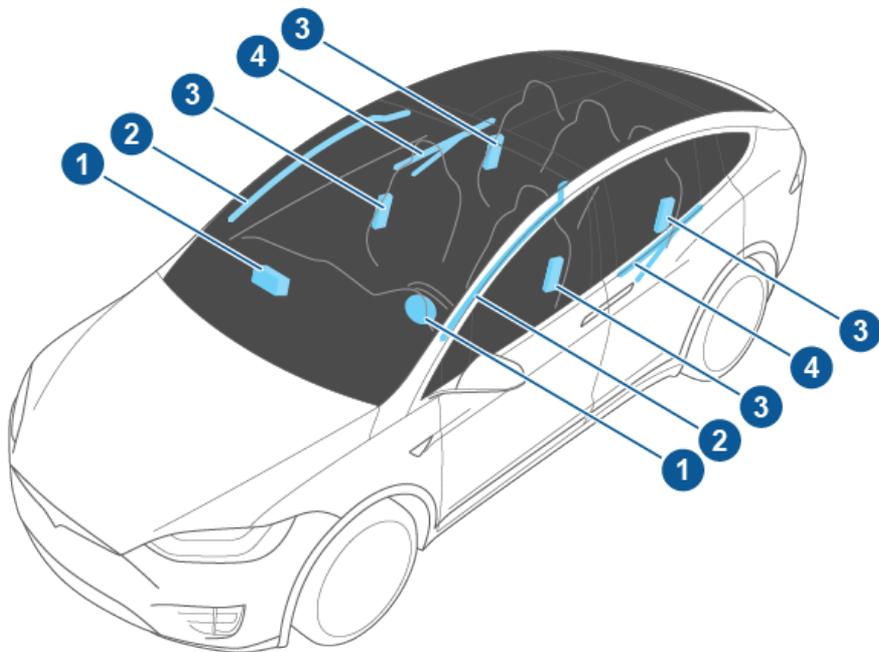
- 警告**：衝突事故に関する統計によると、前席よりも後席で正しくシートベルトをしている方がより安全です。
- 警告**：お子さまが体重 9 kg 以下で自分一人では座れない場合は、前向きチャイルドシートの使用は避けてください。2 歳以下のお子さまは背骨と首の発達が十分でなく、正面からの衝撃による負傷を避けることができません。
- 警告**：小さいお子さまを膝上にのせるのは避けてください。常にお子さまに合ったチャイルドシートで保護する必要があります。
- 警告**：お子さまの安全な着座を確実にするため、本書およびチャイルドシートの取扱説明書に記載されている全ての指示に従ってください。
- 警告**：お子さまはできるだけ長い間、5 点式統合ハーネス使用の後ろ向きチャイルドシートに着座させる必要があります。
- 警告**：チャイルドシートまたは補助シートの取り付けに使用されているシートベルトに対して、シートベルトエクステンダーは使用しないでください。
- 警告**：より大きいお子さまを着座させる場合は、頭部が支持され、シートベルトが適切に調整され、しっかり着られていることを確認してください。肩ベルトは顔および首から離れている必要があります。また、腰ベルトが腹部にかからないようにする必要があります。
- 警告**：2 つのチャイルドシートを 1 つのアンカーポイントに取り付けることは絶対に避けてください。万一衝突事故が発生した場合、1 つのアンカーポイントでは 2 つのシートを支えきれない可能性があります。
- 警告**：チャイルドシート固定アンカーは、チャイルドシートが正しく取り付けられた状態で受ける荷重にのみ耐えられるように設計されています。大人用のシートベルトやハーネスとして使用したり、他の物や機器を固定するためには使用しないでください。
- 警告**：ハーネスやテザーストラップが損傷したり摩耗したりしていないか、必ず点検してください。
- 警告**：お子さまがチャイルドシート内にしっかり固定されている場合でも、お子さまのそばから離れないようにしてください。
- 警告**：衝突事故の際に使用していたチャイルドシートは絶対にを再使用しないでください。チャイルドシートの検査や取り替えはチャイルドシートの取扱説明書に従って実施してください。

エアバッグの位置

エアバッグは下図に示す位置に設置されています。エアバッグについての注意事項は、サンバイザーに表示されています。

Model X は、前席の両窓際座席にエアバッグと座席用安全ベルトを装備しています。エアバッグは、これらの座先位置での補助拘束装置です。事故が起きたときの大けがや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。

注：右ハンドル車では、助手席と運転席のエアバッグの位置が逆になります。



1. フロントエアバッグ
2. カーテンエアバッグ
3. シート搭載サイドエアバッグ
4. ドア搭載エアバッグ



エアバッグの動作

エアバッグはセンサーが衝撃を検知して展開開始値を超えると膨張します。これらの展開開始値により、エアバッグが乗員を保護するタイミングで開けるよう衝撃の重大度を予想します。

エアバッグは、大きな力で瞬時に展開し、大きな音を立てます。展開したエアバッグは、シートベルトとともに乗員の体の動きを制限し、けがのリスクを低減させます。

通常、フロントエアバッグは追突、横転、側面衝突、急ブレーキ、悪路の走行では展開しないように設計されています。同様に、フロントエアバッグは正面衝突、乗り上げ衝突、狭い物体（ポールや樹木など）への衝突など、すべての正面衝突で展開するわけではありません。車体の外見が大きく変形してもエアバッグが展開しないことがあったり、逆に構造的な損傷の場合には比較的軽微な破損でもエアバッグが展開することがあります。したがって、衝突後の車両の外観から、フロントエアバッグが膨らんだかどうかを判断することはできません。

⚠ 警告：障がいをお持ちの方のために、エアバッグシステムに影響が及ぶような改造を行う前に、Tesla までご連絡ください。

エアバッグの種類

Model X は、次のような種類のエアバッグを装備しています。

- 先進フロントエアバッグ: フロントエアバッグは、お子様や小柄な大人が乗車されていてもエアバッグが膨らんだ時になるべく怪我をしないように設計されたエアバッグです。運転席のフロントエアバッグはシート位置センサーで作動し、乗員の座っている位置をもとに展開レベルを調整します。フロントの助手席にお子様を座らせる場合のすべての注意事項に従ってください。乳幼児または小さなお子様の安全のために、助手席ヘッドエアバッグはオフにしなければなりません。
- シート搭載サイドエアバッグ運転席、助手席、2列目外側座席に取り付けられたサイドエアバッグは、胴の骨盤と胸部を保護するのに役立ちます。車両の衝突側と非衝突側の両方のシートに取り付けられたサイドエアバッグは、重度の側面衝突または重大なオフセット正面衝突の場合に膨らみます。
- カーテンエアバッグ: Model X の各フロントルーフレールに搭載されるカーテンエアバッグは頭部を保護します。車両の衝突側と非衝突側の両方に取り付けられているカーテンエアバッグは、重度の側面衝突を受けた場合、重大なオフセット正面衝突を受けた場合、または横転した場合のみに膨らみます。
- ドア搭載エアバッグ: Model X のファルコンウィングドア両方のトリムにエアバッグが設置されています。これらはカーテンエアバッグと同じで頭部を保護し、通常は大きな側面衝撃がかかったとき、斜め前方から大きな衝撃がかかったとき、あるいは車両が横転したときに展開します。ドア搭載エアバッグは、車両の衝撃を受けた側と受けていない側の両方で展開します。

助手席ヘッドエアバッグを OFF にする

お子さまを助手席に乗せている時（チャイルドシートまたは補助椅子に乗せている時でも）、衝突時にお子さまが怪我をしないように、必ず助手席エアバッグをオフの状態にしてください。

注：お子さまをチャイルドシートに乗せるときは、できるだけリアシートに乗車させてください。

助手席側フロントとサイドのエアバッグの設定を行うには、「コントロール」>「安全とセキュリティ」>「助手席エアバッグ」の順にタッチします。「オフ」をタッチして、エアバッグを手動で無効にします。

警告：手動で無効にする時は、フロントの助手席に座る大人の乗員を保護するために必ず「オン」をタッチして再度手動で有効する必要があります。

エアバッグが OFF になっている場合、助手席エアバッグのステータスがタッチスクリーン上部に表示されます（エアバッグが ON となっている場合ステータスは表示されません）。このインジケーターをタッチして前述の設定を表示させることもできます。



助手席エアバッグ インジケーターがタッチスクリーン上部に表示されます。

オフにする操作をしたのにエアバッグがオンになっている場合（あるいはその逆の場合）は、直ちに Tesla までご連絡ください。

注：Model X は静電容量式のタッチスクリーンを搭載しており、手袋をしている場合は、タッチしても反応しないことがあります。タッチスクリーンが反応しない場合は、手袋を外すか、指先に導電性の素材を使った専用の手袋を着用してください。

警告：お子さまが助手席に乗車するとき、フロントエアバッグがオフになっていることを確認することはドライバーの責任です。エアバッグを OFF にするために、乗員感知システムに頼らないでください。お子様を助手席に乗せて運転する前は、タッチスクリーン上部にある助手席エアバッグステータスを必ずチェックしてください。

警告：助手席ヘッドエアバッグが ON になっているときは、お子さまを乳幼児用または小児用チャイルドシートで助手席に乗車させないでください。大げなまたは死亡事故につながる可能性があります。

警告：助手席エアバッグのコントロールが機能していないと思われる場合は、助手席に人を乗せないようにしてください。ただちに Tesla に連絡して車両点検を受け、必要であれば修理を依頼してください。

エアバッグ展開の影響

警告：エアバッグが展開するときは微粉末が放出されます。この粉末には皮膚に刺激を与える成分が含まれるため、目、切り傷や擦り傷に付着した際は、流水で完全に洗い流すようにしてください。

展開したエアバッグは収縮し、乗員にクッション効果を及ぼすと同時に、ドライバーの前方の視界が遮られないようにします。

エアバッグが展開したとき、あるいは車が衝突したときは、必ずエアバッグとシートベルトのプリテンショナー、その他関連部品をチェックし、必要であれば Tesla に交換を依頼してください。

衝突時には、エアバッグの膨張以外に以下のようなことが起こります。

- ドアおよびリフトゲートがアンロックされ。
- ハザード警告灯が点灯します。
- 室内灯が点灯します。
- 高電圧系統が OFF になります。

バッテリー電源を復旧させるには、タッチスクリーンで Model X (停止 - 56 ページを参照) をオフしてから、ブレーキを踏んで再度オンにします。

エアバッグ インジケーター



エアバッグシステムが故障している際は、インストールメントパネルのエアバッグインジケーターが点灯したままになります。このインジケーターが点灯するのは本来 Model X を始動したときだけで、そのときは数秒で消灯します。点灯したままの状態の場合は、運転するのを控え、ただちに Tesla にご連絡ください。

エアバッグについてのご注意

警告：エアバッグの上や近くに物を置くと、車両がエアバッグが膨らむほど強く衝突した際に怪我をすることがありますので置かないでください。

警告：衝突時の大げなや死亡のリスクを最小限に減らすため、座席にエアバッグが装備されているかどうかに関わらず、ドライバーを始めすべての乗員は、必ずシートベルトを着用してください。

警告：フロントシートの乗員は、展開したエアバッグが破裂してけがをすることがありますので、エアバッグモジュールの上に腕を載せないでください。

警告：Model X にシートカバーを使用しないでください。使用すると衝突発生時にシート搭載サイドエアバッグの膨張が制限される可能性があります。乗員感知システムが装備さ



れている場合は、その精度が低下する恐れもあります。

- ⚠ 警告：**エアバッグはかなりの速度と力で展開し、それによってけがをすることがあります。けがを減らすため、乗員は必ずシートベルトを着用し、できるだけシートを後ろへ引いて正しく座るようにしてください。
- ⚠ 警告：**前方でエアバッグが作動するシートにはチャイルドシートの使用を控え、お子さまを座らせないでください。エアバッグが展開したときに、けがや死亡事故につながる可能性があります。
- ⚠ 警告：**サイドエアバッグが正しく膨張するように、乗員の胴体と Model X の側面の間のすきまはふさがらないでください。
- ⚠ 警告：**助手席に座る人はドアに頭をもたれかからないでください。カーテンエアバッグが展開したときに、けがをすることがあります。
- ⚠ 警告：**乗員は、エアバッグの上または近くに足、ひざなど、体の一部を置いてエアバッグの作動を遮らないようにしてください。
- ⚠ 警告：**ヘッドエアバッグの上または近く、フロントシートの横、車両側面のヘッドライナー、エアバッグカバーなどには、物を取り付けたり置いたりしないでください。エアバッグの展開が妨げられる可能性があります。また、エアバッグが作動するほどの重大な衝突事故のときは、それらの物によって大けがをする可能性もあります。
- ⚠ 警告：**展開したエアバッグは部分的に熱くなっています。熱がさめるまで、手で触れないでください。



ドライバープロフィールの作成

運転席シート、ハンドル、または運転席側ミラーの調整を初めて行う場合、タッチスクリーンがこれらの情報を保存するようにドライバープロフィールを作成して保存するようメッセージを表示します。プロフィールにはタッチスクリーンの「**コントロール**」ウィンドウを使用して好みの値を他にも複数保存することができます。



新しいドライバープロフィールを追加するには、タッチスクリーン上部にあるドライバープロフィールアイコンをタッチします。**ドライバーの追加**をタッチして、ドライバーの名前を入力し、**プロフィールを作成**をタッチします。画面の指示に従い、ドライバープロフィールにシート位置を保存します。ドライバーに合わせて運転席とハンドル位置を自動的に調整するイージーエントリー設定（以下で説明）を保存（または既存のものを使用）する場合は、「**イージーエントリーを利用**」チェックボックスにチェックを入れ、Model X への出入りをより便利にすることもできます。

プロフィールの保存またはドライバープロフィールの選択後、ハンドル、運転席シート、または運転席側ミラーの位置を変更すると、新しい位置を保存するか、または前回保存した位置を復元するかを選択するメッセージがタッチスクリーンに表示されます（その他の設定は自動的に保存されます）。保存や復元せずに設定を変更するには、そのメッセージを無視して構いません。

Model X をドライバープロフィールに基づいて調整するには、ドライバープロフィールアイコンをタッチしてドライバー名を選択します。保存されている調整内容が自動的に適用されます。

注：パレーモードは、速度制限および Model X の一部の機能へのアクセスを制限する場合に使用するビルトインドライバープロフィールです（[パレーモード](#) - 50 ページを参照）。

注：ドライバープロフィールに基づいて実行されている自動調整を停止するには、ドライバープロフィールのドロップダウンメニューにある停止をタッチします。また、自動調整は手動でシート、ミラーまたはハンドルを調整すると停止します。

イージーエントリー

イージーエントリー設定を定義すれば、Model X への出入りを容易にするようハンドルと運転席を動かすことができます。ドライバーは自分のドライバーのプロフィールに関連付けることで、イージーエントリー設定を使用することができます。イージーエントリー設定がドライバープロフィールに関連付けられると、パーキングにシフトしてシートベルトを外すと、車の出入りが容易になるよう、ハンドルと運転席が自動的に調整されます。車両に戻りブレーキペダルを踏むと、設定は自動的に前回のドライバープロフィールで使用された設定（またはドライバーのプロフィールがリンクされている場合はキー）を使用します。

イージーエントリーを設定するには、タッチスクリーンの上部にあるドライバーアイコンをタッチします。ドライバーのプロフィールを選択し、**イージーエントリー**チェックボックスをチェックし、画面の指示にしたがって、Model X に出入りする際のハンドルと運転席の位置決め方法を保存します。設定されると、イージーエントリーのプロフィールがドライバーのプロフィールリストに表示され、ドライバーはこれらの設定を使用して出入りが行えます。

ドライバープロフィールの復元



ドライバーのプロフィールに合わせて Model X を調整するには、タッチスクリーンのステータスバーにあるドライバープロフィールアイコンにタッチしますそして、ドライバーを選択すると Model X はそのドライバーのプロフィールで保存されている設定に合わせて調整されます。

保存内容を確認

ドライバーのプロフィールに関連付けられている設定を確認するには、タッチスクリーンの上部にあるドライバーのプロフィールアイコンをタッチします。次に、「**保存内容を確認**」にタッチします。ポップアップウィンドウには、ドライバーのプロフィールに保存されているすべての設定が一覧表示されます。

注：ドライバープロフィールに関連付けられている設定は、現在 Model X にインストールされているソフトウェアのバージョンにより異なります。



ドライバー プロフィールとキーのリンク

ドライバー プロフィールを特定のキーにリンクさせ、そのキーを持って車両に近づくと運転席側ドアを開き、Model X が正しいドライバー プロフィールを自動的に選択できるようにします。ドライバー プロフィールをキーにリンクさせるは、キーを持って Model X に乗り込み、タッチスクリーンでドライバーのプロフィールアイコンをタッチします。キーにリンクさせたいドライバー プロフィールを選択して、「**キーフォブにリンク**」をタッチします。

注: Model X 一度に検出するキーは 1 つのみです。ドライバー プロフィールはその時点で車両が検出したキーにリンクされます。そのため、ドライバー プロフィールを複数のキーにリンクさせたい場合は、リンク確立手順を行っている間、ドライバー プロフィールをリンクさせたいキーのみが検出範囲内にあるようにしてください。その他のすべてのキーは検出範囲外 (Model X から少なくとも 1 メートル離れた場所) に移動します。

注: Model X 一度に 8 個までのキーをリンクさせることができます。1 件のドライバー プロフィールにつきキーを 1 つリンクさせることができます。

ドライバーのプロフィールとキーとの間のリンクを削除するには、タッチスクリーンの上部にあるドライバー プロフィールをタッチします。ドライバー プロフィールを選択して、「**キーフォブにリンク**」の横にある **X** をタッチします。

パレーモード

Model X がパレー モードになっているときは、次の制限が適用されます。

- 速度は時速 113 km 以下に規制されます。
- 最大加速と最大出力は制限されています。
- フロントトランクとグループボックスはロックされました。
- 自宅および職場のロケーションはナビゲーションシステムで使用できません。
- 音声指示が無効になります。
- オートパイロットの便利な機能が無効になります。
- ほとんどのステータス バーの機能が無効になりました。
- モバイルアクセス 設定が無効になりました。
- ドライバープロフィールにアクセスできません。

- WiFi と Bluetooth が無効です。Model X がパレー モードにあるときは、新しい Bluetooth 機器をペアリングしたり、接続済みの機器を閲覧したり削除したりすることはできません。

注: パレー モードにある Model X が、Bluetooth でペアリングされた機器または既知の WiFi ネットワークの操作範囲内 (約 9 メートル) にある場合、Model X はそれに接続されます。

パレー モードの開始

Model X をパーキングにして、タッチスクリーンの上部にあるドライバーのプロフィールアイコンにタッチしてから、「**パレー モード**」にタッチします。

パレー モードを初めて使用する場合は、パレー モードのキャンセルに使用する 4 桁の PIN を作成するように求められます。

パレー モードが動作している場合、インストゥルメントパネルの速度計の上に「**パレー (Valet)**」の文字が表示され、タッチスクリーンにはパレー モードのドライバー プロフィールが表示されます。

また、モバイルアプリを使って、パレー モードを開始またはキャンセルすることもできます (Model X のギアがパーキングに入っていることが前提)。モバイルアプリを使用している場合は、アプリにログインする際、すでに Tesla アカウント認証情報を使ってログインしているため、PIN を入力する必要はありません。

注: 「**ドライブ用 PIN**」の設定がオンになっている場合 (**ドライブ用 PIN** - 143 ページを参照)、ドライブ PIN を入力しないとパレー PIN を定義または入力できるようになりません。パレー モードになると、Model X は、ドライブ PIN の入力が必要なパレーなしで運転可能になります。

注: 「**ドライブ用 PIN**」の設定は、パレー モードが有効のときは利用できません。

PIN を忘れた場合は、Model X 内で Tesla アカウント認証情報を入力するとリセットできます (パレー モードもキャンセルされます)。モバイルアプリを使って PIN をリセットすることもできます。

⚠ 警告: トレーラーを牽引しているときにはパレー モードを使用できません。トルクの制限のために Model X ではトレーラーを引きながら坂道を登ることが困難になります。

パレー モードのキャンセル

Model X をパーキングにして、タッチスクリーンのステータスバーの「**パレー モード**」ドライバー アイコンにタッチし、4 桁の PIN を入力します。

パレー モードをキャンセルすると、直前まで使用していたドライバー プロフィールと温度調整の設定に関連するすべての設定が回復し、すべての機能が使用可能になります。



注：パレー モードをキャンセルするにはモバイルアプリから PIN を入力する必要はありません。



ステアリングの感触・感度を調整する

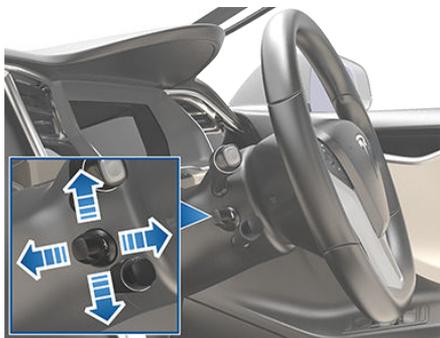
ステアリングシステムの感触と感度をお好みに合わせて調整できます。

1. タッチスクリーンで、「コントロール」>「運転」>「ステアリングモード」の順にタッチします。
2. ステアリングのオプションを選択します。
 - **コンフォート**：ハンドルを楽に回せます。この設定にすると、市街地での Model X の運転と駐車が容易になります。
 - **標準**：あらゆる条件で最適な操作性と応答性が得られる Tesla 推奨の設定です。
 - **スポーツ**：ホイールを回すのに必要な力が増します。高速で運転する際に Model X の応答性がよくなります。

実際にお試しになって、お好みのオプションを選択してください。

位置の調整

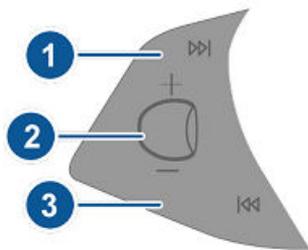
シフトレバーの左側にあるノブを動かしてハンドルを好みの運転位置に調整します。このノブで、ステアリングホイールを前後上下に動かすことができます。



⚠ 警告：運転中には調整しないでください。

ハンドルの左ボタンを使用する

ハンドルの左側のボタンを使用して、ラジオ局を変更したり、メディアプレーヤーの音量を調整したり、インストールメントパネルの左側に表示される情報を変更したりすることができます (ナビゲーションアプリに指示が表示されていない場合)。



1. 次へ

地上波ラジオまたは衛星ラジオを聞いており、複数のラジオ局がプリセットにある場合、このボタンを押すと現在再生中のラジオ局の次にあるプリセットを再生します。複数のプリセットが設定されていない場合は、このボタンを押すと次に受信可能な周波数へ移動します。

インターネットラジオ、接続している Bluetooth 機器または USB 機器のオーディオファイルを開いているときにこのボタンを押すと、次の曲またはラジオ局へスキップします。

複数のお気に入り登録されている場合は、長押しするとお気に入り切り替えて表示します。

2. スクロール ボタン

- 上または下に回してメディアの音量を調整します。

注：スクロール ボタンは、使用中のメディア、ナビゲーション指示、および電話通話の音量を調整します。メディア、ナビゲーション、電話のいずれかの音量を調整をすると、インストールメントパネルに音量レベルが表示されます。

- メディアの音量をミュートしたり、オーディオファイルを一時的に停止/再生したりするには、スクロール ボタンをタップします。
- インストールメントパネルの左側に表示される情報を選択するには、スクロール ボタンを押し続けて利用可能なオプションを表示します。スクロール ボタンをスクロールして「表示しない」、「車両の状態」、「時計」、「メディア」、「エネルギー」または「走行データ」などを選択します。希望するオプションが反転表示されたらスクロール ボタンをタップします。

注：オプションで選択した左スクロール ボタンの表示設定は、手動で変更されるまで保持されます。また、ドライブプロファイルにも保存されます。

注：車両の状態では、ドアやトランクなどの開閉状況や、新しい車両ではタイヤ圧力などの情報が表示されます。

- タッチスクリーンを再起動するには、両方のスクロール ボタンを約 5 秒長押ししてください。[タッチスクリーンの再起動 - 56 ページ](#)を参照してください。

3. 戻る

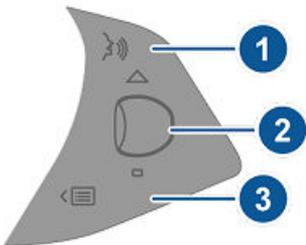
前の曲またはラジオ局へスキップする点を除いて、操作方法は上記の「次へ」と同じです。複数のお気に入り登録されている場合は、長押しするとお気に入り切り替えて表示します。

注: インストゥルメントパネル左側がどのようにカスタマイズされても、ナビゲーションの指示 (該当する場合) や、Model X がドライブ ギアに入っているときにドアやトランクが開いていることを知らせるメッセージは、インストゥルメントパネルの左側に自動的に表示されます。

ハンドルの右ボタンを使用する

ハンドルの右側にあるボタンを使用して、通話中に通話オプションにアクセスしたり、インストゥルメントパネルの右側に表示されるものを選択したり、Model X 機能の調整や、音声コマンドの利用ができます。

注: 電話を受信中または発信中は、インストゥルメントパネルの右側に自動的に通話オプションが表示され、Bluetooth 接続されている電話の通話を簡単に操作できます。



1. 押すと音声コマンドを使用して目的地までナビゲートさせることができます。トーンが聞こえたら、認識させたいコマンドを話します。再度押すと音声コマンドが終了しますが、話すことをやめることでも終了します。詳細は[音声コマンドの利用 - 54 ページ](#)を参照してください。
2. スクロール ボタン
 - 通話中に、スクロール ボタンをタッチして通話オプションを表示させ、通話中に利用できるアクションを使用することができます。
 - スクロール ボタンを回転させると、機能リストの中から最近選択した機能を並べ替えることができます (「メニュー」ボタンを参照)。

- インストゥルメントパネルの右側に表示される情報を選択するには、スクロール ボタンを押し続けて利用可能なオプションを表示します。スクロール ボタンをスクロールして「表示しない」、「車両の状態」、「時計」、「メディア」、「エネルギー」または「走行データ」などを選択します。希望するオプションが反転表示されたらスクロール ボタンをタップします。

注: 車両の状態では、ドアやトランクなどの開閉状況や、新しい車両ではタイヤ圧力などの情報が表示されます。

注: オプションで選択した右スクロール ボタンの表示設定は、手動で変更されるまで保持されます。また、ドライバープロフィールにも保存されます。

- タッチスクリーンを再起動するには、両方のスクロール ボタンを約 5 秒長押ししてください。[タッチスクリーンの再起動 - 56 ページ](#)を参照してください。

3. メニューボタン

ボタンを押すと表示されるメニューから、Model X の以下を操作することができます。

- **温度。** ホイールを回して運転席側の温度を変更するか、スクロール ボタンを押して空調システムを ON/OFF します。
- **「ファン速度」:** スクロール ボタンを回してキャビンの冷房または暖房に使用されるファンの速度を調整します。
- **「画面の明るさ」:** スクロール ボタンを回してディスプレイの明るさの度合いを調整したり、ホイールを押して標準設定に戻したりします。
- **通話履歴。** 携帯電話が Model X とペアリングされている場合は、スクロール ボタンを回して通話履歴が表示できます。スクロール ボタンを押して表示されている連絡先に電話をかけます。携帯電話をペアリングするには、[Bluetooth 対応の携帯電話の接続 - 138 ページ](#)を参照してください。
- **連絡先。** 携帯電話が Model X にペアリングされている場合は、スクロール ボタンを回して携帯電話の連絡先を参照してください。連絡先は、姓がアルファベット順にリスト表示されます。携帯電話をペアリングするには、[Bluetooth 対応の携帯電話の接続 - 138 ページ](#)を参照してください。

機能リストを閉じるには、もう一度メニュー ボタンを押します。



音声コマンドの利用

ナビゲーションの言語が日本語に設定されている場合 ([コントロール - 115 ページ](#)を参照)、音声コマンドを使用して目的地までナビゲートさせることができます。ナビゲーションの言語が英語に設定されている場合でも、音声コマンドを使用して連絡先に電話をかけたり、TuneInを検索することができます。音声認識を開始するには、ハンドルの右上にある音声ボタンを押します。トーンが聞こえたら、認識させたいコマンドを話します。話しかけると、インストゥルメントパネルには解釈された音声コマンドが表示されます（声で入力できるコマンドの種類に関するヒントも表示されます）。話し終わったら、音声ボタンをもう一度押します。何もなくても音声認識は終了します。

- ナビゲーションの言語が英語に設定されている場合、目的地の検索またはナビゲートを行うには、住所、ビジネスの名称、カテゴリまたは目印に続いて「Drive」または「Navigate」と発話してください。例えば、「東京のTeslaまで運転」と言います。自宅または勤務先の住所を設定している場合、Navigate home または Navigate to work などの音声コマンドを使用することができます。もしナビゲーションの言語が日本語に設定されている場合は、「Drive」または「Navigate」などのキーワードを言う必要はありません。単に、住所、ビジネスの名称、カテゴリまたは目印などを言ってください。
- Bluetoothに接続された電話に含まれる連絡先に電話をかける場合(ナビゲーション言語が英語に設定されている場合のみ)、連絡先の名前および/または苗字に続いて「Call」と言います。例えば、「鈴木さんに電話」または「鈴木太郎さんに電話」などと言います。
- TuneInを検索するには（言語が英語に設定されている時のみ利用可能です）、「Listen to」または曲、アルバム、アーティストの名前（またはその組み合わせ）に続いて「Play」と発話してください。音声認識の精度を改善するには、アーティスト名と曲名（例、「Elton John の Yellow Brick Road」または「Yellow Brick Road を聴く」）など、コマンド内に複数の要素を含めます。



ヒータード ステアリング ホイール

Model X にオプションの寒冷地パッケージが装備されている場合は、タッチスクリーンから空調をタッチしてハンドルを暖めることができます([温度調整 - 125 ページ](#)を参照)。オンにすると、輻射熱でハンドルを快適な温度に暖めます。

ホーン

クラクションを鳴らすには、ハンドル中央のパッドを押します。

サイドミラーの調整

左または右のサイドミラーボタンを押します。ボタンのランプが点灯している状態でダイヤルを押すと、ミラーを希望の位置まで動かすことができます。もう一方のサイドミラーも同様に調整します。入力を求められた時点で、タッチスクリーンにある「保存」をタッチしてミラー調整をドライバープロフィールに保存します。



サイドミラーを畳んだり元に戻すには、センターボタンを押します。Model X がロックされている時には常に「コントロール」>「車両」>「ミラー自動格納」の順にタッチして、自動的にミラーを格納する設定が可能です。Model X のロックを解除すると、常に自動的にミラーが元に戻ります。

狭い場所に駐車する際にミラーを折りたたむためにセンターボタンを使用するときは、時速 50 km に達するまで折りたたまれた状態となります。センターボタンを押してミラーを開くこともできます。

注：時速 50 km を超えるとミラーを格納することはできません。



運転席側のサイドミラーは、後続の車両からのヘッドライトのグレア（眩しさ）に応じて自動的に薄暗くなります（ギアがリバースに入っている場合を除く）。また、左右どちらのサイドミラーも、リアウィンドウデフロスターとともにオン/オフするヒーターを備えています。

場所による自動格納ミラー

Model X では、場所によってサイドミラーを自動的に畳んだり元に戻したりすることが可能です。そのため、頻繁に使用する場所（狭いガレージ、狭い駐車スペースなど）でミラーを畳んだり元に戻したりする必要がある時に、手動で毎回変える手間が省けます。

設定するには、Model X が低速（時速 3 マイル/時速 5 km 以下）で走行しているか、車両に記憶させたい場所で停止していなければいけません。の順にタッチしていきます。次回、保存した場所に来る時には、指定した場所の 25 フィート（7.5 メートル）圏内でミラーを畳んだり元に戻したり動作します。

自動格納ミラーを HomeLink（HomeLink ユニバーサル トランシーバー - 参照）と統合することもできます。オンにするには、「HomeLink」>「近くでミラーを自動格納する」の順にタッチしていきます。

⚠ 注意：保存した場所に戻り、時速 3 マイル/時速 5 km 以上の速度で運転している場合には、ミラーを自動的に畳んだり元に戻したりしません。

バックするときのミラー角度自動調節

バックするとき、左右どちらの外部ミラーも下へ傾けることができます。ミラー角度の自動調節を微調整するには、ギアをリバースに入れてからミラーを調整します（調整したいミラーの側のボタンを押し、ダイヤルを押してミラーを希望の位置まで動かします）。タッチスクリーン上の「保存」にタッチし、ミラーの調整角度をドライバープロフィールに保存します。

ギアをドライブに戻すと、ミラーの角度はまた通常の位置（上）に戻ります。しかし、ミラーの角度は既に調整され保存されているため、ギアをリバースに入れるたびに、ミラーは選択した角度だけ自動的に下へ傾きます。

「コントロール」>「車両」>「ミラー自動格納」>「車両」 「ミラー角度の自動調節」の順にタッチして、自動角度調整機能をオン/オフすることができます。

バックミラー

リアビューミラーは手動で調整されます。リバースに入れているとき以外、バックミラーは後続の車両のヘッドライトからのグレア（眩しさ）に応じて自動的に薄暗くなります。



充電開始中

ドアを開けると、Model X はインストゥルメントパネル、およびタッチスクリーンが起動しすべての操作が行えるようになります。

Model X を運転する：

1. **ブレーキペダルを踏む** - Model X の電源が入り、運転できるようになります。
2. **ギアを入れる** - ギアレバーを動かして、ドライブからリバースまでのいずれかを選択します。
ギアシフト - 58 ページを参照してください。

注：ドライブ用 PIN の機能が有効になっている場合 (**ドライブ用 PIN** - 143 ページを参照)、Model X が運転可能になるには、タッチスクリーンで有効な PIN を入力することも必要になります。

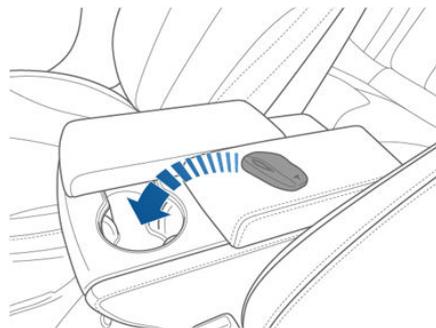
注：パッシングエントリーがオフで、約 5 分以内にブレーキペダルを踏んで Model X を開始しない場合、再び車両を始動する前に、インストゥルメントパネルにメッセージが表示され、鍵を使用して Model X を一度ロックして、再びロックを解除する必要があります。

Model X の運転に必要な事項はすべてインストゥルメントパネルに表示されます。

キーは車内にありません

ブレーキを踏んだときに Model X がキーを検出しない場合、キーが車内で検出されなかったことを知らせるメッセージがインストゥルメントパネルに表示されます。

このメッセージが表示された場合、Model X がキーを最も検出しやすいセンターコンソールのカップホルダーにキーを入れてください。



それでも Model X のキーが検出されないときは、キーをセンターコンソールの 12V 電源ソケット (**12V 電源ソケット** - 22 ページを参照) の真下に置いて試してください。まだキーが検出されない場合は、キーのバッテリーを一度取り外して、もう一度試してください。**キーのバッテリー交換** - 10 ページを参照してください。あるいは、代わりのキーを試します。キーを代えても検出されないときは、Tesla に連絡してください。

Model X によるキーの検出には、さまざまな要因が影響することがあります。たとえば、キーのバッテリー残量低下、他の無線デバイスとの干渉、キーとレシーバーとの間の障害物などです。

キーは常に携帯してください。運転終了後も、Model X を停止してから再始動するときにはキーが必要です。また、Model X から降車後、Model X を手動または自動でロックするときにもキーが必要です。

停止

目的地に着いたら、ギアセレクターの端のボタンを押してギアをパーキングに切り換えます。自動的にパーキングブレーキがかかりますが、まだすべてのシステムが動作しています。Model X からキーを持って離れると、その時点で自動的に電源がオフになり、タッチスクリーンとインストゥルメントパネルもオフになります。

Model X また、運転席に座っていても、ギアをパーキングに切り換えて 15 分が経過すると自動的に電源がオフになります。

通常は必要な操作ではありませんが、車両が動いていなければ運転席に座ったまま手動で Model X の電源をオフにすることもできます。「**コントロール**」 > 「**安全とセキュリティ**」 > 「**電源オフ**」の順にタッチします。Model X ブレーキを踏むか、タッチスクリーンをタッチすると、自動的に電源がオンになります。

注：Model X 降車するときにはギアをニュートラルにしても、キーを持った人が車外に出たと判断されると、自動的にギアがパーキングに切り換わります。Model X をニュートラルで維持するには、**車両をニュートラルのままにする (牽引モード)** - 58 ページを参照してください。

タッチスクリーンの再起動

タッチスクリーンが反応しない、または異常な動作を示す場合は、再起動することができます。

注：乗員や他車の安全のため、タッチスクリーンの再起動は車両をパーキングに入れてから行ってください。

1. パーキングにシフトします。



2. タッチスクリーンが暗く変わり Tesla のロゴが現れるまで、ステアリングホイール上のスクロールボタンを両方押したままにします。



3. タッチスクリーンが再起動するまで約 30 秒待ちます。数分後、タッチスクリーンが無反応であったり、タッチスクリーンに通常とは違う表示が現れた場合、Tesla へお問い合わせください。

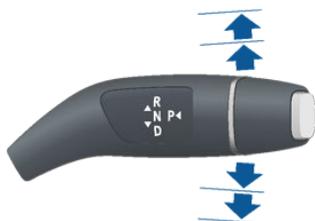
注：タッチスクリーンを再起動しても、Model X の電源がオン/オフされることはありません。



ギアシフト

Model X のギアがパーキングに入っている場合、ブレーキを踏み別のギアに入れる必要があります。

レバーを上方向または下方向に動かしてギアを変更します。



現在の走行速度で使用できないギアへのシフトを試みると、チャイムが鳴りギアを変更することができません。

バック

レバーを上方向いっぱいまで押して、放します。Model X が停止状態または走行速度が時速 8 km の際には、バックギアへ切り替えることができます。時速 1.6 km 未満で走行している場合、ブレーキを踏んでください。

ニュートラル

レバーを上方向または下方向に押して最初の位置に戻してから放すとニュートラルにシフトされます。ブレーキペダルを踏んでいない際にニュートラルに入れると、Model X は勝手に動き出します。

Model X がパーキングに入っている状態で、タッチスクリーンを使用しパーキングブレーキを解除すると「コントロール」>「安全とセキュリティ」、Model X はニュートラルに切り替わります（パーキングブレーキ - 70 ページ参照）。

走行

レバーを下方向いっぱいまで押して、放します。Model X が停止状態またはバックギアに入った状態で時速 8 km 未満で走行している際には、ドライブへ切り替えることができます。Model X の走行速度が時速 1.6 km 未満の場合、ブレーキを踏みドライブにギアを切り替える必要があります。

パーキング

Model X が停車している間にギアセクタの端を押します。Model X がパーキングにギアが入っている際は常に、サイドブレーキがかかります。



Model X 充電ケーブルを接続するとき、または次のうちの複数の条件が同時に満たされている場合、自動的にパーキングにシフトします。

- 運転席のシートベルトが外された場合。
- 運転席の乗員センサーが乗員を検知していない場合。
- 運転席側のドアが開いている場合。

注：上記の条件は、自動的に Model X をパーキングに切り替える原因を完全に網羅したものではありません。特定のシナリオにおいては、上記条件 1 つにでも該当する場合、車両がパーキングに切り替わる可能性があります。

車両に乗車しやすくするために、シフトレバーをパーキングに入れてから「P」ボタンを再度押し、全てのドアをロック解除することもできます。

車両をニュートラルのままにする (牽引モード)

Model X Model X を停車させて降車すると、自動的にパーキングに切り替わります。降車時 Model X をニュートラルのままにして、勝手に動く状態にするには（例えば、牽引車に載せる場合など）、牽引モードを有効にします。

1. パーキングにシフトします。
2. ブレーキペダルを踏みます。
3. 「コントロール」>「サービス」>「牽引モード」の順にタッチします。

Model X ビープ音が鳴り、ニュートラルにシフトされます（サイドブレーキが解除されたことを示しています）。

[N] 牽引モードが有効な場合、Model X の「インストールパネル」にこの表示灯が表示されると同時に、Model X が勝手に動く状態であることを知らせるメッセージが表示されます。

注：牽引モードでは、Model X のギアはドライブに切り替わりません。ニュートラルモードをキャンセルするには、パーキングにシフトするかニュートラルモードを再度タッチします。または、タッチスクリーンでパーキングブレーキをかけることで「コントロール」>「安全とセキュリティ」>「パーキングブレーキ」、ニュートラルモードを解除することもできます。

ライトの調整

ライトのコントロールはタッチスクリーンの「**コントロール**」>「**ライト**」をタッチして行います。

タッチスクリーンでコントロールできるライトに加え、Model X には運転者の動作によって自動的にオン・オフするコンビニエンスライトがあります。たとえば、ルームライト、標識灯、テールランプ、ドアハンドルランプ、パドルランプは、Model X のロックを解除したとき、ドアを開けたとき、パーキングにシフトしたときに点灯します。これらのライト類は、1～2分後またはドライブギアにシフトしたとき、または Model X をロックしたときに自動的に消灯します。

注：以下のイメージ画像は説明のみを目的としています。タッチスクリーンは、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



- エクステリアライト（ヘッドライト、テールライト、サイドマーカーライト、パーキングライト、ナンバープレートライト）は、Model X の起動時に**オート**に設定されます。**自動**に設定すると、暗くなると外部ライトが自動的に点灯します。この設定を変更した場合、ライトは次に運転する際にこの**自動**設定に戻ります。

外部ライトの設定を一時的に変更するには、以下のオプションのいずれかにタッチします。

- 「**オフ**」：エクステリアライトは、自分で点灯させるか、次回運転する時まで消灯します。昼間点灯が法定で義務付けられている場合、ドライブギアに入るとエクステリアライトがこれに遵守するために常に点灯します。

- 「**パーキング**」：側面標識灯、パーキングランプ、ナンバーライトだけがオンになります。

注：昼間点灯が法定で義務付けられている場合、走行するギア（ドライブまたはリバース）に入るとエクステリアライトがこれに遵守するために常に点灯します。

- 「**オン**」：外部ライトが点灯します。

▲ 警告：視界が悪い時には必ずヘッドライトを点灯させてください。これを怠ると、衝突事故につながる危険があります。

- これをタッチしてリアフォグランプ（装備されている場合）をオン、オフします。フォグランプはヘッドライトがロービームで点灯している場合のみ作動します。ヘッドライトが消灯しているときは、フォグランプも消灯します。

注：オプションのフロントフォグランプが点灯していると、必ず計器パネルのフロントフォグインジケータが表示されます。

注：使用する地域や車両オプションにより、フロントフォグランプまたはリアフォグランプが搭載されていないことがあります。

注：いくつかの地域では、フロントフォグランプをコントロールすることはできません。これらはヘッドライトと連動し、ヘッドライトがロービームの時のみ点灯します。

- ルームライト（マップ）をオン、オフします。自動に設定すると、Model X のロックを解除したとき、ドアを開けたとき、または P（パーキング）にシフトしたとき、すべてのルームライトが点灯します。

注：ルームライトのレンズを押すと、それぞれのルームライトをオン/オフすることができます。手でルームライトをオンにすると、Model X の電源がオフになったときにルームライトが消灯します。手でライトを点灯させたとき、すでに Model X の電源がオフになっていた場合、ライトは 60 秒後に消灯します。

- アンビエントライトをオンにすると、ヘッドライトを点灯させるたびにインテリアアンビエントライトが点灯します。
- オートハイビームをオンにすると、Model X の前方にライトが検出されたときにハイビームとロービームを自動的に切り替えます。**ハイビームヘッドライト - 60** ページを参照してください。

- 「降車後のヘッドライト」をオンにすると、周囲が暗いときに Model X を停車させてパーキングに入るとエクステリアライトが短時間点灯します。**降車後のヘッドライト - 60** ページを参照してください。

ハイビーム ヘッドライト

左ステアリングコラムレバーを奥に押すとハイビームヘッドライトがオンになります。操作を取り消すには、レバーを手前に引きます。

ハイビームヘッドライトをパッシングするには、レバーを手前に引いて離します。



ヘッドライトがハイビームの時、Model X の前方にライトが検知されると（例えば対向車など）自動的にロービームに切り替えます。この機能のオン、オフ切り替えを行うには、「コントロール」>「ライト」>「オートハイビーム」の順にタップします。

注：選択した設定は、手動で変更されるまで保持されます。

オートハイビームがオンの際に Model X の前方に光を検知したことによってハイビームが消灯した場合、レバーをドライバー側に引くと一時的にハイビームを点灯できます。

ヘッドライトの状態を示すために、インストゥルメントパネルに以下のインジケータライトが表示されます。

 ロービームヘッドライトが点灯しています。

ハイビームヘッドライトが点灯しています。自動ハイビーム設定がオフでハイビームが点灯しているとき、または自動ハイビーム機能がオンにされているが一時的に使用できない場合に点灯します。



ハイビームが現在オンになっており、Model X の前方に光を検知した場合にはオートハイビームがハイビームをオフにする準備ができています。



Model X の前方に光が検知されたため、オートハイビームにより一時的にハイビームがオフになっています。光が検知されなくなると、ハイビームは自動的にオンに戻ります。

警告：オートハイビームは補助に過ぎず、動作に制約があります。気象条件や走行状態に合わせて適切なヘッドライトを使用することは、ドライバーの責任です。

降車後のヘッドライト

周囲が暗い場所に Model X を停めて駐車すると、外部ライトはそのまま点灯し続けます。1 分後または Model X をロックするとヘッドライトは自動的に消灯します。

この機能は「コントロール」>「ライト」>「降車後のヘッドライト」でオン・オフできます。「降車後のヘッドライト」がオフになっていると、パーキングギアにいれドアを開けるとヘッドライトが消灯します。

アダプティブ フロント ライティング システム (AFS)

装備されている場合、アダプティブフロントライティングシステム (AFS) は、運転時の視認性をよくするためにヘッドライトのビームを自動調整します。電気センサーが運転速度、ステアリング角度、ヨー（垂直軸を中心とした車両の回転角度）を検知し、現在の運転条件に基づいてヘッドライトの最適位置を決定します。たとえば、曲がりくねった道を夜間に走行するときの視認性をよくするため、AFS はカーブと同じ方向にビームを投射します。ヘッドライトをロービームで点灯して低速で運転している時、AFS は側面照明効果を向上させることで歩行者や縁石などの見通しを良くするとともに、暗い交差点や車庫までの道、または U ターンを行う時の視界を向上させます。

アダプティブフロントライティングシステム (AFS) は、ヘッドライトがオンのときは常に動作します。Model X が移動していないとき、または逆方向に移動しているときは、アダプティブヘッドライトは機能しません。これは、ヘッドライトが他のドライバーの目をくらませるのを防ぐためです。



AFS が故障した場合、インストゥルメントパネルに警告が表示されます。Tesla サービスにお問い合わせください。

ウィンカー

左側のステアリングコラムレバーを上げるか（右折する前）、下げます（左折する前）。レバーを上げ下げするその度合いにより、方向指示器は 3 回点滅、または連続で点滅します。方向指示器レバーを軽く押し上げると 3 回点滅します。連続して点灯させるには、レバーを上下に押し切ります。



ハンドルを操作するか、レバーを中央の位置に戻すと、ウィンカーが停止します。



ウィンカーが動作していると、インストゥルメントパネルの対応する方向指示器インジケーターが点灯します。カチカチという音も聞こえます。



▲ 警告：オプションのオートパイロットパッケージを購入し、トラフィックアウェアクルーズコントロールが有効になっている場合、トラフィックアウェアクルーズコントロールを使用時に方向指示器を出すと特定状況下で Model X が加速することがあります（[追い越し加速](#) - 98 ページ参照）。

▲ 警告：オプションのオートパイロットパッケージを購入し、オートステアリングが有効になっている場合、方向指示器を出すと Model X が車線変更を行う場合があります。

ハザードランプの点滅

ハザードランプを点滅させるには、タッチスクリーン脇のハンドルに近い側にあるボタンを押します。すべてのハザードランプが点滅します。もう一度押すとハザードランプが消灯します。

注：ハザードランプはキーが近くになくとも動作します。



インストゥルメントパネルについて

計器パネルは、以下のように Model X の状況によって変わります。

- オフ (以下参照)。
- 走行中 (インストゥルメントパネルについて - 運転中 - 66 ページを参照)。
- 充電中 (充電ステータス - 156 ページを参照)。

Model X がオフの場合、計器パネルには残りの後続距離、ドアの状態、外気温が表示されます。ブレーキを踏むと、上部のインジケーター ライトが短く点灯します。現状に該当するインジケーターがない限り、その後インジケーターは消灯します。インジケーターが点灯または消灯しない場合は、Tesla に連絡してください。

注: 以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



インストゥルメントパネルに点灯する次のインジケーターは、特定の状況を伝え、警告するものです。

インジケーター 詳細



ロービーム ヘッドライトがオンになっています。



ハイビーム ヘッドライトがオンになっています。自動ハイビーム設定がオフでハイビームが点灯しているとき、または自動ハイビーム機能がオンにされているが一時的に使用できない場合に点灯します。[ハイビーム ヘッドライト](#) - 60 ページを参照してください。



ハイビームヘッドライトが点灯中で、Model X の前方にライトを検出した場合には、オートハイビームがすぐにハイビームをオフにします。[ハイビーム ヘッドライト](#) - 60 ページを参照してください。



オートハイビームがオンで Model X の前方にライトが検出されていますので、ハイビームヘッドライトが一時的にオフになっています。今はライトが検出されていないので、ハイビームが自動的にオンに戻ります。[ハイビーム ヘッドライト](#) - 60 ページを参照してください。



インジケーター 詳細



パーキングライト（サイドマーカーライト、テールライト、ナンバープレートライト）が点灯しています。[ライト](#) - 59 ページを参照してください。



フロントフォグランプ（装備の場合）。[ライト](#) - 59 ページを参照してください。



アダプティブフロントライト（装備されている場合）。[アダプティブフロントライティングシステム \(AFS\)](#) - 60 ページを参照してください。



横滑り防止装置 (ESC) システムは、ブレーキ圧とモーター出力を制御し、ホイールスピンを最小限に抑えます（インジケーターが黄色に点滅します）。[トラクションコントロール](#) - 72 ページを参照してください。このインジケーターが点灯したままの場合、不具合が検出されていますので、直ちに Tesla へ問い合わせてください。



エアサスペンションシステムのパフォーマンスを低下させる不具合が検出された場合、この黄色のインジケーターライトが表示されます。不具合が解消しない場合は、Tesla にご連絡ください。[エアサスペンション](#) - 140 ページを参照してください。



故障によりエアサスペンションシステムが無効になったことが検知されると、インストゥルメントパネル上で赤色の表示灯が点灯します。Tesla にご連絡ください。



ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液量が低下しています。[ブレーキ](#) - 69 ページを参照してください。ただちに Tesla にご連絡ください。



エアバッグの安全性。すぐに Model X を運転できる状態の際にこの赤いインジケーターがすばやく点滅しない場合、または点灯し続ける場合は、直ちに Tesla にご連絡ください。[エアバッグインジケーター](#) - 47 ページを参照してください。



ABS（アンチロックブレーキシステム）の不具合が検出されています。[ブレーキ](#) - 69 ページを参照してください。ただちに Tesla にご連絡ください。



インジケーター 詳細



パーキングブレーキが手動で適用されています。[パーキングブレーキ - 70 ページ](#)を参照してください。



パーキングブレーキの不具合が検出されています。Tesla にご連絡ください。[パーキングブレーキ - 70 ページ](#)を参照してください。



車両のホールド機能が積極的にブレーキをかけています。[オートブレーキホールド - 75 ページ](#)を参照してください。



タイヤの空気圧警告。タイヤの空気圧が許容範囲外になっています。タイヤ空気圧監視システム (TPMS) の不具合が検出されると、インジケーターが点滅します。TPMS が故障した場合は、Tesla に連絡してください。[タイヤの手入れと保守 - 160 ページ](#)を参照してください。



ドアまたはトランクが開いています。[ドア - 9 ページ](#)、[リアトランク - 18 ページ](#)、または [フロントトランク - 20 ページ](#) を参照してください。



乗員のいる席のシートベルトが締められていません。[シートベルト - 32 ページ](#)を参照してください。



前席助手席のエアバックがオフになっています。[エアバッグ - 45 ページ](#)を参照してください。



横滑り防止装置はホイールのスピンを最小限に抑制していません。後輪駆動車両でトラクションコントロールシステムオフになっているか、四輪駆動車両でスリップスタート機能が有効になっています。[トラクションコントロール - 72 ページ](#)を参照してください。



Model X 牽引モードで勝手に車両が動く状態です。車両から降りても自動的にパーキングにシフトしません。[車両輸送者向け注意事項 - 187 ページ](#)を参照してください。



インジケータ 詳細



けん引モード（装備されている場合）が有効になっています。[牽引とアクセサリー](#) - 83 ページを参照してください。



左折の方向指示器が動作していると緑色で点滅します。ハザードランプが動作していると、左右両方の方向指示器が緑色で点滅します。



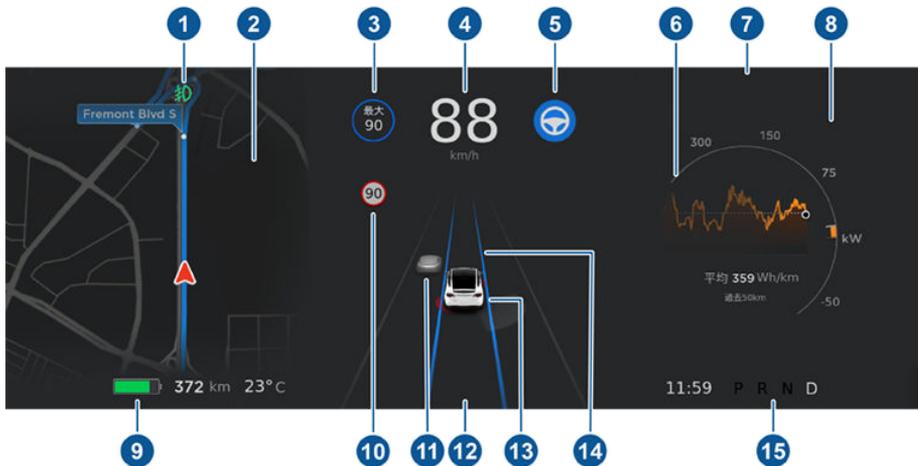
右折の方向指示器が動作していると緑色で点滅します。ハザードランプが動作していると、左右両方の方向指示器が緑色で点滅します。



インストゥルメントパネルについて - 運転中

Model X の運転中 (または運転可能なとき) は、インストゥルメントパネルに現在の運転状況とオートパイロットコンポーネント (オートパイロットについて - 92 ページを参照) が検出した道路のリアルタイムの視覚化された画像が表示されます。視覚化された画像は、ブラインドスポットに車両が検出された時にそれをドライバーに知らせるよう、自動的にズームインとズームアウトを行います。

注: 以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



1. インジケーターが上部に沿って状況を提供します (インストゥルメントパネルについて - 62 ページを参照)。
2. 目的地へのナビゲーションを使っているときは、ナビゲーション指示がここに表示されます。計器パネルの左側に表示される内容を変更するには、ナビゲーション指示が表示されていないときに、ステアリングホイール左側のボタンを使用してください (ハンドルの左ボタンを使用する - 52 ページを参照)。
3. トラフィックアウェアクルーズコントロールが設定速度で走行中です。トラフィックアウェアクルーズコントロールが利用できても走行速度を設定していない時には、アイコンがグレーになり速度が表示されません (トラフィックアウェアクルーズコントロール - 95 ページ参照)。
4. 巡航速度。
5. オートステアリングが Model X のステアリング操作をしています。オートステアリングを利用できてもオンにしていない時には、アイコンはグレーになります (オートステアリング - 100 ページ参照)。
6. Model X が電力を制限している場合は、エネルギー グラフのパワーメーターに点線が表示されます。加速用の電力が制限されていると、上部 (エネルギー使用中) に破線が表示され、回生ブレーキからの電力が制限されている場合には、下部 (エネルギー獲得中) に破線が表示されます。Model X 多くの理由により電力を制限します。以下にいくつかの例を挙げます。
 - バッテリーの残量低下していたり、パワートレインが熱い場合は、加速が制限されることがあります。
 - 外気温が非常に高い場合または非常に低い場合は、加速と回生ブレーキの両方が制限されることがあります。
 - バッテリーがフル充電されていると回生ブレーキが制限されることがあります。

注: 計器パネルの右側に表示される内容は、ステアリングホイール右側のボタンで変更します (ハンドルの右ボタンを使用する - 53 ページを参照)。



7. ここに表示される重要なメッセージに注意してください。警告が出ている場合は、タッチスクリーンのステータスバー（タッチスクリーンの最上部）の警告アイコン(!マーク)にタッチして警告の詳細を表示することができます。
8. 電話をしていないときに計器パネルの右側に表示される内容を変更するには、ステアリングホイール右側のボタンを使用します（ハンドルの右ボタンを使用する - 53 ページを参照）。
9. 推定航続可能距離（エネルギー）。航続距離の代わりに、バッテリー残量（%）を表示することもできます。これを行うには、「コントロール」>「スクリーン」>「エネルギー表示」の順にタッチします。

注：充電の必要性が迫っている場合は、予想航続距離を大まかなガイドラインとしてのみ利用してください。

注：寒冷地では、バッテリーの温度が低すぎるため、バッテリーに蓄積されたエネルギーの一部が利用できない可能性があります。その場合は、バッテリーメーターの一部が青くなり、航続距離値の横に雪片のマークが表示されます。Model X が充電のために電源に接続されている場合、モバイルアプリを使用して温度調整機能をオンにすることで、バッテリーを温めることができます。バッテリーが温まると、メーターの青い部分と雪片のマークが表示されなくなります。

10. スピードアシストが検出している速度制限（設定されている場合）（スピードアシスト機能 - 113 ページを参照）。
11. 前方の車（該当する場合）。
12. インストゥルメントパネルの下部中央に表示される運転に関係した警告メッセージに注意してください。
13. お客様の Model X。
14. オートステアリングがオンの状態で走行車線を検知すると、走行車線がブルーにハイライトされます（オートステアリング - 100 ページ参照）。
15. 現在選択されているギア：パーキング、リバース、ニュートラル、ドライブ。

⚠ 警告：インストゥルメントパネルは周囲のある車両を表示しますが、すべての車両を表示している訳ではありません。自分の周囲に他の車両がいるかどうかを確認するためにインストゥルメントパネルのみに頼らないでください（例、ブラインドスポット）。必ずミラーの使用と後ろを振り返って確認してください。



ワイパー

フロントガラスのワイパーを作動させるには、左側のステアリングコラムレバーの先端を奥へ回します。ステアリングコラムレバーには5段階の設定があります。

- 1st: オフ。
- 2nd: 低レインセンサー感度*で自動
- 3rd: 高レインセンサー感度*で自動
- 4th: 連続、低速。
- 5th: 連続、高速。



ワイパーを1回だけ動かすには、レバーの先端を押して離します。

ワイパーが自動に設定されていても、Model Xがフロントガラスに水分を検出しなければ、ワイパーは動作しません。

ワイパーを動かすと、ヘッドライトが(すでに点灯していなければ)自動的に点灯します。

*自動設定を有効にするには、「コントロール」>「車両」>「自動ワイパー(ベータ)」の順にタッチします。ワイパーを自動に設定すると、Model Xは雨が降っているかどうかを検出します。間欠ワイパーの間隔はフロントガラスに検出される雨の量で変わります。ワイパーが雨滴高感度に設定されていると、Model Xは霧雨程度でワイパーを作動させません。

注:現時点では、自動設定はベータ版です。ベータ版で自動設定を使用することに抵抗を感じる方には、必要に応じてワイパーを手動で動作させることをお勧めします。

注意:ワイパーの損傷を避けるために、Model Xを洗車する前に必ずワイパーがオフ位置にあることを確認してください。

ワイパーブレードを長持ちさせるために、ワイパーをONにする前にフロントガラスの氷を除去してください。氷はエッジが尖っており、ブレードのゴムを傷める可能性があります。

ワイパーブレードのエッジを定期的にチェックし、クリーニングしてください。ご覧ください。損傷している場合は、Tesla サービスセンターにご連絡ください。

注意:厳しい気象条件では、ワイパーブレードが凍結していたり、フロントガラスに付着していないことを確認してください。

ワイパーの除氷

氷や雪を除去するため、ワイパーブレードに手が届きやすくなるよう、Model Xをパーキングにシフトし、ワイパーをオフにしてから、タッチスクリーンを操作してワイパーをサービスポジションに動かします。「コントロール」>「サービス」>「ワイパー サービス モード」の順にタッチします。寒い屋外に駐車するときは、Model Xのワイパーをサービスポジションにしておく便利です。このポジションではワイパーが除霜通気口により近くなるため、空調システムから出る空気をフロントガラスに向けることによって氷を溶かすことができます。

注:Model Xをパーキング以外にシフトすると、ワイパーは自動的に通常の位置に戻ります。

Model Xにオプションの寒冷地パッケージが装備されている場合は、タッチスクリーンにある空調をタッチしてワイパーの凍結を溶かすことができます(温度調整 - 125 ページを参照)。ワイパーヒーターは15分後、自動的にオフになります。

ウォッシュャー

左側のステアリングコラムレバーの先端のボタンを押すと、フロントガラスにウォッシュャー液が噴射されます。このボタンを押すレベルには2段階あります。軽く押すとワイパーが1回作動し、ウォッシュャー液は噴射されません。ワイパーとウォッシュャーの両方をしっかり押します。フロントガラスの洗浄では、ボタンを離れた後ワイパーが2回作動し、数秒後にもう1回作動します。



ウォッシュャー液は定期的に補充してください(フロントガラスウォッシュャー液を補充 - 171 ページを参照)。

ブレーキシステム

⚠ 警告: ブレーキシステムは安全にかかわるため正常に機能することが非常に重要です。ブレーキペダル、ブレーキキャリパー、Model X ブレーキシステムのコンポーネントに問題が発生した場合、直ちに Teslaへご連絡ください。

Model X 最大のブレーキ圧をかけたときにホイールがロックすることを防止するアンチロックブレーキシステム (ABS) を装備しています。この機構によって、大半の路面状態で急ブレーキ時のステアリング制御が改善されます。

緊急ブレーキ操作中は ABS が常に各ホイールの速度をモニターし、利用可能なグリップに応じてブレーキ圧を変更します。

ブレーキ圧が変わると、ブレーキペダルから振動が伝わります。これは ABS が作動していることを示すもので、異常な動作ではありません。振動が感じられる間は、ブレーキペダルを一定の圧力でしっかり踏み続けてください。



Model X をスタートさせると最初に「インストルメントパネル」上で ABS インジケーターが短時間に黄色に点滅します。このインジケーターが点灯したときは ABS に故障が発生しており、ABS は機能していませんので、Tesla にご連絡ください。ABS が故障していても、ブレーキシステムは影響を受けることなく完全に機能します。ただし、ブレーキの制動距離が長くなる場合があります。



Model X をスタートさせて最初にインストルメントパネルにこの赤いブレーキインジケーターが表示された場合（短く表示されるものではなく）には常に、ブレーキシステムの不具合が検出されているか、ブレーキ液の量が少なくなっています。すぐに Tesla にご連絡ください。

緊急ブレーキ操作

緊急時は、摩擦力の低い路面上でも、ブレーキペダルを床まで力一杯踏み込んで圧力を保ち続けます。ABS は、利用可能な摩擦力に従って各ホイールのブレーキ圧を調整します。この機能によってホイールのロックが防止され、可能な限り安全に停車することができます。

⚠ 警告: ブレーキペダルを軽く何度も踏みポンピングはしないでください。ポンピングは ABS の動作を妨げ、制動距離を長くするおそれがあります。

⚠ 警告: 常に前の車との間に安全距離を保ち、危険な運転状況に注意してください。ABS は制

動距離を改善することができますが、物理法則を変えることはできません。ABS はハイドロブレーキング現象（水の層がタイヤと路面との直接の接触を妨げる現象）の危険を防ぐこともできません。

衝突が起こりそうな状況下で、自動緊急ブレーキが自動的に作動するよう設計されています（[自動緊急ブレーキ - 111 ページ参照](#)）。

⚠ 警告: 自動緊急ブレーキは、衝突を防止するように設計されたものではありません。最善の場合でも、走行スピードを落とすことによって正面衝突の衝撃を最小限にいくとめるにすぎません。衝突回避を自動緊急ブレーキに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

ブレーキの摩耗

Model X ブレーキパッドはウェアインジケーターを備えています。ウェアインジケーターは、ブレーキパッドに取り付けられた薄い金属片で、パッドが摩耗するとローターとの間でこすれてスキール音が鳴ります。このスキール音は、ブレーキパッドの耐用寿命が尽き、交換が必要であることを示します。ブレーキパッドを交換するには、Tesla サービスにお問い合わせください。

タイヤとホイールを取り外して定期的にブレーキを点検する必要があります。ローターおよびブレーキパッドの詳細仕様やサービス制限に関しては、[サブシステム - 179 ページ](#)を参照してください。さらに、Tesla では、冬季、凍結防止剤がまかれる道路では、毎年または 20,000 km 走行毎にブレーキキャリパーを清掃および潤滑することを推奨しています。

⚠ 警告: 摩耗したブレーキパッドを交換しないと、ブレーキシステムを損傷し、危険なブレーキ動作を招くおそれがあります。

回生ブレーキ

Model X が動いている時および足がアクセルから離れている時はいつでも、回生ブレーキによって Model X が減速し余剰な電力をバッテリーへと戻します。

停車に備えアクセルペダルから足を離して減速することで、回生ブレーキを利用して航続距離を伸ばすことができます。もちろん、回生ブレーキは安全のために必要とされる通常のブレーキの代わりになるわけではありません。

注: 回生ブレーキによって Model X が急に減速する場合（高速道路運転速度で足を完全にアクセルペダルから離している時など）、ブレーキランプが点灯し、周囲に減速していることを知らせます。

⚠ 警告: 特に「標準」設定時、またはスタッドレスタイヤを装着していない時、雪道や凍った道



路状況では、回生ブレーキ中に Model X にトラクションロスが生じる場合があります。Tesla では、雪道や凍った道路状況で車両の安定性を保てるように、「低」設定（回生ブレーキレベルを設定するには - 70 ページ参照）をご使用されることをお勧めします。

エネルギー アプリに回生ブレーキから得られるエネルギー量に関するリアルタイムのフィードバックが表示されます。ステアリングホイール上のスクロールボタンを使い「電力」を選択し、インストゥルメントパネルのいずれかのサイドにある電力計を表示することもできます（ハンドル - 52 ページ参照）。

回生ブレーキを利用してバッテリーに戻されるエネルギー量は、バッテリーの現在の状態と使用している充電レベルの設定によって異なる場合があります。たとえば、バッテリーがすでにフル充電されていたり、外気温が極度に低いと、回生ブレーキ動作が制限されることがあります。

注：回生ブレーキが制限されていると、パワーメーターに黄色い点線が表示されます。



回生ブレーキ レベルを設定するには

タッチスクリーンを使用して回生ブレーキのレベルを変更できます。

1. 「コントロール」 > 「運転モード」 > 「回生ブレーキ」の順にタッチします。
2. 2 つのレベルのどちらかを選択します。
 - **標準：**回生ブレーキのレベルを最大にします。アクセルを離すと、Model X が減速しブレーキ使用の必要性が低減します。
 - **低：**回生ブレーキを制限します。アクセルを離すと、標準設定時よりも、Model X が減速するのに長い時間を要し、惰性で進む距離が長くなります。

パーキング ブレーキ

Model X をパーキングへ切り替えた時、または他のギアへと切り替えた時、パーキングブレーキは自動的に作動します。



注：パーキングブレーキは後輪のみに作用し、ペダルブレーキシステムからは独立しています。

警告：特にスタッドレスタイヤを装着していない場合、雪道や凍った道路状況では、Model X が坂道で滑らないようにするための十分なリアホイールトラクションがない場合があります。積雪または凍結した場所での駐車は避けてください。安全に車両を駐車させることはドライバーの責任です。

警告：駐車するには道路が急傾斜過ぎる場合、またはパーキングブレーキが適切に作動していない場合、Model X にアラートが表示される場合があります。アラートはガイダンスを提供することを目的とし、特定の道路や天候条件などを含め、安全に車両を駐車するためにドライバーの判断を代わりに行うものではありません。車両を安全に駐車することができるかどうかの判断はこのアラートのみに頼らないでください。車両を安全に駐車させることはドライバーの責任です。

タッチスクリーンを使用して手動でパーキングブレーキを解除します（これは同時に Model X をニュートラルに切り替えます）。

1. 「コントロール」 > 「安全とセキュリティ」の順にタッチします。
2. ブレーキペダルを踏み、「パーキングブレーキ」にタッチします。前に Model X がパーキングに入っていた場合はそれをニュートラルに切り替えます。



タッチスクリーンを使用して手動でパーキングブレーキを適用する際には、「インストゥルメントパネル」上に赤いパーキングブレーキインジケーターが点灯します。



パーキングブレーキに電気上の問題が生じると、「インストゥルメントパネル」上部に黄色のパーキングブレーキインジケーターが点灯し、不具合発生メッセージが表示されます。



注意：万が一、Model X が電力を損失している場合、タッチスクリーンの操作やパーキングブ



ブレーキの解除ができません（[車両輸送者向け注意事項](#) - 参照）。Tesla にご連絡ください。



動作の仕組み

トラクションコントロールシステムは、フロントとリアのホイールの速度を常に監視しています。Model X のトラクションが低下すると、システムがブレーキ圧とモーターの電力を制御してホイールスピンを最小にします。初期設定ではトラクションコントロールシステムはオンになっています。通常の条件下では、安全性を最大にするためオンのままにしてください。



トラクションコントロールシステムがホイールスピンを最小限に抑えるためにブレーキ圧とモーター出力を制御している際には、「インストゥルメントパネル」上のこの黄色いインジケータが常に点滅しています。トラクションコントロールシステムに異常が検出されると、このインジケータが点灯します。Tesla サービスにお問い合わせください。

警告：上のインジケータがスリップスタートを有効にしていない状態で点灯したままの場合（次に示します）、トラクションコントロールシステムが正常に作動していない可能性があります。その場合は直ちに Tesla サービスにご連絡ください。

警告：トラクションコントロールシステムは、危険な運転や高速で急転回することで引き起こされる衝突事故を防止するものではありません。

ホイールのスリップを可能にする

スリップスタートを有効にすると、ホイールが一定の速度以下で回転するようになります。スリップスタートは、Model X が時速 48 km 以下の速度で走行している場合にのみ有効にすることができます。スリップスタートは、速度が時速 80 km を超えると自動的に無効になります。

通常時には、スリップスタートを有効にしないでください。ホイールを故意にスピンさせたいような場合にのみ有効にしてください。

- 砂利や雪などの緩い路面での発進。
- 深雪や砂、泥道での走行。
- 穴や深い轍からの脱出。

ホイールを回転させるには、「コントロール」>「運転モード」>「トラクションコントロール」>「スリップスタート」の順にタッチします。



インストゥルメントパネルにスリップスタートが有効になったことを知らせる警告メッセージが表示されます。

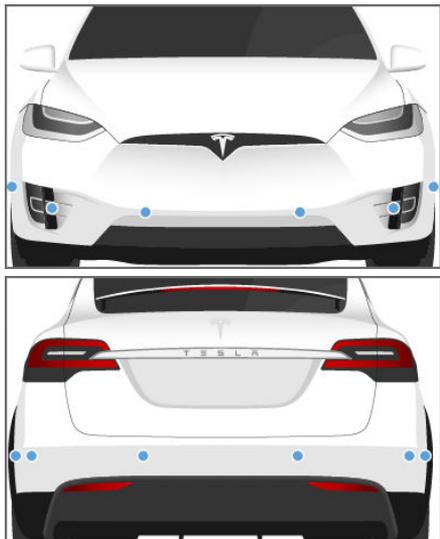
スリップスタートは次回 Model X を始動したとき自動的に無効になりますが、有効にする必要がなくなった場合はすみやかに無効にすることを強く推奨します。

注：トラフィックアウェアクルーズコントロールを使用しているときは、スリップスタートを有効にすることはできません。

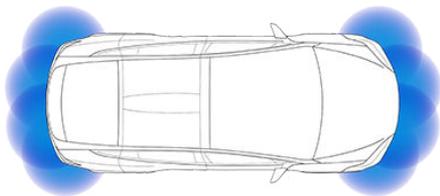
パーキングアシストの動作原理

Model X には、近くの物体の存在を検出するためのセンサーがいくつか搭載されています。ドライブまたはリバースでゆっくり動いているときに（例えば、駐車時）、Model X の近くに物体が検出されると、センサーが警告を発します。物体は選択されているギア方向でのみ検出されます（ドライブでは前方にある物体、リバースでは後方にある物体）。

⚠ 警告： Model X が選択されているギア方向の反対方向に勝手に動き出した場合は警告されることがあります（例えば、上り坂でドライブにシフトしているときに Model X が後ろに下がった場合は警告されません）。



時速 8 km 未満で運転すると、センサーが作動します。



注： センサーが検出されたり、Model X が牽引モードの場合、リヤセンサーは無効になります。

⚠ 警告： 近づいている場所に物体があったり人がいたりするかどうかを調べるときに、パーキングアシストに頼らないでください。外部要因によってパーキングアシストの性能が低下し、センサーが読み取り不能になったり読み取り

エラーが生じる場合があります（[制約と誤警告](#) - 74 ページを参照）。したがって、Model X が障害物に近づいているかどうかをパーキングアシストに頼って判断すると、車両や物品を損傷したり、大けがの原因となるおそれがあります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、パーキングアシストはお子さま、歩行者、自転車、動物、または移動したり突起している物体、センサーのはるか上または下にある物体、センサーのすぐ近くもしくは離れたところにある物体を検出できません。パーキングアシストは誘導のみを目的としており、運転者自身の直接の目視による確認を肩代わりすることは意図していません。パーキングアシストは注意深い運転に代わるものではありません。

視覚的、聴覚的フィードバック

リバースにシフトすると、インストゥルメントパネルの左側にパーキングアシストビューが現れ、Model X の前後の直近位置に存在する物体を表示します。Model X の前方に物体が検出されていない状態でドライブにシフトし、速度が時速 8 km を超えると、自動的にパーキングアシストビューが終了します。バックしているとき、視覚的フィードバックもタッチスクリーンのカメラビューの真下に表示されます（[リアビューカメラ](#) - 80 ページを参照）。タッチスクリーンの左上隅にある X にタッチすると、手動でパーキングアシストビューを終了できます。

タッチスクリーンにカメラアプリを表示し、時速 8 km 以下で運転している場合、パーキングアシストビューに切り替えることができます。カメラアプリウィンドウの左上隅にあるボタンをタッチしてください。縦列駐車の手助けが必要な場合に便利です。

チャイムがオンになっていれば（[チャイムによるフィードバックの調整](#) - 74 ページを参照）、物体に近づいたときにピープ音が鳴ります。ハンドルの左にあるスクロールホイールを押すかパーキングアシストビューの左下隅にあるミュートボタンをタッチすると一時的にチャイムをミュートすることができます。

注： センサーがフィードバックを出力できない場合は、インストゥルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

⚠ 注意： センサーに泥、ゴミ、雪、氷が付着しないように注意してください。高圧洗浄機をセンサーに使用しないでください。センサーの表面を傷つけたり損傷したりするおそれのある尖ったものや研磨剤でセンサーをクリーニングしないでください。



- ⚠ **注意**：パーキング センサーの上または近くにアクセサリーを取り付けたりステッカーを貼ったりしないでください。

チャイムによるフィードバックの調整

パーキングアシストを使用するときの音によるフィードバックをオン/オフすることができます。チャイムをオン/オフするには、「コントロール」>「安全とセキュリティ」>「パーキングアシストチャイム」の順にタッチします。

一時的にチャイムをミュートするには、ハンドルの左側にあるスクロール ホイール/スクロール ボタンを押すか、パーキングアシスト ビューにあるミュート ボタンをタッチしてください。その場合、チャイムは、他のギアにシフトするまで、または速度が時速 8 km を超えるまでミュートされます。

制約と誤警告

以下の場合にはパーキング センサーが正しく機能しないことがあります。

- 1 つまたは複数のパーキング センサーが損傷していたり、汚れていたり、(泥、氷、雪などで) 覆われていたりする場合。
- 物体がおおよそ 20 cm 下方にある場合 (縁石や低い柵など)。
- ⚠ **注意**：高さがない物体 (縁石や低障壁など) は、センサーの死角に入ることがあります。Model X 物体がセンサーの死角にある間は、その物体について警告することはできません。
- 気象条件 (豪雨、降雪、濃霧) がセンサーの動作に干渉している場合。
- 物体が薄い場合 (道路標識など)。
- センサーの動作範囲を超えている場合。
- 物体が音を吸収する場合またはやわらかい場合 (粉雪など)。
- 物体が傾斜している場合 (傾斜している土手など)。
- Model X 外気温度が極端に高いまたは低い環境で駐車したり運転した場合。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- センサーの超音波が車両に反射するような場所 (壁や柱のすぐ横など) を走行している場合。
- 物体がバンパーに近すぎる場合。
- バンパーがずれている場合または損傷している場合。
- Model X に取り付けられている物体 (バイクラックやバンパー ステッカーなど) がセンサーを妨害または遮蔽している場合。

- Model X が選択されているギア方向の反対方向に勝手に動き出す場合 (例えば、上り坂でドライブにシフトしているときに Model X が後ろに下がるなど)。

その他のパーキング補助装置

パーキングアシストによる補助に加えて、リバースにシフトするとバックアップカメラに Model X の周囲の映像が表示されます ([リアビューカメラ](#) - 80 ページを参照)。



Model X が停止したときに、ブレーキペダルから足を離したあとも、オートブレーキホールドにより、ブレーキをかけ続けるようにすることができます。坂道を登っているときまたは平坦な道で、通常通りにブレーキをかけます。完全停止後、ブレーキペダルを押すだけで（インストゥルメントパネルにホールドインジケータライトが表示されるまで）、オートブレーキホールドをかけられます。これで、坂道でブレーキペダルから足を離したとしても車両は動きません。

- (H) このインジケータは、Model X のオートブレーキホールドが作動しているときは常にインストゥルメントパネルに表示されます。

オートブレーキホールドを解除するには、アクセルペダルを押すか、ブレーキペダルを押して離します。

注：ギアをニュートラルにシフトしてもホールドは解除されません。

注：走行用のギアに入れたまま、Model X のブレーキを約 10 分間有効にしておくと、Model X はパーキングにシフトされブレーキホールドはキャンセルされます。Model X また、ドライバーが車両を降りたことを検知した場合にもパーキングにシフトされます。

お客様の Model X で利用できる加速設定は、購入時に装備したオプションにより異なります。

- **コンフォート**：滑らかで乗り心地を優先するよう加速を制限します（オートパイロットハードウェアを搭載したすべての車両で利用可能）。
- **標準**：通常レベルの加速を提供します（非パフォーマンス四輪駆動仕様車）。
- **スポーツ**：通常レベルの加速を提供します（パフォーマンス四輪駆動仕様車で利用可能）。
- **インセイン**：ピークトルクを約 30% 増加させます（Ludicrous アップグレードを装備していないパフォーマンス四輪駆動仕様車で利用可能）。
- **Ludicrous**：ピークトルクを約 60% 増加させます（Ludicrous アップグレードを装備しているパフォーマンス四輪駆動仕様車で利用可能）。
- 理想的なバッテリー動作温度までバッテリーを温め、確実に 100% の電力を利用できるようにしながら、**インセイン+**：がおおよそ 30 パーセントまでピークのトルク値を上昇させます（Ludicrous アップグレード装備のないパフォーマンス 全輪駆動車両でご利用いただけます）。本設定を選択する前に、**インセイン+または Ludicrous+を使用する** - 76 ページに関してお読みください。
- **Ludicrous+**：理想的なバッテリー動作温度までバッテリーを温め、確実に 100% の電力を利用できるようにしながら、おおよそ 60 パーセントまでピークのトルク値を上昇させます（Ludicrous アップグレード装備のパフォーマンス全輪駆動車両でご利用いただけます）。本設定を選択する前に、**インセイン+または Ludicrous+を使用する** - 76 ページに関してお読みください。

注：コンフォートは航続距離を向上させることはありませんが、インセインまたは Ludicrous モードでトルクとパワーを増加させると、航続距離と効率が低下します。

注：コンフォートが選択されると、インストルメントパネルに表示される運転速度の上に「コンフォート」が表示されます。

これに加え、パフォーマンス四輪駆動仕様の Model X にはローンチモードが装備され、トラクションが良好な路面で最高の加速を実現します。ローンチモードを使用する際の具体的な運転説明は、**ローンチモード** - 76 ページをご参照ください。

加速モードを選択するには、「**コントロール**」 > 「**運転モード**」 > 「**加速**」の順にタッチします。

インセイン+または Ludicrous+を使用する

インセインまたは Ludicrous を選択すると、直ちに出力が増加します。ただし、絶対的な最大電力（短時間利用設計）を発揮するために、**インセイン+**または **Ludicrous+**を選択でき、バッテリーをその理想的な動作温度まで温めます。これにより、確実に 100% の電力を利用できるようになります。バッテリーの加熱は 1 時間強かかりますが、環境条件や Model X が運転されているかどうかによって変わります。

バッテリーを温めている最中、タッチスクリーンにはおおよその待ち時間、いつ追加の電力を利用できるかを知らせるメッセージが表示されます。

注：インセイン+および Ludicrous+は、短時間の加速を最大限に発揮するように設計されています。これらの設定は、日常運転での利用を想定したものではありません。出力が増大する代わりにエネルギーが余分に消費されるため、最大出力モードでの走行を長く続けるほど電力消費量が増大します。インセイン+または Ludicrous+設定を選択していない時でも、インセインまたは Ludicrous の加速設定では、著しくパフォーマンスが上昇し、最大のバッテリーパワーを発揮します。実際に、通常の運転状況下では、インセイン+または Ludicrous+を利用してさらにパワーを発揮することができますが、ほとんど気づきません。

注：インセイン+または Ludicrous+を対応させるには、充電レベルが 20% 以上でなければいけません。充電レベルが 20% 以下の場合、本設定を初期化することはできません。さらに、使用中に充電レベルが 20% 以下になった場合、本設定は直ちにキャンセルされます。

インセイン+または Ludicrous+の使用時、バッテリーを最適な温度範囲内に保つために Model X はより多くの電力を消費します。

インセイン+または Ludicrous+をキャンセルする時には、加速レベルを他の設定に変更します。過剰な電力消費や不必要なエネルギー消費（例えば、車両を放置してインセイン+または Ludicrous+のキャンセルを忘れるなど）を防ぐために、運転中か車両降車後かに関わらず、本設定は自動的に 3 時間でキャンセルされます。

注：インセイン+または Ludicrous+では、バッテリーを最適な温度範囲内に保ちます。バッテリーを温めるだけでなく、本設定では必要に応じてバッテリーを冷却します（例：高速運転時、急速な加速の間、長時間の運転時など）。

ローンチモード

パフォーマンス四輪駆動仕様車のみで利用できるローンチモードは、トラクションが良好な路面で最高の加速を実現します。



注：ローンチモードの使用などで急激な加速を行うと、車両のパワートレインへの負荷が増すため、コンポーネント各部の摩損および疲労が進みます。Model X パワートレインの疲労具合や損傷などがないかを継続的に監視し、整備が必要なコンポーネントがあればお知らせします。

⚠ 警告：ローンチモードは交通の妨げにならず、歩行者のいない適切な状況下に限り使用してください。ローンチモードはレースサーキット場での走行のために設計されています。ドライバーは、他の道路使用者への危険行為および迷惑行為にならないように、運転方法および加速に責任を持つ必要があります。

ローンチモードを作動させる

1. 数分間運転をし、さらにブレーキを数回使用して、ブレーキを少し温めておきます。
2. エアサスペンションが「**低**」または「**最低**」に設定します（[エアサスペンション](#) - 140 ページを参照）。
3. 「**インセイン**」または「**Ludicrous**」に加速レベルを設定し、「**バッテリー出力最大化**」を有効にします。

注：ローンチモードは、「**バッテリー出力最大化**」が有効になったらすぐに使用することができます。バッテリー出力最大化が READY 状態になるのを待つ必要はありません。

4. Model X のシフトを「D」位置にし、完全に停止している状態でハンドルをまっすぐにし、ブレーキペダルを左足でしっかりと奥まで踏み込みます。
5. 左足でブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルを右足でしっかりと奥まで踏み込んでからアクセルペダルを離します。インストルメントパネルに、ローンチモードが有効になったことを示すメッセージが表示されます。
6. 8 秒以内に、アクセルペダルをもう一度しっかりと奥まで踏み込んでモータートルクを引き上げ、4 秒以内にブレーキを離します。

ブレーキを離すと、Model X が前方に出ます。

注：でスリップスタートがオン（ホイールのスピンを許す）場合、起動モードは利用できません。[トラクションコントロール](#) - 72 ページを参照してください。

注：ローンチモードは、周囲温度が 3° C 以上の場合にのみ利用できます。



走行情報を表示する

「コントロール」>「走行データ」の順にタッチすると、タッチスクリーン上に走行情報が表示されます。現在の走行データとして、距離、期間、平均エネルギー使用量を表示できます。前回の充電以降の距離とエネルギーの総使用量および平均使用量、さらにこの後の走行についてのエネルギーの総使用量および平均使用量も表示できます。

トリップに名前を付ける、あるいは既存の名前を変更するには、トリップ名をタッチしてからトリップの新しい名前を入力し、最後に**保存**を押します。特定の走行データのメーターをリセットするには、対応する**リセット**にタッチします。

最大3つまでのトリップの情報をインストールメントパネルに表示できます。チェックボックスを使って表示させたいトリップを指定します。次にハンドルのスクロールバーを使って選択したトリップを表示します（[ハンドルの左ボタンを使用する - 52 ページ](#)または[ハンドルの右ボタンを使用する - 53 ページ](#)を参照）。

オドメーター

オドメーターを表示させるには、タッチスクリーンの最上部中央の Tesla の「T」をタッチします。

航続距離を最大限に伸ばすヒント

ガソリンエンジン車で燃料を節約するのと同様の運転方法で航続距離を最大限に伸ばすことができます。運転方法に加えて、エネルギー消費は環境条件（極度に寒いまは暑い気候や急な起伏のある道路での走行など）により左右されます。1回の充電で最大限の航続距離を確保するには以下の点に留意してください：

- 運転速度を落とし、急激および頻繁な加速を避けてください。
- 安全な場合は、ブレーキペダルを使用する代わりにアクセルペダルを調整して速度をゆっくり下げます。アクセルペダルを踏まずに Model X を走行している際は、常に回生ブレーキが Model X を減速させ、余剰エネルギーをバッテリーに戻します（**回生ブレーキ** - 69 ページを参照）。
- タイヤは推奨空気圧を維持してください（**タイヤの手入れと保守** - 160 ページを参照）。
- 必要のない荷物は車両から降ろして、負荷を軽減します。
- すべてのウィンドウを閉じます。
- ヒーター、エアコンなどの電装品の使用を抑えます。キャビン内を暖房するより、シートヒーターを利用するほうが効果的です。バッテリーやキャビンエリアの温度調整システムが使用する電力量を自動的に制限するには、「**コントロール**」 > 「**運転モード**」 > 「**レンジモード**」の順にタッチします。

インストゥルメントパネルの電力メーターとエネルギー アプリ（次項で説明）が電力使用量についてのフィードバックを表示します。このフィードバックで運転習慣と環境条件が Model X のエネルギー消費量に与える影響を確認することができます。

エネルギー アプリ

エネルギー アプリを使用すると、リアルタイムのエネルギー使用量を表示できます。消費量チャートは、Model X が過去 10、25、または 50 km で消費したエネルギー量を表示します。

平均値 ボタンをタッチして、過去 10、25、または 50 km でのエネルギー消費量の平均値を示すグラフを表示します。平均値とエネルギー消費量データは、予想航続距離を計算するために使用されます。**瞬間値** をタッチして、直前の数データポイントでのエネルギー消費量のグラフを表示します。瞬間値とエネルギー消費量データは予想航続距離の計算に使用されます。

エネルギーの節約

Model X Model X には省エネ機能があり、使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。世代の新しい車両では、この機能は自動化され省エネモードが最適されています。一方、世代の古い車両では、「**コントロール**」 > 「**ディスプレイ**」 > 「**省エネモード**」の順にタッチし、以下のオプションを選択します。

- **オフ** - 夜間（午後 10 時から朝 5 時まで） Model X が省エネモードに移行します。
- **オン** - Model X を使用していないときのエネルギー消費はかなり少なくなります。インストゥルメントパネルと Bluetooth の起動が遅くなります。
- **常に接続** - 省エネモードが機能しているときも電池の接続を維持します。このオプションにより、モバイルアプリと Model X の接続が速くなり、車に乗ってからすぐにインターネット接続が可能です。電力消費量は若干多くなります。

航続距離の保証

Model X ドライバーをエネルギー切れから守ります。Model X 常にエネルギー レベルと最寄りの充電ステーションをモニターします。

地図の充電アイコンをタッチして、スーパーチャージャーのみを表示するか、目的地的充電ステーションおよび利用した充電ステーションを含むすべての充電ステーションを表示するかを切り替えることができます。

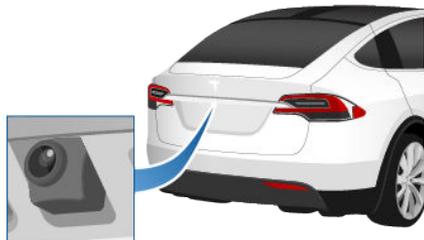


既知の充電ステーションの範囲外に出ようとする、タッチスクリーンにメッセージが表示されて、範囲内にある充電ステーションのリストを表示するかどうかを尋ねます。充電場所をリストから選択する時、Model X がナビゲーションの指示とターンバイターン経路リストを表示し、充電場所に到着するまでのエネルギーの残量を予想します。



カメラ位置

Model X 後部ナンバープレートの上にリアビューカメラが搭載されています。



ギアをリバースに入れると、このカメラの画像がタッチスクリーンに表示されます。ステアリングホイールの位置に応じてラインが運転方向を示します。ステアリングホイールを動かすにつれて、これらのラインは適切に調整されます。

注：インストルメントパネルにパーキングセンサーからの視覚的フィードバックが表示されます（パーキングアシスト - 73 ページを参照）。

カメラからのビューを表示するには：



アップ ラウンチャーを開いてカメラアイコンをタッチします。

警告：車両をバックする際に、車両の背後に人がいるか、または障害物があるか、リアビューカメラの映像だけで判断しないでください。このカメラでは、車両への損傷や人身事故につながる可能性のある障害物や人を検出できない場合があります。また、カメラの検出能力はレンズの汚れや視界の遮断など、いくつかの外的要因によって低下することがあります。このため、リアビューカメラによってのみ Model X の背後に障害物があるかどうかを確認するのは、車両や物品の損傷、さらには重大な人身事故につながる危険性があります。必ずご自分の目で確認してください。バックするときは、後ろを振り返り、すべてのミラーを使用するようにし、カメラは補助としてご利用ください。カメラは目視確認の代わりおよび安全運転にとって代わるものではありません。

カメラのクリーニング

カメラのレンズはできるだけ鮮明な画像が得られるように清潔に保ち、視界が遮られないようにしてください。たまってくるゴミは、ときどき湿らせた軟らかい布でカメラのレンズを拭いて取り除いてください。

注意：薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。これらを使用すると、カメラレンズの表面に傷がつく可能性があります。

車載カメラについて

注: ダッシュカムは、ベータ版の機能です。

オートパイロット機能をサポートするのに加え、カメラが動画映像を録画し USB フラッシュドライブに保存します。これにより、衝突事故などが発生した場合など、特定の状況を動画記録に残すことができます。動画の一時停止や録画再開または保存は、車両のタッチスクリーンから直接操作を行うことができます。

注: ダッシュカムを使用して動画を記録するとき、地域の法規、条例、および場所によって適用される撮影制限などに従うことはユーザーの責任です。ダッシュカムは外部のみで音声を録画しません。

注: 車載カメラは、特定の販売地域または 2017 年 8 月 1 日以前に製造された車両で利用できない場合があります。

注: 車載カメラは、Model X の電源が入っているときのみ記録します (始動と電源オフ - 56 ページを参照)。車両の電源が入っていないときは動画を記録しません。

車載カメラの使用

ダッシュカムには、FAT32 形式の専用フラッシュドライブが必要ですが (NTFS および exFAT は現在非対応です)。フラッシュドライブを車載カメラで使用する前に、「TeslaCam」(括弧は含みません) という名前のルートレベルのフォルダをフラッシュドライブに作成する必要があります。このフォルダは Model X が動画ファイルの保存先とするために必要で、このフォルダなしでは車載カメラは機能しません。

必要なフォルダを対応するフラッシュドライブに追加した後、車両の前面 USB ポートに挿入します (荷室容量と電気系統 - 22 ページを参照)。後部座席の USB ポートは携帯電話の充電用です。車載カメラには使用できません。Model X がフラッシュドライブを認識すると (15 秒程度かかる場合があります)、車載カメラアイコンがタッチスクリーン上部のステータスバーに表示され、車載カメラは自動的に録画を開始します。

車載カメラアイコンをタッチして、車載カメラを操作します。



録音しています。 一時停止の状態では、ダッシュカムアイコンをタップすると、フラッシュドライブに録画を開始します。ダッシュカムカメラは、過去の動画を上書きする前に約 1 時間の記録動画をフラッシュドライブに保存します。



一時停止。 録画を一時停止するには、ダッシュカムアイコンを長押しします。フラッシュドライブを引き抜く前に、録画ファイルを損傷することを防ぐために、ダッシュカムが一時停止されていることを確認してください。



保存済み。 録画中にダッシュカムカメラアイコンをタップすると、過去 10 分間の動画記録をアーカイブします。動画ファイルにはファイル名に時刻がつけられて保存されます。保存された動画が新たに上書きされることはありません。

ダッシュカムカメラの動画記録にアクセスするには、フラッシュドライブを外し、パソコンを使用して「TeslaCam」フォルダ内の動画にアクセスします。

⚠ 注意: 一時停止せずにフラッシュドライブを外したり、12V バッテリーの電力を失うと過去 60 秒程度の動画を失う恐れがあります。

⚠ 注意: フラッシュドライブは、ダッシュカム専用にお使いください。フラッシュドライブをメディアファイルの再生に使用することはできません。万が一個人的なファイルを喪失してしまったとしても Tesla は責任を負うことはできません。

注: フラッシュドライブはできるだけ多くの保存領域があるものを使用することが推奨されます。10 分程度の動画には約 1GB の保存領域が必要で、1 時間の動画では約 8GB の保存領域が必要となります。フラッシュドライブに十分な保存領域がない場合、「X」がダッシュカムアイコンの上に表示され、動画ファイルが保存できない場合があります。

注: カメラの制限事項およびお手入れ方法に関する情報については、[オートパイロットについて](#) - 92 ページをご参照ください。最適な状況で使用するには、カメラとフロントガラスの視界を確保するようにしておいてください。



Model X は、空力抵抗を低減するためのリア スポイラーを装備しています。Model X にアクティブ スポイラーが装備されている場合は、Model X の状態と速度によってスポイラーの位置が変わります。

- Model X のギアがリバースに入っているかまたは走行速度が時速 16 km 未満の場合は、Model X の背後の視界を最大限確保します。
- 運転速度が 72 km/h を超えると、スポイラーが最も効果的なエアロダイナミクスを実現する位置まで下がります。
- Model X の電源を切り、ロックすると、スポイラーは格納されます。

上述のようにスポイラーを自動的に動かすには、「コントロール」>「サービス」>「スポイラー」>「自動」の順にタッチします。スポイラーの自動的な動作を止め、延長位置で保持するには、「延長」設定を選択します。

注：スポイラーを自動昇降できない場合は、インストゥルメントパネルに警報が出ます。Tesla サービスにお問い合わせください。

牽引パッケージを使用すると、Model X でトレーラーを牽引できるようになります。また、アクセサリーキャリアをヒッチに取り付けると、スキーやスノーボードなどの運搬ができます。

アクセサリーの積載

Model X の牽引パッケージには、50 mm ボールカップリングが含まれています。

ボールカップリングは、最大 54 kg の垂直荷重を支持できるように設計されています。Model X のヒッチで自転車その他の物を運搬するときは、最大重量を超えていないことを必ず確認してください。重量計算では、必ずアクセサリーキャリア自体の重量も含めてください。例えば、キャリアの重量が 14 kg だとすると、それぞれ約 20 kg の自転車 2 台、またはそれぞれ約 10 kg の自転車 4 台を積載できると判断できます。

⚠ 注意： Model X のヒッチは、最大 54 kg を支持できるように設計されています。この最大重量を超えると、重大な損傷を引き起こす危険があります。

⚠ 注意： 牽引パッケージを装備していない Model X にキャリアを取り付けようとしてください。重大な損傷が生じる可能性があります。

アクセサリーキャリアを取り付けるには、牽引ヒッチを接続する必要があります ([けん引ヒッチの接続](#) - 88 ページ参照)。作業はアクセサリーキャリアに付属の取扱説明書に従って行ってください。お客さまの地域でアクセサリーの積載に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。

Model X の牽引パッケージには、ライト付きアクセサリーキャリアを使用するうえで必要なワイヤーが含まれています ([電気系の接続](#) - 90 ページを参照)。また、パッケージには、けん引モードソフトウェア ([けん引モード](#) - 85 ページを参照) も含まれています。



アクセサリーキャリアのワイヤーハーネスを接続すると、Model X はトレーラーライトの接続を検出し、対応のインジケーターがインストルメントパネル上で点灯します。けん引モードは無効になります。

アクセサリーを運搬するときは、アクセサリーキャリアと積載物の取り付け状態が安定していること、および可能ならば、アクセサリーキャリアのライトが正常に動作していることを定期的に確認してください。

注： Model X 用アクセサリーを購入するには、www.tesla.com にアクセスしてください。サードパーティーの製品もありますが、Tesla は Tesla 認定品を推奨し、また Tesla 認定品のみをサポート

します ([部品とアクセサリー](#) - 173 ページを参照)。入手可能な Model X 用アクセサリー製品は販売地域によって異なります。Tesla ブランド以外のキャリアを取り付けたい場合は、事前に製品情報を見て互換性を確認してください。

注： 使用しない時は、ヒッチを取り外し、錆や腐食を防止するために乾燥した場所に保管してください。ヒッチのハウジングにダストカバーをかけ、ほこりやごみが入らないようにしてください ([牽引ヒッチの取り外し](#) - 90 ページ参照)。

⚠ 注意： キャリアを取り付けると、リアビューミラーからリアカメラやリア側の超音波センサーが見えなくなることがあります。さらに、一部のオートパイロット機能が期待どおりに働かなくなることがあります。

⚠ 警告： Tesla は、アクセサリーキャリアの取り付けおよび使用の結果発生した損害または人的傷害、アクセサリーキャリアに付属の取扱説明書における抜け、または取扱説明書に従わなかったことについては責任を負いません。アクセサリーキャリアの使用によって生じた損傷は保証対象にはなりません。



牽引能力

総牽引重量 (積み荷や付加機器を含めたトレーラー重量) およびトレーラー タングの重量は以下の上限を超えないようにしてください。

タイヤ	最大牽引能力*	最大ヒッチ荷重**
20" または 22"	2250 kg	90 kg

*Tesla は、積載重量が 450 kg を超えるトレーラーには個別のブレーキ系を推奨しています。このブレーキ系はトレーラーの重量に適合していなければなりません。トレーラー用ブレーキのメーカーが提供する説明書に従って、トレーラーブレーキが適切に取り付けられ、正しく調整、維持されるようにしてください。

**タンク荷重とは、トレーラーの重量がヒッチにかかる下向き荷重のことです。これはトレーラー荷重の 4% 未満でなければなりません。牽引車両に載せる荷物や乗員、積み荷の量が多い場合は、許容されるタンク荷重が減少することがあり、その場合は最大牽引能力も減少します。最大牽引能力は、GVWR (Gross Vehicle Weight Rating、車両総重量定格) を超えない前提で計算します。GVWR は、法定プレート (法定プレート - 176 ページ参照) に印字されています。

牽引時のタイヤ空気圧

トレーラーを牽引する場合、タイヤ空気圧はその負荷荷重に適合するように調整してください。以下に示す空気圧までタイヤに空気を入れてください（この数値はタイヤと荷重情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧に優先します）。

前輪	後輪	タイヤ空気圧 (冷間時)
245/45R19	245/45R19	45 psi (310 kPa)
255/45R20 265/45R20	275/45R20	46 psi (320 kPa)
265/35ZR22	285/35ZR22	50 psi (345 kPa)

⚠ 警告：タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用してタイヤ空気圧をチェックしてください。1.5 km 走行すると、タイヤが十分に加温されてタイヤ空気圧に影響を及ぼします。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。

⚠ 警告：Model X のタイヤに異常があるかまたはタイヤリペアキットで空気を入れた場合には、トレーラーを牽引することはできません。応急修理されたタイヤは、けん引荷重に耐えられません。異常があるか応急修理されたタイヤによる牽引は、故障あるいは車両の安定性を損なうことがあります。

トレーラーを牽引する前に

トレーラーを牽引する前に、以下を実行する必要があります。

- 「牽引時タイヤ空気圧」で指定された冷間時タイヤ空気圧になるまでタイヤに空気を入れる。
- サスペンションを標準高に設定（「コントロール」>「車高」>「標準」をタッチ）します。
- お客様の地域でトレーラーの牽引に適用されるすべての規制、法的義務を守ってください。規制に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。
- ブラインドスポットが大きくなるよう、リアの視界がよく見えるようにサイドミラーを調整する。
- 「牽引モード」に設定します。（けん引モード - 85 ページを参照）。

以下を確認します。

- Model X が、取り付けられたトレーラーと水平になっている。車両正面を上げて車両後部を下げる場合、運搬能力に記載の最大牽引能力や最大ヒッチ荷重を超えないよう確認してください。
- トレーラー ヒッチの部品や付属品と電気コネクタ（もしあれば、リバースライトやフォグランプなど）すべてに不具合がなく、正しく接続されている。問題がある場合は、トレーラーをけん引しないでください。
- トレーラーの灯火類が正しく点灯することを確認してください（ブレーキ灯、方向指示灯、標識灯）。
- トレーラー タングがヒッチ ボールにしっかりと接合されている。
- 積み荷がすべて固定されている。
- 車輪輪止めを使用できます。
- トレーラー タング荷重が総けん引重量の約 4% で、「運搬能力」に示す最大タング荷重を超えないようにトレーラー荷重が均等に分散されている。

⚠ 警告：トレーラー タング荷重は、総けん引重量の約 4% にし、「運搬能力」に示す最大タング荷重を超えないようにしなければなりません。荷重はタイヤに均等に加わり、リアに片寄るとトレーラーがふらつき、車両のコントロールを失う結果となります。

⚠ 警告：トレーラー内で積み荷がしっかりと、動かないように固定されている。荷重が状況によって変化すると、車両のコントロールを失う結果となり、深刻な怪我や死亡につながる可能性があります。

けん引モード

トレーラーを牽引している時は、常に牽引モードを動作させてください。トレーラーの電氣的接続を繋げると、Model X は自動的にトレーラー モードを有効にします。トレーラーの電氣的接続を切断すると、けん引モードは無効になります。牽引モードに入る、あるいは牽引モードから出るには、タッチスクリーンで「コントロール」>「運転モード」>「けん引モード」をタッチしてください。以下のいずれかがインストールメントパネルに表示されます。



けん引モードが有効です。



Model X はトレーラー灯火類の接続を検出していますが、牽引モードが無効になっています。アクセサリが接続されている可能性があります。



Model X は、トレーラー灯火類の電気接続不良を検出しました。いくつかあるいはすべてのトレーラー灯火類が点灯していない恐れがあります。なるべく早く安全に停車して、トレーラーの灯火類のケーブルや接続に不良がないかを点検してください。問題が解決されたにも関わらずアイコンが赤色のままの場合は、牽引モードを一度オフにして再度オンにしてください。

注: Model X が過大な負荷を検出した場合は、トレーラーが接続されたら認識し、自動的に牽引モードになります。牽引モードになったことを知らせるため、インストールメントパネルにメッセージが表示されます。過大な負荷を検出したことでけん引モードに自動的に入った場合、けん引モード設定を変えるには Model X を停車させ、ギアをパークまたはニュートラルに入れ、タッチスクリーンを用いて手動でパーキングブレーキをかけます(「コントロール」>「運転モード」>「E ブレーキと電源オフ」>「パーキングブレーキ」)。

牽引モードが有効になっているとき、一部のオートパイロット機能(オートステアリング、サモン、レーンアシストなど)およびパーキングアシストセンサー機能などが使用できない場合があります。さらに、これらの機能は異なる動作をすることがあります。

- トラフィック アウェア クルーズ コントロールは、前方にある車との車間距離を増やします。
- エアサスペンションシステムでは、標準から低へ速度に応じて調整されることはありません。
- エアサスペンションシステムは、保存済みの場所に基づいて、車高を自動的に上げることがありません。
- 側方衝突警告は作動しますが、ステアリング自動介入は無効になります。
- 自動緊急ブレーキ(衝突回避アシスト - 110 ページを参照)による制動力は大幅に制限されます。

警告: Model X がトレーラーを検出して自動的に牽引モードに入るとはいえ、それに任せっきりにはしないでください。トレーラーを引く前に必ず、牽引モードになっていることを常に確認してください。

警告: トレーラーを牽引している時には、いかなる状況でも牽引モードを終了してはなりません。大けがまたは死亡事故につながる可能性があります。

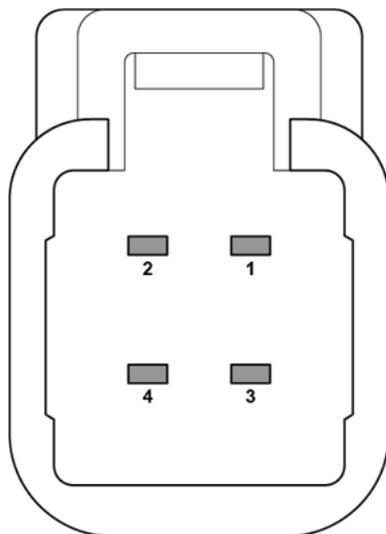
警告: ヒッチの高さとトレーラーの高さを適切に合わせるために、サスペンション設定を使用しないでください。

トレーラーブレーキ

積載重量が 450 kg を超えるトレーラーを牽引する場合は、トレーラーにその重量に適した個別のブレーキ系を備えることを Tesla は推奨しています。地域の法規制に適合させてください。

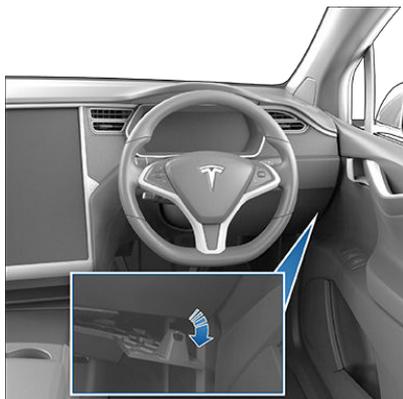
ブレーキコントローラーを接続するには次の手順に従ってください。

1. ブレーキコントローラーの配線を、Model X に付属の 4 ピンピッグテイルコネクタの適切な場所に接続します。

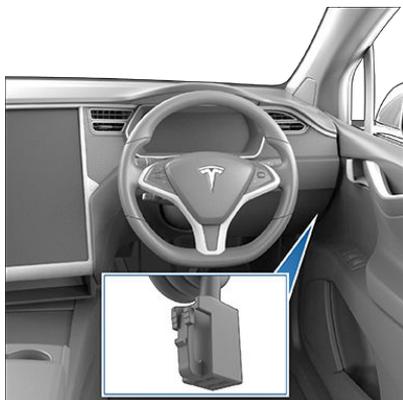


- 1 - トレーラーへのブレーキコントロール出力
- 2 - アース
- 3 - ブレーキオン信号
- 4 - 12V 電源 (20A)

2. 運転席側足元のダッシュボード下にあるカバーを外してください。



3. カーペットをめくって Model X のワイヤーハーネスにある 4 ピンコネクタを露出させます。



4. ビッグテイル コネクタを車両の配線コネクタに接続します。

- ⚠ 警告：**牽引時には、トレーラー自信にブレーキ系が備わっていたとしても制動距離が長くなります。牽引時には、車間距離を増やし、急ブレーキをかけることがないように留意してください。事故につながる危険があります。

- ⚠ 警告：**トレーラーの牽引およびブレーキの必要条件に関して地域または国で定められているすべての規制、法的義務を遵守してください。多くの地域で、トレーラーが車両から離れた場合にトレーラーのブレーキを作動させる、ブレーキアウェイスイッチをトレーラーのヒッチ部に装着することが求められています。規制

に従わないと、ご自身の安全に問題が生じる場合があります。

- ⚠ 警告：**トレーラー用ブレーキのメーカーが提供する説明書に従って、トレーラーブレーキが適切に取り付けられ、正しく調整、維持されるようにしてください。Tesla はトレーラーのブレーキ系の取り付け不良による損害には責任を負いません。

- ⚠ 警告：**トレーラーのブレーキを車両のブレーキ系に直結しないでください。車両とトレーラーに損傷を与え、ブレーキ系の誤動作を招き、大けがまたは死亡につながる可能性があります。

けん引ガイドライン

Model X は基本的には乗員を運ぶ車両として設計されています。トレーラーを牽引すると、エンジン、ドライブトレイン、ブレーキ、タイヤ、およびサスペンションにさらに負荷がかかり、航続距離が大幅に減少します。トレーラーを牽引しようとする場合には、次のガイドラインを留意し、従ってください。

- 走行速度を下げ、急激な操作を防止します。トレーラー牽引時にはトレーラーをつながない時に比べて、ステアリング、安定性、回転半径、制動距離、ブレーキ性能といった面に大きな違いがあります。
- 前方車両から最低 2 倍の距離を維持し、車間距離を十分に開けてください。これにより、急ブレーキの必要性を減らすことができます。急ブレーキをかけると、スキッドやジャックナイフが発生させ、コントロール不能に陥る場合があります。
- 急激に曲がらないようにしてください。急な旋回をすると、トレーラーが車両に接触し、損傷の原因となる可能性があります。トレーラーの車輪は車両の車輪より旋回の内側を通ることに注意してください。そのため、トレーラーが道路の縁石や標識、木々やその他の物に触れないように大きく旋回してください。
- トレーラーの灯火類、方向指示器の電球が切れていないことを定期的に点検してください。トレーラーを牽引する場合、トレーラーの電球が切れていても、車両の計器クラスター上のウィンカーは正常に点滅します。
- 貨物の安全を定期的に確認してください。
- トレーラーブレーキが作動していることを定期的に確認してください。
- 勾配のある場所での駐車は避けてください（「トレーラーをつけた状態での駐車」を参照）。
- 牽引用のコンポーネントがいずれもしっかりと締められていることを定期的に確認してください。



トレーラーをつけた状態での駐車

可能な限り、勾配のある場所には駐車しないでください。勾配のある場所での駐車がどうしても避けられない場合には、トレーラーの車輪に車輪止めをつけてください。

- 1人がブレーキペダルを押して保持します。
- もう一人の人が車両タイヤの下り坂側のホイール下に車輪止めを置きます。
- 車輪止めが配置されたら、ブレーキペダルを離し、車輪止めが車両とトレーラーの重量を支えていることを確認します。

注: 車輪止めをテストするときは、ホールド機構(オートブレーキホールド - 75ページ参照)が車両を支えていないようにします。ホールドがModel Xにブレーキをかけているときは、インストゥルメントパネルにホールドインジケータが表示されます。ホールドを解除するには、ブレーキペダルを踏んでから離します。

- 車両をパーキングにシフトします。パーキングブレーキが作動します。

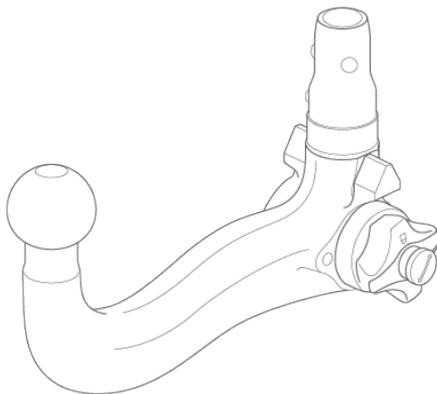
- ⚠ 警告:** 勾配のある場所での駐車が必要な場合は、常にトレーラーの全車輪に確実に車輪止めを置いてください。巻き込み確認を怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

トレーラーのふらつき軽減

トレーラーがふらついていることが検出されると、Model Xの電子安定性制御システムが適切な程度のブレーキを加えてトレーラーのふらつきを最小化しようとします。インストゥルメントパネルには、トラクションコントロールシステムのインジケータが短時間表示されます。このシステムが作動しててトレーラーのふらつきを軽減しようとしている時にブレーキペダルを踏んでも、自動ブレーキは解除されません。

けん引ヒッチの接続

Model Xのけん引パッケージには、50 mm径ボールが付いている重量物運搬ヒッチが付属します。ヒッチレシーバーを使用しない時は、ヒッチを取り外し、錆や腐食を防止するために乾燥した場所に保管してください。ヒッチハウジング上にダストカバーをつけたままにし、汚れやごみがロック内に入るのを防止ししてください。



- ⚠ 警告:** トレーラーを牽引する際には必ずModel X用トレーラーヒッチを使う必要があります。異なるタイプのトレーラーヒッチは取り付けしないでください。

注: 牽引する場合は必ず安全チェーンを取り付けてください。トレーラータンクの下でチェーンを交差させ、トレーラーの積載物がしっかり固定されるようトレーラーのアイレットを取り付けます。

トレーラーヒッチは次のように取り付けます。

1. ダストカバーをヒッチハウジングから取り外します。

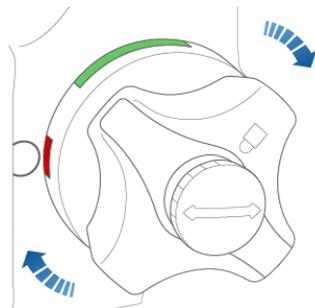


注: Model X 後期型では、プッシュクリップを2個使用してダストカバーを車両に固定します。開くには、マイナスドライバーなど先の尖った工具で慎重にクリップを開きます。ダストカバーを外します。



2. ヒッチのロックシリンダーにキーを挿入し、シリンダーを回してキーのトップを「アンロック」位置に合わせます。

3. アダプターからロックシリンダーを約0.5 cmほど引き出し、時計方向に回してシリンダーの赤いマーキングを白いドットに合わせます。



▲ 警告: ロックシリンダーは慎重に回してください。それが「開位置」にロックされない場合、元の「閉位置」に自動的に戻ってしまい、指を挟むことがあります。

4. ヒッチを底からしっかりとつかみ、ヒッチ側面の三角形のガイドをヒッチハウジングの対応する切り欠きに合わせます。

注: ロックシリンダーは自由に回転させる必要があるため、そこをつかまないでください。

5. ロックシリンダーが約120度反時計方向に回転し、「閉位置」で自動的にロックされるまで、ヒッチをヒッチハウジングに押し入れます。ロックシリンダーの緑色部分(白い矢印の上)はヒッチの白いドットに合わせます。
6. ヒッチが完全にヒッチハウジングに差し込まれていることを目視で確認してください。ヒッチを引き下げてみます。ヒッチは引いても落ちないはずです。

注: ヒッチがハウジング内でロックされていない場合は、引いた時に落ちてしまいます。

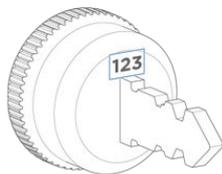
7. キーを回して矢印をロックシリンダーの「ロック」マークに合わせます。



8. キーを外し、安全な場所に保管します（車両内部が望ましい）。

注：キーはヒッチがロックされた時しか外せません。これにより、接続が適性であるということになります。キーが取り外されていない場合にはヒッチを使用しないでください。

注：Tesla ではキーコードをメモしておくことをお勧めしています。キーを紛失して代替品を注文する場合には、このコードが必要になります。



9. ダストカバーを閉じ、汚れやごみがロック内に入らないようにします。プッシュクリップが使用されている後期型の場合、ダストカバーを取り付けクリップをはめたら、それを押す前にプッシュクリップを開きます。

注：ヒッチを長持ちさせるには、定期的にその表面に樹脂非含有のグリスを塗布します。

牽引ヒッチの取り外し

牽引後は、ヒッチを取り外します。

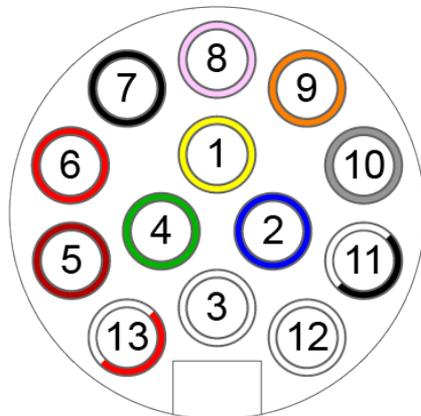
1. キーを挿入し、「アンロック」位置にキー上部を合わせます。
2. ヒッチを（床に落とさないように）その底をしっかりと支えながら、ロッキングシリンダーを約 0.5 cm ほど引き出し、時計方向に回してロッキングシリンダーの赤いマーキングを白いドットに合わせます。この位置で、ロッキングシリンダーは「開」位置でロックされ、ヒッチがヒッチハウジングから外れます。

⚠ 警告：ロッキングシリンダーは慎重に回してください。それが「開位置」にロックされない場合、元の「閉位置」に自動的に戻ってしまい、指を挟むことがあります。

3. ハウジング内にごみがたまらないように、ヒッチハウジングにダストカバーを再取り付けします。
4. ヒッチのロッキングシリンダー上のダストカバーを閉じ、ヒッチを安全な場所に保管します。

電気系の接続

トレーラーは、テールランプ、ブレーキランプ、側面標識灯、方向指示灯を装備するよう規則で求められています。トレーラー照明の電源供給のため、ヒッチをサポートしほとんどのトレーラータイプに接続できるワイヤープラグ近くに 13 ピンワイヤー接続内蔵コネクタがあります。



1. 左折灯（黄色）
2. リアフォグ（青）
3. アースのピン 1-8（白）
4. 右折灯（緑）
5. 右テールランプ（茶）
6. ストップランプ（赤）
7. 左テールランプ（黒）
8. リバースランプ（ピンク）
9. 12V 電源 - 常設（オレンジ）
10. 12V 電源 - 切替/イグニッション（灰）
11. アースのピン 10（黒/白）
12. トレーラー ブレーキ コントロール出力（ライトグレー）
13. アースのピン 9（赤/白）

注：すべてのピンは 12V 電源です。

注：すべての電気的接続が作動し、すべてのトレーラー灯火が事前におよび牽引中に作動するようにすることは、運転者の責任です。実際に点検してください。

注：牽引中にトレーラー灯火類が消えた場合は、ヒューズ切れの可能もあります。Model X は、ヒューズが切れても警告は出しません。Tesla サービスにお問い合わせください。

注：トレーラーのフォグランプが検出されると、Modes X はリヤフォグランプを無効にします（装備されている場合）。



トレーラーのワイヤーを Model X の電気的コネクターに接続すると、けん引モードが自動的に有効になります ([けん引モード](#) - 85 ページを参照)。

⚠ 警告：電氣的接続は Tesla 設計品のみを使用してください。トレーラーの電気配線の継ぎ合わせや他の方法で直接接続することはしないでください。車両の電気系に損傷を与え、誤動作を招く可能性があります。

⚠ 注意：トレーラーの電気ケーブルが地面に接触あるいは引きずっていないこと、および引き回し時にケーブルの余裕が十分あることを確認してください。

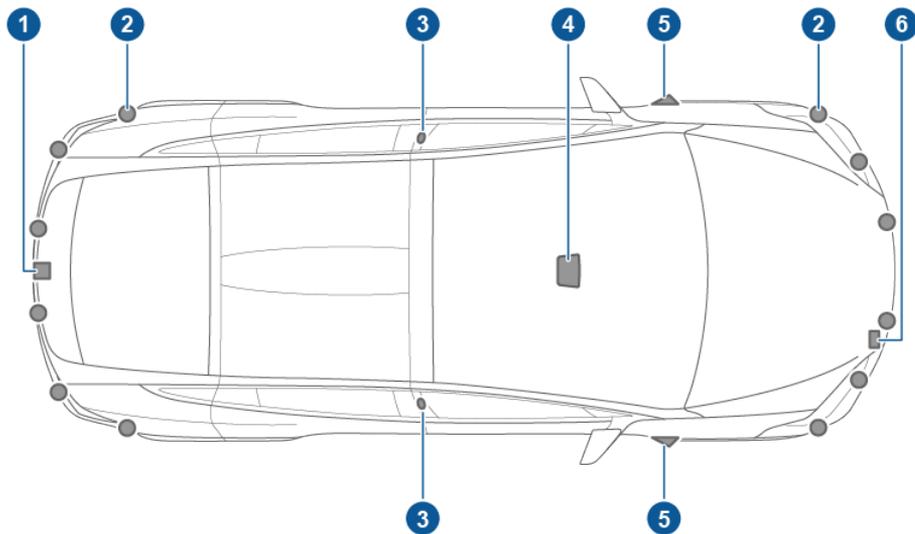
航続距離への影響

トレーラーを牽引してアクセサリーを運搬すると、車両の重量と抵抗が増加します。その結果として、航続距離は大きく減少します。トリッププランナーがけん引モードに基づき予想航続距離を調整しようとはしますが、実際のエネルギー消費量は異なる場合があります。そのことを勘案した走行距離や充電場所の計画を立ててください。



動作の仕組み

お使いの Model X には、積極的に周囲の車道を監視する、以下のオートパイロット コンポーネントが含まれています。



1. カメラは、リア ナンバープレートの上方に搭載されています。
2. フロント/リア バンパー内に、超音波センサーを搭載しています。
3. 各ドア ピラーにカメラが取り付けられています。
4. フロントガラスにはバックミラーの上方にカメラが 3 台取り付けられています。
5. 各フロント フェンダーにカメラが取り付けられています。
6. レーダーは、フロントバンパーの背後にあり、車両のと右側に取り付けられています。

Model X には、高精度電動アシスト ブレーキおよびステアリング システムも装備されています。



機能

これらの安全機能は、すべての Model X 車両で利用できます：

- レーンアシスト (レーンアシスト - 108 ページを参照)。
- 衝突回避アシスト (衝突回避アシスト - 110 ページを参照)。
- スピードアシスト (スピードアシスト機能 - 113 ページを参照)。
- オートハイビーム (ハイビーム ヘッドライト - 60 ページを参照)。

これらの便利なオートパイロット機能は、ドライバーの運転負担を低減するよう設計されています：

注：購入されたオプション、ソフトウェアバージョン、および販売地域により、車両に便利なオートパイロット機能が備えられていない場合があります。

- トラフィックアウェアクルーズコントロール (トラフィックアウェア クルーズコントロール - 95 ページ参照)
- オートステアリング (オートステアリング - 100 ページ参照)
- 自動車線変更 (自動車線変更 - 102 ページ参照)
- オートパーキング (オートパーキング - 104 ページ参照)
- サモン (サモン - 106 ページ参照)

これらの機能を有効または無効にすることができ、場合によっては機能を制御することもできます。設定するには、「コントロール」>「オートパイロット」の順にタッチします。

キャリブレーション

Model X オートパイロット機能が使用されているときは高度で正確な操作が必要になります。従って、いくつかの機能 (例えば、トラフィックアウェアクルーズコントロールまたはオートステアリング) を初めて使用する前に、いくつかのカメラはセルフキャリブレーション処理を完了させていなければなりません。

キャリブレーションは通常、32~40 km の距離を走行した後で完了しますが、距離は道路や環境条件によって異なります。車線がはっきり見える直線道路で走行すると、Model X を速くキャリブレーションすることができます。キャリブレーションが完了すると、この機能が使用できるようになります。Model X を 160 km 走行してもキャリブレーションが完了していない場合は Tesla までご連絡ください。

注：キャリブレーションが完了するまでは使用できない機能を使おうとした場合、その機能は有効にならず、インストゥルメントパネルにはメッセージが表示されます。

注：Model X は、Tesla がカメラのサービスを行った場合、ソフトウェアの更新後でも補正プロセスを繰り返します。

制限事項

多くの要因がオートパイロットコンポーネントのパフォーマンスに影響を与え、意図したとおりには機能しないこともあります。これらの要因には以下のようなものがあります (ただし、これらに限定されません)。

- 視界不良 (激しい雨、雪、霧など)。
- 強い光 (接近するヘッドライト、直射日光など)。
- オートパイロットコンポーネントが泥、氷、雪などによる損害を受けているまたは妨害されている。
- 車両に取り付けたアイテムがコンポーネントに干渉したり、妨害したりしている (バイクラックなど)。
- 過度の塗料や接着製品 (ラップ、ステッカー、ゴムコーティングなど) を車両に塗布することによって発生する障害。
- 極端にせまい道や曲がりくねった道を運転している。
- バンパーが損傷している、または位置がずれている。
- 超音波を発生する他の機器がセンサーに干渉している。
- 外気温度が極端に高いまたは低い。

⚠ 警告：前記のリストはオートパイロットコンポーネントの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。運転の際は、オートパイロット機能だけに頼らないようにしてください。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。

⚠ 注意：フロントガラスの交換が必要になった場合は、車両を Tesla サービスにお持ち込みください。これで、カメラの適切な取り扱いおよび取り付けが保証されます。これを怠ると、オートパイロット機能が誤動作を起こすことがあります。

カメラおよびセンサーのクリーニング

オートパイロットコンポーネントができるだけ正確な情報を提供できるように、コンポーネントが常にきれいで、周囲に障害物がなく、損傷がないことを確認してください。時々、ぬるま湯に湿した柔らかい布でコンポーネントに蓄積した汚れを拭き取ります。

⚠ 注意：薬品系や研磨剤系のクリーナーは使用しないでください。表面を傷つける恐れがあります。

⚠ 注意：高圧洗浄機は使用しないでください。



- 注意：**超音波センサーまたはカメラのレンズを洗淨する際にその表面を傷つけたり損傷したりする恐れのある尖った物や研磨剤を使用しないでください。



注: トラフィックアウェア クルーズコントロールはベータ版の機能です。

注: 車両にオプションのオートパイロットパッケージが備わっていない場合、車両のタッチスクリーン上のオーナーズマニュアルで、クルーズコントロール使用方法説明を参照してください。

トラフィックアウェアクルーズコントロール（装備されている場合）では、前方監視カメラおよびレーダーセンサーを利用して、同じ車線の前方に車両がいるかを判断します。Model X の前方を車両が走行していない場合、トラフィックアウェアクルーズコントロールは設定されている走行速度を維持します。車両が検出された場合、トラフィックアウェアクルーズコントロールは、前方車両との間に時間に基づいて設定された車間距離が保たれるように、設定速度を上限として、必要に応じて Model X を減速させるように設計されています。トラフィックアウェアクルーズコントロールを使用している場合、ドライバーは道路の進行方向に常に注意を払い、状況に応じて自らブレーキを踏む必要があります。

トラフィックアウェアクルーズコントロールは高速道路など、乾燥した直線道路の走行を想定して設計されています。市街地の道路では使用しないでください。

⚠ 警告: トラフィックアウェアクルーズコントロールは、運転の快適性と利便性を高めることを目的に設計されたものであって、衝突警告システムや衝突回避システムではありません。常に路上に注意を払い、安全運転を心がけ、車両を制御することはドライバーの責任です。Model X を適切に減速させる操作をトラフィックアウェアクルーズコントロールに依存してはいけません。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

⚠ 警告: トラフィックアウェアクルーズコントロールは歩行者や自転車を認識することが可能ですが、Model X の速度を減速するのに決してトラフィックアウェアクルーズコントロールだけに頼らないでください。常に道路の前方に注意を払い、修正行動をとれるように準備してください。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

⚠ 警告: 交通状況が常に変化している市街地の道路では、トラフィックアウェアクルーズコントロールを使用しないでください。

⚠ 警告: 急カーブが続く曲がりくねった道路、表面が凍結していたり滑りやすくなっている道路、または一定速度での運転が不適切な悪天候（豪雨、雪、霧など）の中でトラフィックアウェアクルーズコントロールを使用しないでください。トラフィックアウェアクルーズコントロールは道路や運転状況に応じて運転速度を調整しません。

トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用するには

トラフィックアウェアクルーズコントロールを使用するには、前方に車両が検出されない限り、最低でも時速 30 km 以上で走行している必要があります。前方に車両が検出されている場合、たとえ静止していても、Model X から少なくとも、150 cm 離れていれば、トラフィックアウェアクルーズコントロールを任意の速度で使用することができます。



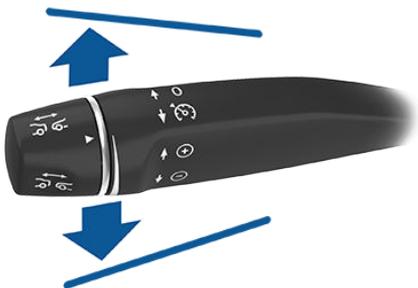
トラフィックアウェアクルーズコントロールが利用可能であるが、指定された設定速度で積極的にクルーズしていないとき、インストゥルメントパネルは現在の走行速度の左側に灰色の速度計アイコンを表示します。灰色で示された数字は、スピードアシストによって決定された速度制限です（スピードアシストの制御 - 113 ページを参照）。

巡航速度を設定

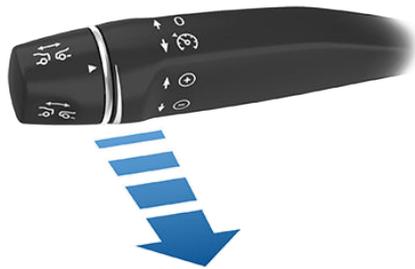
巡航速度はいずれかの方法で設定できます。

- 現在の走行速度。設定できる最低速度は、時速 30 km で、最高速度は、時速 150 km です。常に道路状況や制限速度に応じた安全な速度で走行することはドライバーの責任となります。
- 指定したオフセット値を足した速度制限（スピードアシスト機能 - 113 ページを参照）。

現在の走行速度に巡航速度に設定するには、クルーズコントロールレバーを上下に動かします。



巡航速度をスピードアシストを使用して指定したオフセット値を足した速度制限に設定するには、クルーズコントロールレバーを手前に引きます。すでに制限速度以上で走行している場合、走行速度は制限速度まで減速されません。現在の走行速度で設定されます。トラフィックアウェアクルーズコントロールを速度制限で巡航するように設定した後、クルーズコントロールレバーを上下に動かすと、設定された速度が現在の走行速度になります。



巡航速度を設定した後にアクセルペダルを離すと、トラフィックアウェア クルーズコントロールが設定速度の維持を開始します。



巡航速度が設定されると、インストルメントパネルの速度計アイコンが青色に変わり、設定速度が表示されます。

注: クルーズコントロールレバーを2回に引くと、オートステアリング機能が作動します(オートステアリング - 100 ページを参照)。この場合、設定速度で走行していない場合、巡航速度は、現在の走行速度または速度制限(指定されたオフセット値を加えた速度)のいずれか大きい方に設定されます。

警告: 制限速度をもとにクルーズ速度を調節する場合は、制限速度を変更しても設定速度は変更されません。変更された制限速度で巡航するには、クルーズコントロールレバーを再び手前に引く必要があります。常時巡航速度を手動で調整することもできます(設定速度の変更 - 97 ページを参照)。

警告: 正確または適切な巡航速度を決定するために、トラフィックアウェア クルーズコントロールまたはスピードアシストに依存しないでください。常に道路状況や制限速度に応じた安全な速度で走行してください。

設定速度で巡航

Model X の前方に他の車両を検出されていない場合、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定巡航速度を維持します。検出した車両の後ろを走行すると、選択した車間距離(車間距離の調整 - 97 ページ参照)を維持するために必要に応じて、トラフィックアウェアクルーズコントロールが設定速度まで Model X を加減速します。

トラフィックアウェア クルーズコントロールは、カーブに侵入または退出する際も走行速度を調整します。

設定速度で巡航するとき、いつでも手動で加速することができますが、アクセルを離せば設定速度で巡航を再開します。

注: トラフィックアウェア クルーズコントロールが前方車両との車間距離を選択されている距離に保つために Model X を減速させているときは、ブレーキランプが点灯し、他のドライバーに自車が減速していることを知らせます。ブレーキペダルがわずかに動きます。ただし、トラフィックアウェア クルーズコントロールが Model X を加速しているときは、アクセルペダルは動きません。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、時折ブレーキが必要でないとき、または予期しないときに Model X にブレーキをかけることがあります。その原因は、前方車両との車間距離が短いことや(特にカーブで)隣の車線上の車両や物体を検出することなどです。

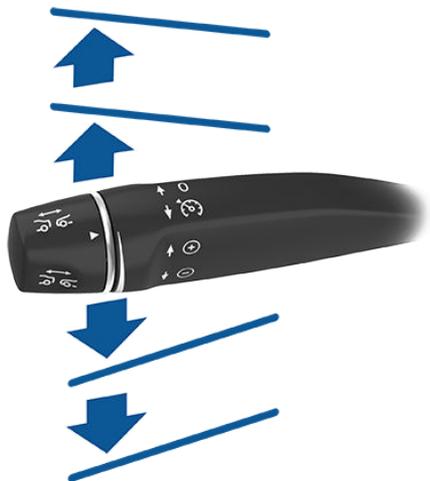
警告: 車載 GPS (グローバルポジショニングシステム)に限界があり、特に高速道路出口付近でカーブが検出されたり、またはナビを使って目的地に向かっていている時に提示ルートに従わない時など、トラフィックアウェアクルーズコントロールが車両を減速することがあります。

警告: トラフィックアウェア クルーズコントロールは、物体を検出できない場合があり、静止した車両や物体と衝突しないようにブレーキをかけたり減速したりできなくなることがあります。特に時速 80 km 以上で走行しているときに追いついていた車両がいなくなり、その代わりに静止した車両や速度の遅い車両、または物体が前方に現れると、この現象が起きやすくなります。常に前方の道路に注意を払い、ただちに対処できるように備えてください。衝突回避をトラフィックアウェアクルーズコントロールに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。さらに、トラフィックアウェアクルーズコントロールが、走行車線上を走行していない車両や走行車線上に存在しない物体に反応し、Model X を不必要または不適切に減速させる場合もあります。

警告: 制動能力が限定されている、坂道を走行しているなどの理由でトラフィックアウェアクルーズコントロールが適切な速度制御を行えないこともあります。トラフィックアウェアクルーズコントロールが前方車両との車間距離を誤判定することもあります。上り坂を走行すると、Model X の走行速度が上がり、設定速度(場合によっては制限速度を超過する恐れがある)を超えてしまうことがあります。衝突回避のための減速をトラフィックアウェアクルーズコントロールに任せきりにしないでください。常に道路に注意を払い、いつでも必要に応じて対応できるようにしてください。衝突回避のための減速をトラフィックアウェアクルーズコントロールに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

設定速度の変更

トラフィックアウェア クルーズコントロールを使用中に設定速度を変更するには、必要な速度が表示されるまで、クルーズコントロールレバーを上(増加)または下(減少)に動かします。



時速 1 km 刻みで加速または減速するには、レバーを第 1 ポジションまで上げて、または下げてから離します。現在の速度に最も近い時速 5 km の倍数で加速または減速するには、レバーを第 2 ポジションまで上げるまたは下げたあとに離します。たとえば、時速 83 km で走行しているときにレバーを第 2 ポジションまで上げてから放すと、速度は時速 85 km になります。レバーを一番上まで上げたまま、または一番下まで下げたままにして、目的の速度がクルーズコントロールアイコンの下に表示されたときにレバーを放すことによって、加速したり減速したりすることもできます。

注: Model X は、Model X の設定速度より遅い速度で走行する車両が前方にいないことを検知した場合、新しい走行速度を決定するために数秒かかることがあります。

ホールド状態

前方に他の車両がある場合は、Model X が完全停車したとしても、トラフィックアウェア クルーズコントロールは有効となったままとなります。前方の車両が再び動き始めると、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定速度で走行を再開します。しかし、以下のような状況では、トラフィックアウェア クルーズコントロールが**ホールド状態**に入るため、アクセルペダルを軽く押すか、クルーズコントロールレバーを手前に引いて (**キャンセルおよび再開** - 98 ページを参照) 巡航を再開する必要があります。 **ホールド状態** になった場合、インストゥルメンタルパネルに**ホールド**アイコンとメッセージが表示され、クルーズコントロールを再開する必要がありますことを示します。トラフィックアウェア クルーズコントロールが**ホールド状態**に入るのは次の状況です。

- Model X 5 分間停車している場合。
- Model X 歩行者を検出した場合 (歩行者が検出されなくなると**ホールド状態**は解除されます)。
- Model X 前方にいた車両が突然視界からいなくなった場合。
- 超音波センサーが Model X の前方に障害物を検出した場合。

高速道路出口またはその付近で巡航する

進入制限のある道路 (高速道路や高速道路など) の出口付近で巡航し、出口方向に向かって方向指示器を入れると、トラフィックアウェア クルーズコントロールは出口から退出するものとみなし減速を開始します。出口に向かって走行しない場合は、トラフィックアウェア クルーズコントロールは設定速度で走行を再開します。右側通行の地域の場合は、最右車線を走行している時に出口の 50 メートル手前で右に方向指示器を出したときのみに行われます。同様に、左側通行の地域の場合は、最左車線を走行している時に出口の 50 メートル手前で左に方向指示器を出します。

注: 車載グローバル ポジショニング システム (GPS) を使用して、走行している地域が右側通行か左側通行かを判断します。GPS データが利用できない状況 (例えば、電波が弱い場合など) では、出口手前で方向指示器を出してもトラフィックアウェア クルーズコントロールは Model X を減速しません。

車間距離の調整

Model X と前方を走行する車両との車間距離を調整するには、クルーズコントロールレバーを回して、1 (最短車間距離) から 7 (最長車間距離) の設定を選択します。各設定は、Model X が現在の位置から前方車両のリアバンパーの位置に到達するまでにかかる時間に基づいた距離に相当します。



クルーズコントロールレバーの回転に従い、インストルメントパネルに現在の設定が表示されます。希望の設定が表示されたら、レバーを離します。



注: 設定は、手動で変更されるまで保持されます。

警告: 十分な車間距離を取って安全に運転することはドライバーの責任となります。適切な車間距離を維持するために、トラフィックアウェアクルーズコントロールのみに頼らないでください。

警告: 衝突を避けるために、Model X を適切に減速させる操作をトラフィックアウェアクルーズコントロールに依存してはいけません。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をすばやく取れるようにしてください。

追い越し加速

トラフィックアウェアクルーズコントロールが作動している状態で前方車両を追走している場合、方向指示器を素早くオンにすると（追い越し車線へ移動することを示すと）、Model X は前方車両がいる方向へ短時間加速します。方向指示器レバーを一瞬上げたままにするか、下げたままにすると、アクセルペダルを踏むことなく、設定速度まで素早く加速できます。方向指示器の操作による加速は、以下の条件がすべて満たされている場合に限られます。

- トラフィックアウェアクルーズコントロールが作動中で前方に車両を検出している場合。
- 追い越し車線に障害物または車両が検出されていない場合。
- Model X 設定速度未満であるが時速 72 km を超える速度で走行している。

追い越し加速は前方車両を追い越す際の補助を目的としています。方向指示器が出されると、トラフィックアウェアクルーズコントロールは引き続き前方車両との車間距離を保ちますが、設定距離よりも若干短い車間距離で運転することができるようになります。

以下のうち 1 つの条件が満たされたときに加速がキャンセルされます。

- 設定したクルーズ速度に到達した場合。
 - 車線変更に時間がかかる場合。
 - Model X 前方車両との距離が近すぎる。
- または
- 方向指示器を取り消した場合。

注: 追い越し加速は方向指示器を出した場合、または方向指示器に軽く触れた場合(部分的に出した場合)に機能します。方向指示器から手を放したり、方向指示器をオフにした場合、Model X は (アクセルペダルを放した場合と同様に) 加速を中止し、設定速度での走行を再開します。

警告: 追い越し加速は、上記の状況 (たとえば GPS データの欠落) 以外にも、予測不可能な理由によってキャンセルされることがあります。走行中は常に注意を払い、車両の加速を追い越し加速機能にのみ依存しないようにしてください。

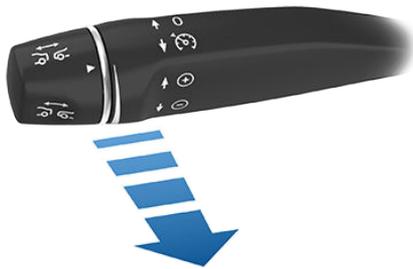
警告: 追い越し加速では、適切な方向指示器が出されると必ず走行速度が増加し、Model X が前方車両に近づきます。トラフィックアウェアクルーズコントロールは前方車両との車間距離を保ち続けますが、特に前方車両を追い越すつもりがない場合は、追い越し加速が作動すると選択されている車間距離が短くなる点に注意することが重要です。

キャンセルおよび再開

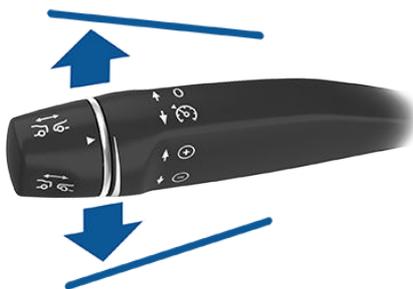
トラフィックアウェアクルーズコントロールを手動でキャンセルするには、クルーズコントロールレバーを前に素早く押す、またはブレーキペダルを踏みます。インストルメントパネル上のスピードメーターアイコンが灰色になり、トラフィックアウェアクルーズコントロールが無効になります。



前回の設定速度で再びクルーズする場合は、クルーズコントロールレバーを少しだけ手前に引きます。



現在の走行速度でクルージングを再開するには、クルーズコントロールレバーを上下に動かしてから放します



注：トラフィックアウェア クルーズコントロールをキャンセルした場合、Model X は慣性走行しませんが、代わりに、トラフィックアウェア クルーズコントロールが動作していないときにアクセルペダルから足を放した場合と同様、回生ブレーキによって Model X が減速します (回生ブレーキ - 69 ページを参照)。

⚠ 警告：トラフィックアウェア クルーズコントロールは次のような場合にキャンセルされるか、利用できない場合があります。

- ブレーキペダルを踏んだ場合。
- 走行速度が最大巡航速度である時速 150 km を超えた場合。
- Model X を別のギアに入れてください。
- ドアが開いた場合。
- レーダーセンサーまたはカメラの視界が遮られた場合。これは汚れ、泥、氷、雪、霧などが原因により発生する場合があります。
- トラクションコントロールの設定が手動で無効にされた、またはスリップを防ぐため何度も作動している場合。
- ホイールが回転しているにも関わらずその場から動かない場合。
- トラフィックアウェア クルーズコントロールシステムが故障し、修理を必要としている場合。

トラフィックアウェア クルーズコントロールが利用できない場合またはキャンセルされた場合、Model X は一定の設定速度で走行しなくなり、前方車両との間に指定された車間距離を保たなくなります。

⚠ 警告：トラフィックアウェア クルーズコントロールは、予想外の理由により予期せずキャンセルされる可能性があります。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をとれるようにしてください。Model X を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

クルーズインジケータのまとめ



トラフィックアウェア クルーズコントロールは利用できますが、この機能を有効にするまでは車両の速度をコントロールすることはできません。灰色に表示されている数値はスピードアシストが設定したものです (スピードアシストの制御 - 113 ページを参照)。



トラフィックアウェア クルーズコントロールが動作し、設定速度を維持している (前方に車両がない) かまたは前方の車両と設定した車間距離を保ちます (設定速度まで)。



Model X が完全に停止したが、**ホールド**状態にある。安全に行える場合、設定速度で巡航を再開するにはアクセルペダルを踏みます。

制限事項

トラフィックアウェア クルーズコントロールは、以下の状況下では設計通りに動作しない可能性があります。

- 道が鋭くカーブしている。
- 視界が悪い (激しい雨、雪、霧など)。
- 明るい光 (対向車のヘッドライトや直射日光) がカメラの視野を妨げている。
- レーダーセンサーが遮られている (汚れ、カバーなど)。
- フロントガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている (くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど)。

⚠ 警告：前記のリストはトラフィックアウェア クルーズコントロールの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。



注: オートステアリングは、ベータ版の機能です。

トラフィックアウェアクルーズコントロールの一部となるオートステアリングは(トラフィックアウェアクルーズコントロール - 95 ページを参照)、Model X を走行中に設定速度で走行車線を維持します。オートステアリングを使って、方向指示器を出して Model X を隣の車線に車線変更することも可能です(自動車線変更 - 102 ページを参照)。オートステアリングは、車載カメラ、レーダーセンサー、超音波センサーを利用することで車線マーカ―や他車両および物体を検知し、ドライバーによるのステアリング操作をアシストします Model X。

警告: オートステアリングはハンズフリーの機能ではありません。使用中も常にハンドルを握っておいてください。

警告: オートステアリングは十分に注意力の働くドライバーが高速道路などのアクセスの制限された道路を走る場合に限りて使用することを前提としています。オートステアリングを使用する時は、ハンドルを握り、道路条件や周囲の車両に十分に注意を払ってください。市街地、道路工事のある区間、自転車または歩行者がいる可能性のある地域では、オートステアリングを使用しないでください。適切な運転経路を決定する際に、オートステアリングに依存しないようにしてください。常に即座に対応できるようにしてください。これらの指示に従わない場合、損傷、重傷、または死亡の原因となる可能性があります。

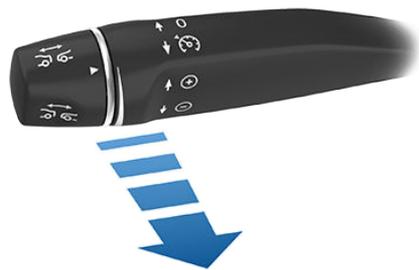
オートステアリングの操作

オートステアリングを利用するときは、事前にタッチスクリーンで「コントロール」>「オートパイロット」>「オートステアリング(ベータ)」を選択し、この機能を有効にしておく必要があります。



オートステアリングが利用可能(ただし、現在は Model X を操舵中ではない)であることを示すため、インストゥルメントパネルの運転速度表示の右側にグレーのオートステアリングのアイコンが表示されます。

オートステアリングを開始させるには、クルーズコントロール レバーを素早く 2 度続けて手前に引きます。



周囲の交通状況に注意を払い、ハンドルに両手を置いておきましょう。オートステアリングは短時間インストゥルメントパネルにメッセージを表示します。オートステアリングが作動して Model X を操舵するアシストが開始されると、インストゥルメントパネルのオートステアリングのアイコンの表示が青に変わります。オートステアリングが車線マーカ―を検出できると、車線も青で表示されます。



注: 前方に車両がない場合にオートステアリングを起動するには、車線マーカ―が見えている車道を時速 30 km 以上の速度で走行していなければなりません。前方に車両が検出された場合は、たとえ静止していても(車両から少なくとも 150 cm 離れている場合)、オートステアリングを時速 150 km 未満の任意の速度で開始することができます。

オートステアリングが作動できる運転速度で走行していない時にオートステアリングを有効にしようとすると、インストゥルメントパネルに、メッセージが表示され、オートステアリングが一時的に利用できないことを知らせます。オートステアリングがカメラやセンサーから適切なデータを受信していない場合も、オートステアリングが利用できないことがあります。

オートステアリングが車線マーカ―を検知できない場合、車線区分は追従する車両を元に決定されます。

オートステアリングは通常、Model X に走行車線の中央の位置を維持させようとしています。ただし、センサーが障害物(車両またはガードレールなどの)を検出すると、Model X に車線の中央から外れた経路を選択させる場合もあります。

▲ 警告: オートステアリングは、走行車線内の物体を部分的にまたは完全に避けて Model X を操縦するには設計されておらず、そのような動作はしません。常に前方の道路に注意を払い、適切な行動をとれるようにしてください。Model X を常にコントロールできる状態に保つことは、ドライバーの責任です。

速度制限

オートステアリングは、高速道路などのように入口と出口が制限されている道路で、十分に注意力の働かざるドライバーが使用することを想定しています。住宅地や中央分離帯のない道路、または侵入が制限されていない道路でオートステアリングの使用を選択すると、オートステアリングは最大許容巡航速度を制限する場合があります。そのような道路の最大許容巡航速度は、検出された制限速度を基準に、時速 +10 km までのスピードアシスト オフセット値を含めて計算されます。時速 +10 km を超えるスピードアシストオフセット値は、時速 +10 km に四捨五入されます。しかし、速度制限オフセットを減らす(スピードアシストの制御 - 113 ページを参照)またはクルーズコントロール レバーを調整することで、より抑制されたクルーズ速度を選択することができます。

オートステアリングが有効で制限速度が検出できない状況では、運転速度は時速 70 km に制限されます。制限速度を超えて加速することはできませんが、Model X は検出した障害物に合わせてブレーキをかけることができなくなる場合があります。アクセルペダルを離すと、オートステアリングは制限速度まで減速します。その道路から離れる時、またはハンドルを動かしてオートステアリングを無効にした時に、必要に応じて設定速度を上げることができま

ハンドルを握ってください

オートステアリングは、カメラ、センサーおよび GPS からのデータを使用し、最適の操舵アシストで Model X を運転する方法を決定します。これが有効になっている時、ハンドルを握っておく必要があります。一定時間ハンドルに手に触れないと、インストルメントパネル上部に白いライトが点滅し、次のメッセージが表示されます。



オートステアリングは、ステアリングホイールが回転した時や手で(ハンドル操作を行うのに十分な力ではなく)非常に軽くハンドルを回すことによる軽い抵抗を認識し、ドライバーの手を検出します。また、

注: ハンドルに手が置かれたのが検知されると、警告メッセージは消え、オートステアリング機能が通常動作に戻ります。

注: オートステアリングは、メッセージが表示された時と同時にチャイム音を鳴らす場合があります。

またオートステアリング使用時は、ドライバーは周囲に注意を配り、すぐに運転を代わられるように備えていなければなりません。それでもハンドルに置いた手が検出されない場合、オートステアリングは徐々に速くなるチャイム音を鳴らします。

ステアリングホイールに手を置くよう促すオートステアリングの注意を繰り返し無視すると、オートステアリングは残りの運転や警告メッセージ表示を無効にします。手動で運転を再開しないと、オートステアリングは連続してチャイム音を鳴らし続け、警告灯を点滅し、走行速度を落として停止させます。

▲ 現在の走行ではこれ以降オートステアリングを利用できません
ハンドルを握って運転してください

次の運転まで、オートステアリングを使用することはできません。オートステアリングは、次の運転でも再び利用できます(停車し Model X をパーキングに切り替えた後)。

オートステアリングが停止します

オートステアリングが Model X の操舵を支援できない状況では、オートステアリングは警告チャイムを鳴らし、インストルメントパネルにメッセージを表示します。



オートステアリングをキャンセルする

オートステアリングは次の時に動作をキャンセルします。

- ハンドルをわずかでも回した時。
- ブレーキペダルを踏んだ時。
- クルーズコントロール レバーを前に倒した時。
- オートステアリングの対応最高時速時速 150 km を超えた時。
- 別のギアに入れてください。
- ドアが開いた場合。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき(衝突回避アシスト - 110 ページ参照)。

オートステアリングをキャンセルすると、オートステアリングはチャイム音を鳴らし、アイコンをグレーにしてオートステアリングが無効になっていることを示すか、アイコンを完全に消してオートステアリングが現在利用できないことを示します。

注: オートステアリングは、ハンドルを回そうと力を入れるとキャンセルされますが、トラフィックアウェアクルーズコントロールは有効状態を保ちます。クルーズコントロールレバーを素早く前方に押し、または、ブレーキペダルを踏むなど通常の動作で、トラフィックアウェアクルーズコントロールがキャンセルされます。

オートステアリングを無効にして利用できない状態にするには、「コントロール」>「オートパイロット」>「オートステアリング(ベータ)」の順にタッチします。

自動車線変更

自動車線変更機能付きの車両でオートステアリングを有効にすると、方向指示器を使用して Model X を隣の車線に移動させることができます。

警告: 車線変更が安全で適切であるかどうかを判断するのはドライバーの責任です。したがって、車線変更を開始する前に、常に死角、車線マーカー、および周囲の道路状況をチェックし、目標車線への移動が安全で適切であることを確認してください。

警告: 適切な運転経路を決定する際に、自動車線変更機能に依存しないようにしてください。前方の道路と車両を注視し、周囲を確認し、インストゥルメントパネルの警告に気を配りながら注意深く運転してください。常に即座に対応できるようにしてください。

警告: 交通状況が常に変化し自転車や歩行者が通っているような市街地の道路では、自動車線変更機能は使用しないでください。

警告: 自動車線変更機能のパフォーマンスは、車線マーカーを認識するカメラの性能に左右されます。

警告: 急なカーブのある曲がりくねった道路、凍結道路あるいは滑りやすい道路、または豪雨、雪や霧などの天候がカメラ、またはセンサーの機能を妨害している場合は、自動車線変更機能を使用しないでください。

警告: すべての警告および指示に従わないと、損害、重大な怪我、または死亡事故につながる恐れがあります。

自動車線変更機能の操作

自動車線変更は、オートステアリングが有効になっていればいつでも利用できます。自動車線変更機能を使用した車線変更:

1. 目標車線への移動が安全で適切であることを確認するために目視チェックを行います。
2. 適切な方向指示器を動かし、両手をハンドルに添え、車線変更を開始します。
3. 目的の車線に入ったら、方向指示器を解除します。

自動車線変更機能は、次の条件が満たされた場合、方向指示器が示す隣接した車線に移動するアシストを行います Model X。

- 自動車線変更機能は、手がハンドルに置かれていないことを検知しています。
- 方向指示器を作動している。
- 超音波センサーおよびオートパイロットカメラが、目標車線の中心線までの間に車両や障害物を検出していません。
- この車線区分線は車線変更が行えることを示します。
- カメラの視野が遮られていない。
- 車両は、他の車両がブランドスポットにいる場合それを検知しません。
- 車線変更の途中で、自動車線変更機能は目標車線の外側車線マーカーを検出できます。
- 最低運転速度は時速 45 km

車線変更を実行中に、追い越し加速が作動し Model X が前方の車両に近づくように加速します(追い越し加速 - 98 ページを参照)。車線変更の途中では、自動車線変更機能は移る側の車線の外側車線を検出する必要があります。車線レーンを検出できない場合は、車線変更は中止になり、Model X は元の車線に戻ります。

注: 自動車線変更機能は Model X を一度に 1 車線ずつ移動するアシストを行います。さらに車線を変更する場合は、最初の車線変更が完了した後方向指示器を再度作動させる必要があります。

自動車線変更機能を使用している場合は、前方の運転経路と周囲の状況を注視し、自動車線変更機能の動作を見守ることが重要です。いつでもハンドルを引き継げるように準備しておいてください。隣の車線に入ると、インストゥルメントパネルに、車線マーカーが点線の青い線として表示されます。新しい車線に入ると、車線のマーキングは青線でも再び表示されます。

自動車線変更機能が最適な性能を発揮できない場合、またはデータが不十分なために機能しない場合、インストゥルメントパネルに連続的に警告が表示されます。自動車線変更機能の使用中は、常にインストゥルメントパネルに注意を払い、必要に応じて常時 Model X のハンドルを手で操舵できるようにしておく必要があります。

制限事項

オートステアリングおよび関連する機能は、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。



- オートステアリングが車線マーカを正確に判断できません。たとえば、車線マーカが過度に摩耗している、以前のマーカが見えている、道路工事のために車線マーカを調整している、車線マーカが短区間で変更されている（車線の分岐、交差、合流）、車線マーカに物体や景観物が影を落としている、あるいは道路の表面に舗装の継ぎ目あるいは他のコントラストの高い線があるといった状況です。
- 視界不良（豪雨、降雪、濃霧など）あるいは気候条件がセンサーの動作を妨げている場合。
- カメラまたはセンサーがふさがれていたり、覆われていたり、損傷している状況。
- 坂道を運転している時。
- 料金所に接近している時。
- 運転している道路が急カーブしている場合、または過度にでこぼこしている場合。
- 明るい光（直射日光など）がカメラの視野を妨げている。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- 方向指示器を出した時に、死角に車両が検出された。
- Model X 走行中前方車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている。

⚠ 警告：様々な不測の事態によって、オートステアリングの機能が妨害される場合があります。そのことに留意し、オートステアリングの操縦アシストにより Model X を適切に操舵できないことがあることを覚えておいてください。常に運転に注意を払い、素早く行動できるようにしてください。



オートパーキング（装備されている場合）は、超音波センサーおよび GPS のデータを利用して Model X を並列および縦列駐車スペースの枠内へと誘導し、公道での駐車を容易にします。**オートパーキングを使うには** - 104 ページを参照してください。

警告：オートパーキングのパフォーマンスは、超音波センサーが他の車両、物体、緑石などにとどのくらい接近しているかにより左右されます。

オートパーキングを使うには

運転中、オートパーキングで、Model X を駐車スペースに駐車するには以下のステップに従ってください。

1. 低速で一般道路を走行している場合、オートパーキングが駐車可能なスペースを検出したかどうかはインストゥルメントパネルで確認できます。オートパーキングが駐車スペースを検出した場合、インストゥルメントパネルに駐車アイコンが表示されます。オートパーキングは 24km/h 以下で運転している時に縦列駐車できる場所を検出します。直角駐車できる場所の場合は、時速 16 km 以下で運転している時に検出します。



注：パーキングアイコンは、車両の位置および/または車両の周囲で適切な運転経路を検出した時のみ表示されます。オートパーキングが適切な経路を検出できない場合（例えば、幅の狭い道路で駐車スペースに入ろうとすると車両の前部が隣接する車線をはみ出してしまうなど）は、車両の位置を変えるか、他の駐車スペースを探るか、手動で駐車してください。

2. 検出された駐車スペースが適切かつ安全であることを確認します。確認したら、縦列駐車と同様に車両を前に出し、駐車スペースの前方、車 1 台分のところに車を停車させます。
3. ハンドルを離し、Model X をリバースにシフトしてからタッチスクリーンの「**オートパーキング開始**」をタッチします。
4. パーキングが完了すると、オートパーキング画面に「完了」のメッセージが表示されます。

センサーのデータが不十分でオートパーキングを使用できない場合は、インストゥルメントパネルに Model X を手動でパーキングすることを求めるメッセージが表示されます。

注：オートパーキングが Model X を駐車動作をしているときにブレーキを踏むと、タッチスクリーン

の「**復帰**」ボタンが押されるまで、駐車動作は停止します。

注：オートパーキングは、少なくとも幅が 2.9 メートルあって、両側に他の車両が駐車されている直角駐車ができそうな駐車スペースを検出します。オートパーキングは、少なくとも 6 メートルあるが、未満の平行駐車スペースを検出します。オートパーキングは斜め駐車スペースには対応していません。

警告：決してオートパーキングに任せきりにせず、合法的で、適切で、安全な駐車スペースを見つけてください。オートパーキングでは、常にパーキングスペースの目標物を検出できるとは限りません。駐車スペースが適切かつ安全であることを、常に目で見確認してください。

警告：Model X のオートパーキングが作動している時、ハンドルはオートパーキングによる調整に従って動きます。ステアリングホイールの動きを邪魔しないようにしてください。ハンドルの動きを妨げると、オートパーキングがキャンセルされます。

警告：パーキング中は、常時周囲に目を配ってください。いつでもブレーキをかけて車両や歩行者や物体を避けられるようにしてください。

警告：オートパーキング作動中はタッチスクリーンやインストゥルメントパネルにも目を配り、オートパーキングからの指示を確認してください。

パーキングを一時停止する

オートパーキングを一時停止させるには、ブレーキペダルを一度踏んでください。Model X 停止し、タッチスクリーンにある「**再開**」をタッチするまで停止し続けます。

パーキングをキャンセルする

ハンドルを手動で動かしたり、ギヤを変えたり、タッチスクリーンの「**キャンセル**」をタッチすると、オートパーキングは駐車操作をキャンセルします。オートパーキングは以下の場合でもキャンセルされます：

- 駐車するための動作が 7 回以上ある場合。
- Model X ドライバーが車両から退出していることを検出した場合。
- ドアが開いた場合。
- ドライバーがアクセルペダルを踏んだ場合。
- オートパイロットが一時停止中にドライバーがブレーキペダルを踏んだ場合。
- 自動緊急ブレーキが作動したとき（[衝突回避アシスト](#) - 110 ページ参照）。

制限事項

オートパーキングは、特に以下の状況下では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 道路が傾斜している場合。オートパーキングは平らな道路のみで動作するよう設計されています。
- 視界が悪い（激しい雨、雪、霧など）。
- 縁石が石以外のものでできている場合、または縁石が検出できない場合。
- 目標とする駐車スペースが、壁または柱に直接隣接している（たとえば地下立体駐車場の駐車スペースの列の終端など）。
- 1つまたは複数の超音波センサーが損傷していたり、汚れていたり、泥、氷、雪などで覆われている。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）がセンサーの動作を妨げている。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。

⚠ 警告：予期しない状況により、オートパーキングで Model X を駐車できないことがあります。この点に留意し、結果的にオートパーキングでは Model X を適切に駐車できない場合があることに留意してください。Model X のパーキング時には注意を怠らず、いつでもすぐに制御ができるようにしておいてください。

サモン（装備されている場合）では、車両から下りた状態で、自動的に Model X を駐車させたり駐車場所から出すことができます。サモンでは、超音波センサーからのデータを利用し、最大 12 メートルまで Model X を駐車スペースの内外へと前後進させます。

警告：サモンは、周囲環境をよく知っていて予測できる駐車場および私有地内の車道で使用することを目的として設計されています。

警告：サモンは、ベータ版の機能です。絶えず車両とその周囲を監視し、いつでもすぐに対応できるようにしておいてください。ドライバーには、サモンをもちて安全に、意図どおりに使用する責任があります。

警告：サモンの性能は、物、人、動物、または他の車両への車両の接近を把握する超音波センサーの性能によります。

サモンを使用する前に

サモンを起動させる前に、タッチスクリーンでサモンをオンにしてお好みの動作方法にカスタマイズしてください。「コントロール」 > 「オートパイロット」 > 「サモン」の順にタッチし、「カスタマイズ」をタッチしお好みに合わせて以下の設定を調節します。

- バンパークリアランス：**サモン使用時の検知物体から離れて停止する距離設定（例：ガレージの壁から数インチ内に停止を希望）。この距離は、前進時サモンが Model X の前面で検知する、または後進時サモンが Model X の後ろで検知する物体にのみ適用されますので、ご注意ください。
 - サモン距離：**駐車スペースへの出入り時に、Model X が移動する最長距離を設定します。
 - サイドクリアランス：**サイドクリアランスの許容距離を指定するオプションを選びます。「狭い」では、Model X をかなり狭い駐車スペースで出し入れすることが可能になります。
- 警告：**センサーが障害物の位置を正確に検出する能力には限界があるため、狭いスペースに駐車する場合は、Model X や周囲にある物体に損傷を与えるリスクが高まります。

注：設定はすべて手動で変更するまで保たれます。

サモンを使用し車両を駐車・出庫させる

サモンを使用して Model X を駐車する手順に従う：

- Model X が前進か後進でまっすぐにスペースへの出し入れができるよう、Model X を駐車スペースの 12 メートル以内の位置に揃えます。
- モバイルアプリ上の「サモン」をタッチし、車両外部から駐車操作を初期化してから、「前進」または「後進」ボタンを長押しします。

サモンは Model X を前進または後進（指定した方向に基づく）へとギアを入れ、駐車スペースの中あるいは外へ動かします。駐車完了時、または障害物を検知した場合、サモンは Model X をパーキングに切り替えます。サモンが Model X をパーキングへと切り替える時：

- Model X その進行経路（指定した「バンパークリアランス」設定範囲内）に障害物を検知した。
- サモンが Model X を最大移動距離 12 メートル移動させた。
- 「前進」または「後進」ボタンを離れた。
- 手動でサモンを停止させるには、いずれかのボタンを押してください。

Model X の駐車にサモンを使用した場合は、サモンを使用して Model X を元の位置（車両がパーキングモードだったことが前提）や指定した距離か最長のサモン距離まで動かすことができます。障害物がない場合、モバイルアプリ上で反対方向を指定するだけで、サモンが元の経路に沿って車両を移動させます。超音波センサーが障害物を検知した場合、サモンはその元の経路にごく近い経路を辿りながら障害物を避けようとして、サモンは障害物に沿って車両を動かしません。

注：（最大移動距離の 12 メートルを超えずに）サモンを複数回同じ方向へ動かすためには、サモンをキャンセルし、同じ方向を用いて駐車動作を再度開始してください。

注：サモンは障害物を避けるために Model X を少しだけ横に移動させることができますが、元の移動経路に戻すために障害物回り込むような操縦は行いません。

注：サモンでは、Model X の近くに有効なキーが検出されていなければなりません。

警告：Model X バンパーより低い位置にある物体、幅の非常に狭い物体（例、自転車など）、または天井からぶら下がっている物体などは検知できません。加えて、予期せぬ事態が起きると、パーキングスペースに出し入れするサモンの能力を超える場合があるため、適切に Model X を移動できないことがあります。このため、車両の動きや周囲の状況を常に監視し、いつでもキーのいずれかのボタンを押して Model X を停止できるよう準備して待機する必要があります。

サモンの停止またはキャンセル

サモンが有効になっている間はモバイルアプリを使用するかキー上のボタンを押して、いつでも Model X を停止させることができます。サモンは以下の場合でもキャンセルされます。

- ドアハンドルが押されている、またはドアが開いている場合。



- ステアリングハンドル、ブレーキペダル、アクセルペダル、またはギアスティックなどを操作する。
- Model X 障害物を検知します。
- サモンが、Model X を最大移動距離約 12 メートル 動かしました。
- お使いの携帯電話がスリープモードになっているか、Model X への接続が失われています。

制限事項

サモンは、以下の状況では設計どおりに動作しない可能性があります。

- 走行経路が傾斜になっています。サモンは平坦な道路（最大傾斜 10%）に限り、動作するように設計されています。
- 高くなっているコンクリート片を検出しました。強化型サモンは高さが約 2.5 cm 以上の障害物を乗り越えることはできません。
- 超音波センサーが損傷しているか、汚れているか、(泥、氷、雪、車両ブラ、余剰なペンキ、ラップ・ステッカー・ゴムコーティングなど接着製品のようなものによって) 遮られています。
- 気象条件 (豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温) がセンサーの動作を妨げている。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている場合。
- Model X がトレーラーモードまたはアクセサリが取り付けられています。

注: Model X がパレー モードにある場合、サモンは無効になります (パレーモード - 50 ページを参照)。

⚠ 警告: サモンの適当な動作を妨げる恐れのある状況は、上記の一覧だけではありません。ドライバーは、常に Model X をコントロールできる状態での責任があります。サモンが Model X を動かしているとき、その動きに注意を払い、素早く行動できるようにしてください。これを怠ると、重大な損害や怪我、死亡事故につながる恐れがあります。



オートパイロットカメラおよび超音波センサーは走行している車線をモニターすると同時に、Model X 周辺の他の車両や物体の存在もモニターします。

ブラインドスポットや Model X 脇近くに物体が検出された時（車両、ガードレールなど）、「インストゥルメントパネル」に表示されるお客様の車両の画像に色付きラインが現れます。検出された物体の位置に応じた場所にラインが表示されます。ラインのカラー（白、黄、オレンジまたは赤）は、お客様の車両に対する物体の近さを表し、白はまだ物体が遠くあることを示し、赤になると物体がごく近くまで接近したことを示すため、ただちに注意を払う必要があることを示します。この色の付いたラインは、約時速 12 km ~ 140 km で走行している時のみ表示されます。また、オートステアリングが有効にされているとき、走行速度が時速 12 km 以下にあると色の付いたラインが表示されます。ただし、Model X が停止状態の場合（例：渋滞）、色付きの線は表示されません。



また、レーンアシストは行おうとしている車線変更が適切でない時にも警告を出します。方向指示器を点灯させて移動しようとしている隣接レーンに車両や物体が検知されると、「インストゥルメントパネル」に車両や物体が検知されたことを示す赤いレーンラインが表示されます。その車線や物体が検出されなくなると、車線は通常表示に戻ります。

警告：レーンアシストは誘導のみを目的としており、運転者の目視による確認の代わりになるものではありません。車線変更の際は、必ず事前にサイドミラーを見たり、肩越しに後ろを振り返ったりして、自分の目で移動先車線を確認してください。

警告：不意に走行車線を外れて走行していることを知らせたり、ブラインドスポットや車両の側方近くに車両がいることを知らせるレーンアシスト機能に任せきりにしないでください。車線や縁石が不明瞭だったりするなど、いくつかの外的な要素によりレーンアシストの性能が低減する場合があります。これにより誤った

警告を行ったり、警告が不十分になったりする場合があります（**制限事項および不正確性** - 109 ページを参照）。常に注意を怠らず、走行車線に注意を払い、他の車両に注意することはドライバーの責任です。これらを怠ると重大な事故や死亡事故につながる恐れがあります。

レーンアシストは、車線内で安全に走行することをアシストするよう以下にある機能で構成されています。

- ステアリング介入
- 車線逸脱警報
- ブラインドスポット警告チャイム

ステアリング介入

レーンアシストでは、Model X が隣の車線に入り込み（または接近し）車両などの物体が検出された場合、ステアリングに介入します。つまり、このような状況のとき、Model X は自動的にステアリングを制御して、現在の走行車線内の安全な位置に移動します。このステアリングによる運転の介入は、車線マーカーがよく見える主要道路を Model X が時速 48 km ~ 140 km で移動しているときのみ作動します。レーンアシストがステアリング操作をして運転に介入する時、インストゥルメントパネルで警告メッセージが短時間表示されます。

車線逸脱警報

車線逸脱警報は、方向指示器を出さずにフロントホイールが車線を越えて不用意に車線から逸脱するとハンドルをわずかに振動させてドライバーに警告を出します。この警告をオン、オフするには、「コントロール」>「オートパイロット」>「車線逸脱警報」をタッチします。

車線逸脱警報は、約時速 59 km ~ 時速 150 km で走行している時のみ有効になります。選択した設定は、手動で変更されるまで維持されます。

これに加え、他の車両や物体が検出されている車線に入ろうと方向指示器を出す時、インストゥルメントパネルにその車線変更が安全でないことを知らせる赤色の車線が表示されます。

ブラインドスポット警告チャイム

ブラインドスポットに他の車両が検出され衝突の危険がある時にチャイムがなるよう設定したい場合は、「コントロール」>「オートパイロット」>「ブラインドスポット警告チャイム」の順にタッチします。

警告：ブラインドスポット警告チャイムであらゆる衝突を検知できるわけではありません。ドライバーは、死角となる箇所によく注意を払い確認する責任があります。



制限事項および不正確性

レーンアシストは、車線区分線を確実に検出できるとは限りません。以下のような場合に、不要あるいは無効な警報が出されることがあります。

- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。超音波センサーの厳密な検出ゾーンの幅は環境条件によって変わります。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- Model X の前の車両がカメラの視野を妨げている。
- フロントガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている（くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど）。
- 車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。
- 道路がせまく、曲がりくねっている場合。
- 車線区分線上に影を落とすような物体や景観物がある場合。

以下の場合、レーンアシストが警告を出さなかったり、誤った警告を出したりすることがあります：

- 1 つまたは複数の超音波センサーが損傷していたり、汚れていたり、泥、氷、雪などで覆われている。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）がセンサーの動作を妨げている。
- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。
- Model X に取り付けられている物体（バイクラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。

さらに、以下の状況では、レーンアシストは Model X を隣の車両から離れるようにステアリング操作しなかったり、不要または不適切なステアリング制御をする場合があります。

- Model X が急カーブを走行中か、比較的高速でカーブを曲がっている。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- 隣のレーンにふらついたが、物体（車両など）が存在しない。
- 隣のレーンにいる車両が前に割り込むかあるいは自分の車線にふらついてきた。
- Model X が、時速 48 km または時速 145 km 超で走行している。
- 1 つまたは複数の超音波センサーが損傷していたり、汚れていたり、泥、氷、雪などで覆われている。
- 気象条件（豪雨、降雪、霧、または極端な高温や低温）がセンサーの動作を妨げている。

- センサーが超音波を発する他の電子機器の影響を受けている。
- Model X に取り付けられている物（自転車ラックやバンパーステッカーなど）がセンサーに干渉していたり、センサーを遮っている場合。
- 視界が悪く、車線区分線がはっきり見えない場合（豪雨、降雪、濃霧など）。
- 車線区分線が摩耗しすぎている、以前の車線区分線が見える、または道路工事のために変更されている、または（車線が分岐、交差、合流しているなど）急激に変化している場合。

⚠ 警告：上記は、レーンアシスト警報の正しい動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。レーンアシストが正しい警報を出すことができなくなる理由は他にも数多くあります。衝突を回避するため、アラートモードのままにして、運転時には道路に注意を払ってください。そのようにすることで、調整の必要がある時に早期に前もって行動に移すことができます。

次の衝突回避機能が乗員の安全性を高めるように設計されています。

- **正面衝突警告システム**は、Model X が正面衝突の危険が高い状況を検出した場合、映像および音声による警告を発します (**正面衝突警告** - 110 ページを参照)。
- **自動緊急ブレーキ**は、正面衝突の衝撃を緩和するために自動的にブレーキをかけます (**自動緊急ブレーキ** - 111 ページを参照)。
- **障害物検知走行モード** - Model X がその直進経路内に物体を検出した場合に加速を減少させる (**障害物検知走行モード** - 111 ページ を参照)。

⚠ 警告：正面衝突警告は運転補助の目的のみに作られており、注意深い運転や適切な判断に代わるものではありません。走行中は常に道路に注意を払い、正面衝突警告に頼らずに衝突を回避するように心がけてください。性能はさまざまな要因によって低下するか妨げられ、不必要または不正確な警告を行う、あるいは警告を行わない可能性があります。衝突危険性の探知を正面衝突警告のみに頼ることで、重大な事故や死亡事故が発生する恐れがあります。

⚠ 警告：自動緊急ブレーキは、衝突を完全に防止するように設計されたものではありません。状況によって、走行速度を落とすことにより正面衝突の衝撃を最小限にいとめるに過ぎません。衝突回避を自動緊急ブレーキに頼りすぎると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

⚠ 警告：障害物検知走行モードは、衝突を防止するように設計されたものではありません。状況によって、衝突時の衝撃を最小限に抑えるよう働きます。衝突回避を障害物検知走行モードに任せきりにすると、重大な事故や死亡事故につながるおそれがあります。

正面衝突警告

前方監視カメラとレーダーセンサーによって、車両、オートバイ、自転車、歩行者がいらないか、Model X 正面の領域がモニターされます。ドライバーがとっさの是正行動をとらず衝突しそうな場合、正面衝突警告がチャイムを鳴らし、インストゥルメントパネルには前の車が赤く警告表示されます。これが表示されたら、**直ちに是正措置を取ってください!**



警告は衝突の危険性が低くなったときに自動的に停止します (例えば Model X を減速または停止した場合や、前方の車両が Model S の進路から外れた場合など)。

Model X が正面衝突警告を出したとき、衝突を回避する操作が即座に行われずに衝突の可能性が非常に高くなった場合は、自動緊急ブレーキがかかる場合 (有効になっている場合) があります (**自動緊急ブレーキ** - 111 ページを参照)

初期設定では正面衝突警告はオンになっています。正面衝突警告をオフにする、または感度を調整するには、「**コントロール**」 > 「**オートパイロット**」 > 「**正面衝突警告**」の順にタッチします。標準設定の「**中間**」のほか、警告を「**OFF**」、「**遅め**」または「**早め**」に設定することができます。

注：正面衝突警告用に選択した設定は、手動で変更されるまで保持されます。また、ドライバープロフィールでも保存されます。

⚠ 警告：正面衝突警告に関係するカメラやセンサーは、走行ルート上およそ 160 メートルの範囲を監視するよう設計されています。正面衝突警告システムは道路や気象条件によって悪影響を受ける場合があります。運転時には適切な注意を払ってください。

⚠ 警告：正面衝突警告は視覚的および音声的な警告を行うためだけに設計されています。ブレーキを作動させたり、Model X を減速させるものではありません。警告を見たり聞いたりしたときに、ただちに是正措置をとるのはドライバーの責任です。

⚠ 警告：正面衝突警告システムは、衝突の危険性がないにも関わらず誤って警告することがあります。常に警戒を怠らず、Model X の前方に注意を払い、何かアクションが必要ではないか予測してください。

⚠ 警告：前面衝突警告は、時速 10 ~ 150 km で走行しているときのみ作動します。

⚠ 警告：正面衝突警告は、ドライバーがすでにブレーキを踏んでいる時警告を出しません。

自動緊急ブレーキ

前方監視カメラとレーダーセンサーは、Model X の前方に検出された移動している物体からの距離を測定するように設計されています。自動緊急ブレーキは正面衝突が不可避と見なされたときにブレーキをかけ、衝突の衝撃を和らげるように設計されています。

自動緊急ブレーキがかかると、インストルメントパネルに警告が表示され、警告音も鳴ります。ブレーキペダルが急に押し下げられることにも気がつくでしょう。ブレーキライトも点灯し、他の道路ユーザーに減速中であることを知らせます。

緊急ブレーキ操作が進行中です

時速 (56 km) またはそれ以上で走行している場合、自動緊急ブレーキが走行速度を時速 (50 km) まで減速させた後にブレーキが解除されます。例えば、自動緊急ブレーキは、時速 90 km で走行している時に作動し、走行速度が時速 40 km 以下まで減速すると解除されます。

自動緊急ブレーキは、時速 10 km と時速 150 km の間で運転している場合のみ作動します。

自動緊急ブレーキは以下の状況でブレーキをかけたり、その反対にブレーキをかけることを防ぎます。

- ドライバーが急ハンドルの切った場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキをかけている間、ブレーキペダルを踏んで放した場合。
- 自動緊急ブレーキがブレーキを作動させている間は加速します。
- 車両、オートバイ、自転車、または歩行者がもはや前方に検出されなくなった場合。

Model X を始動すると自動緊急ブレーキは常に有効になります。現在の運転でこれを一時的に無効にするときは、「コントロール」>「オートパイロット」>「自動緊急ブレーキ」の順にタッチします。

-  **警告：**自動緊急ブレーキは無効にしないことを強く推奨します。無効にすると、Model X は衝突不可避と見られる状況でも自動的にブレーキをかけません。
-  **警告：**自動緊急ブレーキは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するようには設計されていません。
-  **警告：**車両の一部が走行経路内にあるときや道路の破片があるときなど、自動緊急ブレーキの性能に影響を及ぼすいくつかの要因により、制動しない場合や、不適切またはタイミングの悪いブレーキをかける場合があります。どのような場合にも、安全運転と車両の制御維持はドライバーの責任です。決して自動緊急ブレーキに頼って衝突の衝撃を回避または緩和しようとししないでください。

 **警告：**自動緊急ブレーキは正面衝突の衝撃だけを緩和するように設計されており、Model X が後進中は機能しません。

 **警告：**自動緊急ブレーキは、前方の車両との安全な車間距離を維持する代わりになるものではありません。

 **警告：**自動ブレーキが作動すると、ブレーキペダルが急に下がります。ブレーキペダルは常に自由に動くようにしておいてください。Tesla 標準の運転席フロアマット (追加のマットも含む) の下にも上にも物を置かないようにして、常に運転席のフロアマットは正しく固定されているようにしてください。これを怠ると、ブレーキペダルの自由な動きが妨げられることがあります。

障害物検知走行モード

障害物検知走行モードは、Model X が走行経路に物体を検出すると、モーターのトルクを下げたり、場合によってはブレーキをかけることによって、衝突の衝撃を緩和するように設計されています。例えば、Model X がドライブにシフトされた状態で閉じたガレージドアの前で駐車しているときに、アクセルペダルが強く踏まれたことを検出します。これでも、Model X は加速してガレージドアに衝突してしまいがちですが、トルクを下げたため損傷が軽減されることが期待できます。

障害物検知走行モードは、以下の条件が同時にすべて満たされると作動します：

- ドライブギアにシフトされている (D または R)。
- Model X 停止しているかまたは走行速度が時速 16 km (10 マイル) 以下。
- Model X 進路方向にある直近の物体を検出する。

障害物検知走行モードを無効にするには、「コントロール」>「オートパイロット」>「自動緊急ブレーキ」の順にタッチします。

-  **警告：**障害物検知走行モードは衝撃を緩和するように設計されています。衝突を回避するようには設計されていません。
-  **警告：**障害物検知走行モードは、場合によりトルクを制限できないことがあります。環境条件、障害物からの距離、およびドライバーの反応などの要因により、障害物検知走行モードは動作が制限、遅延、または抑制される場合があります。
-  **警告：**障害物検知走行モードは、駐車スペースに入る時など急な旋回を行うときにトルクを制限しないことがあります。
-  **警告：**障害物検知走行モードを利用して加速を制御したり、重大な衝突の回避を試みるなど、障害物検知走行モードを試さないでください。



これを行うと、重大な損害やけが、死亡事故につながる恐れがあります。

- 警告：**いくつか要因が障害物検知走行モードの性能に影響して、モータートルクの不適切な、またはタイミングのずれた減少が生じたり、あるいは意図しないブレーキ効果が生じたりすることがあります。どのような場合にも、安全運転と Model X のコントロール維持はドライバーの責任です。

制限事項および不正確性

衝突回避機能はすべての物体、車両、自転車または歩行者を確実に検知できるものではなく、特に以下の場合を含むさまざまな理由から不必要、不正確な警告あるいは見逃しが起こる場合があります。

- 道が鋭くカーブしている場合。
- 視界が悪い（激しい雨、雪、霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- レーダーセンサーが遮られている（汚れ、カバーなど）。
- フロントガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている（くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど）。

- 警告：**前述の制限事項は衝突回避補助機能の正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。これらの機能はその他の多くの理由でも当初の機能を発揮しない場合があります。ドライバーは、衝突を回避するために常に周囲に注意を払い、素早く回避行動が取れるようにする責任があります。

- 注意：**衝突回避補助機能が故障した場合は、Model X に警告が表示されます。Tesla サービスにお問い合わせください。

スピードアシストの動作原理

制限速度警告がオンになっていると、インストゥルメントパネルにGPS データをもとにした速度制限標識が表示されます。この制限速度を超えると、警告（後述）が表示されます。



スピードアシストが制限速度を判別できない場合（たとえば、速度標識やGPS データがその位置で利用できない場合）や取得した制限速度が正しいかどうか分からない場合（たとえば、最初に速度標識が認識されてからしばらくの間次の標識が認識されない場合）、インストゥルメントパネルに速度制限は表示されず、警告も発せられません。

速度制限警告を**表示する**（スピードアシストの制御 - 113 ページを参照）に設定し、その速度制限を超過すると、インストゥルメントパネルに表示された速度制限標識が徐々に大きくなっていきます。

速度制限警告を**チャイム**（スピードアシストの制御 - 113 ページを参照）に設定し、その速度制限を超過すると、インストゥルメントパネルに表示された速度標識が徐々に大きくなり、Model X は警告音を発します。

注：速度制限警告は 10 秒後または Model X が速度制限未満に減速すると解除されます。

⚠ 警告：適切な速度制限または運転速度を判断するためにスピードアシストに頼らないください。常に交通と道路の状況に基づいて安全な速度で運転してください。

スピードアシストの制御

制限速度警告を調整するには、「コントロール」>「オートパイロット」>「制限速度警告」の順にタッチして、以下のいずれかのオプションを選択します。

- **オフ** - 速度制限警告は表示されず、警告チャイムが鳴りません。
- **表示** - インストゥルメントパネルに速度制限標識が表示され、設定した制限を超えるると標識のサイズが徐々に大きくなります。
- **チャイム** - 視覚的な表示に加えて、速度制限を超えた時はチャイムを鳴らします。

速度制限をどのように決めるかを指定することもできます。

- **相対** - 速度制限は、検出された交通標識とGPS データに基づいて決められます。必要に応じて速度制限を指定したオフセット分だけ超えた時に警告を出したい場合は、速度制限のオフセット値（+ または -）を設定できます。たとえば、速度制限を時速 10 km 超えるときだけ警告を出したい場合、オフセット値を時速 10 km 上げます。

注：速度制限からのオフセット値は、インストゥルメントパネルの速度表示の左側にある灰色の速度メーターアイコン内に表示される数値にも反映されます。

- **絶対** - 時速 30 km から 240 km の間で速度制限を手動で指定します。

注：GPS データは必ずしも正確ではありません。GPS は道路の位置判断を誤って、隣接した道路の速度制限の異なる速度制限を提示することがあります。たとえば、Model X が高速道路または有料道路にいと GPS が推測しても、実際には近くの一般道路を走っていることも、またその逆もありません。

注：選択した設定は、手動で変更されるまで保持されます。ドライバー プロフィールにも保存されます。

制限および不正確な記述

スピードアシストは完全に機能しないことがあり、以下のような場合に不正確な情報を提示することがあります。

- 視界が悪く、速度制限標識がはっきり見えない（豪雨、降雪、霧など）。
- 明るい光（対向車のヘッドライトや直射日光）がカメラの視野を妨げている。
- Model X 走行中前方車両に近づきすぎて、カメラの視界がさえぎられている。
- フロントガラスのカメラの視野に入る部分が覆われている（くもり、汚れ、ステッカーが貼られているなど）。
- 速度制限標識が何かで隠れている。
- GPS データベースに保存されている速度制限は不正確で古い情報です。
- Model X GPS データを使えない地域を走行している。
- 交通標識が標準的な認識できる形式と一致しない。



- 道路や速度制限が最近変わった。
- 警告：**前記のリストはオートパイロットコンボイメントの正常な動作を妨げる可能性のある状況をすべて網羅したものではありません。スピードアシスト警報が正しい警報を発することができなくなる理由は他にも数多くあります。

概要



タッチスクリーンの下隅にある「コントロール」にタッチして、機能をコントロールしたり、Model X を好みに合うようにカスタマイズしたりします。コントロール ウィンドウがマップの上に表示されます。ウィンドウの左側のオプションをタッチして、関連付けられているコントロールと設定を表示します。デフォルトでは、よく使用する設定にすばやくアクセスするための「クイック コントロール」が表示されます。



コントロール ウィンドウを閉じるには、左上隅の X をタッチするか、「コントロール」をもう一度タッチするか、ウィンドウ上でスワイプ ダウンします。



情報アイコンが特定の設定の隣に表示されているときに、それをタッチすると、関連する設定について役に立つ詳細情報を提供してくれるポップアップが表示されます。

注：以下の図は説明のみを目的としています。利用可能な機能は、車両オプション、ソフトウェアのバージョン、販売地域により異なる場合があります。



コントロールの概要

1

2

1. 利用可能なコントロールのリストこのリストからアイテムを選択すると、関連付けられているコントロールが主表示エリアに表示されます。
2. 主表示エリア選んだコントロール カテゴリの利用可能なオプションがここに表示されます。



クイック コントロール よく使用する機能にすばやくアクセスできる、クイック コントロールが初期設定で表示されます。これらの機能の多くでは、クイック コントロールの下にある機能別のタブにより多くのオプションが用意されています。

- エクステリアライト (**ライト** - 59 ページを参照)。
- ドアとロック (**ドア** - 9 ページを参照)。
- 明るさ: ディスプレイの明るさを調整します。スライダをドラッグして手でインストールメントパネルとタッチスクリーンの明るさをコントロールします。「自動」をタッチして、ディスプレイが自動的に調整されるようにします。

シート シートを調整します。Model X に 3 列目シートと、2 列目のモノポスト シートが備わっている場合は、イージー エントリー ボタンを有効にします。有効になっている場合、イージー エントリー ボタンを 1 回押すと連結した外部シートと中央のシートが移動し、3 列目シートに入れるようになります。イージー エントリー ボタンが有効になっていない場合は、シートを移動するためにイージー エントリー ボタンを押し下げたままにする必要があります (**3 列目シートへのアクセス (装備されている場合)** - 29 ページを参照)。

サスペンション エアサスペンションシステムが Model X に搭載されている場合、タッチして手で車高を調整します (**エア サスペンション** - 140 ページを参照)。Model X サスペンションの設定を変更するには、電源がオンになっている状態でブレーキ ペダルを踏み必要があります。

- ▲ **警告**: エアサスペンションシステムは、電源がオンになっていない場合でも、Model X を水平に保ちます (セルフレベルリング)。そのため、牽引やジャッキアップの際には、「**ジャッキ モード**」を操作してセルフレベルリングを無効にする必要があります (**車両輸送者向け注意事項** - 187 ページおよび**ジャッキアップと引き上げ** - 172 ページ参照)。

ライト エクステリアライトおよびインテリアライトをコントロール (**ライト** - を参照) し、以下の設定をオンまたはオフにします。

- **オートハイビーム**: オンにすると、Model X の前方に (近づいてくる車両などからの) ライトを検知したときに、ハイビームヘッドライトが自動的にロービームに切り替わります。 **ハイビームヘッドライト** - を参照してください。
- **降車後のヘッドライト**: オンにすると、運転を停止して薄暗い環境で Model X をパーキングにするときに、ヘッドライトはオンのままになります。1 分後または Model X をロックするとヘッドライトは自動的に消灯します

運転モード

- 加速:** 加速を制限させるか増加させるかを定める加速設定を選択します (**加速モード** - 76 ページを参照)。
- ステアリングモード:** ハンドルを回すのに必要な力を調節します。「スポーツ」に設定するとより素早い反応が得られ、「コンフォート」に設定すると運転や駐車操作がより容易になります (**ステアリングの感触・感度を調整する** - 52 ページを参照)。
- 回生ブレーキ:** 運転中にアクセルを離すと、回生ブレーキにより Model X のスピードが落ち、余剰エネルギーがバッテリーに戻されます。「低」に設定すると、Model X は速やかには減速せず、バッテリーに戻されるエネルギーも少なくなります (**回生ブレーキ** - 69 ページを参照)。

注: 選択した設定に関わらず、バッテリーがフル充電されている場合や気温が極端に高いまたは低い場合は、回生ブレーキによって得られるエネルギー量は少なくなります (余剰エネルギーは、バッテリーを温めたり冷やしたりするために使われます)。

- トラクションコントロール:** ホイールの回転を意図的に行う必要がある状況下では (Model X が雪や砂や泥にはまっている場合など)、**スリップスタート** を有効にすることができます (**トラクションコントロール** - 72 ページを参照)。
- クリープ:** オンにすると、ブレーキを離したときに、Model X がドライブ状態であれば前方向の、リバース状態であれば後方向のトルクで動き出します (従来の自動車のオートマチック トランスミッションに相当します)。オフにすると、ホイールがフリー状態となるため Model X はブレーキを離すと動き出し、アクセルペダルを踏むまでモーターはトルクを出しません。

注: クリープに関連しているトルクにより、平坦な道路上のみにおいて車両がゆっくりと動きます。Model X が傾斜面 (急な坂道や私道など) にある場合は、前進または後進するためにアクセルペダルを踏む必要があります。

- ▲ 警告:** 坂道では、車両が下がらないようにするために、クリープ現象のみに頼らないでください。坂道では車両を制動するためにブレーキを必ず踏むか、アクセルペダルを使用して坂道を登ってください。そうしない場合は 物損事故や衝突事故を起こす恐れがあります。
- レンジモード:** オンにすると、Model X は空調システムの電力を制限することによってエネルギーを節約シグネチャー ライティングをオフにします。車内の冷暖房はあまり効果的ではない場合もありますが、寒冷地では暖を取るためにシートヒーターを利用できます。四輪駆動仕様車の場合、オンにすると航続距離を最大化するよう、トルク配分が最適化されます。



オートパイロット

より安全でより容易に運転をするための機能をコントロールします (オートパイロットコンポーネントを装備の場合) (オートパイロットについて - 92 ページ参照)。

- **オートステアリング (ベータ)**: オートステアリング機能を有効にします (Model X にオートパイロットパッケージが装備されている場合に限り利用可能) (オートステアリング - 100 ページ参照)。
- **サモン (ベータ版)**: 車外から自動的に Model X を駐車場に入れたり出したりします。サモン - 106 ページを参照してください。
- **サモンのカスタマイズ**: 車両の駐車および出庫時に、サモンをどのように作動させるかを指定します。
- **制限速度警報**: 検出された制限速度を超過したときに受け取る警告がある場合に、その種類を指定します (スピードアシスト機能 - 113 ページを参照)。
- **速度制限**: スピードアシストで相対的 (オフセットあり) または絶対的な速度制限のどちらを使用するようにするかを指定します (スピードアシスト機能 - 113 ページを参照)。
- **オフセット**: 相対的な速度制限を選択した場合は、指定した分量のオフセットを超過したときのみ速度制限の警告を出すようにする場合に、速度制限オフセットを設定します (スピードアシスト機能 - 113 ページを参照)。
- **正面衝突警告**: 正面衝突の危険が高い状況で視覚的および音声的な警告を受け取るかどうか、およびいつ受け取るかを指定します (衝突回避アシスト - 110 ページを参照)。
- **車線逸脱警告**: 方向指示器が点滅していない方向の車線区線を通過しようとしている場合に、ハンドルを細かく振動させるかどうかを指定します (レーンアシスト - 108 ページを参照)。
- **自動緊急ブレーキ**: 正面衝突の危険が迫っているときに Model X が自動的にブレーキを作動するようにするかを指定します (衝突回避アシスト - 110 ページを参照)。
- **障害物検知走行モード**: 低速での運転中に車両の前方に障害物を検出したときに自動的に加速を下げるかどうかを指定します (衝突回避アシスト - 110 ページを参照)。



車両

- **ファルコンドア高さ: 自動**に設定されている場合、ファルコン ウィング ドアは全開します（高さ登録してある場所以外で障害物が検出されていない場合）。**低**に設定されている場合、ファルコン ウィング ドアは部分的に開き、悪天候から乗車している人を守ります。
- **自動ドア**: オンの場合、Model X に近づいてキーが検出されると、運転席のドアが開きます。運転席のドアはキーをダブルクリックしても開きません。さらにダブルクリックすると、助手席のドアが開きます。有効になっていない場合、ドアはロック解除されますが、運転席のドアは手動で開ける必要があります。[\(Model X のドアを車外から開閉する - 12 ページを参照してください\)](#)。
- **キー オフで全てを閉じる**: オンの場合、キーのロック/ロック解除ボタンをシングルクリックするとすべてのドア（リア トランクも含む）が閉じてロックされます（オフの場合は、このボタンをトリプルクリックします）。
- **運転席ドア ロック解除モード**: オンにすると、Model X がパーキングにシフトされるときに運転席のドアのみがロック解除されます。オフになると、すべてのドアがロック解除されます。
- **降車後オートロック**: オンになっている場合、キーを持って車両から離れるとドアが自動的にロックされます（[降車後オートロック機能](#) - を参照）。
- **P でロック解除**: オンにすると、パーキングギアに入れた時にドアが自動的にアンロックされます（[内部からのロックとアンロック](#) - を参照）。**運転席ドア ロック解除モード**がオンの場合、ドライバーのドアはロック解除されます。
- **チャイルドロック**: オンにすると、セーフティ ロックが作動し、車両の車内からリア ドアを開けられなくなります（[チャイルドロック](#) - を参照）。
- **ミラー角度自動調節**: オンにすると、バックするときに外部ミラーが下に傾きません（[ミラー](#) - 55 ページを参照）。
- **ミラー自動格納**: オンになっている場合、キー、モバイルアプリ、または降車後オートロック機能を使用して Model X をロックする際に、ドアミラーが折りたたまれます。車両に戻るとミラーは自動で開きます。センター ミラー コントロール ボタンをタッチして、ミラーを自動的に折りたたむこともできます（[ミラー](#) - 55 ページを参照）。
- **スマート プレコンディショニング**: オンの場合、Model X は運転スケジュールを学習し、車両を運転する状態に自動的に準備します。これにより、Model X の電源が入るときに経験する可能性がある一時停止を最小限に抑えられます。

注: スマートエアコンディショニング機能は、バッテリーの電力が 20% 以上ある場合のみ作動します。



ディスプレイ

「**昼**」(明るいバックグラウンド)または「**夜**」(暗いバックグラウンド)設定を手動で調整します。「**自動**」に設定すると、周囲の明るさに応じてタッチスクリーンの昼モードと夜モードが自動的に切り替わります。

明るさ: スライダーをドラッグして手動でスクリーンの明るさのレベルをコントロールします。明るさについて「**自動**」がオンの場合、スクリーンは周囲の状況とお客様の好みに応じて自動的に調整します(お客様が行う手動調整を記憶します)。

画面クリーニングモード: タッチスクリーンをクリーニングするために一時的に無効にします。

単位の表示形式をカスタマイズすることもできます。

- **時間形式**: 時間が 12 時間または 24 時間のどちらの形式で表示されるかを選びます。
 - **エネルギー表示**: 電力残量および充電ユニットをパーセント、または走行可能な予測距離で表示します。走行距離を選ぶと、次の項目を指定できます。
 - **定格値** - ECE R101 テストに基づく表示。
 - **標準値** - US EPA テストに基づく表示。
 - **距離**: 距離、速度、エネルギー、トリップメーター、マップ検索、ナビゲーションルートでの表示で、**マイル**と**キロメートル**のどちらを使うかを選びます。
 - **温度**: 温度を °C と °F のどちらで表示するかを選びます。
 - **タイヤ空気圧**: タイヤ空気圧を **BAR** と **PSI** のどちらで表示されるかを選びます。
 - **言語**: タッチスクリーンに表示される言語を選びます。
- 注**: Model X 言語設定を変更するには、ギアをパーキングに入れる必要があります。言語を変更すると、車両がシャットダウンされて再起動するため、若干時間がかかります。
- **ナビの言語**: ナビの指示で使われる言語を選びます。

走行データ

トリップメーターでこれまでの走行データを確認し、メーターをリセットします([走行情報](#) - 78 ページを参照)。

ナビゲーション

ナビのガイダンス音声の音量を調節するには、-または+をタッチします。一番左まで音量を下げるとガイダンス音声をミュートにします。ナビ走行中にガイダンス音声をミュートにするは、経路案内リストにある音量アイコンをタッチします。

注: この音量設定はナビゲーションシステムの音声指示だけに適用されます。メディアプレーヤーや電話の音量は変わりません。

以下の設定を変更して、ナビシステムの動作をカスタマイズします。

- 「**トリッププランナー**」(お住いの地域で利用可能な場合)をタッチし、運転および充電にかかる時間を最低限に抑えます([トリッププランナー](#) - 133 ページ参照)。
- 渋滞を避けるために自動的に経路変更させるには、「**オンライン情報に基づいたルート**」をタッチします([オンラインルート案内](#) - 133 ページを参照)。
- フェリーを利用しないよう自動的に経路変更させるには、「**フェリーを使用しない**」をタッチします。
- 有料道路を利用しないよう自動的に経路変更させるには、「**有料道路を使用しない**」をタッチします。

注: マップにある設定アイコンをタッチして、ナビ設定を表示することもできます([地図とナビゲーション](#) - 131 ページを参照)。



安全とセキュリティ

手動で「**パーキングブレーキ**」をかけたり解除したり（**パーキングブレーキ** - 70 ページを参照）、車両を**電源オフ**にしたり（**速度制限モード** - 123 ページを参照）、加速および最高速度を制限したり（**停止** - 56 ページを参照）、以下の機能のオンとオフを切り替えたりすることができます。

- **助手席用フロントエアバッグ**: フロントの助手席エアバッグを手動で調整します（**助手席ヘッドエアバッグを OFF にする** - 47 ページを参照）。
- **パーキングアシスト チャイム**: オンにすると、パーキング時に物体に接近するとビープ音が鳴ります（**パーキングアシスト** - 73 ページを参照）。
- **セキュリティーアラーム**: セキュリティーアラームを有効にします（**セキュリティー設定** - 143 ページを参照）。
- **パッシブ エントリー**: オンにすると、キーを持って Model X に近づくと、オフの場合は、キーを使用して Model X のロックを解除する必要があります**キーを使用する** - 9 ページを参照してください。

注: Model X の電源を入れるにはパッシブ エントリー設定を変更する前にブレーキペダルを踏む必要があります。**充電開始中** - 56 ページを参照してください。

注: パッシブエントリーがオフで、約 5 分以内にブレーキペダルを踏んで Model X を開始しない場合、再び車両を始動する前に、インストールメントパネルにメッセージが表示され、キーを使用して Model X を一度ロックし、再びロックを解除する必要があります。

注: パッシブエントリーを有効にすると、「**ドライブ用 PIN**」も有効にしてセキュリティを強化することをお勧めします（**ドライブ用 PIN** - 143 ページを参照）。

- **ドライブ用 PIN**: セキュリティを強化するために、4 桁の PIN（個人識別番号）を入力するまで Model X を運転できないようにすることができます（**ドライブ用 PIN** - 143 ページ参照）。
- **キャビン過熱保護**: Model X を降車してから最大 12 時間、極端に熱気を帯びている状況下でキャビンの温度を下げます（**キャビン過熱保護** - 130 ページを参照）。
- **モバイルアクセスを許可**: Tesla のモバイルアプリケーションが Model X にアクセスすることを許可します（**モバイルアプリ** - を参照）。

注: 「モバイルアクセスを許可」を無効にするは、タッチスクリーンに Tesla アカウントの認証情報を入力します。

- **データ共有**: 道路の測定データの共有を許可します（**データ共有** - 193 ページを参照）。

サービス

牽引モード: Model X のギアをニュートラルに入れて、パーキングブレーキを解除し、けん引できる状態を整えます。**車両輸送者向け注意事項** - 187 ページを参照してください。

ワイパー サービス モード: ワイパー ブレードに簡単にアクセスできるようにします（**ワイパー ブレードとウォッシュャー液ノズル** - 169 ページを参照）。

出荷時状態にリセット: すべての個人情報（住所、曲、お気に入り、重要な連絡先など）が消去され、すべてのカスタム設定が工場出荷時の初期設定に戻ります（**個人情報の消去** - 124 ページを参照）。



ソフトウェア

車両のソフトウェアバージョンおよびソフトウェアアップデートのステータスについて、詳細をご確認ください。

- 車両識別番号、車両名称、およびオドメーターなど車両に関する詳細情報を取得します（さらに詳しい情報については、タッチスクリーン上部中央にある Tesla の「T」をタッチします）。
- 現在のソフトウェアバージョン、マップのバージョン、リリースノートを表示します。
- 利用できる新アップデートを確認します。アップデートを開始するには、車両を Wi-Fi に接続してください（ソフトウェア アップデート - 146 ページを参照）。
- ソフトウェアのアップデートの受信方法をカスタマイズするには、ソフトウェア アップデート優先設定にタッチします。
- ソフトウェアダウンロードの進行状況を確認します。

マニュアル

タッチしてこのマニュアル、モバイル コネクターのマニュアル、適合宣言を表示します。

注：タッチスクリーン上部の Tesla の「T」をタッチして、本マニュアルを表示することもできます。

車両に名前を付ける

Model X をさらにカスタマイズするため、それに名前を付けることができます。モバイルアプリに Model X の名前が表示されます。お客様の車両に名前を付けるには、タッチスクリーンの最上部中央の Tesla の「T」にタッチしてから、「車の名前を入力」にタッチ（または車両の既存の名前をタッチ）します。ポップアップに新しい名前を入力してから「保存」をタッチします。

速度制限モード

速度制限モードを使用すると、Model X の加速および最大速度を時速 50 ~ 90 mi (80 ~ 145 km) の範囲に制限することができます。本機能は、初めてこの機能を有効にする際に作成する 4 桁の PIN で保護されています。機能を無効または有効にするときには、この PIN を入力する必要があります。

Model X の速度が選択した最大速度まで時速約 3 マイル（時速 5 km）に近づくと、チャイムが鳴り、走行速度表示の上のインストゥルメントパネルにテキストが表示されます。また、モバイル アプリからも通知が送信されます。

速度制限モードの有効化：

1. 車両がパーキングになっていることを確認します。
2. タッチスクリーンで、「コントロール」 > 「安全とセキュリティ」 > 「速度制限モード」の順にタッチするか、モバイルアプリの「コントロール」をタッチします。
3. 車両の最大速度を選択します。
4. スライダーをオンの位置までドラッグします。
5. 速度制限モードを無効または有効にするために使用する 4 桁の PIN を入力します。

注：PIN を忘れてしまった場合、Tesla アカウントのログイン認証を入力して速度制限モードを無効にすることができます。

注：速度制限モードがオンの場合、加速設定（「コントロール」 > 「ドライブ」 > 「加速」）は自動的に「コンフォート」に設定されます（加速モード - 76 ページを参照）。

⚠ 警告：下り坂では走行速度が上昇し、車両の速度が選択した最大速度を超えてしまうことがあります。

⚠ 警告：速度制限モードを有効にしても、正しい状況判断、運転者の訓練を努め、また道路の制限速度および運転状態を注視する必要があります。事故は速度に関係なく発生する可能性があります。



個人情報の消去

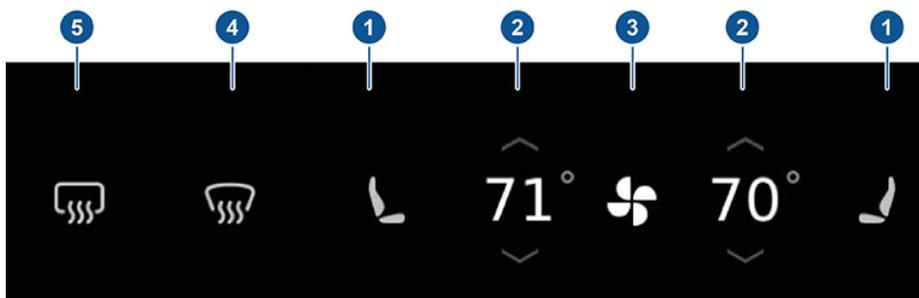
すべての個人情報 (保存した住所、お気に入りの音楽、など) が消去され、すべてのカスタム設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。これは Model X の所有権を移す際に便利な機能です。「コントロール」 > 「サービス」 > 「工場リセット」の順にタッチします。消去を実行する前に、Model X がドライバーの認証情報を確認するため Tesla アカウントのユーザー名とパスワードの入力が求められます。

温度調節の概要

空調は、タッチスクリーン下部からいつでもアクセスできます。空調システムをオンにするには、ファンアイコンをタッチするか、キャビン温度を調整します。オフにするには、ファンアイコンをタッチして、ポップアップウィンドウ中央近くにあるオフ ボタンをタッチします。

温度調整は標準で「オート」に設定されています。この設定では、過酷な気象条件を除くあらゆる環境で最高の快適さが保たれます。キャビンの温度をオートで設定すると、空調システムは、暖房、エアコン、空気配分、ファン速度を調整して選択した温度を維持します。「オート」設定を解除するには、ファンアイコンをタッチしてオート設定をオフにしてから手で設定を調整します（空調設定の調整 - 127 ページを参照）。それぞれの設定の手動で調整したとしても、空調ポップアップ ウィンドウにある「オート」をタッチすればオートに戻すことができます。

注：以下の図は説明のみを目的としています。表示される情報は、車両オプション、ソフトウェアバージョン、販売地域、設定により異なる場合があります。



- シートヒーターには、3（最高）から1（最低）までの3段階あります。操作すると、対応するシートアイコンにある波線がレベルごとに赤色に変わっていきます。換気シートが装備されている場合は、ポップアップウィンドウが表示され、暖房と冷房を切り替えることができます。冷房時は、波線が青色に変わります。

注：もし、Model X にリアシートヒーターが装備されている、またはオプションの寒冷地対応パッケージ仕様車の場合、ファンアイコンをタッチしてからシートタブをタッチすることで、後部座席のシートヒーター、ヒーターワイパー、およびヒーター付きハンドルを操作することもできます。

注：ドライブギアに入っている時、助手席に乗員が検出されない場合には、省エネのために助手席シート位置のシートヒーターを自動的にオフにします。

- 上矢印または下矢印にタッチしてキャビンの温度を調節してください。運転席側と助手席側で同じ温度に設定にしたい場合、矢印にタッチすると表示される温度表示ポップアップ画面の「同期」にタッチします。運転席側と助手席側両側で同じ温度に設定する場合は、設定温度は1つのみ表示されます。「同期」を再度タッチして、運転席と助手席の温度設定をそれぞれ表示します。
- ファンアイコンをタッチして空調をオンにし、手で任意の温度に調整します（空調設定の調整 - 127 ページを参照）。空調を速やかにオフにするには、ファンアイコンをタッチしたまま長押しします。オプションで寒冷地パッケージが装備されている場合は、このアイコンをタッチして、リアシートヒーターのコントロールにアクセスします。
- フロントガラスのデフロスターはフロントガラスの表面に空気を流します。1回タッチするとフロントガラスの曇り取りを行います（アイコンが青色に変わります）。2回タッチするとフロントガラスの霜取りを行います（アイコンが赤色に変わり、ヒーターとファンが最大レベルで作動します）。3回タッチするとオフに切り替わり、空気供給、ヒーター、ファンが元の設定に戻ります。
- タッチしてリアウィンドウを暖めます。動作中は、アイコンが赤色に変わります。15分経つと、リアウィンドウのデフロスターは自動的にオフになります。リアウィンドウのデフロスターをオンにするとはヒーター付きサイドミラーも合わせてオンになります。

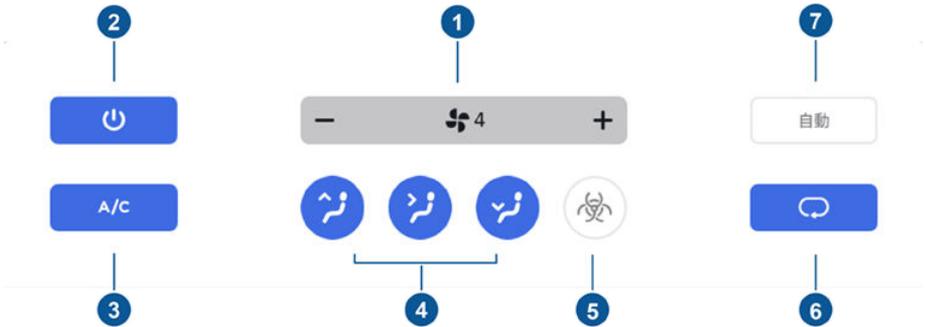
⚠ 警告：長時間の使用によるやけどを防止するために、末梢神経障害を患っている方、糖尿病、加齢、神経損傷、その他の症状が原因で痛みを感じる機能が低下している方は、空調システムやシートヒーターの使用の際に十分注意してください。



注: 空調システムは高電圧バッテリーからの電力で運転します。したがって、長時間使用すると航続距離が減少します。

空調設定の調整

運転席と助手席の温度を個別に調整する場合は、タッチスクリーン下側のファンアイコンをタッチして個々の空調設定にアクセスします。



6 または 7 シーター仕様の Model X の場合、後部座席用の空調バーがウィンドウのすぐ下側にも表示されます。**リアキャビン空調 (6 または 7 シートの車両のみ)** - 128 ページを参照してください。

ここで示す設定に加え、Model X を駐車している場合にファンアイコンをタッチすると、「**空調オンおよびドッグモード**」設定が表示されます (**エアコンを ON のままにする (ドッグモード)** - 129 ページを参照)。

1. ファンの動作速度を調整します。

注: ファンの速度を調整すると、流量を増加または減少させるために、Model X 内への空気吹き出し設定が変わります。たとえば、ファン速度を最高に設定している時に外気取り入れに設定すると、高い吹き出し流量を得るために空気循環に切り替わることがあります。

2. タッチして空調システムをオフにし、空調ポップアップウィンドウを閉じます。

注: 空調システムがオンになっていても、マップ、メディアプレーヤーまたはアプリ、コントロールウィンドウの表示などを選択するとポップアップウィンドウが閉じます。

3. エアコンをそれぞれオンまたはオフにします。オフにすると冷房効果は下がりますが、エネルギーの節約になります。

4. キャビンに送風する位置を選択します (フロントガラス、顔の高さ、または足元)。複数の通気口を選択できます。

注: 空気が足元の通気口から出るように設定すると、約 1/3 の空気がフロントガラスの通気口から流れ続け曇りを除去します。しかし、空気が顔の高さの通気口から出るように設定すると、フロントガラスの通気口からは空気は流れません。これは、顔の高さの通気口から出る空気の流れがフロントガラスの曇りを除去できるからです。

5. Model X にオプションで対生物兵器モード機能が装備されている場合、HEPA (高性能微粒子) フィルターが車内の空気を最良の状態に保つことができます。その場合、取り込まれた外気は医療用グレードの HEPA フィルターと、付随する補助フィルターシステムの両方を通過します。この HEPA フィルターは、大気汚染、アレルゲン、細菌、花粉、カビ胞子、ウイルスなどの微粒子を効率的に排除する超高性能フィルターです。また、HEPA フィルターと補助フィルターシステムの両方に活性炭が使用されているので、あらゆる種類のおいやガスを除去します。この対生物兵器モードを有効にすると、ファンは最大回転数で作動します。これに加え、車内が正圧となるため、外気が車内に入ってくることを最小限に抑えます。

注: 一酸化炭素などの一部のガスは、活性炭では効率的に排除することできません。



6. Model X に空気を取り込む方法を選択します。



外気が Model X の車内に取り込まれます (換気 - 130 ページを参照)。

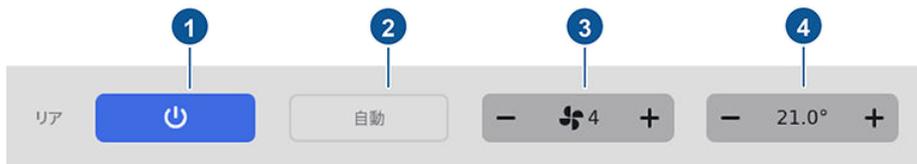


Model X の車内で空気が再循環します。この設定では、外気 (排気ガスなど) が車内に入り込むことを防止できますが、除湿効果は低下します。空気を再循環させることが最も効率よく車内前方を冷やす方法です。状況の変化によってフロントガラスが曇るのを防止するために、1 時間ごとに短時間設定を変えて外気を車内に取り込んでください。

7. 現在表示されているタブに表示されている設定すべてを初期設定に戻すには、「オート」をタッチします。空調システムが「オート」に設定されている時はアイコンは青色になります。

注: Model X はガソリン車より走行音が格段に静かなため、エアコンコンプレッサーの動作音が気になることがあります。騒音を抑えるには、ファンの速度を下げてください。

リア キャビン空調 (6 または 7 シートの車両のみ)



1. 電源ボタンをタッチして後部座席の空調をオンまたはオフにします。
2. 「オート」にタッチすると、すべての設定が標準の値に戻ります。

注: 「オート」に設定されている場合、省エネのために Model X は 2 列目または 3 列目に誰も乗車していないことを検出するとリアヒーターと空調をオフにします。この省エネ機能をオーバーライドして、手動で改めて変更するまでその設定を保存するためには、「オート」ボタンをもう一度タッチします。

3. + または - をタッチしてファンの速度を設定します。
4. 矢印をタッチして温度を調整します。

エアコンを ON のままにする (ドッグ モード)

エアコンを ON のままにするおよびドッグ設定を使うと、Model X から離れた後でも、駐車中に空調を ON のままにしておくことができます。この 2 つの設定は、暑い時や寒い時に車内の温度を維持する必要があるときに役に立ちます (たとえば、暑いときに買い物した食料品を Model X の車内に残す場合など)。ドッグモードは、車内に残したペットが快適に過ごせるよう空調を働かせ、周囲の人たちに心配をかけないようにタッチスクリーンに室内の温度を表示します。

注: この「エアコンを ON のままにする」または「ドッグモード」設定はバッテリーの充電レベルが 20% 以上ある場合のみ使用できます。

エアコンを ON のままにする、またはドッグモードを有効するには

1. パーキング ギアに入れます。「エアコンを ON のままにする」設定と「ドッグ」設定は Model X がパーキングにシフトされている時のみ使用できます。
2. 必要に応じて、空調設定を調節します。
3. ファンアイコンをタッチしてから、「エアコンを ON のままにする」または「ドッグ」をタッチします。

空調システムは、パーキングからギアを動かす、または手動でオフにするまで空調温度を維持します。バッテリーの充電レベルが 10% 以下になると、空調システムは自動的にオフになり、Tesla モバイルアプリはドライバーにそれを通知し、Model X 内に何か残されていないか確認します。

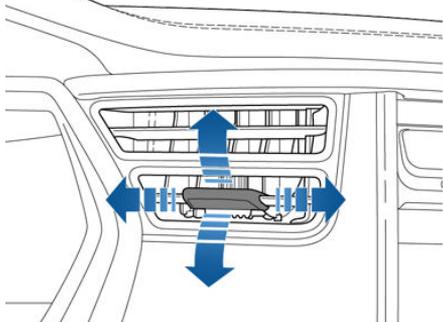
次回 Model X を使用するときは、空調システムは前回と同じ設定を使用して再開されます。

注: スマートエアコンディショニング、ドッグモードまたは「エアコンを ON のままにする」が有効のときはオフとウェアのアップデートを行うことができません。

- 警告:** 空調システムはモバイル アプリから遠隔で操作することもできます。空調システムをモバイルアプリでオフにすると、「エアコンを ON のままにする」または「ドッグ」モードも合わせて停止します。
- 警告:** 「エアコンを ON のままにする」または「ドッグ」モードは、バッテリーの充電レベルが 20% 以下になると停止します。バッテリーの充電レベルが低い時は使用を控えてください。Model X の車内に犬やペットを残す場合は、携帯電話を常に携帯し Tesla モバイルアプリが実行されていることを確認してください。これで車内の温度を常にモニターすることができます。犬やペットの安全を確保するために、携帯電話で必ず通知が受けられるよう電波が届く範囲にいることを確認し、万が一の場合でも Model X にすぐ戻れるよう準備しておきます。暑い日に空調システムが作動を停止すると、キャンピンの温度は数分で危険なほど高くなります。
- 警告:** 車両にペットを放置することに関する制限事項については、現地の法令を確認してください。
- 警告:** 子供を車の中に放置しないでください。

換気

Model X 車内の空気の流れを変えるには、車内の通気口を上下左右に動かします。



注: 顔の高さにある外側の通気口をサイドウィンドウに向けると、サイドウィンドウの霜や曇りの除去に役立ちます。

キャビンエア フィルター

Model X は、花粉、産業降下物、道のほこり、その他の粒子が通気口から入り込むことを防止するエアフィルターを備えています。Tesla では、キャビンエアフィルターを 2 年毎交換することを推奨しています。

Tesla では、HEPA エアフィルター（装備の場合）を 3 年毎交換することを推奨しています。

キャビン過熱保護

空調システムは周囲の温度が著しく暑いときにキャビンの温度を下げるよう、Model X を降車してから最長 12 時間に渡って作動します。「コントロール」>「安全とセキュリティ」>「キャビン過熱保護」の順にタッチし、以下を選択します。

- ・ 「オフ」: キャビン過熱保護をオフにします。
- ・ A/C なし: キャビンの温度が、40° C を超えたときはファンのみが作動します。このオプションは省エネとなりますが、キャビンの温度が 40° C を超える場合があります。
- ・ 「オン」: キャビンの温度が、40° C を超えたときはエアコンが作動します。

注: キャビン過熱保護機能は、バッテリーの電力が 20% 以上ある場合のみ作動します。

▲ 警告: 子供またはペットを車の中に放置しないでください。自動シャットダウンまたは気温が著しく暑い時などにより、キャビン過熱保護機能が有効になっていたとしても車内の温度が危険な状態まで上昇する場合があります。

温度調整の使い方のヒント

- ・ モバイル アプリを使用して空調システムをオンにすると、4 時間後または充電量が 20% 以下になったときに自動的にオフになります。長時間車内を冷房または暖房したい場合は、再度システムを起動してください。
- ・ エネルギーを節約するために、レンジモードをオンにして空調システムの消費電力を制限することができます。車内の冷暖房は効率的ではない場合もありますが、寒冷地では暖を取るためにシートヒーターを利用できます。「コントロール」>「運転モード」>「レンジモード」の順にタッチします。
- ・ 空調システムの運転音が気になる場合は、手動で風量を下げて使用してください。
- ・ 車内を冷房するほか、エアーコンディショナーコンプレッサーはバッテリーも冷却します。したがって、暑いときは、エアーコンディショナーコンプレッサーを OFF に設定したとしても、ON になることがあります。これは、バッテリーの寿命を保ち、バッテリーの最適化性能に必要とされる最適な温度範囲にバッテリーを保つために、システムがバッテリーの冷却を優先するためであり、正常な動作です。
- ・ 空調システムを効率的に動作させるために、すべてのウィンドウを閉め、フロントガラス前面の外部のグリルに氷、雪、木の葉、その他の破片がつかまらないように注意してください。
- ・ 湿度が非常に高い場合、空調を ON にした直後にフロントガラスが少し曇ることがあります。
- ・ 駐車している間、Model X の下に小さい水溜まりができることがあります。これは、湿気を除去する過程で発生した余分な水分が下から排出されたためで、正常な動作です。
- ・ 駐車中、高温の気象条件で車内の温度を下げるために、ファンで送風を行うことがあります。これは充電量が 20% 以上ある時のみ作動します。



概要

タッチスクリーンには常に地図が表示されます。指を置いてドラッグすることで地図を任意の方向に動かせます。2本指を置いて回すことで地図をどちらの向きにも回転できます。

地図の右上隅にあるアイコンをタッチすると地図の向きを設定できます。



北が上 - スクリーンは常に北が上になります。



進行方向 - 運転している方向が常にスクリーンの上になります。車の向きが変わると地図が回転します。このアイコンには運転方向を示すコンパスが組み込まれています。

注: ナビゲーションを使っているときに、このアイコンでナビゲーションの経路を表示させるルート概要を切り替えることができます(ナビゲート - 132 ページ参照)。

地図を回転あるいは移動すると、現在位置の追跡はなくなります。地図の向きを示すアイコンのとなり「トラッキングは無効」というメッセージが短時間表示され、アイコンはグレーになります。トラッキングを再度有効にするには、地図の向きを示すアイコンにタッチして北向きか進行方向を選びます。

現在位置または選択した位置の地図をズームイン/ズームアウトするには、+/- アイコンをタッチします。このアイコンでズームイン/ズームアウトする場合、トラッキングは有効なままになります。

地図の表示をカスタマイズしたりナビゲーション設定にアクセスするには、このアイコンにタッチします。

注: このアイコンを使用していない場合は数秒後に消えます。地図のどこかをタッチすると再表示されます。



衛星画像を表示する/非表示にする(プレミアム接続が装備されている場合)。



混雑状況を表示する/非表示にする(プレミアム接続が装備されている場合)。緑色の線は交通量がないことを、オレンジ色の線は軽い交通量、赤色の線はある程度の交通量、ピンク色の線は交通量が多いことを示します。ナビゲーションルート上で交通量をわかりやすくするため、青色のルートラインの下に緑色の交通量ラインを表示し、オレンジ色、赤色、ピンク色の交通量ラインを上に表示します。



すべての充電場所と地図上で都市および対応するステーションの近くを表示/非表示。充電場所には、Tesla スーパーチャージャー、目的地の充電ステーション、以前に使用したことがある公共の充電ステーションが含まれます。**充電ポイント** - 132 ページを参照してください。

注: 充電場所が表示されていない時でも、スーパーチャージャーは常に地図上に表示されます。



ナビのガイダンス音声の音量を調節するにあ、-または+をタッチします。一番左まで音量を下げるとガイダンス音声をミュートにします。ナビ走行中にガイダンス音声をミュートにするは、経路案内リストにある音量アイコンをタッチします。

以下の設定を変更して、ナビシステムの動作をカスタマイズします。

- 「**トリッププランナー**」(お住いの地域で利用可能な場合) をタッチし、運転および充電にかかる時間を最低限に抑えます(**トリッププランナー** - 133 ページ参照)。
- 渋滞を避けるために自動的に経路変更させるには、「**オンライン情報に基づいたルート**」をタッチします(**オンラインルート案内** - 133 ページを参照)。
- フェリーを利用しないよう自動的に経路変更させるには、「**フェリーを使用しない**」をタッチします。
- 有料道路を利用しないよう自動的に経路変更させるには、「**有料道路を使用しない**」をタッチします。

注: このナビ設定は、「**コントロール**」 > 「**ナビゲーション**」をタッチしてもアクセスできます。

注: 音量設定はナビゲーションシステムの音声指示だけに適用されます。メディアプレーヤーや電話の音量は変わりません。

地図のお好きな場所を指で押し続けることでピンを立てることができます。ピンを立てるかまたは既存のピンをタッチすると、そのロケーションの情報がポップアップ表示されます。このポップアップでは、そのロケーションへのナビゲーションやそのロケーションへの電話(電話番号がある場合)、お気に入りの目的地のリストへの追加やそこからの削除ができます(**最近、お気に入り、自宅、職場の場所** - 134 ページを参照)。



ナビゲート

目的地に向かってナビを開始するには、**ナビ**をタッチして、携帯から目的地を送信、音声コマンドのいずれかを用います（**音声コマンドの利用** - 54 ページを参照）。住所、建物名、会社名などを文字入力または音声入力します。あるいは保存されている**自宅**または**職場**を選んだり、行ったことのある充電ステーションなど最近使用した場所のリスト（最新のものがリストのトップに表示されます）から選択します。

目的地を指定すると、タッチスクリーンは走行すべきルートの概要を表示するためにズームアウトし、ルートを算出後に出発点までズームバックして指示を開始し、最初のナビゲーション指示を表示するターンバイターンの方向リストおよび総走行距離、運転所要時間、到着時刻を表示します。

注: Tesla モバイル アプリにアクセスを許可すれば、iOS[®] または Android[™] デバイスの「共有」機能を使用してナビを遠隔で開始することができます。

指示をタッチすると、ドライブ中の各進路変更を示す一覧が表示されます。進路変更の一覧については次の事項をご確認ください。

- 目的地の下には目的地到着時に残っていると推定されるバッテリー残量が示されます。出発地点に戻る往復での推定値を表示するにはタッチしてバッテリー情報を表示させます。**エネルギー消費量の推測** - 133 ページを参照してください。
- 目的地に着くには充電が必要で、「トリッププランナー」が有効になっている場合（また、お住いの地域で利用できる場合）、ナビゲーションルートには自動的にスーパーチャージャーへの立ち寄りが含まれ（**トリッププランナー** - 133 ページ参照）、「**トリップを開始する**」をタッチして、ナビゲーションを起動する必要があります。
- 目的地に到達するために充電量が充分ではなく、かつスーパーチャージャーが予定ルート上にない場合、ナビゲーション表示の上部に警告が表示され、目的地に到着するまでに充電が必要であることを知らせます。
- 各進路変更では、曲がり角までの距離が先に表示されます。
- リストの一番最後を見るには、リストを上ドラッグしてください。
- リストを最小化するにはその上部をタッチします。

ナビゲーション中、地図は車両の位置を追跡し、現在の行程を表示します。いつでもルート全体を表示することができます。



ナビゲーションルートが有効になっているときは、ルート概要アイコンが表示されます。このアイコンは、ナビゲーションルートの概要を見たい時や、地図の向きを変えたい時にいつでもタッチでき（**概要** - 131 ページ参照）、現在の行程を表示するために地図をズームしたりもします。経路ラインの最後には目的地を示す黒いピンが置かれます。



ナビゲーション音量をミュート/ミュート解除します。

注: ナビゲーション指示が聞こえている間にハンドル左側のスクロールボタンを押すことでもナビゲーションシステムの音量をミュートできます。ナビゲーション指示に対する音量調節は、地図の設定アイコンをタッチすることで行えます（**概要** - 131 ページ参照）。

ナビゲーションを停止するには、ターンバイターンの方向リスト下にある**キャンセル**をタッチします。

注: データ接続ができない場合でもオンボードマップを使用すれば任意の場所へのナビゲーションが可能です。その場所の正確かつ完全な住所の入力が必要です。

充電ポイント

スーパーチャージャーはデフォルトでは地図上で赤いピンで常時表示され、そのピンをタッチするとスーパーチャージャーのある施設の詳細が表示され、ナビの目的地に選択したり、お気に入りとして登録することができます。地図にあるスーパーチャージャーのロケーションを示すピンにタッチすると、スーパーチャージャーの設置数、使用状況、スーパーチャージャーのある施設の所在地や現在地からそのスーパーチャージャーまでのおよその距離が表示されます。ポップアップには、スーパーチャージャーの設置場所で利用できるアメニティ（トイレ、レストラン、宿泊施設、ショップ、Wi-Fi の使用可否など）についても表示します。



スーパーチャージャーが稼働中。スーパーチャージャーが複数台ある場所では、アイコンの上部にスーパーチャージャーの台数を示すバーが表示されます。これにより何台のスーパーチャージャーが使用中かがすぐにわかります。使用中のスーパーチャージャーのバーは塗りつぶされています。

注: 現在のナビゲーションルート上にあるスーパーチャージャーのピンは赤色で表示されます。



スーパーチャージャーが稼働していないかまたは低容量で稼働中。ピンをタッチすると詳細が表示されます。

地図の充電アイコンをタッチすることにより、近くの充電ポイントをすべてが表示できます。常時表示されるスーパーチャージャーに加え、地図には目的地の充電ステーションや以前使用したことのある公共の充電ステーションが表示されます。充電ポイントに関する詳細を表示するにはピンをタッチします。



この場所には Tesla ウォールコネクタが設置されています。タッチすると、使用制限や充電電流など詳細な情報が表示されます。充電リストにはそれらの充電ステーションへの距離も表示されます。

注: 地図がズームアウトされ、Tesla ウォールコネクタが複数ある場合、ピンは丸くなりステーションの台数が表示されます。ピンをタッチするとズームインされます。そこで個々のピンにタッチするとチャージングステーションの詳細が表示されます。

エネルギー消費量の推測

目的地までナビゲートしている際に、Model X は目的地に到着した時点でエネルギー残量を計算して、ドライバーが充電の必要性を事前に把握できるようにします。予測は運転方法（予測速度など）および環境要因（勾配の変化、温度など）による概算です。ナビゲーション中、地図はターンバイターンの方向リストを広げてその下部にその値を表示します（ナビゲート - 132 ページ参照）。ターンバイターンの方向リストが縮小されている場合は、リストの上部をタッチすると広がります。

ルート全体を通じて Model X はエネルギー消費量をモニターし、必要に応じて計算を更新します。次の場合、ターンバイターン方式の方向リストの下に警告のポップアップが表示されます。

- 目的地到着までに必要な充電残量がごくわずかになっている場合は黄色の警告が表示されますので、電力を浪費しないよう速度を落とすしてください。エネルギーを節約する方法は[航続距離を最大限に伸ばす](#) - 79 ページを参照してください。
- 赤色の警告が表示される場合は、目的地に到達するために充電する必要があります。

往復に必要なエネルギー量を知りたい場合は、エネルギー推定値をタッチして往復のエネルギー使用量の推定値を表示できます。

オンライン ルート案内

Model X リアルタイムの交通状況を把握し、交通量に応じて自動的に所要時間と到着時刻を調整します。交通状況により予想到着時間が遅れる状況で別のルートがある場合、ナビゲーションシステムは目的地へのルート変更を行います。この機能のオンオフは、地図の設定アイコン（概要 - 131 ページ参照）をタッチして、**オンライン情報に基づいたルートをタッチ**します。**時間短縮になる場合のみルートを変更**する設定に対応した矢印をタッチすることで、経路変更前よりも短縮されなくてはならない時間（分）を指定できます。

トリップ プランナー

「トリッププランナー」（お住いの地域で利用できる場合）を使えば、安心して長い道のりを運転できます。目的地到着までに充電が必要な場合、トリッププランナーは適切なスーパーチャージャー施設を経由するように経路設定します。トリッププランナーは、運転と充電にかかる時間を最小化するルートを選択と、充電時間を提供します。トリッププランナーを有効にするには、地図の設定アイコン（概要 - 131 ページ参照）をタッチしてから、**トリッププランナー**をタッチします。

トリッププランナーが有効になっていて、目的地への到達に充電が必要な場合、ターンバイターン方式の方向リストにはスーパーチャージャーの場所と各スーパーチャージャーでの推奨充電時間、およびスーパーチャージャーの場所に到着した時のエネルギー残量予測が含まれます。

スーパーチャージャーの場所を消し、進行方向だけを表示するには、方向リスト下部にある**充電ポイント**を削除をタッチします（充電ポイントを削除すると、ターンバイターン方式の方向リストに目的地まで充電が必要であることを示す警告が表示されることがあります）。スーパーチャージャーの場所を進行方向に追加するには、**充電ポイント**を追加をタッチします。

スーパーチャージャーで充電している間、充電スクリーンには次のスーパーチャージャーの場所あるいは目的地まで（これ以上の充電が不要な場合）の運転に必要な残り充電時間が表示されます。充電時間が短縮されるか、延長された場合には、後続の充電ポイントでの充電時間が再調整されます。

注: 必要な残り充電時間は、Tesla Mobile App で見ることができます。

注: 現状のルートにおけるスーパーチャージャーが故障中の場合、トリッププランナーは通知を出し、別のスーパーチャージャー ポイントに経路変更します。



トリッププランナーが目的地までの往復に必要な電力がないと判断して、ルートにスーパーチャージャーが見つからない場合、トリッププランナーは進路変更ごとの指示の上側に警告を表示し、目的地までに充電が必要であることを通知します。

最近、お気に入り、自宅、職場の場所

地図上の「ナビゲート」をタッチすると、最近の行き先のリストが表示され、そのリストから目的地を簡単に選ぶことができます。

ひばんに利用する目的地は、そのつど目的地名や住所を入力することを避けるため、お気に入りに追加することをおすすめします。目的地をお気に入りに追加すれば、「ナビ」 > 「お気に入り」をタッチしてリストから選択するだけで簡単にそこまでのナビゲートができます。



行き先をお気に入りリストに追加するには、地図上のピンをタッチしてから、表示されるポップアップウィンドウ上のハートアイコンをタッチします。そのお気に入りの名前を入力するよう求められます。名前を入力 (mataha デフォルト名のまま) し、**お気に入りに追加**をタッチします。ハートがグレーに塗りつぶされ、その目的地がお気に入りリストに含まれるようになります。

最近あるいはお気に入りの目的地を削除するには、タッチしてしばらくそのままにしてから、表示される **X** をタッチします。

ナビゲーションリストの上部には、**自宅**と**職場**の場所へのショートカットが提供されます。これらの場所の住所を設定するにはタッチしてください。住所を入力後、「**自宅として保存**」または「**職場として保存**」をタッチします。これにより、これらのショートカットをタッチするだけで自宅や職場のナビゲーションができます。

自宅や職場に対応づけられた場所を変更するには、ショートカットアイコンを長押しし、表示されるポップアップウィンドウに新しい住所を入力してください。削除するには、ショートカットアイコンを長押しし、「**自宅を消去**」または「**職場を消去**」をタッチします。

注: 使用パターンによっては、場所を自宅または勤務先として保存するように促されることがあります。

注: 自宅や勤務先が保存されると、Model X は、朝は勤務先、夕方は自宅にナビゲートするかどうかを促すようになり、現在の交通状況に基づいて到着までの推定時間を表示するようになります。

セキュリティのため、Model X を売却される場合は自宅と勤務先の場所を削除することをおすすめします。これらは個別に削除できますが、ファクトリーリセットを実行して個人データをすべて消去することもできます ([個人情報](#)の消去 - 124 ページ参照)。

地図のアップデート

地図のアップデートが利用可能になると、それは Wi-Fi 経由で自動的に Model X に送られます。忘れずにそれを受け取るよう、定期的に Model X を Wi-Fi ネットワークに接続してください ([Wi-Fi への接続](#) - 145 ページ参照)。タッチスクリーンには、新しい地図がインストールされたことを告げるメッセージが表示されます。

概要



タッチスクリーン下部のメディアプレイヤーアイコンをタッチして音楽やポッドキャスト（利用可能な場合）をストリーミングしたり、FMまたはインターネットラジオ局を聴きます。音楽やBluetoothやUSB接続された機器のオーディオファイルを聴くこともできます。

注：ご利用いただけるメディアオプションは地域や購入時に選択したオプションにより異なります。

メディアプレーヤーは、メディアプレーヤーウィンドウを上あるいは下にドラッグすることで、3つの異なる表示レベルがアクセスできます。最初は、ミニプレーヤーが表示されます。ミニプレーヤーは現在再生されているものをタッチスクリーン上でもっとも小さなスペースで表示し、再生に関係する基本機能だけを提供します。上にドラッグすると最新履歴とお気に入りが表示され、アイコンを使用してメディアソースを変更することができます（以下で説明）。もう一度上にドラッグすると選択したソースコンテンツタイプに対して利用できるオプションすべてが表示されます。

メディアソースを変更するには、メディアプレーヤー下部にあるアイコンを使用します（FM、ストリーミング、またはBluetooth接続機器など）。表示させたいコンテンツタイプを狭めるには左側のタブを使い、対応するコンテンツが右に表示されます。ラジオの場合、お気に入りステーションを表示させるか、「Direct Tune」をタッチして指定のチャンネルの周波数を入力します。ストリーミングの場合、お気に入り、トップステーション、DJシリーズ、ジャンルを表示させます。

音量調節

再生音量を調節するには、ハンドルの左側にあるスクロールホイールを上下に回します。スクロールボタンは、現在スピーカーで聞いているものに応じて、メディア、ナビゲーションの指示や通話の音量を調整します。タッチスクリーン下部のスピーカーアイコンにある矢印にタッチしても音量が調整できます。

音量をミュートするには、左スクロールボタンを押してください。もう一回押すとミュートが解除されます。

注：通話中に左のスクロールボタンを押すと、サウンドとマイクの両方がミュートされます。

注：メディアを再生、あるいは電話を受ける、またはナビゲーションシステムが指示を話す場合、聞いているものの音は一時的にミュートされます。

メディアコンテンツの検索



特定の曲、アルバム、アーティスト、ポッドキャスト、ステーションを検索するにはメディアプレーヤーの虫眼鏡アイコンをタッチします。検索範囲を狭めるためのフィルターを選択するか、デフォルト設定のまま利用できるソースコンテンツをすべてを検索します。

注：音声コマンドを使用してハンズフリーで検索します（音声コマンドの利用 - 54 ページを参照）。

FM ラジオ



販売地域と場所で利用可能な場合、メディアプレーヤーはラジオソースから選択できる FM ラジオ局を提供します。周波数を次へ（または前へ）移動させるには、周波数を選んでから、次への矢印あるいは戻るの矢印をタッチします。あるいは、Direct Tune をタッチして特定の周波数を入力します。

聞いている周波数のラジオ局を簡単に選局するには、それをお気に入りとしてマークしておくことで、お気に入りリストからすぐに選べるようになります（お気に入りと最近の履歴 - 136 ページ参照）。

インターネット ラジオおよびミュージック ストリーミング サービス

プレミアム接続が装備されている場合、データ接続を利用してインターネットラジオおよびミュージック ストリーミング サービスをご利用いただけます。これらを聴くには、メディアプレーヤーアイコンをタッチし聴きたいストリーミング サービスを選択します。

Tesla では、インターネットラジオおよびミュージック ストリーミング サービス用にアカウント認証を行います。現在お持ちのアカウントを利用したい場合、ストリーミング サービス ウィンドウの下部へスクロールして「サインイン」をタッチしアカウント情報を入力します。

カテゴリーやラジオ局を検索し、再生したいものをタッチします。ジャンルなど幅広いカテゴリーから検索する場合、ウィンドウを上にドラッグし拡大表示することが必要となる場合があります。新しいウィンドウで複数の結果が表示されるオプションを選んだ場合、ウィンドウ上部の「戻る」ボタンをタッチしてメインの閲覧ページに戻ってください。



特定の曲やアーティスト、アルバムなどをインターネット ラジオ サービスで再生するためには、音声コマンド（英語で話かけている場合のみ）を使うこともできます（**音声コマンドの利用** - 54 ページを参照）。

インターネット ラジオ および ミュージック ストリーミング サービスを聴く際に、聴くものにより Miniplayer のオプションが異なります。

- インターネット ラジオ サービスで利用可能な「次へ」（または「前へ」）の矢印をタッチして、次に（あるいは前の）利用可能ステーション、エピソード、トラックを再生します
- サムアップ** や **サムダウン** のアイコンをタッチすることで、楽曲やポッドキャストにいいねやきらいを入力できます。曲に「いいね」をつけると、ラジオ局は似たような曲を再生します。曲をきらいと入力すると、その曲は再生されなくなります。
- DJ** アイコンをタッチすると（利用できる場合）、ストリーミングしているコンテンツにコメントすることができます。DJ コメントには、音楽の歴史や背景情報が含まれます。

注：ポッドキャストの再生中、ポッドキャストのどの位置からでも早送り、巻き戻し可能です。Miniplayer では、スライダーを希望の場所までドラッグするか巻き戻し/早送りアイコンをタッチして、一回につき 15 秒間分ずつ動かします。

お気に入りと最近の履歴

大半のソースコンテンツで、お気に入りはアクセスしやすいようにメディアプレーヤーの拡張表示の上部に表示されます。



現在再生中のラジオ局やポッドキャスト、オーディオファイルを自分のお気に入りリストに追加するには、ミニプレーヤー上の**お気に入り**アイコンをタッチします。



項目をお気に入りから削除するには、ミニプレーヤー上でハイライトされた**お気に入り**アイコンにタッチします。ミニプレーヤーを 1 レベル拡張することで、適用できるソースコンテンツのタイプに対するすべてのお気に入りを表示し、複数のお気に入りや削除できます。そして好きなお気に入りを押し続けます。X があらゆるお気に入り上に表示され、お気に入りリストから削除したいお気に入り項目に対応した X をタッチします。

最近再生した選択を見るには、ミニプレーヤーから 1 レベル上にスクロールし、「**最近**」をタッチします。最近再生した選択は継続的に更新されるため、それらを削除する必要はありません。

注：FM ラジオ局で再生した選択は最近の選択には表示されません。

デバイスからメディアを再生



Bluetooth 接続されたデバイス（電話など）や USB 接続されたフラッシュドライブにあるオーディオ ファイルを再生することができます。Bluetooth 機能をもつデバイスを接続すると、そのデバイスの名前が電話ソースに表示されます。USB フラッシュドライブを接続すると、メディアプレーヤーに USB ソースが表示されます。

選択したプレイリストやアルバムの次の曲を再生するには、ミニプレーヤーの前または次の矢印をタッチするか、ハンドルの左側にあるボタンを使用してください（**ハンドルの左ボタンを使用する** - 52 ページを参照）。シャッフル/リピートアイコン（利用可能な場合）を用いて、プレイリスト内の曲をシャッフルしたり、プレイリストやトラックをリピートすることも可能です。

USB 接続されたフラッシュ ドライブ

USB 接続にフラッシュ ドライブを接続します（**USB ポート** - 22 ページを参照）。「**メディアプレーヤー**」 > 「**USB**」をタッチし、再生したい曲が含まれているフォルダーの名前をタッチします。USB 接続されたフラッシュドライブのフォルダー内のコンテンツが表示されたら、リスト内の曲をタッチできます。あるいはミニプレーヤーの前へまたは次への矢印で曲をスクロールします。

注：USB 接続したメディアを再生する場合、Model X が認識できるのはフラッシュドライブのみです。デバイスを Bluetooth で接続することにより、iPod など別のタイプのデバイスからメディアを再生することができます。

注：メディアプレーヤーは、FAT32 フォーマット（NTFS または exFAT には現在対応していません）の USB フラッシュドライブに対応しています。

注：センターコンソールの前方にある USB 接続を使用します。コンソールのリア側にある USB 接続は充電専用です。

Bluetooth® に接続された機器

Model X に登録および接続されている携帯電話などの Bluetooth 対応機器（**Bluetooth 対応の携帯電話の接続** - 138 ページ参照）があれば、機器に保存されているオーディオファイルを再生したり、音楽ストリーミングサービスを利用したりすることができます。メディアプレーヤーの **Phone** ソースを選んで Bluetooth 接続したご自分のデバイスの名前をタッチしてから **CONNECT** をタッチします。

ご自身の Bluetooth 装置が装置内で現在アクティブなオーディオファイルを再生し始め、メディアプレイヤーがミニプレイヤービューを表示します。デバイス上に再生中のオーディオファイルがない場合は、聴きたいオーディオファイルとそのデバイスから選択してください。ファイルが再生され始めたら、ミニプレイヤーの次へと前へアイコンで別のトラックを再生できます。

注: Bluetooth 接続された機器でメディアを再生するには、メディアへのアクセスが機器でオンになっていることを確認してください ([Bluetooth 対応の携帯電話の接続](#) - 138 ページを参照)。

オーディオ設定



トーンとバランスのオーディオ設定にアクセスするには、メディアプレイヤー下角にあるイコライザーアイコンを押します。車両の機能と販売地域に応じた他の設定も利用できます。たとえば、装備されている場合ドルビーサラウンドと DJ コメントのオン・オフができます。

デシベル (dB) バーの対応するスライダを上下にドラッグして、5 つの周波数バンド (低音域、中低音域、中音域、中高音域、高音域) を調節します。

バランスの調整は、**バランス**をタッチし、Model X サウンドの焦点を置きたい位置に合わせて十字マークが中心にある円をドラッグします。



Bluetooth® 互換性

Model X では、通信範囲内にある Bluetooth 対応電話機をハンズフリーで使用できます。通常、Bluetooth はおよそ 9メートルまでの距離の無線通信に対応していますが、通信の性能は使用している電話によって異なることがあります。

Model X で電話機を使用するには、あらかじめ登録しておく必要があります。登録をすることにより、Model X は Bluetooth 対応電話機を使えるようにセットアップされます ([Bluetooth 対応の携帯電話の接続](#) - 138 ページを参照)。

最大 10 台の Bluetooth 電話を登録できます。Model X 常に最後に使用された電話機に自動的に接続します (その電話機が通信範囲内にあることが前提です)。別の電話に接続する方法については、[登録済みの電話との接続](#) - 138 ページを参照してください。

注: 多くの電話では、電話のバッテリー電圧が低下すると、Bluetooth がオフになります。

注: Model X は電話機以外の Bluetooth 対応機器も登録できます。たとえば、iPod Touch、iPad または Android タブレット端末の登録をして音楽をストリーミングすることができます。

Bluetooth 対応の携帯電話の接続

ペアリングすると、Bluetooth 対応の電話をハンズフリーで使用して、電話をかけた受けたりすることや、連絡先リストまたは最近の通話履歴にアクセスすることなどが可能になります。また、電話でメディア ファイルを再生することも可能になります。登録済みの電話機が通信範囲内であれば、Model X はその電話機にいつでも接続できます。

電話を登録するには、Model X の車内で以下の手順を実行します。

1. タッチスクリーンと電話の両方の電源がオンになっていることを確認します。
2. 電話で Bluetooth を有効にして、電話を検出可能にします。

注: 携帯電話の機種によっては、Bluetooth 設定で手順のリマインダーへと進んでください。

3. タッチスクリーンの最上部にある Bluetooth アイコンをタッチします。
4. タッチスクリーンで、「**デバイスを追加**」 > 「**検索開始**」にタッチします。タッチスクリーンが、動作範囲内にあるすべての利用可能な Bluetooth 機器のリストを表示します。
5. タッチスクリーンで、登録したい電話機にタッチします。数秒以内にランダムに生成された数字がタッチスクリーンに表示され、電話にも同じ数字が表示されます。
6. 電話に表示される数字がタッチスクリーンに表示される数字と同じであることを確認します。次に、電話で登録をすることを確認します。

7. 電話にプロンプトが表示されたら、Model X に連絡先とメディアファイルへのアクセスを許可するかどうかを指定します。

登録が完了すると、Model X は自動的に該当の電話機に接続し、タッチスクリーン上の電話機の名前の横に、接続されていることを示す Bluetooth マークが表示されます。

連絡先と通話履歴のインポート

ペアリングが完了すると、電話の連絡先と通話履歴へのアクセスを許可するかどうかを Bluetooth 設定画面 (タッチスクリーンの最上部にあるステータスバーの Bluetooth アイコンをタッチ) を使用して指定できます。アクセスがオンになっている場合は、電話アプリを使用して、連絡先リストや最近の通話リストに登録されている人を表示して、電話をかけることができます ([電話アプリを使用する](#) - 139 ページを参照)。

注: 連絡先をインポートするには、同期を許可するように電話を設定するか、連絡先の同期に関する確認を求める電話のポップアップ画面に応答する必要があります。この方法は使用している電話の種類によって異なります。詳細については、ご使用の電話に付属しているマニュアルを参照してください。

注: Bluetooth 設定画面を表示し、電話を選択してから連絡先や最近の通話履歴に関連する設定を変更することで、連絡先や最近の通話履歴へのアクセスをいつでもオン、オフできます。

Bluetooth 対応の携帯接続のペアリング録解除

電話を切った後再び使用したい場合は、Bluetooth 設定画面で「**切断**」にタッチします。電話を Model X で再び使うことがない場合は、「**このデバイスの登録を解除**」にタッチします。登録を解除した電話機を Model X で使用するには、もう一度その電話機を登録する必要があります ([Bluetooth 対応の携帯電話の接続](#) - 138 ページを参照)。

注: Model X から離れると、電話機との接続は自動的に切断されます。

登録済みの電話との接続

Model X 最後に接続された電話機が通信範囲にあり、その電話機の Bluetooth 機能がオンになっている場合、自動的にその電話機に接続します。最後の電話が動作範囲内でない場合、Model S は登録されている次の電話との接続を試みます。

別の電話に接続するには、タッチスクリーンの最上部にある Bluetooth アイコンにタッチします。Bluetooth ウィンドウに登録されている電話のリストが表示されます。接続したい電話を選択し、「**接続**」にタッチします。接続したい電話がリストにない場合は、その電話をペアリングする必要があります。Bluetooth 対応の携帯電話の接続 - 138 ページを参照してください。

Model X と電話機が接続されると、タッチスクリーン上の電話機の名前の横に、接続されていることを示す Bluetooth マークが表示されます。

電話アプリを使用する

Bluetooth で電話が Model X に接続され、電話内の連絡先にアクセスできると ([連絡先と通話履歴のインポート](#) - 138 ページを参照)、電話アプリを使用して、電話に登録されている任意の人を表示して、ハンズフリーで電話をかけることができます。

- 「**通話の履歴**」リストリストには、通話が時系列順で掲載され、最新の通話が最初に掲載されます。すべての通話、または不在着信、着信、または発信だけを表示できます。
- 「**連絡先**」: 連絡先は、アルファベット順で掲載されており、名前または姓でソートできます。また、リストの右側にある文字を選択して、選択した文字で始まる名前にすばやくスクロールすることもできます。連絡先リスト上の名前をタッチすると、連絡先の利用可能な電話番号が、その他の利用可能な情報 (住所など) とともに右側のペインに表示されます。連絡先の電話番号をタッチして電話をかけます。

電話をかける

以下の方法で電話をかけることができます。

- 音声コマンドを使用しています (英語) ([音声コマンドの利用](#) - 54 ページを参照)。
- 右側のスクロールボタンのメニューから連絡先または最近の通話履歴を選択 ([ハンドルの右ボタンを使用する](#) - 53 ページを参照)。
- 電話アプリの連絡先または最近の通話リストから電話番号を選択。
- 電話アプリで Model X のオンスクリーン ダイヤラーを使用。

注: 安全上および法令上に問題がない場合は、電話機で直接番号をダイヤルするか、連絡先を選択することによって電話をかけることもできます。

注: 地図上のピンに触れ、ポップアップ ウィンドウで電話番号を選択することにより電話をかけることもできます (利用可能な場合)。

電話に応答する

電話機に着信があると、インストゥルメントパネルとタッチスクリーンに発信者の番号または名前が表示されます (発信者が連絡先リストに含まれていて、Model X がその連絡先へアクセスできる場合)。

タッチスクリーンのオプションの 1 つにタッチするか、ハンドルの右側のスクロール ホイールを上下に回して着信に「**応答**」または着信を「**無視**」します ([ハンドルの右ボタンを使用する](#) - 53 ページを参照)。

注: 使用している電話と最新の通話に使用したスピーカーによっては、着信コールに使用したいスピーカーを選択するように求めるメッセージが表示されることがあります。

⚠ 警告: 道路の状況に常に注意して運転してください。Bluetooth をオンにした状態でも、運転中の携帯電話の使用やプログラミングは深刻な怪我や死亡につながります。

⚠ 警告: テキスト送信の使用禁止やハンズフリーの使用義務など、運転中の電話の使用に関して適用されるすべての法規に常に従ってください。

通話中オプション

通話中、ハンドルの右側の最上部のボタンを押すことによってインストゥルメントパネルに通話メニューを表示することができます。右スクロールボタンを上下に回してオプションを選択します ([ハンドルの右ボタンを使用する](#) - 53 ページを参照)。通話音量を調節するには、通話中にハンドルの左側にあるスクロール ボタンを上下に回します。



注: Model X の始動時、エアサスペンションのリザーバーに空気を注入するためにコンプレッサーの音が聞こえる場合があります。

アダプティブエアサスペンションは快適な乗り心地を提供し、好みに合わせてサスペンションを軟らかめまたは硬めに設定することができます。荷物を積載する場合、エアサスペンションがフロントとリア間の水平を自動的に維持します。状況に応じて手動で車高を調整することができます(例: 急な車道や傾斜路、積雪のある場所、減速ランプ、駐車場内の速度規制、などを走行する際に低速走行で余分な地上高が必要な場合に Model X 車高を上げることができます)。高速走行する時に使用するデフォルトの車高を設定することもできます。



車の性能に関わるエアサスペンションシステムの不具合が検知されると、インストゥルメントパネル上で黄色の表示灯が点灯します。不具合が解消しない場合は、Tesla にご連絡ください。



故障によりエアサスペンションシステムが無効になったことが検知されると、インストゥルメントパネル上で赤色の表示灯が点灯します。Tesla にご連絡ください。

サスペンション設定

注意: サスペンションの高さを調整する際は、Model X の上下に障害物がないことを確認してください。

Model X の電源をオンにしてブレーキペダルを踏み、タッチスクリーンで「コントロール」>「サスペンション」の順にタッチして手動で車高を調整したり、サスペンションで好みの乗り心地に調整したり、アダプティブサスペンションで高速走行で車高を下げる度合いを選択します。

手動で車高を変更するには以下のオプションから選択します。

- **VERY HIGH** 「VERY HIGH」に設定されている場合、走行速度が時速 56 km に達すると自動的に車高が「HIGH」に下がります。
- **HIGH** 「High」に設定したとき、走行速度が時速 73 km に達すると、サスペンションは自動的に「Standard」または「Low」(以下で説明するサスペンション下げ設定に基づきます) に下がります。
- **STANDARD** 「STANDARD」に設定されている場合、あらゆる積載条件下で最大の快適性と最高の操作性が得られます。
- **LOW** 車高を下げると、空力性能や荷物の積み下ろし、乗員の乗降が楽になります。
- **VERY LOW** この設定は手動で行われ、現在の走行でのみ適用されます。

地上からの高さを確保するために Model X の車高を手動で上げた際は、地上からの高さが必要なくなった時点で車高を下げる必要があります。

注意: エアサスペンションが、「HIGH」または「VERY HIGH」に設定されている時は、アグレッシブな運転(急加速、急カーブ、など)は避けてください。車高が高い時にアグレッシブな運転を行うと、振動が発生し、車両を損傷する恐れがあります。

注意: サスペンションが、「HIGH」または「VERY HIGH」に設定されているときは加速が制限される場合があります。

サスペンション降下中: Model X の走行速度が、自宅車庫までの私道や駐車場内を走行する速度を超えると、アダプティブエアサスペンションが自動的に車高を調節し、空力抵抗やハンドリングを改善します。車高を手動で上げたときは、速度が上がるとともにサスペンションは自動で調節されます。エアサスペンションシステムにどのように車高を調節させるかは以下のオプションから選択します。

- **ALWAYS** 車高は常時「低」に設定され、「高」または「最高」に設定すると各設定の最大速度を超えた時点で、車高が「低」に戻ります。設定を手動で STANDARD または VERY LOW に変更した場合は、次回運転するときに LOW にリセットされます。
- **NEVER** 車高は常に「標準」に設定され、自動的に「低」になることはありません。車高を HIGH または VERY HIGH に設定してそれぞれの設定の最大速度を超えると、車高は STANDARD に戻ります。設定を手動で LOW または VERY LOW に変更した場合は、次回運転するときに STANDARD にリセットされます。
- **高速道路** 本設定はデフォルト設定です。乗り心地とエネルギー消費量を考慮し、車高は自動で「標準」や「低」間に調整されます。

アダプティブサスペンション減衰: サスペンションシステムの乗り心地を調節するために STANDARD または SPORT を選択します。STANDARD は軟らかめの乗り心地に対し、SPORT は硬めで機敏な乗り心地となり、より路面に密着した感触になります。

注: 使用可能な設定は走行速度やその他の条件によって異なります。たとえば、ドアが開いていると車高を下げることはできません。

注: 選択したサスペンションを下げる設定およびアダプティブサスペンションダンピング設定はドライバープロフィールに保存されます(ドライバープロフィール - 49 ページ参照)。



Auto Raising サスペンション

Auto Raising サスペンションは、以前車高を上げたことがある場所で頻繁に車高を上げる必要がある場合その都度車高を上げる手間を省きます。「高」または「最高」に車高を上げる度に、Model X はその位置をデータとして保存します。保存された場所に次回戻ってくると、Model X は車高を上げ、インストゥルメントパネルに次のメッセージが表示されます。



上にかかっている (バンパーが縁石に当たっているなど) 場合などを検出すると、自動的にジャッキモードを設定します。

注: 保存された位置に戻す場合や「高」および「最高」の位置でのサスペンション設定の走行可能速度以上の速度で走行した場合、Model X の速度が低下するまでサスペンションは上がりません。

注: 保存した場所を出発した後、サスペンションが自動で下がらない場合はサスペンションが下がる速度まで速度を上げる必要があります。

注: 保存された位置に Model X が達した場合、また保存した車高よりも既存のサスペンション設定の車高が高い場合、車高は調整されません。

車高オート上昇場所を取り消す

保存された場所でサスペンションのオート上昇を希望しないときは、そこで表示される車高オート上昇場所ステータスに関するメッセージ内の **X** をタッチします。その場所のオート上昇が取り消され、今後その場所に着いても車高が自動的に上がることはありません。

注: 保存された場所にいる間に手動で **STANDARD**、**LOW** または **VERY LOW** に変更すると、Auto-Raising の保存も削除します。

ジャッキモード

ジャッキアップや引き上げを行う際は、あらかじめサスペンションを「**ジャッキモード**」に設定し、Model X の電源がオフになってもセルフレベルングが機能しないようにします。

ブレーキペダルを踏み、次に「**コントロール**」 > 「**車高**」 > 「**ジャッキモード**」の順にタッチします。

解除するには、「**ジャッキモード**」を再度タッチします。

注: ジャッキモードは、走行速度が時速 7 km を越えると自動的に解除されます。

注: Model X また、車両が目標高まで車高を下げるができない、または車両重量が何らかの物体の

概要

カレンダー アプリにより、スマートフォン (iPhone® または Android™) のカレンダーを当日と翌日の分の予定だけ見ることができます。より便利に使えるようカレンダーはナビや電話アプリと統合されているので、次の予定の場所までナビを行ったり、電話をかけることができます。カレンダー アプリを使用するには、次の条件を満たす必要があります。

- Tesla モバイル アプリが実行中で、ログイン中、カレンダーの同期設定が有効になっていること。そうすれば、カレンダーのデータがスマートフォンから Model X へ定期的 (かつ自動的) に送られるようになります。

注: カレンダー アプリのすべての機能を利用できるようにするには、モバイル アプリの最新バージョンを使用することをお勧めします。

- スマートフォンと Model X が Bluetooth 経由で接続されていること (プライバシー保護のため、接続されたスマートフォンからのカレンダー データのみが表示されます)。
- Model X へのモバイルアクセスがオンになっていること (「コントロール」 > 「安全とセキュリティ」 > 「モバイルアクセスを許可」の順にタッチします)。
- スマートフォンと Model X 双方の通信状態に問題がないこと。

Model X に乗ったとき、タッチスクリーンにその日のイベントのリマインダーを表示することができます。カレンダーに表示されている予定を自分の好みに合わせてカスタマイズするには、カレンダーアプリの左上にある設定アイコンをタッチして、**乗車後カレンダーを表示**設定にあるオプションを選択することができます。

カレンダー イベントに住所が含まれている場合は矢印が表示されます。住所にタッチすることで、そのイベントの場所までのナビゲーションを行わせることができます。

予定の情報アイコンにタッチすれば、その予定に関する情報が表示されます。メモに 1 つ以上の電話番号が含まれている場合、情報アイコンに電話のアイコンが表示され、カレンダーには 1 番目に検出された電話番号が表示されます。タッチして通話を開始します。予定にあるメモのポップアップ ウィンドウ内の任意の電話番号をタッチしても通話を開始することができます (これは特に電話会議の通話に便利です)。メモにウェブリンクが含まれている場合、タッチするとウェブブラウザで (搭載されている場合) 開くことができます。

複数のカレンダーからイベントが表示されている場合は、右上にあるリストアイコンをタッチしてイベントのリストをフィルターして、指定した 1 つまたは複数のカレンダーからのイベントのみを表示することができます。



セキュリティ システムについて

Model X が近くにキーがあることを検出していない状態でロックされたドアやトランクが開かれると、アラーム音が鳴り、ヘッドライトと方向指示器のランプが点滅します。アラームは、キーのボタンを押すと解除されます。

アラーム システムを手動でオン/オフするには、「コントロール」>「安全とセキュリティ」>「セキュリティ アラーム」の順にタッチします。ON に設定すると、Model X から出て 1 分後にアラームが作動し、ドアがロックされ、認識されたキーは検出されなくなります。

ドライブ用 PIN

セキュリティ強化のため、Model X に 4 桁の暗証番号（個人識別番号）を入力するまで走行できないようにすることができます。この設定をオンにするには、「コントロール」>「安全とセキュリティ」>「ドライブ用 PIN」の順にタッチして、画面の指示に従ってドライブ用の PIN を作成してください。

注：有効にすると、この 4 桁の運転暗証番号の入力は運転する前だけではなく、初めてパレーモードに入るときにも使用され、そこで新たにパレーモードを開始、終了するための 4 桁暗証番号を作成する必要があります。パレーモードを開始すると、ドライブ用 PIN を入力せずにパレー係の人が Model X を運転できるようになります。また、パレーモードがオンになっているときは常に**ドライブ用 PIN** 設定はオフとなります。

ドライブ用 PIN を忘れてしまったり、**ドライブ用 PIN** をオフにすることを忘れてしまった場合は、この設定に戻り、リンクをタッチして Tesla ログイン認証情報を入力して画面の指示に従ってください。

注：まず発生しませんが、万一タッチスクリーンが反応しなくなると、PIN を入力することができなくなります。この場合は、まずタッチスクリーンの再起動を試みてください（[タッチスクリーンの再起動 - 56 ページ](#)を参照）。再起動してもタッチスクリーンが反応しない場合でも、ドライブ用 PIN をバイパスしてモバイル アプリからキーレスドライブを有効にすることができます。

セントリーモード

セキュリティを強化するためには、車両をロックして駐車状態にし、セキュリティ用カメラとセンサーの電源を入れて、セントリーモードで車両周辺環境を継続的に監視します。有効にするには、「コントロール」>「安全とセキュリティ」>「セントリーモード」の順にタッチします。代わりに、音声コマンド、モバイルアプリを使用するか、タッチスクリーン上部のセントリーモードアイコンをタッチして「セントリーモード」を有効/無効にすることができます。音声コマンドを使用して有効にするには、「Tesla を安全に維持する」、「車両を安全に維持する」、「セントリーモードオン」、または「セントリーモードを有効にする」などと発話します（音声コマンド使用の詳細については、[#unique_321](#) - を参照してください）。セントリーモード使用時、Model X はその周辺環境に合わせて 3 つのモードのいずれかになります。スタンバイ、アラート、アラーム。

注：セントリーモードを使用するには、バッテリーの充電レベルが 20% 以上必要です。バッテリー残量が 20% よりも低くなった場合、セントリーモードは無効となりモバイルアプリに通知が送信されます。

⚠ 警告：潜在的なあらゆるセキュリティ上の脅威から Model X を守るためには、セントリーモードに任せずにしないでください。これは車両を脅威から保護するのに役立ちますが、セキュリティシステムがすべての被害を防げるわけではありません。

スタンバイ、アラート、アラームステータス

Model X セントリーモードをオンにすると、自動的にスタンバイモードに入ります。スタンバイモードでは、車両のカメラが絶えずその周辺環境に潜在的な脅威を監視します。誰かが Model X に近寄るなど、車両が脅威を検出した場合、セントリーモードがアラートモードに切り替わります。

アラートモードでは、タッチスクリーン上にカメラが出来事を録画しているというメッセージが表示されます。誰かが窓を割るなど、重大な脅威を検出すると、セントリーモードがアラームモードを作動させます。

注：アラートモードになった場合は、正しく設定された USB ドライブが USB ポートに差し込んであれば、セントリーモードが出来事の発生した 10 分からの動画映像を保存します（[車載カメラ - 81 ページ](#)を参照）。

アラームモードでは、セキュリティアラームがオンになり、オーディオシステムが大音量で鳴り出します。また、タッチスクリーン上のメッセージが最大限に明るくなります。セントリーモードは、30 秒後にアラームモードからスタンバイモードに戻ります。

ロケーションベースの設定

車両を駐車する際に、特定の場所付近で自動でセンチリーモードが有効となるようカスタマイズすることができます。利用できる設定は次のものです。

- **自宅を除く**: お気に入りで「自宅」と設定した場所付近では、センチリーモードが自動で有効になりません (**最近**、**お気に入り**、**自宅**、**職場の場所** - 134 ページを参照)。

注: 自宅を設定するには、**ナビ**をタッチして、**自宅**を長押しし、自宅住所を入力します。「自宅として保存」をタッチします。

- **勤務先を除く**: お気に入りで「勤務先」と設定した場所付近では、センチリーモードが自動で有効になりません。先に説明した通り、勤務先の所在地を自宅住所と同様に設定します。
- **お気に入りを除く**: 予め設定したお気に入りの場所 (**最近**、**お気に入り**、**自宅**、**職場の場所** - 134 ページ参照) に基づき、センチリーモードはお気に入りの場所付近では自動で有効になりません。

センチリーモードが自宅、勤務先、お気に入りの場所を認識するために、その住所から 10 メートル以内に車両を駐車する必要があります。

動画および録音

センチリーモード利用時、USB フラッシュドライブを車両備え付けの USB ポート (**荷室容量と電気系統** - 22 ページを参照) に差し込み、**車載カメラ** - 81 ページの指示に沿って設定することをお勧めします。センチリーモードでは、セキュリティに関わる事象が発生した場合に録画され、動画映像を保存しますが、この映像は USB フラッシュドライブがインストールされている場合のみ保存されます。動画ファイルにはファイル名に時刻がつけられて保存されません。保存した録画は、新しく録画しても上書きされません。映像を取り出すには、フラッシュドライブを抜き、パソコンを使用して動画ファイルにアクセスします。

注: お客様には、センチリーモード利用時の動画の録画に関して、地域の条例、規則および所有物規制全てに従う責任があります。センチリーモードでは、音声は録音されません。

注: また、センチリーモードは録画した動画を Tesla に送信して一時的にバックアップします。Tesla はこの動画を使用してセンチリーモードの検知能力を強化することにも役立てています。「**コントロール**」 > 「**セイフティ&セキュリティ**」にある「**データ共有**」ビデオクリップを使い、いつでもこの動画収集をオン/オフにすることができます。

注: 動画撮影は、特定の市場地域やおおよそ 2017 年 8 月 1 日以前の車両構成ではご利用いただけない場合があります。



データ接続方法として Wi-Fi が用意されており、携帯電話通信網よりも速い場合も多くあります。Wi-Fi 接続は携帯電話が通じにくい、または通じない地域で特に便利です。ソフトウェアおよびマップのアップデートを速く確実にを行うには、可能な限り車両を Wi-Fi に接続させておくことが推奨されます（例えば夜間自宅で駐車している時など）。

Wi-Fi ネットワークへの接続方法は以下の通りです。

1. タッチスクリーンの上部角にあるセルラー アイコンをタッチします（通常は **LTE** または **3G**）。Model X 圏内にある検出された Wi-Fi ネットワークの検索を開始し、表示します。
2. 使用する Wi-Fi ネットワークを選択してパスワードを入力してから（必要な場合）、**「確認」** にタッチします。
3. 車両は Wi-Fi ネットワークの接続範囲内に入ると自動でネットワークに接続します。

検索したネットワークの一覧にない非表示のネットワークにも接続できます。**「Wi-Fi 設定」** をタッチして、検索結果のダイアログボックスにあるネットワーク名を入力し、セキュリティ設定を選択し、**「ネットワークの追加」** をタッチします。

注：過去に接続したことのあるネットワークが圏内に複数ある場合、Model X は直近に使用したネットワークに接続されます。

注：モバイル ホットスポットまたは携帯電話の Wi-Fi テザリングによるインターネット接続も使用することができます（モバイルキャリアの料金と制限により異なります）。

注：Tesla サービス センターでは、Model X は Tesla サービス Wi-Fi ネットワークに自動的に接続されます。



新しいソフトウェアの読み込み

Model X ソフトウェアをワイヤレスでアップデートすると、お車の所有期間中は新しい機能がご利用いただけます。ソフトウェアのアップデートがリリースされた場合はすぐにインストールすることを Tesla は推奨します。アップデートが利用できるようになった後初めて Model X に乗車すると、タッチスクリーン上にスケジューリング ウィンドウが表示されます。最初の運転期間が終了した時点で、再度スケジューリング ウィンドウが表示されます。

注: ソフトウェア アップデートの中には完了までに最大 3 時間かかるものもあります。Model X 新しいソフトウェアのインストール中は、ギアを P (パーキング) に入れておく必要があります。ソフトウェア アップデートをもっとも早く確実にを行うため、常に Wi-Fi をオンにし Wi-Fi に接続したままにしておいてください ([Wi-Fi への接続](#) - 145 ページ参照)。

注: 車両にプレミアム接続が備わっている場合、携帯電話データ通信を使ったソフトウェア アップデートもご利用いただけます。

警告: ソフトウェアのアップデート中には、車両の使用をお控えください。ソフトウェア アップデート進行中には、安全システムを含む車両機能が制限されていたり無効となっている場合があります。車両に損傷が出る恐れがあります。

ソフトウェア アップデートが利用可能な状態になると、タッチスクリーンのステータス バーに黄色の時計アイコンが表示されます。アップデート ウィンドウを表示するには、このクロックアイコンをタッチします。次に、以下のどちらかを行います。

- アップデートを開始したい時刻を設定することにより、アップデートの予約をします。次に「**この時間に設定**」にタッチします。スケジュールされると、時計アイコンが黄色から白色に変わります。アップデートの開始前であれば、いつでもアップデートの再予約を行うことができます。

または

- 「**今すぐインストール**」をタッチすると、アップデート プロセスが直ちに開始されます。

あるいは、「**コントロール**」 > 「**ソフトウェア**」の順にタッチしてください。車両が新しいソフトウェア アップデートを検出した場合、そこに「新しいアップデート」ウィンドウが表示されます。現在のソフトウェアバージョンのリリースノートを表示することもできます。Model X アップデートを開始するには、Wi-Fi に接続してください ([Wi-Fi への接続](#) - 145 ページ参照)。

ソフトウェア アップデートが始まる時に Model X が充電中である場合、充電は停止されます。ソフトウェア アップデートが完了すると、充電が自動的に再開されます。スケジューリングしていたアップデートの時間に Model X を運転していると、アップデートがキャンセルされますので、再度スケジューリングしてください。

注: 「エアコンを ON のままにする」またはスマート エアコンディショニングが有効になっているときは、ソフトウェアのアップデートを行うことはできません。

注: Tesla モバイルアプリを使用してソフトウェアのアップデートを開始することもできます。

注: 使用するにつれ、タッチスクリーンにソフトウェアのアップデート ウィンドウが表示され、**この時間に設定**または**今すぐインストール**するよう知らされます。このソフトウェアのアップデート ウィンドウは、ソフトウェア アップデートのインストールが完了するまで表示され続けます。すべてのソフトウェアのアップデートは、リリースされ次第すぐにインストールしなければなりません。ソフトウェアのアップデートをしなかったことにより発生した問題は車両の保証対象となりません。アップデートをインストールしなかったり、インストールを拒否した場合、車両の特定機能 (デジタルメディア機器に対応できなくなるなどを含む) が使用できなくなったり、Tesla が車両の診断やサービスを行うことができなくなる恐れがあります。

注: ソフトウェアの更新がインストールされていないと、車両の機能によってはアクセスできなくなったり、デジタルメディア デバイスとの互換性が失われる場合があります。以前のバージョンのソフトウェアにダウンロードすることはできません。

タッチスクリーンにソフトウェア アップデートが完了しなかった旨のメッセージが表示された場合は、Tesla にご連絡ください。

リリース ノートの表示

ソフトウェア アップデートが完了したら、リリースノートをお読みいただき、新機能についてよく理解するようにしてください。現在のソフトウェアバージョンに関するリリースノートを任意のタイミングで表示するには、タッチスクリーン最上部中央の Tesla の「T」をタッチしてから、「**リリースノート**」をタッチします。

すべてのリリースノートをぜひお読みください。アップデートには、重要な安全に関する情報や Model X に関する操作説明が含まれている場合があります。



概要

Tesla モバイル アプリにより、Model X は iPhone[®] または Android[™] 携帯電話とリモート通信することができます。このアプリを使うと、次ができるようになります。

- 車両の推定航続距離を表示する
- 充電の進行状況を確認したり、充電を停止したり、充電が開始、中断、ほぼ完了、または完了したときに通知を受信する。

注：スーパーチャージングのときに、充電完了後にスーパーチャージャーでの駐車に対してアイドル手数料が課金されることについて、追加の通知による警告を受け取る。アイドル手数料は、充電が終了して 5 分以内に車を移動すれば課金されません。[スーパーチャージャー使用料と超過時間料金](#) - 157 ページを参照してください。

- 車内の温度をチェックしたり、運転前に車内のヒーターまたはクーラーを入れる（ガレージなどに駐車している場合も含む）。
- Model X の位置と方向を特定し、マップ上で動きを追跡する。
- 駐車中で Model X のライトを点滅させたり、ホーンを鳴らさせて車両を見つける。
- 遠くから Model X をロックまたはアンロックする。
- フロントまたはリア トランクを開く。
- バレー モードを有効にする。
- キーレス ドライブを有効にする。

注：キーを忘れてしまったり、ドライブ用 PIN を忘れてしまった場合に PIN をバイパスする必要があったり、タッチスクリーンが反応しなくなってしまう場合などにキーレス ドライブを使用することができます。

- サモンを使用して Model X を駐車場から車の出し入れを行います（[サモン](#) - 106 ページを参照）。
- Model X のカレンダー アプリをサポートし、モバイル アプリを使ってスマートフォンのカレンダー データを Model X に転送する。
- セントリーモードを有効/無効に設定する。
- セキュリティの警告がトリガされるときに通知を受信する。
- ソフトウェアのアップデートの通知を受信する。
- 遠隔でソフトウェアのアップデートを開始します。
- Tesla 受信ボックスにアクセスします。
- 速度制限モードを有効または無効に設定し、車両の走行速度が選択した最大速度まで約 5 km/h に近づいたときに通知を受け取る（[速度制限モード](#) - 123 ページを参照）。
- オドメーター、VIN、現在のソフトウェアのバージョンを表示する。

注：上記のリストは Tesla モバイル アプリで利用可能な機能を完全に表しているものではありません。新機能や改良機能にアクセスするためには、最新バージョンのモバイルアプリがリリースされたらすぐにダウンロードしてください。

モバイル アプリを使用する方法

Tesla モバイル アプリが Model X と通信できるようにするには、以下の手順に従います。

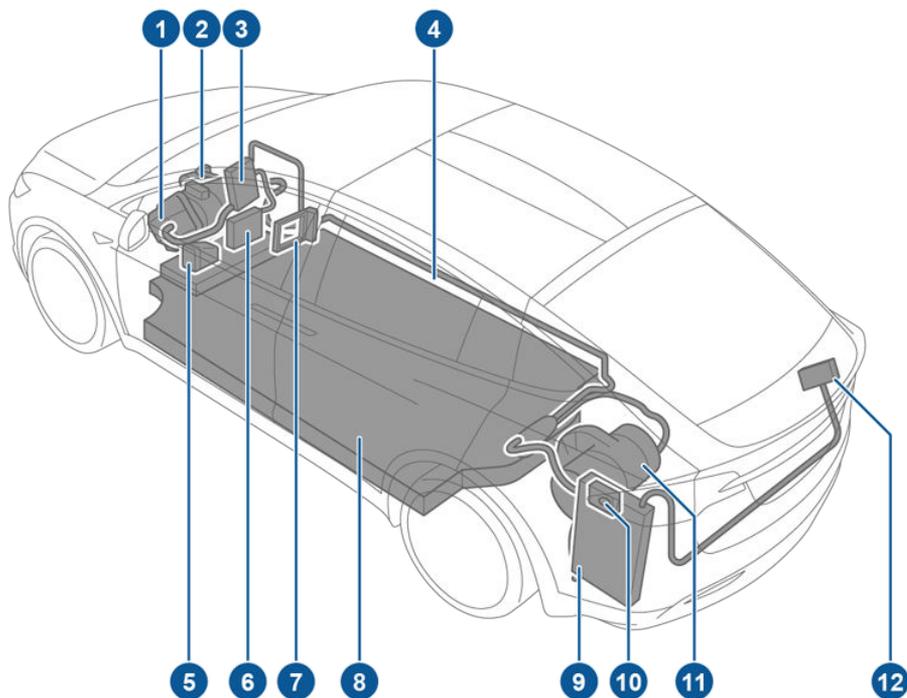
1. お使いのスマートフォンに Tesla モバイル アプリをダウンロードしてください。
2. Tesla アカウントの認証情報を入力して、Tesla モバイル アプリにログインします。
3. 「コントロール」 > 「安全とセキュリティ」 > 「モバイル アクセス」（コントロール - 115 ページを参照）の順にタッチして、Model X へのモバイル アクセスを有効にします。

注：モバイル アプリが車両と通信できるようにするには、スマートフォンがセルラー サービスに接続されている必要があります。屋内駐車場などセルラー サービス圏外にある場所に駐車するときは、機能するキーがお手元にあることを確認してください。

注：Tesla は、Model X との連絡に第三者アプリを使用することをサポートしていません。



高電圧コンポーネント



1. フロント モーター
2. エアコン用コンプレッサー
3. 前方ジャンクション ボックス
4. 高電圧ケーブル配線
5. バッテリークーラントヒーター
6. DC-DC コンバーター
7. キャビンヒーター
8. 高電圧バッテリー
9. 車載充電器
10. 充電ポート
11. リヤ モーター
12. HV ケーブルからリア HVAC アセンブリ

⚠ 警告: 高電圧システムにはユーザーが整備可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーは通常オレンジ色が使われており、容易に見分けることができます。

⚠ 警告: Model X に貼ってあるラベルの注意を読み、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。

⚠ 警告: 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。



充電機器

Model X の充電専用設計された充電機器は Tesla から入手できます。Tesla ウォール コネクタはガレージに取り付けるタイプで、Model X をご自宅でも最も高速に充電することができます。

ほとんどの地域で、Model X には一般的に使用されるコンセントに差し込むのに必要なモバイルコネクタおよびアダプタが備え付けられています。モバイルコネクタを使用するときは、まずそのモバイルコネクタを電源コンセントに挿してから、Model X に接続します。モバイルコネクタの詳細については、モバイルコネクタのオーナーズマニュアル (タッチスクリーンで閲覧可能) を参照してください。追加アダプタの購入は、Tesla にお問い合わせください。

Tesla では、追加のアダプタ (例: J1772、CHAdEMO、および CCS コンボ) を提供しており、地域で一般的に使用される公共充電ステーションで使用することができます。アダプタを充電ステーションの充電ケーブルに接続し、タッチスクリーンを使って充電ポート扉を開けてから (充電方法 - 152 ページを参照) Model X に接続します。お住いの地域で利用できる充電設備に関する情報については、www.tesla.com - へと進み、それから利用可能な充電オプションを表示します。



バッテリーについて

Model X は世界最高クラスの高性能バッテリーを搭載しています。バッテリーを長持ちさせるために最も重要なのは、車両を使用していない間も**充電プラグを差し込んだままにしておく**ことです。特に数週間以上 Model X を運転する予定がない場合、これは重要です。Model X が充電可能状態になっていれば、バッテリーの寿命を最大にする充電レベルを自動的に維持することが必要になったときにスリープ状態から復帰します。

注: 充電しないまま車両の電源を付けた状態にしているとき、バッテリーはシステム試験および 12V バッテリーの充電を必要に応じて実行する必要があるため電力を消費しています。

バッテリーのレベルが低下するまで充電を待つ必要はありません。実際、バッテリーは定期的に充電されておりと最高の性能を発揮します。

注: Model X のバッテリーが完全に放電し、車両の輸送が必要になった場合は、オーナーが輸送費用を負担しなければなりません。放電が原因の輸送にかかる費用は、ロードサイドアシスタンス契約の対象になりません。

スーパーチャージャーによる充電など、多数の急速 DC 充電セッションの後で、バッテリーのピーク充電速度がわずかに低下することがあります。航続距離とバッテリーの安全性を最大限に引き出すため、バッテリーが冷たすぎたり、バッテリーがフル充電に近くなっていたり、バッテリーの状態が使用状況や経過日数によって変化している場合は、バッテリー充電速度が低下します。バッテリーの物理特性によってこのようなバッテリーの状態変化が進むと、スーパーチャージングの総所要時間は、時間の経過とともに数分単位で延びる可能性があります。

バッテリーの保護

バッテリーを完全放電させないでください。Model X を運転していない間も、バッテリーは車載電子回路に電源を供給するために非常にゆっくりとですが放電しています。放電率は環境要因（寒い天候など）、車両構造、タッチスクリーン上の選択設定により異なりますが、1 日におおよそ 1% の割合でバッテリーが放電します。Model X が充電されない状態が長期間続くような場合もあります（たとえば、空港の駐車場に車を置いて旅行に出かけるなど）。バッテリーを十分な充電レベルに保つために、前述の 1% について留意してください。たとえば、2 週間（14 日）充電しないと、バッテリーはおおよそ 14% 放電します。

バッテリーを 0% まで放電すると車両のコンポーネントを損傷する恐れがあります。完全放電からバッテリーを保護するために、充電レベルが 0% 近くまで低下すると、Model X は低消費電力モードに入り、このモードでは、バッテリーは車載電子回路および 12V バッテリーへの電源供給を停止します。この低消費電力モードが有効になった場合、ジャンプスタートや 12V バッテリーの交換などを行わずに済むよう、すぐに Model X を充電してください。

注: 車両の反応がなく、ロック解除、ドアを開く、または充電しない場合は、12V バッテリーが完全に放電している恐れがあります。その場合はテスラにご連絡ください。

温度限界

常に良好な性能を長期間維持するため、Model X を 60° C 超または -30° C 未満の環境に 24 時間以上連続して放置しないでください。

省エネ機能

Model X には省エネ機能があり、Model X を使用していないときの消費エネルギーを減らすことができます。世代の新しい車両では、この機能は自動化され最適なレベルの省エネモードが提供されています。一方、世代の古い車両では、「**コントロール**」>「**ディスプレイ**」>「**省エネモード**」の順にタッチして消費電力をコントロールすることができ、航続距離を最大限に伸ばし、かつエネルギーを削減することについての詳細情報は**航続距離を最大限に伸ばす** - 79 ページをご参照ください。

バッテリーに関する警告と注意事項

警告: バッテリーには、オーナーまたはテスラにより認定されていないサービステクニシャンが整備できる部品はありません。どのような状況下においても、バッテリーのフタを開けたり、バッテリーを改造したりしないでください。必ずテスラに連絡して、バッテリーの修理を依頼してください。

注意: バッテリーの充電レベルが 0% にまで落ちた場合は、プラグを差し込む必要があります。プラグを抜いたまま長時間放置すると、12V バッテリーをジャンプスタートさせるか、または交換しない限り、Model X の充電または使用ができなくなる場合があります。Model X を長期間にわたって充電せずに放置すると、恒久的にバッテリーを損傷することもあります。Model X を充電できない場合は、ただちに Tesla にご連絡ください。

注意: バッテリーはオーナーによるメンテナンスを必要としません。クーラントフィルターキャップを開けたりバッテリー液を補充したりしないでください。バッテリー液のレベルが低いという警告がインストゥルメントパネル



に表示された場合は、ただちに Tesla にご連絡
ください。

 **注意:** このバッテリーは固定電源として使用し
ないでください。固定電源として使用した場
合は、保証が無効になります。

充電ポートを開ける

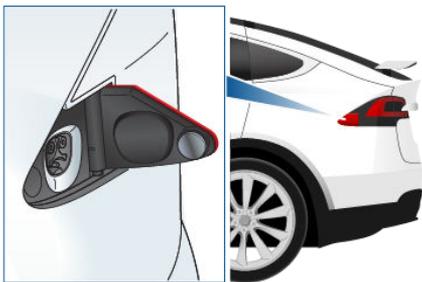
充電ポートは Model X の左側に位置し、リアテールランプアセンブリの一部になっているドアの後ろにあります。充電する前は、充電ケーブルが充電ポートに届くように Model X を駐車します。

Model X がアンロックされ、パーキングにシフトされている（または認識されたキーが範囲内にある）時に、Tesla 充電ケーブル上のボタンを押して放すと充電ポートのドアが開きます



充電ポート ドアは、以下のいずれの方法でも開けることができます。

- タッチスクリーンから、アプリラウンチャーを使用して充電アプリを開き、**充電ポートを開く**をタッチします。
- Model X のタッチスクリーンで、「コントロール」>「充電」>「充電ポートを開く」の順にタッチしてください。
- Model X がアンロックされているか、認識されたキーが近くにある状態で、充電ポート ドアのを押します。
- キーのリートランクボタンを 1~2 秒間長押しします。



注: 充電ポート扉を開けると、充電ポートのライトが白色に点灯します。充電ポート扉を開いてから数分以内に充電ケーブルを充電ポートに接続されない場合、充電ポート扉は閉じます。その場合は、タッチスクリーンを使用して充電ポート ドアを再度開けてください。

⚠ 注意: 充電ポートを無理に開けようとしなくてください。

挿し込む

必要な場合は、タッチスクリーンを使用して充電上限と充電電流を変更します（**充電設定の変更** - 154 ページを参照）。

公共の充電スタンドで充電するには、スタンドの充電コネクタにアダプターを接続します。販売地域でよく使われているアダプターが付属しています。使用している充電器によっては、充電器の制御装置を使用して充電を開始、停止する必要があります。

モバイル コネクタを使用している場合は、先にそれを電源コネクタに挿してから Model X につなぎます。

コネクタと充電ポートの向きを合わせて、コネクタを奥まで挿し込みます。コネクタが正しく差し込まれている場合に Model X が以下の状態になると、自動的に充電が開始されます。

- ラッチによってコネクタが所定の位置に固定されたとき。
- パーキングにシフトしたとき（他のギアに入っていた場合）。
- 必要に応じてバッテリーを加熱または冷却したとき。バッテリーを加熱または冷却する必要がある場合は、充電が開始されるまでに遅れが生じる場合があります。

注: Model X に充電ケーブルが差し込まれている状態で充電が行われていないときは、バッテリーに蓄積されたエネルギーではなく、コンセントからエネルギーが引き出されます。たとえば、ギアをパーキングに入れ、充電ケーブルを差し込んだ状態で、Model X の座席に座ってタッチスクリーンを操作している間、Model X が消費するエネルギーはバッテリーではなく電源コンセントから取り込まれます。

⚠ 注意: 充電ケーブルのコネクタ側を車両の上にと落とすと、塗装が損傷することがあります。

充電中

充電中は、充電ポートライトが緑色に点滅し、インストゥルメントパネルに充電状況が表示されます。充電レベルがフルに近づくにつれて、充電ポートのライトが点滅する周期が遅くなります。充電が完了すると、ライトの点滅が停止し、緑色の点灯になります。

注: Model X がロックされていると、充電ポートライトは点灯しません。

充電ポートライトが充電中に赤く点灯する場合は、故障が検出されています。インストゥルメントパネルまたはタッチスクリーンで故障に関するメッセージを確認してください。故障は、停電などのよくある障害が原因で発生する可能性があります。停電が発生した場合は、電力が復旧すると自動的に充電が再開されます。

注: 特に大電流で充電する場合は、必要に応じて冷媒コンプレッサーとファンが動作し、バッテリーを冷却します。したがって、充電中に音が聞こえるのは正常な状態です。

注: 通常充電は空調性能に影響を与えません。ただし、特定の状況（例えば、暖かい季節に大電流で充電しているなど）では、通気口から出る空気が冷たくなることがあり、インストゥルメントパネルにメッセージが表示されることがあります。これは正常な動作で、充電中にバッテリーを最適な温度範囲内にとどめ、バッテリー寿命と性能を最適になるようサポートします。

⚠ 警告: 充電している間、絶対に充電ポートに勢いよく液体をかけないでください（高圧洗浄機など）。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

充電の停止

充電ケーブルを取り外すか、タッチスクリーンで「**充電を停止**」にタッチすることにより、いつでも充電を停止できます。

注: 充電ケーブルの不正な取り外しを防止するため、充電ケーブル ラッチはロックされたままの状態となり、Model X のロックが解除されるか、キーを認識しない限り、充電ケーブルは取り外せないようになっています。

充電ケーブルを取り外す:

1. コネクタハンドル上のボタンを長押しして、ラッチを外します。または、キープオフを使用するか、タッチスクリーン上の**充電を停止**をタッチすることによってドアを開き、車両をロック解除します。これらの方法では、同様に充電ポートのロック解除も行います。
2. コネクタを充電ポートから引き抜きます。
3. 充電ポート扉を押して閉めます。

注: Model X が電動式の充電ポート扉を装備している場合は、充電ケーブルを外すとすぐに扉が自動的に閉じます。

⚠ 注意: Tesla では、Model X を使用していない場合でも、充電ケーブルを挿し込んだままにしておくことを強く推奨します。そうすることで、バッテリーの充電レベルが最適に保たれます。

手動で充電ケーブルを外す

通常の方法（充電ハンドル取り外しボタン、タッチスクリーン、またはモバイル アプリの使用）で充電ケーブルを充電ポートから取り外せない場合は、以下の手順に慎重に従ってください。

1. タッチスクリーンの充電画面を表示させて、Model X が充電状態でないことを確認します。必要に応じて、**充電を停止**をタッチします。
2. リア トランクを開く
3. 充電ポート取り外しケーブルを下向きに引き、充電ケーブルのラッチを外します。



注: 解除ケーブルは、トリムの開口部に収めることができます。

4. 充電ケーブルを充電ポートから引き抜きます。

⚠ 注意: 取り外しケーブルは、通常の方法を使用して充電ケーブルが充電ポートから取り外せない場合のみ使用するよう設計されています。頻繁に使用すると取り外しケーブルまたは充電機器に損傷を与える恐れがあります。

⚠ 警告: 車両の充電中あるいは橙色の高電圧コンダクターのいずれかが露出している場合は、この手順を実施しないでください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我、または車両を損傷する恐れがあります。この手順を安全に行えるかどうか確信できない場合は、Tesla までご連絡ください。

⚠ 警告: 充電ケーブルを取り外すのと同時にリリース ケーブルを引き始めないでください。必ずリリース ケーブルを引いたまま、充電ケーブルを充電ポートから引き抜いてください。これらの指示に従わないと、感電および深刻な怪我をする恐れがあります。



充電ポート ライト

- ・ **白**：充電ポートが開いています。Model X 充電準備ができていますが、コネクタが挿入されていないか、充電ポートのロックが解除されコネクタが取り外せる状態になっています。
- ・ **青色**：Model X コネクタが差し込まれたことを検知。
- ・ **青色の点滅**：Model X コネクタと通信中。Model X が充電の準備をしているか、特定の時間に充電を開始する予定があるかのいずれかの状態です。
- ・ **緑色点滅**：充電中。Model X の充電が終了に近いほど、点滅の頻度が遅くなります。
- ・ **緑色点灯**：充電完了。
- ・ **オレンジ色点灯**：コネクタが完全に差し込まれていません。コネクタと充電ポートの向きを合わせて、コネクタを奥まで挿し込んでください。
- ・ **オレンジ色点滅**：Model X は電流を減少して充電しています (AC 充電のみ)。
- ・ **赤色**：故障が検出され、充電が停止しました。インストールメントパネルまたはタッチスクリーンで故障メッセージを確認してください。

充電設定の変更

充電ポート扉が開いていると、必ずタッチスクリーンに充電画面が表示されます。充電画面を表示するには：



アプリ アイコンをタッチして、充電アイコンをタッチします。

注：以下の図は説明目的で掲載されており、ソフトウェアのバージョンおよび販売地域によって若干異なる場合があります。



注：Tesla スーパーチャージャーで充電し、対応した有料高速充電をお使いになった場合、充電画面には前回と現在のスーパーチャージャー充電の情報を

表示します (スーパーチャージャー使用料と超過時間料金 - 157 ページを参照)。

注：トリッププランナー (トリップ情報 - 参照) を利用していない時、頻繁に使用されるスーパーチャージャーでの混雑を減らすため、最大充電を 80% までと自動的に制限することができます。タッチスクリーン上またはモバイルアプリ上の「限度を設定する」をタップし、手動で限度を上げることができます。

1. 充電ステータス メッセージ (「予約充電」、「充電中」など) はここに表示されます。
2. 充電制限を調整するには、**制限設定**をタッチして、矢印をドラッグして充電制限を変更します。選択した設定は、即時充電と予約充電に適用されます。
3. あらかじめ低い電流レベルに設定されていない限り、接続されている充電ケーブルから得られる最大電流に電流が自動的に設定されます。必要な場合は、- または + にタッチして電流を変更します (たとえば、他の機器と屋内配線を共有している場合に屋内配線が過負荷にならないように電流を下げる場合があります)。接続されている充電ケーブルから得られる最大電流を上回るレベルに充電電流を設定することはできません。電流を変更すると、Model X はそのときの場所を記憶します。同じ場所で充電するときは、再度変更する必要はありません。

注：3 相充電 (該当する地域の場合) では、使用可能電流として各相の電流が表示されます (最大 32 A)。充電中、表示されている電流の前に、3 相のシンボルで正常状態フラグが表示されます。

注：入力電力の変動により、Model X が充電場所の電流設定値を自動的に低下させた場合は (充電ステータス - 156 ページの注記を参照)、問題が解決して充電場所の電力が安定するまで、低い電流で充電することをお勧めします。

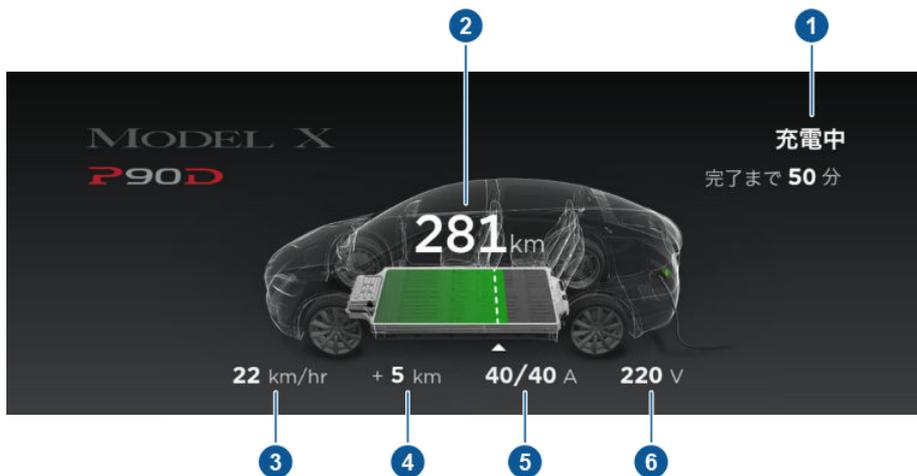
4. タッチして充電ポート扉を開けるか、充電を開始 (または停止) します。
5. エネルギー レベル
6. 1 時間当たりの充電速度、この充電セッションでこれまでに達成された走行距離 (またはエネルギー) の推定増加量、接続された電源から供給される電流/利用可能な電流、充電ケーブルから供給される電圧。



7. 特定の場所の予約充電 Model X をパーキングにいれ、現在の場所での充電開始時刻を設定します。予定時刻に指定場所にある Model X に充電ケーブルが接続されていない場合は、予定時刻経過後 6 時間以内に充電ケーブルを接続するとすぐに充電が開始されます。予定時刻から 6 時間経過した後で充電ケーブルを接続した場合、充電は翌日の予定時刻になるまで開始されません。この設定を変更するには、「**充電開始**」または「**充電を停止**」にタッチします (第 4 項を参照)。充電予定時刻を設定すると、Model X のインストールメント パネルとタッチスクリーンに設定された時刻が表示されます。

充電ステータス

以下の図は説明目的で掲載されており、ソフトウェアのバージョンおよび販売地域によって若干異なる場合があります。



1. 充電ステータス情報。たとえば、Model X が充電中の場合は、現在選択されている充電レベルで充電したときのフル充電までの残り時間が表示されます。充電セッションが予定されると、充電開始される時間を表示します。
2. 推定航続可能距離（エネルギー）。距離またはエネルギーのパーセント表示を選択するには、「コントロール」>「スクリーン」>「エネルギー表示」の順にタッチします。
注：バッテリーの図の一部が青くなることがあります。これは、バッテリーが冷えているため、バッテリーに蓄えられているエネルギーのごく一部が運転に利用できないことを示しています。これは正常な動作で、問題はありません。バッテリーが温まると、青い部分が消えます。
3. 1 時間当たりの充電量。
4. 現在の充電で増加した推定航続距離（またはエネルギー）。
5. 接続した電源から供給されている/利用可能な電流。（[充電設定の変更](#) - 154 ページを参照）。

3

3 相電源（該当する地域の場合）に接続されている場合、使用可能電流として 3 相のシンボルとともに各相の電流が表示されます。

6. 充電ケーブルから供給されている電圧。

注：Model X が充電中のとき、入力電力に予期せぬ変動が検出されると、充電電流が自動的に 25% 減少します。たとえば、40 アンペアの電流が 30 アンペアに減少します。この自動電流低減は、問題が外的に存在する場合（例えば、家庭用配線システム、レセプタクル、アダプタまたはコードが定格電流容量を満たすことができない場合）の堅牢性および安全性を向上させます。しかし、Model X が、ある場所の入力電力が自動的に減少すると、その充電場所の入力電力が減少したまま保存されるのでご注意ください。減少した電流を手動で増やすこともできますが、Tesla は、根本的な問題が解決して充電場所の電力が安定するまで、低い電流で充電することをお勧めします。

スーパーチャージャー使用料と超過時間料金

Tesla のスーパーチャージャーを使用して充電するときは、充電画面の下側に**スーパーチャージング**の情報が表示されます。この情報には、所在地、充電開始時間および充電に要する推定費用が含まれます。スーパーチャージャー充電を停止すると、そのセッションにかかる推定費用が次にスーパーチャージャーで充電を開始する時まで表示されます。無料充電が適用される場合、推定費用はゼロと表示されます。

注：推定費用は便宜上表示されますが、実際にそのスーパーチャージャー充電でかかった最終的な料金とは異なる場合があります。そのセッションのスーパーチャージャー充電の料金は Tesla アカウントで確認することができます。

Tesla スーパーチャージャーで充電するとき、アイドル料金が発生する場合があります。超過時間料金は、ドライバーの方にスーパーチャージャー充電が完了したら車両をすぐに移動していただくことを促す目的で設けられています。超過時間料金は、充電場所にあるスーパーチャージャーの数の半数が使用中のときのみに適用されます。Tesla モバイルアプリは充電完了が近づくと通知し、充電が完了すると再度通知します。超過時間料金が発生した場合は、追加で通知が送られてきます。充電が完了してから5分以内に車両を移動させれば、超過時間料金は免除されます。

Tesla アカウントにログインして、スーパーチャージャー充電の詳細と料金や無料クレジットの残高の確認や、料金のお支払い方法の設定や決済を行うことができます。支払方法が保存されると、自分のアカウントから自動的に料金が引き落とされます。



定期サービス

必要に応じて、車両を整備する必要があります。ただし、Tesla では、Model X の信頼性と効率を維持していただくため、以下のメンテナンス項目が車両に該当する場合には、以下の間隔で整備を受けていただくことを推奨しています。

- バッテリー液の状態は 2 年ごとに確認（必要に応じて交換）または、牽引に使用した車両は、ブレーキフルードを 2 年ごとに交換します
- A/C 乾燥剤袋交換：4 年毎
- キャビンエアフィルター交換：2 年毎
- HEPA フィルター交換：3 年毎
- ブレーキ キャリパー清掃および潤滑：毎年または 12,500 マイル毎（冬季、凍結防止剤がまかれる地域の場合）

注：上記間隔は通常運転癖や状況に基づいています。さらに、上記一覧が全てではありませんので、フロントガラスのワイパー、ブレーキパッドなど消耗部品は含まれていません。

注：Tesla 認定の整備士以外が行ったメンテナンスまたは修理で生じた損傷または故障は保証の対象となりません。

毎日のチェック

- インストゥルメント パネル、またはモバイルアプリに表示されるバッテリーの充電レベルをチェックします。
- 各タイヤの状態と空気圧をチェックしてください（**タイヤの手入れと保守** - 160 ページを参照）。
- 外装のライト、ホーン、方向指示ライト、ワイパー、ウォッシャーの動作をチェックします。
- タッチスクリーンまたはインストゥルメントパネル上の予期せぬインジケータライトまたは車両のアラートを確認してください。
- パーキングブレーキも含め、ブレーキの動作をチェックします。
- シートベルトをチェックします（**シートベルト** - 32 ページを参照）。
- Model X の車体の下に通常はない液体の漏れなどがないかどうかチェックします。少量の水がたまっていても（空調システムの除湿プロセスによる）、異常ではありません。
- Model X の外周を目視して、直ちに腐食性物質（鳥の糞、樹液、タバコの灰、虫の死骸、産業放射線物質など）を取り除き、塗装へのダメージを防いでください（**クリーニング** - 166 ページを参照）。

毎月のチェック

- フロントガラスのウォッシャーの液位をチェックし、必要なら液を補充します（**フロントガラス ウォッシャー液を補充** - 171 ページを参照）。
- 空調システムが正常に作動しているかを確認します（**温度調整** - 125 ページを参照）。

⚠ 警告：液位の大幅または急激な低下、あるいはタイヤの局部的な摩耗に気づいたら、ただちに Tesla にご連絡ください。

定期液交換

ほとんどの状況下では車両寿命を長く維持するため、バッテリー冷却剤を交換する必要はありません。ブレーキ液は 2 年ごとに確認し、必要に応じて交換する必要があります*。

*車両を牽引に使用した場合、健康状態に関わらずブレーキ液を 2 年ごとに交換します。

注：バッテリー冷却剤タンクを開けたことに起因する損害は保証対象外です。

高電圧安全性

お客様の Model X は安全性を最優先して設計・製造されています。しかし、どのような高電圧システムにも負傷のリスクはつきものであるため、安全のため、以下の注意事項に留意してください。

- Model X に貼ってあるラベルの注意をお読みになり、必ず守るようにしてください。これらのラベルはお客様の安全のために貼ってあります。
- 高電圧システムには、ユーザーがサービス可能な部品はありません。高電圧コンポーネントやケーブル、コネクタの分解、着脱は行わないでください。高電圧ケーブルのカラーはオレンジ色になっており、容易に見分けることができます。
- 衝突事故発生時は、高電圧配線、コネクタ、配線に接続された部品に一切手を触れないでください。
- 万が一火災が発生した場合は、直ちに最寄りの消防機関にご連絡ください。

⚠ 警告：Model X の下で作業をする場合は、充電中でなくても、必ず事前に充電ケーブルを抜いておいてください。

⚠ 警告：冷却ファンの吹き出し口を、手や衣類などでふさがないようにしてください。冷却ファンの中には、Model X がパワー オフの状態でも動作するものがあります。

⚠ 警告：自動車で使用される液体（バッテリー酸、バッテリー冷却剤、ブレーキフルード、フロントガラス ウォッシャー添加剤など）の中には有毒なものがあり、これらの液を吸入また



は嚥下したり、傷口に接触させたりしないでください。安全のため、液体容器に表示されている説明を必ず読み、その指示に従ってください。



タイヤ空気圧の保守

タイヤと積載荷重情報ラベルに印刷されている空気圧が、タイヤ自身に記載されている空気圧とは異なる場合でも、トレーラーを牽引している時でない限り、このラベルに表示される。タイヤの積載荷重ラベルは、中央のドアピラー上にあり、前席側のドアを開くと確認することができます。

トレーラーを牽引している時は、タイヤと積載荷重情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧とは異なりますのでご注意ください。その代り、オーナーズマニュアルを参照してください ([牽引とアクセサリ](#) - 83 ページを参照)。



1 つまたは複数のタイヤの空気圧が低すぎるまたは高すぎる場合、インストゥルメントパネル上のタイヤ空気圧表示灯が警告します。

タイヤ空気圧表示灯は、空気圧を調整してもすぐには消えません。タイヤを推奨空気圧にした後、タイヤ空気圧表示灯を消すタイヤ空気圧監視システム (TPMS) を作動させるには、時速 25 km を超える速度で 10 分以上運転する必要があります。

Model X の電源を入れた時にインジケータライต์が 1 分間点滅する場合、TPMS の誤作動が検知されています ([TPMS の不具合](#) - 163 ページ参照)。

、ステアリング ホイールの右または左のボタンを使用して「**車両の状態**」を表示するよう選択すると、インストゥルメントパネルにタイヤ空気圧を表示させることができます ([ハンドルの左ボタンを使用する](#) - 52 ページまたは [ハンドルの右ボタンを使用する](#) - 53 ページを参照)。また、タイヤ空気圧を BAR と PSI のどちららを使用して表示させたいかは、「**コントロール**」 > 「**表示**」 > 「**タイヤ空気圧**」の順にタッチして選択してください。

警告: タイヤの空気圧が足りない状態は、タイヤ温度の上昇、深刻なひび割れ、突然のトレッド

剥離やパンクを引き起こすなど、タイヤの不具合の最も一般的な原因です。この結果、車両制御が予期せず失われ、けがや事故につながる危険性が高まります。低空気圧は車両の航続距離およびタイヤのトレッド寿命に悪影響を及ぼします。



警告: タイヤが冷えているときに、正確なタイヤ空気圧ゲージを使用して圧力をチェックしてください。現在のタイヤ空気圧でタイヤをなじませるには、タイヤを温めるため約 1.6 kms ほど運転すれば十分です。直射日光や高温な場所における駐車も、タイヤ空気圧に影響します。タイヤの温度が上がっている場合は、圧力も高くなっていることに注意してください。タイヤ空気圧の調整は必ずタイヤが冷えた状態でおこなってください。温まった状態では正しい調整ができず、空気圧不足になり大変危険です。



警告: Tesla 修理キットに用意されているタイプ以外のタイヤシーラントは使用しないでください。他のタイプを使用すると、タイヤ空気圧センサーが故障する可能性があります。Model X にタイヤ修理キットが含まれていない場合は、Tesla から購入できます。



タイヤ空気圧の点検と調整

タイヤが冷えており、Model X が 3 時間以上静止しているときに以下の手順に従ってください。

1. 運転席のセンタードアピラーにあるタイヤと荷重に関する情報ラベルでタイヤ空気圧の対象値を参照してください。
2. バルブキャップを取り外します。
3. 圧力を測定するため、正確なタイヤ空気圧ゲージをバルブにしっかりと押しつけます。
4. 必要に応じて、推奨空気圧になるよう空気を充填または抜きます。

注：バルブ中央の金属ステムを押すことによって空気を抜くことができます。

5. 精密なタイヤゲージを用いてタイヤ空気圧を再度確認します。
6. 必要に応じて、タイヤ空気圧が適正となるまで、手順 3 と手順 4 を繰り返してください。
7. 泥汚れが入るのを防ぐバルブキャップを再度装着します。バルブに損傷や漏れがないかを定期的に点検します。

タイヤの点検と保守

トレッドとサイドウォールにゆがみ（膨らみ）、異物、切り込み、または摩耗の兆候がないか定期的に点検してください。

⚠ 警告：タイヤが損傷している、摩耗しすぎている、またはタイヤの空気圧が不適切な場合は、Model X を運転しないでください。タイヤの摩耗を定期的に点検し、切り込み、膨らみ、またはプライ/コード構造の露出がないことを確認してください。

タイヤ摩耗

適切なトレッド溝の深さはタイヤの性能発揮に重要なものです。トレッドの深さが 3 mm 以下のタイヤは濡れた路面でハイドロプレーン現象を引き起こしやすいため、使用しないでください。トレッドの深さが 4 mm 以下のタイヤは雪道やスラッシュ状態の道で性能を発揮できないため、冬期には使用しないでください。

Model X 納車時には、トレッドパターンにウェアインジケーターが備えられたタイヤが取り付けられています。トレッドが 3 mm まで摩耗すると、トレッドパターンの表面にタイヤ幅にわたって連続する輪ゴムのように見えるウェアインジケーターが現れます。最適な性能と安全性を保つため、Tesla ではウェアインジケーターが現れる前のタイヤ交換を推奨しています。

ローテーション、バランス、ホイールアライメント

使用されているタイヤは非対称パターンで前後でサイズも異なるため、Model X のタイヤはローテーションすることができません。

ホイールバランスが悪い場合（ステアリングホイールからの振動によって気付くことがあります）は、車両の操作とタイヤの寿命に影響します。通常の使用であっても、ホイールはバランスを失うことがあります。したがって、必要に応じてバランスを調整する必要があります。

タイヤの摩耗が均一でない場合（タイヤの片側のみ摩耗）または異常なほど摩耗しすぎている場合は、ホイールアライメントを点検してください。

注：2 つのタイヤのみを交換する場合は、常に新しいタイヤを後部に取り付けてください。



パンクしたタイヤ

タイヤはパンクすると、最終的には圧力を失います。タイヤ空気圧を頻繁に点検することが重要な理由はここにあります。パンクしたタイヤまたは損傷したタイヤは、できるだけ速やかに永続的修理をほどこすかまたは交換してください。

チューブレスタイヤは、物が刺さったとき、それがタイヤ内に残っていれば空気が漏れないことがあります。ただし、運転中に突然の振動や乗り心地の低下を感じた場合、またはタイヤの損傷が疑われる場合は、ただちに速度を落としてください。低速で走行し、急ブレーキや急なステアリングを避けながら、安全を確認して車両を停止します。Model X を Tesla サービスセンターまたは最寄りのタイヤ修理センターに輸送するよう手配します。

注: 場合によっては、Tesla から購入可能なオプションのタイヤ修理キットを使用して、軽度のパンク (6 mm を応急修理することもできます。これにより、Model X を Tesla または最寄りのタイヤ修理施設に低速で移動させることができます。

▲ 警告: パンクでタイヤの空気が抜けていなくても、パンクしたタイヤで運転しないでください。パンクしたタイヤは突然空気が抜けてしまう可能性があります。

フラットスポット

Model X を高温下で長期間駐車したままにすると、タイヤにフラットスポットが発生することがあります。Model X を運転すると、このフラットスポットが原因で振動が発生します。タイヤが温まるにつれ、しだいにこの振動は消え元の形状に戻ります。

駐車中にフラットスポットの発生を最小限にするには、タイヤウォールに示されている最大圧まで空気圧を入れておいてください。その後、運転する前に空気を抜いてタイヤの空気圧を推奨レベルに調整します。

タイヤの走行距離の改善

タイヤの走行距離を伸ばすには、タイヤの推奨空気圧を維持し、速度制限および推奨速度を順守し、以下の点にご注意ください。

- 急発進または急加速を避ける。
- 急に曲がったり急ブレーキを避ける。
- 陥没している道路、障害物のある道路を避ける。
- 駐車時に縁石にぶつからないようにする。
- タイヤに腐食性の高い液体が付着しないようにする。

タイヤとホイールの交換

タイヤは、紫外線、極端な高温・低温、高負荷、および環境条件によって時間とともに劣化します。タイヤは6年ごと、必要に応じてはそれ以前に交換するようにしてください。

ホイールとタイヤは、車両のハンドリング特性に合うように組み合わせられています。交換用タイヤは、元の仕様と適合する必要があります。指定された以外のタイヤを使用する場合は、タイヤにマーキングされた定格荷重および定格速度 (**タイヤのマーキングについて** - 184 ページを参照) が、元の仕様と等しいかあるいはそれを上回っていることを確認してください。

4本すべてのタイヤを一度に交換することが理想的ですが、できない場合は、タイヤ2本を交換し、新しいタイヤをリアに装着してください。タイヤを交換した後は、必ずホイールのバランス調整を行ってください。

ホイールを交換する際は、TPMS (タイヤ空気圧監視システム) をリセットして、タイヤの空気圧が高すぎるまたは低すぎるときに確実に警告が発信されるようにする必要があります (**タイヤ空気圧監視システムセンサーの自動リセット** - 163 ページを参照)。

Model X に取り付けられている元のホイールおよびタイヤの仕様については、**ホイールとタイヤ** - 182 ページを参照してください。

▲ 警告: 安全のため、元の仕様と一致するタイヤおよびホイールのみを使用してください。元の仕様と一致しないタイヤは、TPMS の動作に影響を与える可能性があります。

▲ 警告: 車両タイヤの定格速度を超えて運転しないでください。定格速度はタイヤのサイドウォール (**タイヤのマーキングについて** - 184 ページを参照) に表記されています。

非対称タイヤ

Model X のタイヤは非対称であり、正しいサイドウォールが外側を向くようにホイールに取り付ける必要があります。タイヤのサイドウォールに OUTSIDE と表示されています。新しいタイヤを取り付ける際は、タイヤにホイールを正しく取り付けてください。



▲ 警告: タイヤにホイールが正確に取り付けられないと、ロードホールディング性能が著しく損なわれます。



ラグナット カバーの取り外しと取り付け

Model X にラグナット カバーが装備されている場合は、ラグナットにアクセスするためにラグナット カバーを取り外す必要があります。

ラグナット カバーの取り外し方：

1. Tesla の「T」のベース部分にある穴にラグナット カバー ツール（グローブボックス内に配置されています）にの湾曲部分を挿入します。



2. ラグナット カバー ツールがラグナット カバーの穴に完全に挿入されるよう、ツールを操作します。
3. 湾曲した部分がラグナット カバー中央に触れるように、ラグナット カバー ツールをひねります。
4. ホイールからラグナット カバーが外れるまで、ラグナット ツールをしっかりと引っ張ります。



ラグナット カバーの取り付け方：

1. ラグナット カバーの位置を合わせます。
2. ラグナット カバーを強く押しして元の位置に取り付けます。

タイヤ空気圧監視

タイヤが冷えている状態、および運転席側ドア ピラーにある「タイヤと荷重情報」ラベルに記載された推奨空気圧の状態で、毎月点検する必要があります（[タイヤ空気圧の保守](#) - 160 ページを参照）。車両のラベルまたはタイヤ空気圧ラベルに記載されたサイズと異なるサイズのタイヤが取り付けられている場合は、それらのタイヤの適正空気圧を確認してください。

追加の安全機能として、この車両には TPMS が装備されています。TPMS は、1 本または複数のタイヤの空気圧が著しく低すぎる、または高すぎる場合に、インストゥルメントパネルに警告（タイヤ空気圧警告）を表示します。これに応じてインストゥルメントパネル上のタイヤ空気圧インジケーターがタイヤ空気圧の警告を表示する場合は、ただちに停車してタイヤを点検し、適正な空気圧に調整してください（[タイヤ空気圧の保守](#) - 160 ページを参照）。タイヤの空気圧が著しく低い状態で運転すると、タイヤが過熱しタイヤの不具合につながる可能性があります。低空気圧は、航続距離とタイヤのトレッド寿命に悪影響を与え、車両のハンドリングおよび停止能力にも影響を及ぼす可能性があります。



Model X の電源を入れて、Model X が TPMS の誤作動を検知した場合、このインジケーターライトが 1 分間点滅します。

注：Tesla が承認していないアクセサリを取り付けた場合、TPMS と干渉する可能性があります。

⚠ 警告：TPMS は、タイヤ空気圧の手動による点検およびタイヤの定期検査などのタイヤの適切な保守に代わるものではありません。TPMS がインストゥルメントパネル上にタイヤ空気圧の警告を表示していない場合でも、常に適正なタイヤ空気圧を維持するようにしてください。

タイヤ空気圧監視システムセンサーの自動リセット

1 個または複数のホイールを交換した後（タイヤ交換やローテーションは含まれません）、TPMS センサーをタイヤ空気圧警告を正確にするためにリセットします。時速 25 km 以上で 10 分以上走行すると、TPMS は自動的にリセットされます。

注：ホイールを交換した後時速 25 km で 10 分より長く走行するまでは、誤ったタイヤ空気圧警告が表示されることがあります。

タイヤセンサーの交換

タイヤ空気圧警告インジケーターが頻繁に表示される場合は、Tesla に連絡してタイヤセンサーを交換する必要があるかどうかを確認してください。Tesla 以外の修理施設でタイヤを修理または交換した場合、タイヤセンサーは Tesla がセットアップを実行するまで作動しないことがあります。

TPMS の不具合

Model X には、システムが正しく作動していないときに知らせる TPMS 故障インジケーターも搭載されています。



TPMS 故障インジケーターは、タイヤ空気圧インジケーター ライトに組み込まれています。システムが故障を検出すると、Model X の電源を入れてから約 1 分間の間インジケーターが点滅し、その後点灯したままの状態になります。このシーケンスは、故障が存在する限りその後も車両を始動するたびに繰り返されます。TPMS 故障インジケーターがオンの状態では、タイヤ空気圧の異常を通常通りに検出できない場合があります。

TPMS の故障は、交換用または代替タイヤまたはホイールの取り付けを含む、TPMS の正しい作動を阻害するさまざまな要因によって発生します。1 本または複数のタイヤまたはホイールを交換した後は、必ず TPMS 故障インジケーターをチェックして、交換用または代替のタイヤおよびホイールで TPMS が引き続き正しく機能することを確認してください。

注: Tesla が提供するタイヤシーラントと異なるシーラントを使用してタイヤを交換または修理した後に、低タイヤ空気圧が検出された場合は、タイヤセンサーが損傷している可能性があります。できるだけ早く Tesla に連絡し、修理を依頼してください。

季節別タイヤ保管

サマー タイヤ

Model X に最初から高性能夏季用タイヤまたはオールシーズンタイヤのいずれかが装着されている場合があります。これらのタイヤは、ドライとウェットの道路状況で性能を最大限に発揮しますが、冬季の道路状況で十分な性能を発揮するには作られていません。Tesla は低温下、あるいは雪や氷が存在する路面での運転にはスタッドレスタイヤの使用を推奨しています。ウィンタータイヤが装着されていない場合は、Tesla に連絡し、推奨されるタイヤをご確認ください。

⚠ 警告: 低温下、あるいは雪や氷の存在する路面では、サマータイヤは十分なトラクションを発揮しません。安全で最適な Model X のパフォーマンスを確実に引き出すために、冬の状況に適したタイヤを選び取り付けることが重要です。

オール シーズン タイヤ

ご購入直後の Model X には元々オール シーズンタイヤが装備されている場合があります。これらのタイヤは年間を通じて適切なトラクションを発揮できるように設計されていますが、雪氷下ではウィンター タイヤほどのトラクションを発揮できない場合があります。オール シーズンタイヤは、タイヤのサイドウォールに「ALL SEASON」および/または「M+S」(mud and snow) と表記されています。

スタッドレスタイヤ

雪道や凍結路面でトラクションを高めるにはスタッドレスタイヤを使用してください。スタッドレスタイヤを装備する際は、必ず 4 輪一組で同時に装備してください。スタッドレスタイヤは、4 つの車輪とも同一のサイズ、メーカー、構造およびトレッドパターンを使用してください。Tesla に連絡し、スタッドレスタイヤに関する推奨事項を確認してください。



スタッドレスタイヤは、タイヤのサイドウォールに山/雪のシンボルが表記されています。

スタッドレスタイヤを装備している場合、より大きな走行音が発生し、トレッド寿命が短くなるほか、乾いた路面ではトラクションが減少する場合があります。

低温時の運転

周囲温度が低い状況ではタイヤの性能は低下し、そのためグリップが低下して、衝撃による損傷をより受けやすくなります。パフォーマンス タイヤは冷えた場合一時的に固くなることもあり、タイヤが温まるまでの最初の数 km は回転ノイズが聞こえます。

示す異常なノイズが聞こえたら直ちに停車して、確認してください。

タイヤチェーンの使用

Tesla では、雪の交じる状況でのトラクションを高めるための Maggie Group Trak Special LT51 タイヤチェーンを試験し、認定しています。このチェーンは、リアの 19 または 20 インチ タイヤにのみ装着できます。22 インチ タイヤおよび前輪には使用しないでください。認定済タイヤチェーンは Tesla でお買い求め頂けます。

タイヤチェーンを装着する際は、タイヤチェーン製造元の取扱説明書の指示に従ってください。均一に、また可能な限りきつく装着してください。

チェーンを使用する際には、次の点にご注意ください。

- 使用前には、チェーンが緩んでいないか、またリンクに破損がないか確認してください。
- Model X に重量物を積載しないでください (重量物はタイヤとボディ間のクリアランスを減少させる可能性があります)。
- チェーンを適切に装着していない場合には、車両を運転しないでください。
- ゆっくり運転してください。時速 48 km を超えないようにしてください。
- タイヤチェーンは状況が許せばただちに取り外してください。

注: タイヤチェーンの使用は一部の地域では禁止されています。タイヤチェーンを取り付ける前に当該地域の法律を確認してください。

! **注意:** 非推奨タイヤチェーンの使用、サイズ違いのタイヤチェーンの使用は、サスペンション、ボディ、ホイール、またはブレーキラインを損傷する可能性があります。推奨されていないタイヤチェーンの使用や不適切に装着されたタイヤチェーンによって起きた損傷は、保証の対象外です。

! **注意:** 22 インチのタイヤが装備された Model X にチェーンを付けたり、前輪にタイヤチェーンを使用しないでください。

! **注意:** チェーン装着時にタイヤの空気圧を抜かないでください。チェーンを装着したままタイヤに空気を入れると、チェーンがきつくなり過ぎてタイヤが損傷する可能性があります。

! **注意:** チェーンがサスペンション コンポーネントやブレーキラインに触れないようにしてください。チェーンから Model X との接触を

外装のクリーニング

腐食性物質（鳥のフン、樹液、虫の死骸、コーラター、凍結防止剤、大気中降下物など）が付着した場合は、塗装の損傷を防ぐためにただちに除去してください。Model X の次回の洗車時期まで待たないでください。必要に応じて変性アルコールを使用してコーラターや頑固な油汚れを除去し、その後ただちに水と界面活性剤を含まないマイルドな石けんでアルコールを除去してください。

Model X の外装を洗うときは以下の手順に従ってください。

1. 十分洗い流す

洗車する前に、ホースを使用して車両に付着した汚れや砂粒を洗い流します。異物がたまりやすい場所（ホイール ウェルやパネルの継ぎ目など）にたまっている泥を洗い流します。冬の間など、道路で塩が使用された場合は、車両の下、ホイール ウェル、およびブレーキに付着している道路塩をすべて除去します。

2. 手洗い洗車

きれいでやわらかい布と中性の良質のカー シャンプーを加えた冷水またはぬるま湯を使用して Model X を手洗います。

3. 清潔な水ですすぐ

洗車した後、洗剤が表面に残ったまま乾かないように清潔な水ですすぎます。

4. 完全に乾燥させてガラスの外側を拭く

洗車とすすぎが終わったら、セーム革で水分をしっかりと拭き取ります。必要に応じて、車を短時間運転してブレーキを数回踏んで乾燥させます。

自動車用のガラス クリーナーで窓ガラスとミラーをクリーニングします。ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。

外装のクリーニングに関する注意事項

- ⚠ 注意:** フロントガラスにはつ水処理液を使用しないでください。つ水処理液を使用すると、ワイパーとフロントガラスとの摩擦によってびびり音が発生することがあります。
- ⚠ 注意:** 熱湯や洗剤を使用しないでください。
- ⚠ 注意:** 直射日光の当たる場所では洗わないでください。
- ⚠ 注意:** 高压洗浄機を使用する場合は、ノズルを Model X の表面から 30 cm 以上離してください。ノズルを動かし続け、水流を一箇所に集中させないでください。
- ⚠ 注意:** ウィンドウ、ドアまたはフードのシーリング部分にホースの水を直接かけないでください。
- ⚠ 注意:** 電気モジュールまたは露出しているケーブル部分にホースの水を直接かけないでください。
- ⚠ 注意:** 保証範囲に含まれない腐食による損傷を防ぐために、車両の下側、ホイール ウェル、およびブレーキに付着した道路塩をすすぎ流してください。洗車した後は、車を短時間運転してブレーキを数回踏んで乾燥させます。
- ⚠ 注意:** 洗浄ミットなどの毛羽だった布や目の粗い布を使わないでください。
- ⚠ 注意:** 自動洗車機で洗車する場合は、タッチレス洗車機以外は使用しないでください。タッチレス洗車機は Model X の表面に（ブラシなどが）一切触れないで洗車します。他のタイプの洗車機を使用して車両が損傷しても保証の対象にはなりません。
- ⚠ 注意:** ワイパーの損傷を避けるために、Model X を洗車する前に必ずワイパーをオフにしてください。
- ⚠ 注意:** 化学物質系のホイール クリーナーを使用しないでください。ホイールの表面が損傷することがあります。
- ⚠ 注意:** 高压洗浄機をカメラやパーキング センサー（装備している場合）に使用しないでください。レンズの表面を傷つけたり損傷したりする恐れのある尖った物や研磨剤でセンサーやカメラのレンズをクリーニングしないでください。
- ⚠ 警告:** Model X を充電している間、充電ポートに強い圧力の液体を絶対にかけないでください（高压洗浄機など）。これらの指示に従わないと、重傷を負ったり、車両や充電器の損傷、財産の損失につながる恐れがあります。

内装のクリーニング

内装の美しさを保ち、早期の摩耗を防止するために、頻繁に内装を点検し、クリーニングしてください。可能であれば、こぼれた物をただちに拭き取り、シミを取ってください。一般的なクリーニングでは、ぬるま湯にマイルドな非界面活性剤クリーナーを混ぜた液体で湿らせた柔らかい布（マイクロファイバーなど）を使用して内装の表面を拭き取ります（クリーナーを使用する前に、内装の目に見えない部分でクリーナーを試してください）。拭き跡が残らないように、糸くずの出ないやわらかい布でただちに水分を拭き取ります。

内側のガラス

ガラスやミラーの表面を拭くときに、汚れを削り取ったり、研磨洗浄液を使ったりしないでください。鏡の反射面やリアウィンドウの発熱体が損傷することがあります。

エアバッグ

エアバッグカバーに洗剤などの物質が入り込まないように注意してください。エアバッグの動作に支障をきたすおそれがあります。

ダッシュボードとプラスチックの表面

ダッシュボードの上面を磨かないでください。表面を磨くと光が反射し、運転時の視界を妨げるおそれがあります。

レザーシート

レザーは染料が付着しやすく、そのため、特に明るい色のレザーは変色するおそれがあります。ホワイトレザーとタンレザーには汚れ防止処理が施されています。ぬるま湯と非界面活性剤洗剤で湿らしたやわらかい布を使用して、こぼれた物をできるだけ早く拭き取ります。円を描くようにして軽く拭きます。その後、糸くずの出ないやわらかい布で水分を拭き取ります。洗剤や市販のレザークリーナーとコンディショナーは、レザーを変色させたり乾燥させたりするおそれがあるため、お勧めできません。

ポリウレタンシート

ぬるま湯と非界面活性剤洗剤で湿らしたやわらかい布を使用して、こぼれた物をできるだけ早く拭き取ります。円を描くようにして軽く拭きます。クリーニングした後は、自然乾燥してください。

布シート

ぬるま湯と非界面活性剤洗剤で湿らしたやわらかい布を使用して、こぼれた物をできるだけ早く拭き取ります。円を描くようにして軽く拭きます。その後、糸くずの出ないやわらかい布で水分を拭き取ります。必要に応じてシートにたまったほこりを掃除機で吸い取ります。

カーペット

カーペットを濡らしすぎないように注意してください。汚れがひどい部分には希釈した布製家具クリーナーを使用します。

シートベルト

ベルトを引き出して拭き取ります。種類のいかんに関わらず、洗剤や化学洗浄剤は使用しないでください。可能であれば直射日光を避けて、ベルトを引き出したまま自然乾燥させます。

タッチスクリーンとインストゥルメントパネル

モニターやスクリーンのクリーニング用として市販されている糸くずの出ないやわらかい布を使用してタッチスクリーンとインストゥルメントパネルを清掃します。クリーナー（ガラスクリーナーなど）を使用しないでください。濡れた布や静電気を帯びた乾いた布（洗ったばかりのマイクロファイバーなど）を使用しないでください。ボタンを作動させて設定を変えてしまうことがないように、タッチスクリーンを清掃するときはクリーニングモードに切り替えます。「コントロール」>「スクリーン」>「スクリーンクリーニングモード」の順にタッチします。ディスプレイが暗くなり、ホコリや汚れが見やすくなります。

クロームや金属の表面

光沢剤、研磨クリーナー、かたい布は、クロームや金属の表面を傷つけるおそれがあります。

内装のクリーニングに関する注意事項

- ⚠ 注意:** 溶剤（アルコールを含む）、漂白剤、柑橘系、ナフサまたはシリコン系の製品や添加剤を内装部品に使用すると、内装コンポーネントが損傷する恐れがあります。
- ⚠ 注意:** 静電気を帯びた物質はタッチスクリーンまたはインストゥルメントパネルを損傷する恐れがあります。
- ⚠ 警告:** エアバッグやシートベルトの損傷に気付いたら、ただちに Tesla にご連絡ください。
- ⚠ 警告:** 水、クリーナー、布がシートベルト機構に入り込まないように注意してください。
- ⚠ 警告:** 化学洗剤は目や皮膚に付くと炎症を引き起こす可能性があり、危険です。化学洗剤の製造元が提供する説明書をよく読み、指示に従ってください。

つや出し、補修塗り、ボディの修理

ボディの外観の美しさを保つには、以下のものを含む承認済みの光沢剤で塗装面を処理します。

- 塗装をはがしたり傷つけたりしないで表面の汚れを落とすための非常にマイルドな研磨剤。



- 傷を埋めて目立たなくする充填剤。
- 塗装を自然環境から保護する被膜を形成するためのワックス。

定期的に外装の塗装を点検し、損傷の有無を確認します。タッチアップペン (Tesla から購入可能) を使用して小さい欠けや傷を修復します。洗車した後、つや出しやワックスがけをする前に、タッチアップペンを使用します。

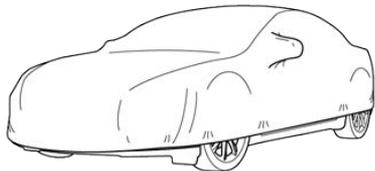
石による欠け、割れ、傷を修復します。ボディの修理は、Tesla 認定のボディショップ以外では行わないでください。認定ボディショップのリストについては、Tesla にお問い合わせください。

⚠ 注意: カッティングペースト、色補修剤、粗い研磨剤が含まれた光沢剤は使用しないでください。表面が傷つき、塗装が恒久的に損傷するおそれがあります。

⚠ 注意: クローム光沢剤やその他の研磨剤入りクリーナーは使用しないでください。

自動車用カバーの使用

Model X を使用していない間、車体の外観の美しさを保つために、Tesla 正規品の自動車用カバーを使用してください。自動車用カバーは Tesla から購入できます。[部品とアクセサリー](#) - 173 ページを参照してください。



⚠ 注意: Model X に充電ケーブルを接続しているときは Tesla 承認済みの自動車用カバーのみを使用してください。Tesla 以外の自動車用カバーを使用すると、充電中にバッテリーを適切に冷却できないおそれがあります。

フロアマット

カーペットを長持ちさせ、カーペットのクリーニングを簡単にするために、Tesla 純正品のフロアマットを使用してください([部品とアクセサリー](#) - 173 ページを参照)。フロアマットは定期的にクリーニングし、正しく取り付けられていることを確認してください。摩耗のひどいフロアマットは交換してください。

⚠ 警告: マットがフットペダルに干渉しないように、運転席のフロアマットがしっかりと固定されていることを確認してください。フロアマットの上に別のフロアマットを絶対に置かないでください。フロアマットは必ず車両のカーペット用の表面に敷き、別のフロアマット

やその他のカバーの上には敷かないでください。



ワイパーブレードの確認と清掃

定期的にワイパーブレードのエッジをきれいにし、ゴムにひび割れや裂け目が生じていないか、また凸凹がないか確認します。損傷している場合は、Tesla サービスに連絡しブレードを交換してください。

フロントガラスやワイパーブレードの汚れにより、ワイパーの効果下がることがあります。汚れには、水や洗車スプレアのワックス、防虫、防水対応のウォッシュャー液、鳥のフン、樹液その他の有機物質などがあります。

以下のクリーニングのガイドラインに従ってください。

- 自動車のガラスやゴムへの使用を承認されているウォッシュャー液、イソプロピル（消毒用）アルコール、または研磨剤の含まれていないガラスクリーナーを使用しフロントガラスやワイパーブレードをきれいにします。不適切な製品は、損傷や汚れ、フロントガラスのぎらつきを引き起こす可能性があります。
- ワイパー アームを少し持ち上げてフロントガラスから遠ざけます。ブレードに手が届く程度に離すだけで十分です。ワイパー アームを想定された位置以上に持ち上げないでください。

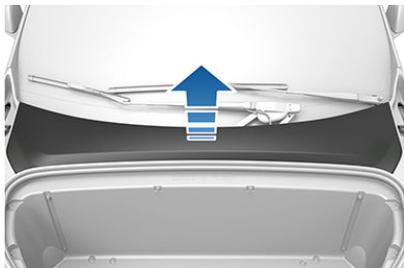
クリーニング後もワイパーの効果がない場合は、ワイパーを交換する必要があるかもしれません。ワイパーの洗浄システムはワイパーブレードと一体化しているため、ワイパーブレードだけを交換することはできません。ワイパー交換については、Tesla サービスにお問い合わせください。



メンテナンス パネルの取り外し

フルードのレベルを確認するときは、メンテナンス パネルを取り外します。

1. フードを開きます。
2. メンテナンス パネルを上に取り上げ、それを留めているクリップを外します。



注意：メンテナンス パネルはフロント トランクを水から保護する役割を果たしています。メンテナンス パネルを再び取り付けるときは、完全にに取り付けられていること確認してください。

バッテリー冷却剤の確認

ほとんどの状況下では車両寿命を長く維持するため、バッテリー冷却剤を交換する必要はありません。ただし、冷却システムの液量が推奨レベルより低下すると、「インストゥルメントパネル」に警告メッセージが表示されます。その場合は、周囲の安全を確認して Model X を停車させ、Tesla にご連絡ください。

フルード レベルチェック

フィルターキャップを取り外したり、フルードを追加したりしないでください。その場合は、保証の対象にならない損傷をきたすことがあります。

バッテリー冷却剤を補充しないでください

警告：バッテリー冷却剤は目や皮膚に付くと炎症を引き起こす可能性があります。いかなる状況でも、自分でフィルターキャップを取り外したり、クーラントを補充したりしないでください。バッテリー液のレベルが低いという警告がインストゥルメントパネルに表示された場合は、直ちに Tesla にご連絡ください。

バッテリーの性能と寿命を最大限にするために、冷却システムでは特定に混合される G-48 エチレングリコール冷却剤 (HOAT) を使用しています。冷却剤の詳細情報については、Tesla にお問い合わせください。

ブレーキフルードのチェック

警告：ブレーキペダルの遊びが大きくなったりブレーキフルードが大幅に減ったりした場合は、ただちに Tesla に連絡してください。その状態で運転すると、制動距離が長くなったりブレーキが完全に壊れたりするおそれがあります。



ブレーキリザーバ内の液量が推奨レベルより低下すると、「インストゥルメントパネル」上のブレーキインジケーターが警告を発します。運転中にブレーキの警告が表示された場合は、周囲の安全を確認しながらゆっくりブレーキを踏んで停車してください。そのまま運転を続けしないでください。ただちに Tesla にご連絡ください。

フルードレベルチェック

Tesla では、定期メンテナンスの際にブレーキ液量を確認します。

ブレーキフルードの補充

ブレーキフルードを補充しないでください。以下の説明は今後の参考のためにのみ記載されています。

1. リザーバにゴミが入らないように、取り外す前にフィルターキャップを掃除します。
2. キャップを回して取り外します。
3. 適切なブレーキオイルを使用してリザーバを MAX マークまで補充します。
4. フィルターキャップを元に戻し、しっかりとめられていることを確認します。

警告：必ず密封された未開封の容器に入っている新しいフルードを使用してください。フルードが水分を吸収し、ブレーキ性能が低下するため、使用済みのブレーキフルードや開封済みの容器に入っているブレーキフルードは使用しないでください。

警告：ブレーキフルードには強い毒性があります。容器を密封して、お子さまの手の届かないところに保管してください。ブレーキフルードを誤飲した場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

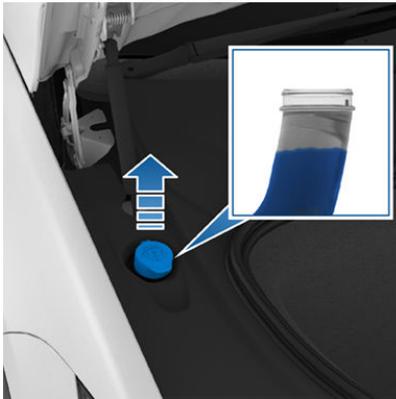
注意：ブレーキフルードは塗装面を損傷します。こぼした場合は、吸収性のある布でただちにフルードを吸い取り、カーシャンプーと水を混ぜたもので液が付着した部分を洗い流してください。

フロントガラス ウォッシャー液を補充

お客様ご自身でフルードを補充できるリザーバーは、フロント トランク奥にあるウォッシャー液リザーバのみです。レベルが低下すると、インストゥルメントパネルにメッセージが表示されます。

ウォッシャー液の補充：

1. フードを開きます。
2. リザーバにゴミが入らないように、キャップを開ける前にフィルター キャップ周辺を掃除します。
3. フィラー キャップを開けます。



4. 液体がフィルターネックのちょうど下に見えるまで、こぼれないようにしながらリザーバーを満たします。
5. こぼれたらすぐに拭き取り、こぼれた箇所を水で洗ってください。
6. フィラー キャップを元に戻します。

注：国や地方によっては、揮発性有機化合物 (VOC) の使用が制限されています。VOC はウォッシャー液の不凍剤としてよく使われます。Model X がさらされるあらゆる気候でウォッシャー液が適切な耐凍性を持っている場合にのみ VOC の含有量が限られたウォッシャー液を使用してください。

- ⚠ 注意：**はっ水剤や虫洗剤が含まれた特殊なウォッシャー液を補充しないでください。この種のウォッシャー液は、汚れの筋、しみ、軋む音やその他の騒音の原因になることがあります。
- ⚠ 警告：**気温が 4° C 以下の場合は、不凍剤の含まれたウォッシャー液を使用してください。寒冷地で不凍剤が入っていないウォッシャー液を使用すると、フロント ガラスの視界が妨げられることがあります。
- ⚠ 警告：**フロントガラス ウォッシャー液は眼や肌を刺激する可能性があります。ウォッシャ

一液の製造業者が提供する取扱説明書をよく読みそれに従ってください。

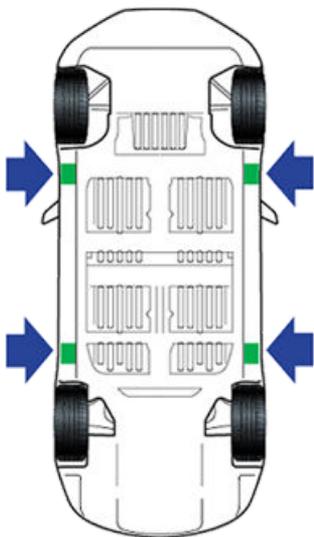


ジャッキアップの手順

Model X の引き上げは以下の手順で行います。Tesla 以外の修理施設で行う場合は、以下の引き上げ作業の要点が理解されていることを確認してください。

1. Model X をリフト ポストの間に置きます。
2. Model X にエアサスペンションが搭載されている場合、電源がオフのときでも自動的にセルフレベルリングします。タッチスクリーンでサスペンションを以下のように設定します。
 - 「コントロール」 > 「サスペンション」の順にタッチします。
 - ブレーキペダルを踏んでから「**極高**」をタッチし、サスペンションの高さを最大にします。
 - 「**ジャッキモード**」にタッチしてセルフレベルリングを無効にします。
3. ファルコン ウィングドアを閉じてください。
4. リフトのアームパッドを図に示す指定されたボディリフトポイントの下側に当ててください。

警告: リフトアームパッドを赤で示すようにバッテリーの下側当てないでください。



5. リフトのアームパッドの高さと位置を適切に調整します。
6. 助手に手伝ってもらいリフトを必要な高さまで上げ、リフトアームパッドが正しい位置にとどまっていることを確認します。

7. リフトの安全ロックをかけます。リフトメーカーの説明に従ってください。

注: ジャッキモードは Model X が時速 7 km を超える速度で走行すると解除されます。

注: 車両重量が何かの物体に支えられている（バンパーが縁石に乗り上げているなど）場合など、ジャッキモードが予期せず有効になる場合があります。

警告: Model X にエアサスペンションが搭載されている場合、電源がオフのときでも自動的にセルフレベルリングします。引き上げやジャッキアップを行うときは、Model S をジャッキモードにしてこのシステムを無効にしておく必要があります。エアサスペンションを無効にしておかないと、Model X がセルフレベルリングを実行し、重大な損傷や負傷事故、死亡事故が発生する可能性があります。

警告: 充電ケーブルを接続しているときは、たとえ充電中でなくても絶対に Model X を持ち上げないでください。

警告: 正しく支持されていない車両で作業を行わないでください。重大な損傷、負傷事故、死亡事故につながる可能性があります。

注意: バッテリーの下から引き上げないでください。リフトアームパッドは専用ボディリフトポイントの下側以外には当てないでください。ここで示す位置だけが、Model X で認定されているリフティングポイントです。これ以外のポイントで引き上げようとすると、損傷が発生する可能性があります。誤ったリフト方法で Model X を損傷した場合は保証対象にはなりません。

部品、アクセサリ、改造

Tesla 正規品の部品/アクセサリのみをお使いください。Tesla は部品に厳しい試験を実施し、その適合性、安全性、信頼性を確認しています。これらの部品は Tesla から購入してください。Tesla では、専門的な経験を積んだプロがこれらの部品の取り付けを行い、また Tesla から Model X の改造について専門的なアドバイスを受けることができます。アクセサリは、Tesla ストアまたは www.tesla.com/shop のオンラインでご購入いただけます。

Model X に Tesla 製ではない部品を使用する場合、Tesla は他の業者が製造した部品を評価することができないため、一切責任を負いません。

- ⚠ 警告：**承認されていない部品およびアクセサリの取り付け、または承認されていない改造を行うことにより、Model X の性能やその乗員の安全が損なわれる可能性があります。無認可の部品の使用または取り付け、あるいは無認可の改造によって生じた損害は、保証の対象となりません。
- ⚠ 警告：**無認可のアクセサリの使用または取り付け、あるいは無認可の改造があった場合の死亡、負傷、または損害について、Tesla は一切責任を負いません。

車体の修理

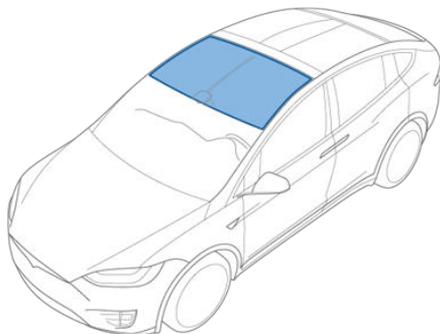
Model X が衝突した場合は、必ず Tesla の正規部品で修理するように Tesla へご連絡ください。Tesla は、訓練、設備、仕事の質、顧客満足度などの厳しい要求水準を満たすボディショップを選定しています。

場合によっては、費用節約のため、修理業者や保険会社が正規部品以外の使用や破損した車体の中でまだ使える部品の再利用を勧めることがあります。しかし、それらの部品は品質、適合性、耐腐食性などの面で Tesla の高い基準に適合しません。また、正規部品以外の部品や再利用した部品は（それらによって生じる損害または故障とともに）保証の対象とはなりません。

RFID トランスポンダーの利用

RFID トランスポンダー（多くの自動料金所システムで使用されるもの）を Model X 図のようにフロントガラス最上部のトランスポンダーを取り付けてください。これによって、運転時の視界を妨げる要因が最小化できます。

注：防水トランスポンダーをフロントのナンバープレート。

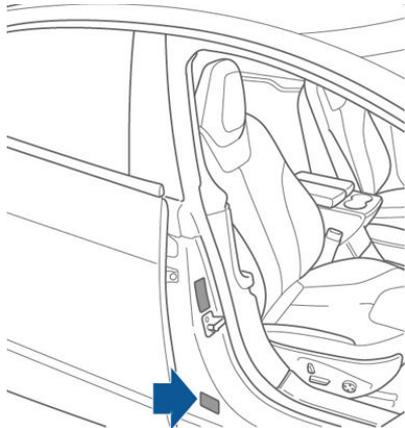




車両識別番号

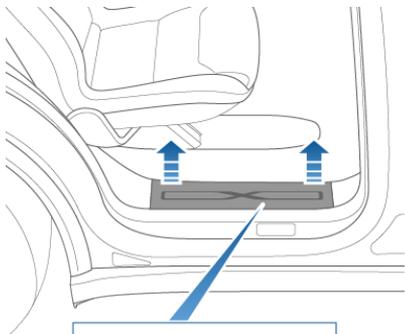
VIN は以下の場所に表示されています。

- タッチスクリーンの最上部中央にある Tesla の「T」にタッチします。ポップアップウィンドウに VIN が表示されます。
- ダッシュボードの上にあるプレートに刻印。外からフロントガラス越しに見えます。
- ドア ビラーの法定プレートに印刷されています。前席側ドアを開くと見えます。



- 車両の助手席側リア運転席側ドアのシルパネル下のシャーシに刻印されています。シルパネルを取り外すには、平らで刃のついた工具を使って慎重に上に引き上げます。

⚠ 注意： 損傷の可能性があるため、VIN を見るためにシルパネルを取り除くことはお勧めしません。このパネルは、壊れやすいクリップで固定されています。シルパネルを取り除くことによって生じた損傷は保証対象にはなりません。

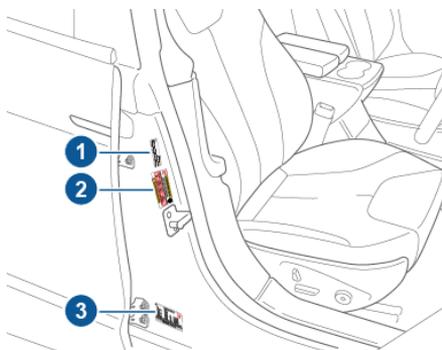


5YJXCAE44GF000000

積載量ラベル

Model X が安全に運搬できる重量を知ることは重要です。この重量は車両の積載容量といい、すべての乗員、積載物、および Model X の製造後に追加されたすべての付加装備の重量を含みます。

Model X には、安全に運搬可能な重量を記載した 1 つ以上のラベルが中央のドアピラーに貼り付けてあります。これらのラベルは、フロントドアが開いているときに見えます。



1. けん引ラベル（装備されている場合）
2. タイヤと荷重載情報ラベル
3. 法定プレート

注：Model X では、オプションの牽引パッケージが装備されている場合のみ、牽引を利用できます。

警告：Model X に過積載すると、ブレーキとハンドリングに悪影響を及ぼし、安全性が低下し、Model X が損傷する可能性があります。

注意：リアカーゴエリア（下側トランクコンパートメント上部）に 80 kg（175 lbs）以上の貨物、または下側トランクコンパートメントに 130 kg（285 lbs）以上の貨物を積載しないでください。これを行うと、車に損傷を与える恐れがあります。

注意：フロントトランクには絶対に 136 kg（300 ポンド）を超える荷物を積まないでください。これを行うと、車に損傷を与える恐れがあります。

注意：Model X に大量の液体を保管することは絶対に避けてください。液体を大量にこぼすと、電気部品が故障する原因となります。

牽引ラベル

牽引パッケージが装備されている場合、トレーラーを牽引する際に適用すべきタイヤ空気圧についてはオーナーズマニュアルを参照せよという指示が牽引用ラベルに記載されています。タイヤと荷重載情報ラベルに印刷されているタイヤ空気圧を適用しないでください。

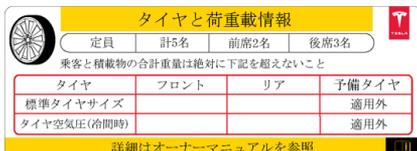
IMPORTANT!
For towing and high speed driving, please refer to  owner's manual for tire inflation pressure requirements.

注：Model X では、オプションの牽引パッケージが装備されている場合のみ、牽引を利用できます。タイヤ空気圧情報は、その他けん引に関連する情報と合わせて、オーナーズマニュアルの運転セクションにある「トレーラーの牽引」トピック内に記載されています。

タイヤと荷重情報ラベル

タイヤと荷重情報ラベルは以下の情報を記載しています。

- 車両の最大座席数。
- 車両の最大可搬重量。
- 元のタイヤのサイズ。
- 元のフロントおよびリアタイヤのタイヤ空気圧（冷間時）。乗り心地とハンドリング特性を最適化するため、これらの圧力が推奨されます。



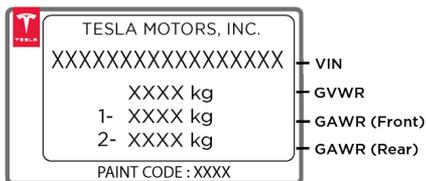
将来異なるタイヤを使用しても、このラベルを変更しないでください。

注: Model X の容量一杯に積載した場合は、すべてのタイヤをダブルチェックして、空気圧が推奨圧力レベルであることを確認してください。

法定プレート

法定プレートには、車両識別番号に加えて以下が記載されています。

- GVWR - 車両総重量。Model X の最大許容総質量。この値は、Model X、すべての乗員、液体および積載物の総重量として計算されます。
- GAWR - 前後両軸の定格総軸荷重。GAWR は各アクスルが許容できる最大分散荷重です。



注意: 損傷を防止するため、Model X に対して車両が GVWR より重くなったり、個別の GAWR の重量を上回るような積載を行うことは絶対に避けてください。

積載制限の計算

1. 「タイヤと積載情報」ラベル上にある「乗員と積載物の重量の合計が xxx kg を超えないようにしてください」の記載があります。
2. 乗車するすべての乗員の総重量を求めます。
3. 乗員の総重量を xxx kg から引きます（ステップ 1 を参照）。

4. 差し引いた結果の重量が積み込める積載物の重量です。例えば、「xxx」の重量が 635 kg の場合に、68 kg の人が 5 人乗車すると、最大積載重量は 295 kg (635 - 340 (5 × 68) = 295 kg) となります。
5. 車両に積み込む積載物の総重量を求めます。その重量がステップ 4 で算出した重量を超えてはいけません。

警告: 物品を運ぶときはなるべくトランクに入れてください。衝突事故、または急ブレーキや急なカーブの際、車内で固定されていない荷物によって、乗員が怪我を負う危険性があります。

積載制限計算の例

Model X が運べる積載物の重量は、乗員の数と体重に応じて変わります。以下は、体重が 68 kg の人が乗車すると仮定した場合の積載量制限の計算例です。乗員の体重の増加または減少により、積み込める積載物の重量が減少または増加します。

運転者と 1 人の乗員

詳細	合計
車両の積載容量	433 kg
乗員の体重を減算する (2 × 68 kg)	136 kg
利用可能な積載物重量	297 kg

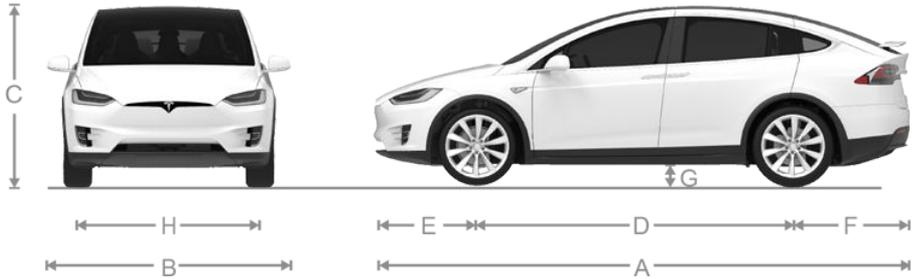
運転者と 4 人の乗員

詳細	合計
車両の積載容量	433 kg
乗員の体重を減算する (5 × 68 kg)	340 kg
利用可能な積載物重量	93 kg

積載物の重量は、前と後ろのトランクに分散されるようにしてください。

注意: リアカーゴエリア（下側トランク コンパートメント上部）に 80 kg 以上の貨物、または下側トランク コンパートメントに 130 kg 以上の貨物を積載しないでください。これを行うと、車に損傷を与える恐れがあります。

外形寸法



A	全長	198.3 インチ	5,036 mm
B	全幅 (ミラー含む)	89.4 in	2,271 mm
	全幅 (ミラー折りたたみ時)	81.6 in	2,072 mm
	全幅 (ミラー含まず)	78.7 in	1,999 mm
C	全高	66 インチ*	1,684 mm*
D	ホイールベース	116.7 インチ	2,965 mm
E	オーバーハング-フロント	38.3 インチ	974 mm
F	オーバーハング-リア	43.2 インチ	1,097 mm
G	最低地上高:		
	標準、スキー付き	7 in	171 mm
	標準、スキーなし	7 in	183 mm
	最高、スキー付き	8 in	211 mm
	最高、スキーなし	9 in	223 mm
H	トレッド-フロント	67.1 in	1,705 mm
	トレッド-リア	67.3 in	1,710 mm

*値は概算値です。寸法は車両のオプションやその他の要因によって変わります。

インテリア寸法

室内高	フロント リア サード	41.7 in 40.9 in 37.1 in	1059 mm 1039 mm 942 mm
足元スペース	フロント リア サード	40.3 38.4 in 32.7 in	1023 mm 975 mm 831 mm
肩周りスペース	フロント リア サード	60.7 in 56.8 in 40 in	1542 mm 1442 mm 1016 mm



腰周りスペース	フロント リア サード	55.6 in 59 in 38.5 in	1412 mm 1498 mm 978 mm
---------	-------------------	-----------------------------	------------------------------

貨物量

	フロントトランク	リア*	合計
7 シーター車両	187 L (6.6 立方フィート)	2166 L (76.5 立方フィート)**	2353 L (83.1 立方フィート)
6 シーター車両	187 L (6.6 立方フィート)	2002 L (70.7 立方フィート)**	2189 L (77.3 立方フィート)
5 シーター車両	187 L (6.6 立方フィート)	2299.5 L (81.2 立方フィート)**	2486.5 L (87.8 立方フィート)
* 1 列目シート後部の最大貨物容量リア トランクの 357 L (12.6 立方フィート) 貨物部分を含む (装備されている場合は、3 列目シート後側部分)			
** 2 列目シートは最前位置に置かれる、および/または折りたたまれています。			

重量

車両重量* 75D	2,427 kg
車両重量* 100D	2,533 kg
車両重量* P100D	2,572 kg
GVWR** 75D	2,985 kg
GVWR** 100D	3,079 kg
GVWR** P100D	3,120 kg
車両総重量配分 75D	フロント: 1,311 kg リア: 1,674 kg
車両総重量配分 100D	フロント: 1,405 kg リア: 1,674 kg
車両総重量配分 P100D	フロント: 1,373 kg リア: 1,747 kg
定格総軸荷重 - フロント	1,470 kg
定格総軸荷重 - リア (公称タイヤ圧 290 kPa)	1,800 kg
けん引能力 (装備されている場合)	牽引とアクセサリ - 83 ページを参照してください。
*車両重量 = 正規のフルードレベルで乗員、積載物を除く重量	
**GVWR = 車両総重量	
注: 値は概算値です。重量は、車両のオプションにより異なります。	



モーター

タイプ	リア: AC インダクションモーター、液冷式、可変周波数ドライブ フロント: AC 永久磁石同期モーター、液冷式、可変周波数ドライブ
公称電圧	320 ボルト
大型モーターの最大回転数 (高性能車両のリアモーター)。	18300 rpm
小型モーターの最大回転数 (全車種のフロントモーター、通常車両のリアモーター)。	18000 rpm
大型モーターの最大定格出力* およびモーター回転数	375 kW @ 6,150 rpm
小型モーターの最大定格出力* およびモーター回転数	193 kW @ 6,100-6,800 rpm
大型モーターの最大トルク:	660 Nm
小型モーターの最大トルク	330 Nm
* ECE R85 に準拠したテスト済	



トランスミッション

タイプ	単速固定ギア
全体のファイナル ドライブ比	小型モーター: 9.325:1 大型モーター: 9.734:1
リバース ギア	モータ逆回転、時速 24 km まで

ステアリング

タイプ	ラック アンド ピニオン 電動パワー ステアリング 速度感応型
ロック ツー ロック 回転数	2.05
最小回転半径 (最外輪外面)	12.44 メートル

ブレーキ

タイプ	電子制御制動力配分/統合アドバンスト スタビリティ コントロール/電子アクセラレーターペダル作動回生ブレーキ システム付き 4 輪アンチロック ブレーキ システム (ABS)
キャリパー	4 ピストン固定
ローター径 (ベンチレーテッド)	フロント: 13.98" /355 mm リア: 14.37" /365 mm
フロント ローター厚	新品: 1.26" /32 mm 使用限界: 1.18" /30 mm
リア ローター厚	新品: 1.10" /28 mm 使用限界: 1.02" /26 mm
フロント ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	0.393" /10 mm
リア ブレーキ パッド厚 (ブレーキ プレートを除く)	0.354" /9 mm
パーキング ブレーキ	電気式作動パーキング ブレーキ キャリパー



サスペンション

フロント	独立、仮想ピボットダブルウィッシュボーン
リア	独立、仮想ピボットダブルウィッシュボーン

バッテリー - 12 V

定格	33 アンペア時以上
電圧と極性	12 V 負極 (-) グランド

バッテリー - 高電圧

タイプ	液冷式リチウムイオン (Li-ion)
定格	60、70、75、85、90、100 kWh (使用開始時)
定格電圧 - 85、90、100 kWh 定格電圧 - 60、70、75 kWh	350 V DC 300 V DC
温度範囲	Model X を 60° C を越える温度環境または -30° C を下回る温度環境に、24 時間を超える期間連続して放置しないでください。



ホイール仕様 (工場出荷時)

ホイールの種類	サイズ	オフセット
20 インチ - オールシーズン - フロント	9.0J x 20	1.378 インチ 35 mm
20 インチ - オールシーズン - リア	9.5J x 20	1.575 インチ 40 mm
20 インチ - サマー - フロント	9.0J x 20	1.378 インチ 35 mm
20 インチ - サマー - リア	10.0J x 20	1.378 インチ 35 mm
22 インチ - サマー - フロント	9.0J x 22	1.378 インチ 35 mm
22 インチ - サマー - リア	10.0J x 22	1.378 インチ 35 mm

ラグナット トルク	129lb ft (175Nm)
ラグナット ソケット サイズ	21 mm
注: Model X をジャッキアップする方法については、 ジャッキアップと引き上げ - 172 ページを参照してください。	



タイヤ仕様 (工場出荷時)

タイヤの種類	規模	荷重指数 / 速度定格
20 インチ - Michelin - フロント	255/45R20	105 / Y
20 インチ - Michelin - リア	275/45R20	110 / Y
22 インチ - Goodyear または Pirelli - フロント	265/35R22	102 / W
22 インチ - Goodyear または Pirelli - リア	285/35R22	106 / W
タイヤと荷重情報ラベルに印刷されたタイヤ空気圧を参照してください。このラベルは運転席側のドアピラーにあり、運転席側ドアを開けると確認することができます (タイヤ空気圧の保守 - 160 ページを参照)。		
ウィンタータイヤは Tesla 販売店で購入できます。		



タイヤのマーキングについて

タイヤメーカーは、標準化された情報をタイヤのサイドウォールに記載することを法律で義務付けられています。これらは、タイヤの特性を含むさまざまな情報を表示します。



1	タイヤの分類。P は乗用車用のタイヤであることを示しています。
2	タイヤ幅。この 3 桁の数字は、タイヤのサイドウォールの端から端までの幅をミリ単位で表した値です。
3	アスペクト比。この 2 桁の数字は、パーセントで表したトレッド幅に対するサイドウォールの高さの比です。したがって、トレッド幅が 205 mm でアスペクト比が 50 であれば、サイドウォールの高さは 102 mm です。
4	タイヤの構造。R はタイヤの構造がラジアル プライであることを示しています。
5	ホイール径。この 2 桁の数字はインチ単位で表したホイール リムの径です。
6	荷重指数。この 2 桁または 3 桁の数字は、タイヤ 1 本で支えることのできる重量です。この数字は記載されていないことがあります。
7	速度記号。記載されている場合は、タイヤを長期にわたって使用できる最高速度 (マイル毎時) を示します。Q=99 mph (160 km/h)、R=106 mph (170 km/h)、S=112 mph (180 km/h)、T=118 mph (190 km/h)、U=124 mph (200 km/h)、H=130 mph (210 km/h)、V=149 mph (240 km/h)、W=168 mph (270 km/h)、Y=186 mph (300 km/h)。
8	タイヤの構成と材質。トレッドエリアとサイドウォールエリアの両方のプライ数は、タイヤを構成するゴム被覆材料の層の数を示しています。使用されている材料の種類に関する情報も表示されています。
9	最大タイヤ荷重。タイヤで運搬できる最大荷重。

10	最大許容タイヤ空気圧。通常の運転でこの空気圧を使用しないでください。
11	U.S. DOT タイヤ識別番号 (TIN)。先頭の文字 DOT は、タイヤがすべての米連邦基準に適合していることを示します。それに続く 2 桁の文字はタイヤが製造された工場を表す記号であり、末尾の 4 桁は製造された週と年を表しています。たとえば、1712 は 2012 年の第 17 週を表しています。その他の番号は、メーカーが任意に決めている販売記号です。タイヤの欠陥に伴うリコールを行う際には、この情報を利用して消費者に連絡することができます。
12	トレッド磨耗。この数字はタイヤの摩耗等級を示します。グレードが高いほど耐磨耗性に優れていることを示します。たとえば、等級 400 のタイヤは、等級 200 のタイヤの 2 倍の耐磨耗性があります。
13	トラクション。タイヤが濡れた路面で停止する能力を示します。タイヤのグレードが高いほど、車を停止するまでの距離が短くなります。トラクションのグレードは、高い順に AA、A、B、C です。
14	温度。タイヤの熱に対する耐性が A、B、C に等級分けされており、A が最も高い耐性を示します。この等級分けは、速度および荷重の限度内で正しい空気圧のタイヤを使用することを前提としています。



Tesla ロードサイドアシスタンスは、保証期間中に限り年中無休で 24 時間いつでもご利用いただけます。

Tesla ロードサイドアシスタンスにご連絡される場合は、次の情報を予めご準備ください。

- 車両識別番号 (VIN)。タッチスクリーンの最上部の Tesla の「T」をタッチすると VIN が表示されます。また、運転席側のフロントガラスからのぞき込むとダッシュボード上部に表示されている VIN を確認できます。
- お客様の所在地。
- 故障・問題の性質。

Tesla ロードサイドアシスタンスは 24 時間対応しておりますので、万一の際もお客様の Model X をどのように輸送するかなど、ご質問があれば詳細にご説明し、プロフェッショナルなサービスを提供いたします。

国別電話番号

日本: 0120-975-214 -

注: 電話番号は、タッチスクリーンの最上部中央にある Tesla の「T」にタッチして利用することもできます。



ホイールを接地させた状態で輸送しないでください

Model X に搭載されるフロントモーターは回転させると発電します。Model X を輸送する時は必ず4本のタイヤすべてを地面から離してください。輸送中はタイヤが回転しないことを確認してください。

⚠ 警告: タイヤが回転してしまうような状態で絶対に車両の輸送を行わないでください。タイヤを回転させると重大な損傷または加熱につながる恐れがあります。まれにはありますが、極度に加熱すると周りのコンポーネントに引火する恐れがあります。



Tesla が指定していない方法で Model X の輸送を行わないでください。以下のセクションに示す指示に従い、記載されるすべての警告および注意事項を厳守してください。誤った方法で輸送中に発生した車両の損傷は保証対象にはなりません。

認定された輸送方法

注: 車両を輸送するために平ボディトラックにウィンチを使って積載する際、または駐車位置から車両を移動させる必要がある場合は、低速（時速 5 km 以下）でごく短距離（10 ートル）であれば輸送モードを有効にしている限り（[輸送モードの有効化 - 188 ページ参照](#)）タイヤを回転させることができます。これに従わないと、車両に保証の対象とならない重大な損傷および過熱を与える恐れがあります。

Model X の輸送に推奨されるのは、平ボディトラックまたは同等の輸送車両です。平ボディトラックを使用しているときは、前後どちらの方向で載せても構いません。



平ボディトラックを使用しないで Model X を輸送する必要がある場合は、タイヤスケートを使用してタイヤを持ち上げてから輸送を開始してください。この方法は時速 55 km 以下で行い、絶対にタイヤスケートの製造元が指定する制限速度を超えてはなりません。この方法を使用する場合は、フロントタイヤを浮かせて、リヤタイヤにタイヤスケートを履かせて車両を前向きすることを Tesla は推奨します。

注: フロントホイールをタイヤスケートに載せて Model X を輸送することは推奨されませんが、ホイールロックなどを使用してフロントタイヤを固定しタイヤが回転しないよう細心の注意を払って実施できる場合はこれに限りません。フロントタイヤが回転する恐れがある状況では絶対に車両の輸送を行わないでください。



⚠ 注意: 輸送モード（[輸送モードの有効化 - 188 ページ参照](#)）は Model X を平ボディトラックにウィンチで載せる前に有効にしてください（[平ボディトラックに引き上げて積載する - 牽引用アイボルト使用 - 188 ページ参照](#)）。輸送モードが使用できない、またはタッチスクリーンが利用できない場合は、必ずセルフローディングドリーまたはタイヤスケートを使用して、公認の輸送位置に車両を積載してください。Tesla は、セルフローディング ドリーまたはタイヤスケートを使用したことに起因する、個人財産の損害など、お客様の Model X の輸送が原因となるいかなる損害についても責任を負いません。

⚠ 警告: Model X は、高電圧コンポーネントが搭載されています（[高電圧コンポーネント - 148 ページ参照](#)）。高電圧コンポーネントが損傷した恐れのある Model X を輸送する時は（衝突事故など）、これらのコンポーネントが漏電している恐れがあるため注意が必要です。緊急対応する専門業者が車両の安全を確認しすべての高電圧システムに電圧がかかっていないことを正確に確認するまで、必ず高電圧安全注意事項（[個人保護具の着用など](#)）に従ってください。これらを怠ると重大な事故につながる恐れがあります。

セルフレベリング エアサスペンションシステムの無効化

Model X にエアサスペンションシステムが搭載されている場合、電源がオフのときでも自動的にセルフレベリングします。損傷を防止するため、ジャッキモードにしてセルフレベリングを無効にする必要があります。

1. タッチスクリーンで「コントロール」>「サスペンション」の順にタッチします。
2. ブレーキペダルを踏み、「非常に高い」にタッチして高さを最大にします。
3. 「ジャッキアップ」にタッチします。



ジャッキモードが有効になると、Model X の「インストゥルメントパネル」にこの赤いインジケータライトが表示されると同時に、アクティブサスペンションが無効になっていることを知らせるメッセージが表示されます。

注: 走行速度が時速 7 km を超えた場合、ジャッキモードはキャンセルされます。

- 警告:** エアサスペンションシステムが搭載された車両の場合、ジャッキモードを有効にしないと輸送中に車両が緩む可能性があり、重大な損傷を引き起こす危険があります。

輸送モードの有効化

輸送モードは、Model X を平ボディトラックにウィンチで巻き上げる際に、パーキングブレーキを解除します。輸送モードが有効になっている時は、車両のサイドブレーキが無効になっていることを知らせるメッセージが表示されます。輸送モードを有効にするには以下が必要です。

- 12V 電源が必要です。Model X に電源が供給されていないと、タッチスクリーンが使用できないため輸送モードを有効にすることはできません。
- Model X はキーを検出しなければなりません。輸送モードはキーが検出されている時のみ有効となります。

輸送モードを有効にする:

1. 車両がパーキングになっていることを確認します。
2. 輪留めをタイヤに設置する、または Model X が固定されていることを確認してください。
3. ブレーキペダルを踏み込んだまま、タッチスクリーンで「コントロール」>「サービス」>「牽引」の順にタッチします。タッチスクリーンには、Model X の正しい輸送方法を促すメッセージが表示されます。
4. 青色に変わるまで**輸送モード**ボタンを押し続けます。Model X はブレーキが解除され、押し続けて動かす（歩行する速度以下）またはウィンチで引き上げることができます。

牽引モードを終了するには、Model X をパーキングに入れてください。

- 注意:** 電気系統が故障している場合、タッチスクリーンを使用して輸送モードを有効にすることができないため、セルフローディングドリ

ーまたはタイヤスケートを使用します。車両をドーリーに積載する前に、必ずドーリーの製造元による仕様および推奨積載重量を確認してください。

平ボディトラックに引き上げて積載する - 牽引用アイボルト使用

1. 牽引用アイボルトを見つめます。
2. 牽引用アイボルトカバーの上部にあるスロットに小さなマイナスドライバーを差し込み、ゆっくりと引いて上部の留め具からカバーを外します。



注: 牽引用アイボルトカバーは牽引が終わって再度取り付けるまで大切に保管してください。

3. 牽引用アイボルトをしっかりと挿入し、確実に固定されるまで反時計回りに回します。



4. 牽引ボルトにウィンチケーブルを取り付けます。

注意: 引く前に、牽引用アイボルトがしっかりと締まっていることを確認します。

5. 輸送モードを有効にするは、「コントロール」 > 「サービス」 > 「牽引」の順にタッチしてください。
6. Model X をゆっくりとトラックの上に乗せてください。

平ボディトラックに引き上げて積載する - 牽引用アイボルトがない場合

前章で説明された通り、ウィンチを車両に接続する際は牽引用アイボルトを使用することが強く推奨されます。しかし、牽引用アイボルトが使用できない場合（損傷、喪失など）、次の説明通りに牽引用ストラップを取り付けてください。

1. 車両前部の下、それぞれのローアー サスペンションアームの牽引用ストラップを取り付けます。



2. アンダーボディを損傷しないよう保護できるもの（木材など）を牽引用ストラップとアンダーボディの間に設置してください。
3. 輸送モードを有効にするは、「コントロール」 > 「サービス」 > 「牽引」の順にタッチしてください。
4. Model X をゆっくりとトラックの上に乗せてください。

タイヤの固定

8点留めタイダウン法で車両を固定する必要があります。

- 固定用ストラップの金属部品が、車輪の塗装面または面に接触しないようにしてください。
- ボディパネル上または車輪内に固定用ストラップを置かないでください。

⚠ 注意：固定用ストラップを車両ボディのシャーシ、サスペンション、その他の部品に取り付けると、車に損傷を与える可能性があります。





イースター エッグ

しかし、これだけではありません! 以下は、現在までに見つけたイースター エッグとそのアクセス方法のリストです。または、Tesla の「T」(タッチスクリーン上部中央)をタッチしてから、**お客様の Tesla について** ボックスを下方向にドラッグするだけのワンタッチ アクセスで、見つかったすべてのイースター エッグを見ることが出来ます。

この場合は・・・	これを行います・・・
Atari ゲーム	ノスタルジックに浸る? パーキングにギアを入れれば、イースター エッグ トレイにある Atari ゲームにアクセスして、上にあるメニューからゲームを選択します。コインを入れて、 Start をタッチしてゲームを開始します。 Full をタッチすれば全画面表示になり、3 回タッチして全画面を終了します。ゲームによっては、ハンドルのボタンを使用する必要があります。
サンタ モード	「望んでいるものは何ですか?」一年を通して、これとともに休日を楽しみましょう! 音声コマンドを開始して「Ho Ho Ho」と言ってみましょう。何となく気分が悪い場合は、「Ho Ho Ho Not Funny」と言うこともできます。
レインボー ロード	カウベルがもっと必要? オートステアリングを有効にし、クルーズコントロールレバーを素早く手前に 4 回動かすと、レインボーロードに行くことができます。
スケッチパッド	Tesla の「T」(タッチセンター上部の中央)を 3 回タップして、自分の中に眠るピカソを呼び出してください。あなたの才能を見せるチャンス! 出版 をタッチしてあなたの作品を Tesla まで送ってください。
火星	Tesla の T (タッチスクリーン上部の中央)を長押しして、アクセスコードポップアップに mars と入力します。マップには Model X が火星の大地を走る流浪者として表示され、 お客様の Tesla について ボックスには SpaceX の惑星間スペースシップが表示されます。
007	Tesla の「T」(タッチスクリーン上部の中央)を長押しして、アクセスコードポップアップに 007 と入力します。これであなはもはや「ドライバー」ではありません、「ダイバー」です! 「 コントロール 」>「 車高 」の順にタッチして潜水深度を変更します。
ルーディークラス スピード (P100D 車両のみ)	「 Ludicrous 」 「設定」(「 コントロール 」>「 運転モード 」>「 加速 」>「 Ludicrous 」)を約 5 秒間長押しします。飛ばしたい場合は、 もちろん! をタッチします。インストゥルメントパネルに出力と加速度の測定値を表示するには、いずれかのスクロール ボタンを使用可能なオプションが表示されるまで押します。その後、スクロール ホイールを回して 測定値 をハイライト表示したら、スクロール ボタンをもう一度押します。
生命、宇宙、そしてすべてにおける究極の質問に答える	車の名前を 42 (車両に名前を付ける - 123 ページを参照) に変更し、Model X の新しい名前を通知します。
ホリデー ショー	車を屋外に駐車し、窓を降ろしたら、Tesla の「T」(タッチスクリーン上部の中央)を長押しして、アクセスコードポップアップに modelxmas と入力します。これでショーが始まります。
レインボー 充電ポート	Model X がロック状態で充電されているとき、モバイル コネクターのボタンを素早く 10 回押してください。どうです?
ロマンス モード	もちろん車内で焚火を焚いて栗を焼くことはできませんが、このバーチャル暖炉を使えば大切な人とロマンティックなひと時を過ごすことができます。パーキングにシフトして、イースターエッグ トレーからロマンス モードにアクセスします。お気に入りの音楽を流して、ロマンチックな雰囲気を演出!



排ガス テストモード	このホリディシーズンを楽しく過ごすサプライズをご用意しました。イースターエッグ トレーから排出ガス テスト モードにアクセスして、ブーブー音の種類やターゲットにする席を設定します。左スクロールボタンを押すとブーブークッションを鳴らすことができます。
------------	--



文書の適用可能性

オーナー情報は、お客様の車両に更新を反映するために定期的に更新されます。ただし、直近のリリースで搭載された機能は記載されない場合もあります。最近リリースされた機能についての情報を表示するには、タッチスクリーン上でリリースノートをご覧ください。リリースノートはソフトウェア更新後にタッチスクリーン上に表示されます。また、タッチスクリーンの上部にある Tesla の「T」にタッチしてからリリースノートリンクにタッチすればいつでも表示できます。タッチスクリーンの使用方法に関する情報とリリースノートの情報が矛盾する場合は、リリースノートが優先します。

イラスト

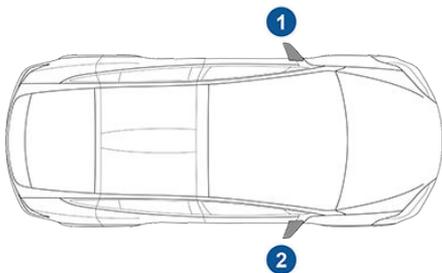
イラストは説明目的のためにだけ掲載されています。車両オプション、ソフトウェアバージョン、購入地域、および特定の車両設定によっては、お客様の車両が違って見える場合があります。この所有者情報は RHD (右ハンドル車) 車両と LHD (左ハンドル車) 車両の両方に適用されますが、多くの図は LHD 車両のみを示しています。ただし、図が示している重要な情報はすべて正しい情報です。

誤りまたは不正確な記述

すべての仕様および記述は、公開の時点で正確であることを確認済みです。ただし、改良を続けることが Tesla の目標であるため、当社はいつでも製品変更を行う権利を留保します。誤植や不備、またはこのオーナー情報の品質に関するフィードバックや提案のある方は、OwnersManualFeedback@Tesla.com - までご連絡ください。

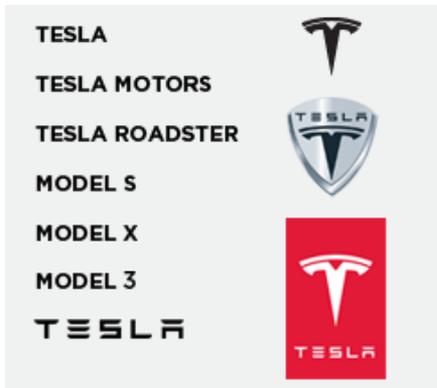
コンポーネントの位置

オーナー情報は、コンポーネントの位置を車両の左側または右側に示すことがあります。図のように、左 (1) と右 (2) はシートに座った時の車両の左側、右側を示します。



著作権および商標

本書にあるすべての情報およびすべてのソフトウェアは、Tesla, Inc. およびライセンス許諾者の著作権およびその他知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc. およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求により入手可能です。Tesla はオープンソースのコミュニティによって制作されたソフトウェアを使用しています。Tesla のオープンソースソフトウェアについてはウェブサイトを参照してください <http://www.tesla.com/opensource>。この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用しています。(承認番号 平 27 情使、第 74 号)。地図にデータに関する所有権 (以下に掲げるものを含むがそれに限定されない) は、Increment P Corporation (IPC) が所有しています。Copyright © 2009-2014 Japan Digital Road Map Association および Copyright © 2015 Increment P Corp (免責事項 - 193 ページ参照)。HD Radio は、iBiquity Digital Corporation の登録商標です。以下は、Tesla, Inc. の米国またはその他の国における商標または登録商標です。



本ガイドに含まれる他のすべての商標はそれぞれの所有者の財産であり、係る商標の本ガイドにおける使用は、これら製品またはサービスを推奨または是認するものではありません。本書または車両に表示されている商標を不正に使用することを固く禁じます。

車両テレマティクス

Model X は、モーター、オートパイロット コンポーネント、バッテリー、ブレーキおよび電気システムを含むさまざまな車両システムからのデータを監視および記録する電子モジュールが搭載されています。これらの電子モジュールは、ブレーキング、加速、距離およびその他車両に関連する情報を含む、さまざまな運転および車両の状態に関する情報を記録します。これらのモジュールは、充電イベントとステータス、各種システムの有効化/無効化、診断問題コード、VIN、速度、方向および場所など車両独自の情報も記録します。

車両に保存されるこのデータは、車両の整備中に Tesla サービス技術者によってアクセス、使用、保存することができます。または、車両のテレマティクスシステムを通じて Tesla にワイヤレスで定期的に送信することができます。このデータは次のようなさまざまな目的で Tesla が使用します。お客様に Tesla テレマティクスサービスを提供すること。トラブルシューティング、車両の品質、機能、性能の評価。Tesla およびそのパートナーが車両の改善と設計のために実施する分析および調査。法律で要求される可能性がある事項。車両の整備を通して、Tesla は車両のデータログを調査するだけで、遠隔から問題を解決できる場合があります。

Tesla のテレマティクスシステムは、Tesla に情報を定期的にワイヤレス送信します。データは前述の通りに使用され、車両を適切に保守するのに役立てられます。Model X の追加機能により、車両のテレマティクス システムおよび提供される情報を使用することがありますが、これら追加機能には充電リマインダー、ソフトウェア更新、車両のさまざまなシステムに対するリモートアクセスおよび制御が含まれます。

Tesla は、以下の場合を除き車両に記録されたデータを第三者に開示することはありません：

- 車両の所有者（またはリース車両の場合はリース会社）からの同意または合意が得られている場合。
- 警察またはその他の当局により正式に要求された場合。
- 訴訟で Tesla を弁護するために使用する場合。
- 裁判所により命令された場合。
- 車両所有者の詳細情報または識別情報を開示せずに調査目的で使用する場合。
- 継承者または譲受人を含む Tesla の子会社、もしくはは情報システム、およびデータ管理プロバイダーに開示する場合。

さらに、現地法令に従い、非保証修理サービスに関係する場合を除き、Tesla は記録されたデータを所有者に開示しません。非保証修理サービスに関係する場合は、修理に関係するデータのみを開示します。Tesla が車両から収集したデータをどのように処理するかについての詳細は、www.tesla.com/about/legal -にある Tesla のプライバシーポリシーを参照してください。

データ共有

製品品質の確保とオートパイロットなどの高度な機能を継続的に改善していくために、Tesla はすべての参加車両の道路セグメントデータを測定します。すべての Tesla 車両は、Tesla 車両が今まで蓄積してきた数十億マイルの経験から学ぶことができます。Tesla は、類似のデータを提供するパートナーとこのデータを共有していますが、このデータには、お客様またはお客様の車両に関する個人情報はありません。データの共有を許可するには、「**コントロール**」 > 「**安全とセキュリティ**」 > 「**データの共有**」をタッチしたら、Tesla が関連するタイプのデータを収集することに同意するために「はい」ボタンをタッチしてください。

注：ただし、本オーナーズ マニュアルに記載されているように、Model X は運転と操作に関連して GPS を使用していますが、Tesla は車両固有の GPS 情報を記録または保存しません。このため、Tesla は車両の位置に関する履歴情報を提供することはできません（例えば特定日時に Model X が駐車/走行していた場所についての記録を Tesla は取りません）。

品質管理

オドメーターの表示は Model X の納車時に若干の数値 (数 km) を示していることがあります。これは、Model X の品質を保証するための包括的テストプロセスの結果です。

テスト プロセスには、生産中および生産後の広範囲な検査が含まれます。最終検査は Tesla で実施され、技術者が実施するロードテストが含まれます。



地図データ

次の所有権表示は、お客様の車両のソフトウェア (Map Data) に含まれる地図データおよびその利用に適用されます。

- Increment P Corporation (IPC) とそのライセンス許諾者は、Map Data に関する著作権と商標権を含むがそれらに限定されないすべての所有権を所有しています。
 - Copyright © 2009-2014 JAPAN DIGITAL ROAD MAP ASSOCIATION
 - Copyright © 2015 INCREMENT P CORP
- IPC は明示的か黙示的かを問わず、いかなる装置の正確性、完全性、合目的性、通常動作、機能性を含むがそれらに限定されない Map Data に関する一切の保証をいたしません。IPC は、Map Data の利用によって生じたいかなる損害に対しても責任を負いません。
- Map Data は、日本デジタル道路地図協会によって発行された全国デジタル道路地図データベースを用いて作られています。

- Map Data は、日本の測量法第 44 項に従い、次の表に記された組織が発行した都市計画図を用いて作られ、その利用はそれぞれの組織によって承認されています。

組織	承認日	承認番号
神奈川県小田原市	1998 年 4 月 2 日	小田原市指令第 52 号
岐阜県養老町	2000 年 3 月 13 日	平成 12 年 養建第 1902 号
愛知県知多市	2000 年 5 月 16 日	平 10.近公.第 34 号
和歌山県貴志川市	2001 年 3 月 13 日	平成 12 年度 知都発第 170 号
福岡県隠岐町	2004 年 3 月 3 日	15 大木建第 734 号
長野県堀金町	2005 年 3 月 1 日	16 堀第 5417 号
滋賀県東近江市	2006 年 2 月 28 日	東開第 111 号
群馬県伊香保町	2005 年 7 月 14 日	伊建農発 229 号
Tokyo Digital Map Corporation	2007 年 2 月 8 日	18 東デ共 041 号 ※契約番号
東京都	2007 年 2 月 7 日	18 都市基交第 478 号
岡山県津山市	2006 年 2 月 17 日	平成 17 年津山市使用承認第 5 号
山口県宇部市	2006 年 5 月 15 日	指令宇都第 13 号
山口県宇部市	2006 年 5 月 31 日	指令宇都第 14 号
山口県周防大島町	2006 年 5 月 12 日	周防建設第 56 号
香川県東かがわ市	2006 年 5 月 2 日	18 建第 107 号
愛媛県東温市	2006 年 5 月 16 日	H18 東温都第 174 号
宮城県	2006 年 9 月 19 日	林振第 350 号
宮城県	2007 年 2 月 28 日	林振第 611 号
秋田県	2007 年 3 月 7 日	指令水緑-1258
山形県	2006 年 12 月 6 日	森第 18-10 号
新潟県長岡市	2006 年 3 月 28 日	長都政第 477 号
山梨県	2007 年 3 月 1 日	森整第 1561 号
長野県	2007 年 2 月 14 日	18 森政第 5-5 号
島根県	2006 年 11 月 24 日	森第 1286 号
島根県	2007 年 2 月 27 日	森第 1736 号
広島県	2007 年 2 月 15 日	林振第 115 号
徳島県	2007 年 1 月 30 日	林振第 484 号
佐賀県	2006 年 10 月 4 日	森整第 010634 号
長崎県	2006 年 10 月 6 日	18 林第 492 号
熊本県	2007 年 2 月 14 日	森整第 993 号
熊本県	2007 年 3 月 7 日	森整第 1079 号



- Map Data に含まれる交通規制データは 2014 年 9 月現在のものです。かかる交通規制データと実際に掲示されている交通標識や交通規制表示に相違がある場合、Map Data の使用においては実際に掲示されている交通標識や交通規制表に従ってください。
- この交通規制データは、2 輪や大型商用車（モーターサイクルや商用トラック等）には適用されません。



Tesla に連絡する

お客様の Model X に関する詳細を見るには、www.tesla.com - に進んでお客様の Tesla アカウントにログインするか、アカウントをおもちでない場合は新規でサインアップしてください。

お客様の Model X に関して質問や気になることがある場合は、Tesla までお電話でご連絡ください。お客様の地域の番号を探すには、www.tesla.com - にアクセスし、連絡先情報をご確認ください。



キーおよびパッシブロック解除システム

FCC 認証

モデル番号	製造者	GHz	テスト済み
キーフォブ 1048598	Tesla	2.4	米国 カナダ

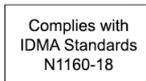
FCC ID 2AEIM-1048598 により、上記装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。動作は以下の 2 つの条件によります。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

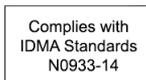
Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

適合ラベル - シンガポール

モデル A-0749G11 :



モデル A-0749G01 :



中央ボディ コントローラー

FCC 認証

モデル番号	製造者	MHz / GHz	テスト済み
中央ボディ コントローラー 1031503	Tesla	315 / 2.4	米国 カナダ

FCC ID 2AEIM-1031503 により、上記装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

一体化コンポーネント

中央ボディコントローラーは、その他のインテリア トリム コンポーネントの周囲に固定された車両に主要な部分の一つです。中央ボディコントローラーは、一体化コンポーネントとして使用するよう設計されており、個別の販売や取引はできません。

タイヤ空気圧監視システム

FCC ID : TZSTPMS201、Z9F-201FS43X

IC ID : 11852A-201FS4X

タイヤ空気圧監視システム (TPMS) は FCC 規則のパート 15 およびカナダ イノベーション・科学・経済開発省の RSS-210 に準拠しています。操作には以下の 2 つの条件が適用されます。

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含む、本装置が受けたいかなる干渉も受け入れなければならない。

Tesla が明示的に承認していない変更または修正を行った場合、本装置を操作するお客様の権限が無効になる可能性があります。

装置認可 - 日本



Ⓜ 001-A00198

無線周波数情報

本装置はテスト済みであり、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタル装置の制限に準拠することが確認されています。これらの制限は、住宅への設置において有害な干渉に対して適切な保護を行うことを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、また放射することがありますので、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に対して有害な干渉を発生する可能性があります。ただし、特定の設備において干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に対して有害な干渉を発生する場合 (本装置のスイッチのオンオフで判断可能)、以下の方法の 1 つまたは複数を行って干渉の修正を試みてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 本装置と受信機との距離を広げる。



- 装置を受信機が接続されている回路と別の回路のコンセントに接続する。
- ディーラーまたは経験のあるラジオ / テレビ技術者に相談する。



記号

RFID トランスポンダー 173
料金徴収システム トランスポンダー、取り付け 173
アダプティブ サスペンション ダンピング 140
キャビン エア フィルター 130
サイドクリアランス (サモン) 106
サスペンション (エア)、設定 140
サモン距離 106
サモンを使用した駐車 106
トランスポンダー、取り付け 173
バンパークリアランス (サモン) 106
ヘッド拘束装置 30
ヘッドレスト 30

A

ABS (アンチロック ブレーキシステム) 69

B

Bluetooth
一般情報 138
機器、オーディオ ファイルの再生 136
電話、登録と使用 138

C

CCS (コンボ) 149
CE 認証 198
CHAdemo 149

E

Energy アプリ 79

F

FCC 認証 198

G

GAWR 176
GVWR 176

H

HomeLink
サモン使用時 106

I

IC 認証 198
ISOFIX 対応チャイルドシート、取り付け 39

J

J1772 149

L

Ludicrous 加速 76

N

NCC 認証 198

P

PIN 50

R

RF アンテナ 16

T

Teslacam 81
TPMS
FCC 認証 199
概要 163
TuneIn ラジオ 135

U

USB ポート 22
USB 機器
オーディオ ファイルの再生 136
接続している 22

V

VIN (車両識別番号) 174

W

Wi-Fi への接続 145
Wi-Fi、接続 145



あ

- アクセサリー
 - 電源ソケットへの接続 22
- アクセサリー キャリア 83
- アクセス パネル、取り外し 170
- アダプティブ ヘッドライト 60
- アラーム 143
- アンチロック ブレーキ (ABS) 69
- アンテナ 16

い

- イージーエントリー 29
- イージーエントリー、ドライバーのプロフィール 49
- イースター エッグ 190
- イベントデータの記録 193
- インストゥルメントパネル
 - 概要 62
- インセイン加速 76
- インターネットラジオ 135
- インテリア
 - 温度コントロール 125
 - 概要 2
 - クリーニング 167
 - 寸法 177
 - 光を当てる 59

う

- ウインカー 60
- ウォッシャー、使用 68
- ウォッシャーフルード、補充 171

え

- エアコンを ON のままにする 129
- エア サスペンション 140
- エアバッグ 45
- エアバッグ、助手席、無効化 47
- エアフィルター 130
- エクステリア
 - 概要 3
 - クリーニング 166
 - 寸法 177
 - つや出し、補修塗り、および修理 167
 - 光を当てる 59
 - 自動車用カバー 168
- エネルギー
 - 回生ブレーキの効果 69
 - 航続距離情報 62
- エネルギー消費量予測 (ナビゲーション) 133
- エネルギー削減モード 79

お

- オーディオ
 - ハンドル ボタン 52
 - ファイルの再生 135
 - 音量調節 135
- オート ハイビーム 60
- オートステアリング 100
- オートパーキング 104
- オートパーキングを利用した駐車 104
- オートパイロット
 - オートステアリング 100
 - オートパーキング 104
 - サモン 106
 - スピードアシスト 113
 - トラフィックアウェア クルーズコントロール 95
 - ブラインドスポット警告 108
 - 概要 92
 - 自動緊急ブレーキ 110
 - 自動車線変更 102
 - 車線を逸脱しないようにする 108
 - 衝突回避アシスト 110
 - 制限速度警報 113
 - 正面衝突警報 110
 - 側面衝突警報 108
 - 速度制限内で走行 113
 - 追い越し加速 95
- オートパイロットコンポーネント 92
- オートブレーキホールド 75
- オーバーハング寸法 177
- オール シーズン タイヤ 164
- お気に入り (メディアプレイヤー) 136
- オドメーター 8, 78
- オンラインルート案内 133
- 音量調節 4
- お気に入り (ナビゲーション) 132

か

- カーペット、クリーニング 167
- 回生ブレーキ 69
- 改造 173
- 荷重限度 175
- カップホルダー 24
- 加熱 125
- カメラ (オートパイロット用) 92
- カメラ (リア ビュー) 80
- 貨物量 178
- カレンダー アプリー 142
- 換気 130

き

- ギア 58
- ギアシフト 58



キー

FCC および IC 認証 198

キーが車内にない 56

使用法 9

追加の注文 12

バッテリーの交換 10

キーが動作しないときのアンロック 15

キーレスエントリー 9

機能、新しいものをダウンロード 146

緊急時に内部からドアを開く 16

く

空気循環 127

空気分散 127

空調 125

空調コントロール 125

クリーニング 166

クルーズコントロール 95

車に何がついてるって? 190

グローブボックス 22

け

牽引 187

牽引に関する指示 187

牽引ボルト、位置 188

けん引モード 85

こ

降車後オートロック 15

コンソール

12V 電源ソケット 22

USB ポート 22

カップホルダー 24

コンフォート加速 76

さ

サービスデータの記録 193

最近の履歴 (メディアプレーヤー) 136

最低地上高 177

サスペンションの仕様 181

サマータイヤ 164

サモン 106

サンバイザー 25

3列目シート、折りたたみと引き上げ 30

し

シート

調整 26

シート

ヒーター 125

シート, 2列目 27

シートカバー 31

シートヒーター 125

シートベルト

クリーニング 167

ブリテンショナー 33

概要 32

衝突時 33

妊娠中の女性が着用するとき 33

始動{ 56

車体の修理 173

ジャッキアップ 172

ジャッキモード 141

車内温度コントロール 125

車両積載量 175

車両総重量 176

車輪止め 189

す

スーパーチャージ

従量制プラン 157

説明 157

超過時間料金 157

スタッドレスタイヤ 164

ステアリング、自動 100

ステアリングの仕様 180

ストリーミングサービス 135

スピードアシスト 113

スポイラー 82

スポーツ加速 76

スリップスタート 72

寸法 177

せ

セキュリティ設定 143

センサー 92

セントリーモード 143

そ

走行後オートロック 15

ソフトウェアリセット 124

ソフトウェアアップデート 146

ソフトウェアバージョン 8

た

タイダウンストラップ 189

タイヤ

オールシーズン 164

タイヤ (続く)

- 空気圧、チェック方法 160
- 交換 162
- サマー 164
- スタッドレス 164
- タイヤ センサーの交換 163
- タイヤのマーキング 184
- チェーン 165
- 点検と保守 161
- バランス調整 161
- ローテーション 161
- 仕様 183

- タイヤ空気圧、チェック 160
- タイヤと荷重情報ラベル 176
- タイヤのノイズ 165
- タイヤのローテーション 161
- タイヤ空気圧、牽引時の 85
- タイヤ空気圧監視システム

FCC 認証 199

概要 163

- ダッシュボードの概要 2

タッチスクリーン

概要 4

クリーニング 167

クリーニングモード 167

ソフトウェア アップデート 146

タッチスクリーンの再起動 56

ち

チェーン 165

地上高自動上昇 140

チャイルドロック

リアウィンドウ スイッチを無効にする 17

チャイルドシート

取り付けおよび使用 35

助手席用フロントエアバッグ無効化 47

チャイルドロック

リフトゲートとリア ドア ハンドルの無効化 15

つ

通気口 130

て

定員 176

定格総軸荷重 176

データの記録 193

データ共有 193

デバイス

Bluetooth、オーディオファイルの再生 136

オーディオファイルの再生 136

接続している 22

テレマティクス 193

電気式パーキングブレーキ 70

電源のオン/オフ 56

電波干渉 16

と

ドア 9

ドア アンロックモード 15

ドア、開く 9

ドアのキャリブレーション 9

ドアのロックとロック解除 9

ドア ラベル 175

ドッグモード 129

ドライブ

シートの調整 26

プロフィール 49

ドライブ ギア 58

ドライブ用 PIN 143

トラクションコントロール 72

トラッキングを無効にする 131

トラフィックアウェア クルーズコントロール 95

トランク、フロント 20

トランク、リア

チャイルドロック 15

内部ハンドルの無効化 15

トランスミッションの仕様 180

トリッププランナー 133

トリップメーター 78

トルクの仕様 179

トレーラーの牽引 83

トレーラーの牽引時の駐車 88

な

ナビゲート 131, 132

に

ニュートラル ギア 58

は

パーキングアシスト 73

パーキング ギア 58

パーキング時のロック解除 9

パーキングブレーキ 70

ハイビーム ヘッドライト 60

ハザードスイッチ 61

ハザードランプの点滅 61

バックアップカメラ 80

バッテリー (12V)

完全放電 150

仕様 181



バッテリー (キー)、交換 10

バッテリー (高電圧)

温度限界 150

仕様 181

注意 150

冷却剤 170

バレーモード 50

パワー ウィンドウ 17

ハンドル

スクロール ボタン 52

ボタン 52

位置の調整 52

感度の調整 52

暖房付き 52

ひ

ヒートドワイパー 68

ふ

ファームウェア (ソフトウェア) アップデート 146

ファンの速度、内部 127

フード 20

フォグランプ 59

部品の交換 173

ブラインドスポット警告 108

ブラインドスポット警告チャイム 108

フラッシュ ドライブ、オーディオ ファイルの再生 136

フルード

リザーバ、チェック 170

交換間隔 158

ブレーキをかける

概要 69

仕様 180

フルードレベル 170

緊急時の自動ブレーキ 111

フロアマット 168

フロント ガラス ウォッシャーフルード、補充 171

フロントトランク 20

へ

ペースメーカーへの配慮 16

ヘッドライト

アダプティブ 60

ハイビーム 60

降車後 60

ほ

ホイール

アライメント 161

ホイール (続く)

交換 162

トルク 182

ラグナット カバー、取り外しと取り付け 163

仕様 182

法定プレート 176

ホーン 54

ボディの補修塗り 167

ボディを補修塗り 167

ま

マット 168

マップ データ、所有権表示 194

み

ミラー 55

め

メディア 135

も

モーターの仕様 179

モバイル アプリ 147

モバイルコネクタ

使っている 152

説明 149

ゆ

輸送 187

輸送モード 188

ら

ラグナット カバー 163

ラジオ 135

ラベル

タイヤと荷重情報 176

法定プレート 176

ランパー サポート 26

り

リアウインドウ スイッチ、無効にする 17

リアシート、アクセス 29

リアビューカメラ 80



- リバース ギア [58](#)
- リフトゲート
 - 開いたときの高さを調整する [19](#)
 - 開放 [18](#)
- リリース ノート [146](#)

る

- ルーム (マップ) ライト [59](#)

れ

- レーダー [92](#)
- レーンアシスト [108](#)
- レンジモード [79](#)

ろ

- ロードサイドアシスタンス [186](#)
- ローンチモード [76](#)
- ロケーション トラッキング [131](#)
- ロケーションベース サスペンション [140](#)

わ

- ワイパー、使用 [68](#)
- ワイパー、除氷 [68](#)

TESLA